口腔インプラント学
学術用語集

公益社団法人
日本口腔インプラント学会　編

第5版

Academic Terms of Oral Implantology 2024
Japanese Society of Oral Implantology

since 1972
Japanese Society
of Oral Implantology

医歯薬出版株式会社

『口腔インプラント学学術用語集　第５版』発刊にあたって

公益社団法人 日本口腔インプラント学会
理事長　細川　隆司

本学会は日本歯科医学会の専門分科会の中で名実ともに最大規模の学会として活動し発展してきました．本学会は法人格としては公益社団法人ですが，あくまで学術団体として各種事業を行っています．医学系学術団体としての主要な事業としては，学術雑誌の編集発行，学術講演会の開催，会員の専門性認定制度の運用と国民への啓蒙活動があげられます．

学術雑誌の編集において，また学術講演会の抄録・プログラムの作成，そしてケースプレゼンテーション試験の概要報告書や専門医，専門歯科衛生士，専門歯科技工士などの症例資料作成など，あらゆる学会活動において，学術用語の適正な使用と統一が求められます．学術団体として，本学会編さんの学術用語集による用語の整理と統一は限りなく重要な意味を持つことに異論はありません．

学術用語は生き物であり，日々の医学の発展や技術革新に伴い，新たな学術用語が生み出され，同義のものは統一が図られ，学会の学術活動において諸般の理由で使用を避けるべき用語には注意喚起が必要となります．そのため，学術用語集は，定期的な見直しが必要で，本用語集は初版から数えて，ほぼ４年に一度の改訂を行っており，今回で第５版を数えることとなりました．第５版においては，第４版に続いてデジタル歯科関係の用語を中心に新たな用語を収載し，いくつかの用語については，統合・削除し，解説内容を整理して加筆修正致しております．

当学会会員はもとより，インプラントに関する学術的な著作に携わろうとする歯科関係者におかれましては，この用語集を座右に置いて，学会活動は当然のこと，日々の診療，教育・研修，ならびに研究に活用していただきたいと考えております．

最後になりましたが第５版の制作を担当していただいた村上　弘委員長ほか，用語委員会の先生方，学会事務局，医歯薬出版編集部諸氏に改めて御礼申し上げます．

2024 年 4 月

第５版の編集にあたって

公益社団法人 日本口腔インプラント学会
用語委員長　村上　弘

公益社団法人日本口腔インプラント学会は2020年に50周年記念学術大会を開催しました．この半世紀の間に口腔インプラント学は目覚ましい発展を遂げ，その包括範囲も急速に広がりました．研究では他分野と連携し，治療も広く行われるようになり，教育においても，全国の歯科大学，歯学部で講義・実習が行われるようになりました．その過程で新しい用語も次々と生まれてきました．口腔インプラント学はその包括分野が広いだけでなく，それぞれの分野の専門性も高いため，統一用語を使用することはコミュニケーションを図り，相互に議論を深めるために極めて重要です．また，海外からの研究，臨床例の報告も多く，外来専門用語を安易に翻訳したり，独自の用語を作って使用したりすることは，その内容を正しく把握することが難しくなるばかりでなく，事柄の理解を惑わすことにもなりかねません．

本用語集の初版は鈴木和夫会長の下，斎藤　毅用語委員長を中心として口腔インプラント関連用語を整理・収載するため，9年間にわたりインプラント関連の重要用語が選定されました．第2版は初版から7年後に川添堯彬理事長の下，赤川安正先生を用語委員長として，新たな学術用語の導入，古くなった用語の整理，日本語と英語の併記など，時代のニーズに対応した編集がなされました．第3版は渡邉文彦理事長の下，諏訪文彦先生を用語委員長として，第2版の4,000語の中から1,075用語を選別し，その解説が収載されました．また，第3版は2018年3月に窪木拓男委員長の下で補訂版が刊行され，用語の修正と71用語の追加が行われました．第4版では，昨今のデジタル化を反映して，日本デジタル歯科学会に用語の推薦を依頼し，その用語も含めて検討し，56用語が追加されました．その第4版の出版から4年が経過し，その間，デジタル改革ともいうべきDX（デジタルトランスフォーメーション）の波がさらに大きくなり，インプラント治療にもその応用が拡大されてきました．この学術用語集第5版は，第4版に掲載された用語やその解説を再検討し，用語の取捨選択および修正・追加を目的として編集作業に入りました．児玉利朗副委員長はじめ用語委員の先生方のご尽力により，まだ新型コロナウイルス感染症の流行が残る中，Web会議を利用しながら，令和4年9月14日から令和6年2月20日の約1年半にわたる編集会議と，査読作業によって出版することができました．この学術用語集が新しい時代の座右の書となることを切に願っております．

最後になりましたが，第5版の制作に専門分野の知識を存分に発揮していただいた用語委員，執筆者の先生方，用語委員会のマネジメントを担当していただいた学会事務局，医歯薬出版編集部に厚く御礼を申し上げます．

2024年4月

口腔インプラント用語集の発刊にあたって（初版）

日本口腔インプラント学会
会長　鈴木 和夫

用語集は学問領域の道標となるもので，内容と利用に一般学術書とは違った意味をもっています．歯科診療においてインプラント治療が多く行われるようになるに従い，インプラントに関連する用語が歯科医学の教育･研究および臨床に多く使われるようになってきました．このような専門用語には，用語をただ呼称させるだけでなく，その内容をある程度意味付けることが多いようです．新しく用語を設定・使用するには，共通した理解のもとに使用されるに至る研究・臨床面での長い間のインプラント学修学のなかで多くの検討がなされ，その結果として使われることが望ましいと考えます．

口腔インプラント学は，外国での歴史も長く，外国からの研究・臨床例が多く報告され，発表などに使用される用語は英語をはじめとする外国語が多く，翻訳文に専門用語を外来専門語として直ちに使用することは，内容を正しく把握することが難しくなる傾向にあります．さりとて安易に翻訳し，訳語として使用することはその内容を誤って伝えることの不安もあります．また，個々独自に用語を作り，使用することは事柄の理解を惑わすことになります．また，インプラントに関する教育・研究・診療にあたっては，口腔インプラント学に関連する用語を的確に理解し，使用することが大切です．あらゆる領域での教育・研究にあたっては，用語について正しく理解し，より正確，かつ効果的に使用することが正しく内容を伝える第一歩と考えます．

そのため，本書がインプラントを志すもののみならず，歯科医学の教育・研究・臨床に携わるすべての歯科医学関係者の座右の書として広く活用されることを期待しています．

斎藤　毅教授（日本大学歯学部）を中心に，多くの委員によりインプラント学に関連する用語を纏めることを心がけてから，早くも９年余の歳月が過ぎました．これもこの間インプラント学が発展・変貌し，幾度となく見直し，整理の必要が起こり，そのため用語集の発刊が遅れ，今日に至ったと伺っております．

当然のことながら，今後も，口腔インプラント学の進歩・変貌に伴い多くの用語が変化していくことは必至で，適正な用語，表記の統一など修正への努力を続ける必要があると思います．今後ともインプラント学の進歩・発展に伴って委員会の詳細な検討により修正・改正されることを願っています．

また，用語集が論文執筆や診療の用語使用の規制となることなく，内容が正しく伝えられるための基準となることを期待しています．

最後に，口腔インプラント学会独自の用語集の出版を強く希望した学会員と，これを高く評価しご尽力下さった古本啓一元会長ならびに末次恒夫前会長に深甚なる敬意を表するとともに心から感謝申し上げます．

序文（初版）

日本口腔インプラント学会
用語委員会委員長　斎藤　毅

20 世紀は科学技術の進歩の著しい 100 年であったと言われております．科学の進歩に伴って学問，技術は体系化が進み，それぞれ専門に分化して発展の道をたどってきました．学問と秘伝・奥義の類とが大きく異なるところは，その哲学，理論，技術を包括する学術的背景を「文字」で表現し，人に伝えることが出来るか否かにあると言われております．この意味で口腔インプラントの専門用語集が編集されて発刊の運びとなりましたことは，歯科医学におけるインプラント学の進歩と発展を示すものであり，またこの分野の今後の展開に寄与するところが大きいものと考えられます．

この度の用語集は，日本口腔インプラント学会・平成 6 年度執行部（古本啓一会長）で企画されて学会用語委員会に付託されたもので，当初，インプラント用語集に対する期待は過度に大きいものでありました．しかし口腔インプラント学は基礎歯科医学から臨床の各専門領域を包括する学際的な領域であるため，その用語は解剖，病理，無機・有機材料，生体材料，外科技術，咬合の回復，生体の治癒力，予後管理あるいは社会科学など膨大な領域に亙るものであり，さらに用語の統一や解説を望む声も聞かれました．

用語委員会では，これらの問題を整理し，今回の用語集では現在口腔インプラントを取り巻く歯科医学の領域で使用されている用語を整理して収録することとし，用語の解説は次の企画に委ねることとしました．すなわち，用語の蒐集は国内外の口腔インプラント関連の成書，学会誌を中心に進めました．また，同じ事象を異なる表現・用語で使われているもの，あるいはカタカナ表示で使用されているものもあり，これらの用語の統一は本委員会の能力を越えるものであり，また経時的に一つの用語に集約されて使われていくもので，これらの用語は同義語として複数併記して編集することとしました．

口腔インプラント用語集の編集は平成 9 年度からは末次恒夫会長に，平成 12 年度からは鈴木和夫会長に引き継がれ，それぞれ委員会も改組され上記企画を継承して編集作業が継続され，この度，初版として完成したものであります．学術用語集の編集作業は着手して 9 年に亙るものでありますが，この間，日新月歩の著しい学問の進歩に合わせて up to date の新しい用語を逐次追加して編集を進めました．また，前会期末（平成 12 年 3 月）には口腔インプラント用語集・暫定版を発刊し，これを学会役員（理事，評議員）に提供して広く意見を求めて完成度を高めました．

本用語集は，インプラントに関する事象を英語，日本語および分類（カテゴリー）として 3 段に分けて編集し，利用者の便を図るために日本語索引を設けてあります．また巻末には，市販のインプラントシステムおよび世界のインプラント学会名を表示し，学術論文作成の助けとなるインプラント関連用語をまとめて記載してあります．さらに，本用語集は現鈴木会

長の強い要請を受けて印刷物（ハードコピー）として全会員に配布することが認められ，また情報化の時代に即して CD-ROM 化を行い会員の要請に応えられるよう準備がされております.

以上のように，本用語集は学会の経年的な事業として企画され，3 期，9 年間に亙る精力的な努力によって資料の蒐集，採択，見直しなどの編集作業を通じて完成されたものであることを報告し，この間の作業に当たられた用語委員会の委員各位，特に地道な作業を進められた小委員会委員および学会事務局の御労苦に対し，深甚なる感謝の意を申し上げる次第であります.

なお，口腔インプラントはその学術的背景が広く，学際領域に及び歯科における研究面および臨床面での活性が高い分野であるので，継続的な検討と改訂作業が必要であることを付記する.

公益社団法人　日本口腔インプラント学会　用語委員会（委員は五十音順）

委員長　村上　弘
副委員長　児玉利朗
委員　玉置幸道
委員　内藤宗孝
委員　深澤翔太
委員　本田雅規
委員　山内健介
委員　山口秀紀

執筆者一覧（五十音順）

青木　章
赤川　安正
安孫子宜光
阿部　伸一
新井　是宣
石垣　佳希
石川　誠
和泉　雄一
市川　哲雄
伊藤　太一
今井　弘一
植野　高章
魚島　勝美
内田圭一郎
江黒　徹
榎本　明史
大久保力廣
大野　彩
岡田　裕之
小倉　晋
尾関　雅彦
越智　守生
加藤　仁夫
金田　隆
河奈　裕正
岸本　裕充
城戸　寛史
木本　克彦
窪木　拓男
栗田　賢一
児玉　利朗
後藤　昌昭
小林真理子
近藤　尚知
近藤　祐介
佐々木啓一
佐々木穂高
佐藤　聡
佐藤　淳一
佐藤　裕二
佐野　司
澤瀬　隆
椎葉　俊司
塩田　真
式守　道夫
嶋田　淳
白川　正順
末瀬　一彦
諏訪　文彦
関根　秀志
園山　亘
髙岡　一樹
髙田　匡基
高橋　克
高橋　常男
高橋　哲
高橋　敏幸
高森　等
玉置　幸道
津野　宏彰
友竹　偉則
内藤　宗孝
永原　國央
中村　典史
中本　哲自
永合　徹也
西村　正宏
野口　誠
萩原　芳幸
羽鳥　弘毅
馬場　俊輔
濱田　傑
早川　徹
原　宜興
肥後　智樹
日比　英晴
廣瀬由紀人
深澤　翔太
福田　幸太
福田　雅幸
古市　保志
古谷　義隆
別所　和久
細川　隆司
本田　雅規
本間　慎也
舞田　健夫
前田　芳信
正木　千尋
又賀　泉
松井　義郎
松浦　正朗
松坂　賢一
松下　恭之
美島　健二
水谷　幸嗣
宮﨑　隆
向坊　太郎
村上　弘
村上　洋
矢島　安朝
山内　健介
山内　六男
山下　佳雄
山口　秀紀
山本　学
山森　徹雄
横山　敦郎
吉成　伸夫
吉成　正雄
吉村　篤利
代居　敬
若松　陽子
渡邊　郁哉
渡邉　文彦

歴代口腔インプラント学学術用語集　用語委員（初版～第 4 版）

■ 初版（2003 年 3 月発行）

委員長　斎藤　毅
副委員長　工藤啓吾
委員　五十嵐俊男
大里重雄
片桐正隆
芝　燁彦
長山　勝
宮下　元
代居　敬

■ 第 2 版（2011 年 3 月発行）

委員長　赤川安正
副委員長　加藤仁夫
委員　児玉利朗
塩田　真
内藤宗孝
原　宜興
松浦正朗
宮﨑　隆

■ 第 3 版（2014 年 6 月発行）

委員長　諏訪文彦
副委員長　加藤仁夫
委員　今井弘一
江黒　徹
児玉利朗
高橋　哲
原　宜興
細川隆司
山口秀紀
代居　敬

■ 第 3 版補訂版（2018 年 3 月公開）

委員長　窪木拓男
副委員長　加藤仁夫
委員　今井弘一
児玉利朗
高橋　哲
原　宜興
細川隆司
山口秀紀
代居　敬

■ 第 4 版（2020 年 5 月発行）

委員長　村上　弘
副委員長　加藤仁夫
委員　児玉利朗
高橋　哲
西村正宏
本田雅規
山口秀紀
代居　敬

凡　例

1. 本学術用語集は，2020 年 9 月から 2024 年 2 月にかけて公益社団法人日本口腔インプラント学会用語委員会を中心として編集されたものである．本学術用語集に収載の用語は，教育・論文執筆・学会誌投稿等の際に使用する学術用語として，公益社団法人日本口腔インプラント学会の承認を得たものである．
2. 本学術用語集では口腔インプラント学の教育・研究および臨床に必要とされる学術用語について収録した．
3. 収載の学術用語 1,197 語は五十音順に配列し，通し番号を付した．
4. 一単語についての解説は，①見出し用語，②用語の読み，③用語の英語表記，④同義語，⑤類義語，⑥関連語，⑦用語の定義・解説からなる．
5. ⇒は参照先（番号）を示す．
6. 括弧の用い方は次の通りとした．
   ①〔　〕内は，省略してもよい語を示す．
   例）萎縮〔症〕，吸収〔小〕窩
   ②《　》内は，その前の語または文字と適宜置き換えてよいものを示す．
   例）移植体《片》対宿主反応，垂直性骨吸収《欠損》
   ③【　】内は，説明ないし注記を示す．
   例）生存率【植皮・移植片の】
7. 同義語，類義語，関連語については次の通りとした．
   ①同義語：見出し語とまったく同じ意味で使われる語
   ②類義語：見出し語とほぼ同じ意味か，場合によって若干異なるニュアンスで用いられることもある語
   ③関連語：見出し語に関係し，理解の助けとなる用語
8. 使用漢字は，近年の漢字政策および新しい JIS 漢字などに鑑みて，いわゆる正字体を採用することとした．
   例）頬→頬，嚢→囊，填→塡，弯→彎
9. 索引には用語番号を付した．索引として挙げた用語は，①見出し語，②同義語，③英語表記，④解説文中で使用された歯科用語である．
10. 人名，英語略語などに関しては基本的に英語表記とした．
11. 慣例的に用いるが，使用が好ましくないと判断した語には▲を付した．
   例）シュナイダー膜
12. 付録として，2024 年 2 月現在販売されているインプラントシステム等の商品名一覧を掲載した（本学会賛助会員の協力による）．同様に活用いただきたい．

あ

1 アーチファクト　あーちふぁくと

artifact

⇒ 277 金属アーチファクト

2 アーリーローディング　あーりーろーでぃんぐ

early loading

⇒ 754 早期荷重

3 RFA　あーるえふえー

resonance frequency analysis

⇒ 85 インプラント安定指数

4 RCT　あーるしーてぃー

randomized controlled trial

同義語　無作為化比較試験，ランダム化比較試験

治療に関するエビデンスの中で最も信頼性の高い臨床研究で，データの偏りを軽減し，客観的に治療効果を評価すること．地域差・年齢差・研究者の主観によるものなどをできるだけ小さくなるよう，被験者を徹底的にランダムに，目的対象群と比較対象群に割り付けて実施する．

5 RTV　あーるてぃーぶい

removal torque value

⇒ 632 除去トルク値

6 IRPD　あいあーるぴーでぃー

implant removable partial denture

⇒ 129 インプラントパーシャルデンチャー

7 ISO　あいえすおー

International Organization for Standardization

同義語　国際標準化機構

国際標準化機構が定めた世界共通の国際規格である．国際標準化機構は電気分野を除く工業分野の国際的な標準である国際規格を策定するための民間の非政府組織である．参加国の専門委員会（Technical Committee：TC）で審議・投票によって規格が決められる．歯科用インプラントは，TC 106 SC8 歯科（歯科用インプラント），TC 194 医用・歯科用材料の生物学的評価など，多くの TC が関与する．インプラントに使用する機材，器具，材料は，ISO 規格に準拠したものでなければならない．

表：インプラントに直接関係する主な TC と国内審議団体

TC 84	医療用注射器及び注射針 （日本医療器材工業会）
TC 76	医療用輸血装置（日本医療器材工業会）
TC 106	歯科（日本歯科材料器械研究協議会）（充てん・修復材料，補綴材料，歯科用語，歯科器具，歯科器械，オーラルケア用品，歯科用インプラント，歯科用 CAD/CAM システム）
TC 121	麻酔装置及び人工呼吸器関連装置 （（一社）日本医療機器工業会）
TC 150	外科用体内埋没材（ファインセラミックス国際標準化推進協議会） （材料，心臓外科，人工関節及び人工骨，骨固定器具及び脊椎固定器，活動型埋没医療用具，再生医療機器）
TC 170	外科用器具（（一社）日本医療機器学会） （除外：ISO/TC 106 が扱う歯科用材料及び機器，ISO/TC 150 が扱う外科用インプラント）
TC 194	医用・歯科用材料及び機器の生物学的評価 （日本医療器材工業会）
TC 210	医療用具の品質管理と関連する一般事項 （日本医療機器産業連合会）
TC 212	臨床検査及び体外診断検査システム （（特非）日本臨床検査標準協議会）
TC 215	保健医療情報 （（一財）医療情報システム開発センター）
TC 229	ナノテクノロジー（（独）産業技術総合研究所）

8 ISQ 値　あいえすきゅーち

implant stability quotient

⇒ 85 インプラント安定指数

9 IOD　あいおーでぃ

implant overdenture

⇒ 87 インプラントオーバーデンチャー

10 iPS 細胞　あいぴーえすさいぼう

induced pluripotent stem cell

同義語　人工多能性幹細胞

皮膚の線維芽細胞などの体細胞を初期化するために，遺伝子（Oct3/4，Sox2，Kif4）を導入して作製される ES 細胞のような自己複製能と多分化能をもつ全能性細胞のこと．患者細胞から作製するので他家移植による拒絶反応やヒト ES 細胞使用の倫理的問題も解決できる．他家移植でない骨の再生医療に有用である．

11 アキシャル像　あきしゃるぞう

axial image

同義語　横断像，軸位断像，水平断像

関連語　三次元 CT 画像，CT，MRI

体軸に垂直な面におけるエックス線 CT 画像である．MR 画像も同様の表現を用いる．横断像，軸位断像，水平断像と同義である．

12 悪性腫瘍　あくせいしゅよう

malignant tumor

浸潤性を有し，増殖性を示す腫瘍のこと．上皮性悪性腫瘍（癌腫）と非上皮性悪性腫瘍（肉腫，そのほか）に分けられる．治療法には外科，放射線，および化学療法と，それらの複合治療がある．摘出後には歯列を含む顎骨とその周囲軟組織の欠損を生じるため，硬・軟両組織の再建手術とインプラント治療を含む顎顔面補綴治療が行われる．顎顔面欠損患者，あるいは欠損の再建が行われた患者の機能回復にとってインプラント治療は有効な治療法である．顎顔面補綴治療にインプラントを応用する場合は，腫瘍の早期再発がないことを確認するため，インプラント治療を行うまでに，1 年以上の待機期間をおくのが一般的である．インプラント埋入部に大量の放射線照射が行われていた場合には，インプラント治療は禁忌である．

13 アクセスホール　あくせすほーる

access hole

関連語　スクリューホール

インプラントまたはアバットメントと上部構造をスクリューで連結するために設置された穴のことで，上部構造の咬合面または側面（主に舌側）に開口させる．

14 足場　あしば

scaffold

⇒669 スキャフォールド

15 アスピリン喘息　あすぴりんぜんそく

aspirin-induced asthma

アセチルサリチル酸（アスピリン）やそのほかの非ステロイド性消炎鎮痛薬の服用を原因として発症する喘息のこと．

16 アタッチメントシステム

あたっちめんとしすてむ

attachment system

関連語　バーアタッチメント，ボールアタッチメント，ロケーターアタッチメント，磁性アタッチメント

可撤性補綴装置の維持と安定を得るために用いられる装置である．インプラント治療ではインプラント支持のオーバーデンチャーに多く用いられる．一般にパトリックス（メール）とマトリックス（フィメール）の二つのパーツから構成される．主なものに，バーアタッチメント，ボールアタッチメント，ロケーターアタッチメント，磁性アタッチメントなどがある．義歯に機能圧が加わった場合に，インプラントに伝達される力が過大となるのを防止する目的で，緩圧機構が付与されているものは緩圧型アタッチメント，金属マトリックス（フィメール）を含むリテーナーとこれに精密にフィットするパトリックス（メール）とで構成されるものはプレシジョンアタッチメントと呼ばれる．

17 アタッチメントレベル　あたっちめんとれべる

attachment level

⇒1180 臨床的アタッチメントレベル

18 アダプテーションテクニック

あだぷてーしょんてくにっく

adaptation technique

インプラント窩を形成する際，強固な初期固定を得るために骨質に応じてドリリングを行うこと．脆弱な骨質に対して，小さな径のドリリングで終わるアンダープレパレーションテクニック，段階的に形成深度を浅くしていき埋入窩の幅だけでなく深度まで調整するモディファイドアダプテーションテクニックなどがある．

19 圧縮強さ　あっしゅくつよさ

compressive strength

関連語　機械的強さ

物質を圧縮したときの強さである．上・底面が平行かつ平滑面の円柱状試験片の上下方向から荷重を付与した際，破壊に要した最大荷重値を試験片断面積で除した値であり，単位は Pa で表す．

20 圧迫壊死　あっぱくえし

pressure necrosis，compression necrosis

関連語　咬開

組織が圧迫されることで血流が阻害され，圧迫された組織が壊死することをいう．手術中に粘膜をピ

ンセットなどで強く把持した場合や緊密すぎる縫合などで組織の壊死が起こる．縫合創の創縁が壊死すると，壊死組織が創縁の治癒を阻害し，創の裂開（哆開）を招く．また，小径の埋入窩に大きな径のインプラントを埋入する際にも起こりうる．

21 アテロコラーゲン　あてろこらーげん

atelocollagen

コラーゲン分子の両端にある抗原性のあるテロペプチドを酵素処理で取り除いて作られた可溶性コラーゲンのこと．精製度が非常に高く安定性に優れた特性をもつ．ウシ由来のアテロコラーゲンはインプラント材料や組織工学でのスキャフォールド材料として応用されている．

22 アドヒアランス　あどひあらんす

adherence

関連語　コンプライアンス

病気に対する治療方法について，患者がみずから積極的に治療方針決定に参加し，その決定に従って治療を受けること．患者が医療者の指示にどの程度従うかを重点に評価するコンプライアンスの考え方とは区別して用いられる．

23 アドレナリン過敏症　あどれなりんかびんしょう

adrenaline hypersensitivity

血管収縮薬（アドレナリン）に過剰な反応を示すこと．局所麻酔薬の過量投与，高血圧症や甲状腺機能亢進症などアドレナリン感受性が亢進している患者への投与などが成因となる．頻脈，血圧上昇，不安，興奮，呼吸促進などがみられる．症状は一過性であり，特に処置を必要としないことが多いが，症状が重篤な場合には鎮静薬や降圧薬の投与などを行う．

24 アナフィラキシー　あなふぃらきしー

anaphylaxis

同義語　即時型アレルギー

関連語　アナフィラキシーショック，薬物アレルギー

アレルゲンなどの侵入により，複数の臓器に全身性にアレルギー症状が惹起され，生命に危機を与えうる過敏反応である．アナフィラキシーの診断には，アレルゲンへの曝露後に急速に発現する皮膚・粘膜症状，呼吸器症状，循環器症状，血圧低下などの確認が重要である．

25 アナフィラキシーショック

あなふぃらきしーしょっく

anaphylactic shock

関連語　アナフィラキシー，薬物アレルギー

アナフィラキシーに血圧低下や意識障害などを伴うものをいう．生命の危険をもたらすことから，迅速かつ適切な対応が必要となる．治療の第一選択はアドレナリンの筋肉内注射である．アナフィラキシーの補助治療薬としてアドレナリンを含有した自己注射製剤（エピペン®）がある．

26 アパタイト　あぱたいと

apatite

同義語　燐灰石

関連語　ハイドロキシアパタイト，炭酸アパタイト

リン酸塩鉱物の一般的な名称である．化学組成は $Ca_{10}(PO_4)_6(F, Cl, OH)_2$ である．このうち，ハイドロキシアパタイトは歯や骨の主成分であり，インプラント体の表面処理材や移植材として用いられている．

27 アパタイトインプラント

あぱたいといんぷらんと

apatite implant

アパタイト単体で製作されたインプラントである．

28 アパタイトコーテッドインプラント

あぱたいとこーてっどいんぷらんと

apatite coated implant

同義語　アパタイトコーティングインプラント

表面にハイドロキシアパタイトをコーティングしたインプラントである．コーティング法には，比較的厚い膜（20 ～ 100 μm）を形成するプラズマ溶射法やフレーム溶射法と，超薄膜（3 μm 以下）を形成するスパッタリングなどの低温プラズマ（物理的蒸着）法，レーザーアブレージョン法，エレクトロスプレー法，分子プレカーサー法などがある．

29 アバットメント　あばっとめんと

abutment

関連語　カスタムアバットメント，既製アバットメント

上部構造の支持または維持の機能を果たす構造体のこと．2 回法インプラントにおいては，粘膜貫通部を含めた構造体をさすが，1 回法（ティッシュレベル）インプラントにおいては，粘膜上の構造体のみをさすことが多い．上部構造のスクリュー固定に対応したアバットメントとセメント固定に対応したアバットメントがある．スクリュー固定に対応した

アバットメントには，回転防止機構や角度の付いたものもある．また，セメント固定に対応したアバットメントには，直接上部構造をセメント固定する既製アバットメントやある程度自由な形状を付与できるカスタムアバットメントがある．

30 アバットメントアナログ

あばっとめんとあなろぐ

abutment analog《analogue》

同義語　アバットメントレプリカ

上部構造製作に使用されるアバットメントを複製した技工用の部品のこと．口腔内のインプラント体にアバットメントを装着した状態で印象用コーピングを用いて印象採得を行い，アバットメントレベルの作業用模型を製作する際に用いられる．また上部構造の製作過程においてマージン部の研磨の際に用いられることもある．

31 アバットメント - インプラント体界面

あばっとめんといんぷらんとたいかいめん

abutment-implant interface

⇒ 115 インプラント体-アバットメント界面

32 アバットメントコネクション

あばっとめんとこねくしょん

abutment connection

アバットメントをインプラント体に連結すること．骨内インプラント体とアバットメントの連結様式から，エクスターナルコネクションとインターナルコネクション，テーパーのあるテーパージョイントとテーパーのないバットジョイントがある．

33 アバットメント材料　あばっとめんとざいりょう

abutment material

アバットメントに使用される生体材料のこと．材質は歯肉上皮細胞の付着に影響すると報告されており，かつては金合金なども用いられていたが，近年では主にチタン合金，チタン，セラミックス（ジルコニアなど）などが使用されている．

34 アバットメントシャフト

あばっとめんとしゃふと

abutment shaft

アバットメントの嵌合軸部のこと．インプラント体内面に形成されたテーパー形の嵌合穴部に連結する．

35 アバットメント除去器具

あばっとめんとじょきょきぐ

abutment retrieval instrument

インプラント体に連結したアバットメントを除去する専用器具のこと．インプラント体とアバットメントの連結機構がインターナルコネクションでテーパージョイントの場合，一度アバットメントを締め付けると，テーパーの嵌合効果で除去が困難になる．そのため，アバットメントをインプラント体から外す必要が生じた場合，特殊な器具が必要になる．

36 アバットメントシリンダー

あばっとめんとしりんだー

abutment cylinder

関連語　UCLA アバットメント

アクセスホールを形成するシリンダー形状の構造体のこと．インプラント体に直接連結するものと，アバットメントを介して連結するものがある．プロビジョナルレストレーションの製作に使用する場合には，チタン製またはプラスチック製のものが使用される．インプラント体に直接連結するタイプで，焼却可能なレジンプラスチックで作られたアバットメントシリンダーを特に UCLA アバットメントと呼んでいる．

37 アバットメントスクリュー

あばっとめんとすくりゅー

abutment screw

インプラント体にアバットメントを連結するためのねじのこと．

38 アバットメント破折　あばっとめんとはせつ

abutment fracture

インプラントのメインテナンス中の偶発症の一つで，アバットメント自体の破折のこと．

39 アバットメントレベル　あばっとめんとれべる

abutment level

関連語　インプラント〔体〕レベル

インプラント体埋入後，印象採得から上部構造装着までの補綴治療をインプラント体ではなく，連結されたアバットメントを基準とすること．

40 アバットメントレベル印象

あばっとめんとれべるいんしょう

abutment level impression

⇒ 136 インプラント〔体〕レベル印象

41 アブフラクション あぶふらくしょん
abfraction
生体力学的な荷重により生じる歯の病的な実質欠損をいう．エナメル質や象牙質のたわみや化学的な疲労劣化によるもので，荷重点から離れたところでも起きることがある．

42 α-TCP あるふぁてぃーしーぴー
α-tricalcium phosphate
⇒1088 β-TCP

43 アルミナ あるみな
alumina
同義語 酸化アルミニウム，アルミナセラミックス
酸化アルミニウム（Al_2O_3）の工業名．天然には不純物を含み，コランダム，ルビー，サファイアなどとして存在している．無色もしくは白色で，酸やアルカリにほとんど溶けない．陶材，歯科用セメント，コンポジットレジンの成分として用いられているほか，インプラント材料，研磨材としても用いられる．

44 アレルギー あれるぎー
allergy
⇒24 アナフィラキシー，278 金属アレルギー，1154 薬物アレルギー

45 ARONJ あろんじぇ
antiresorptive agents-related osteonecrosis of the jaw
同義語 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死
関連語 BRONJ，MRONJ
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死．種々の作用機序の異なる骨吸収抑制薬（ビスホスホネート系薬剤や抗RANKL抗体デノスマブなど）によって生じる顎骨壊死の総称である．

46 アンカーピン あんかーぴん
anchor pin
関連語 サージカルガイドプレート
サージカルガイドプレート（埋入位置や方向を規定するテンプレート）を固定するためのピンのことで，神経，血管や周囲臓器を損傷しないように配慮した位置設定が必要である．なお，根管から骨内に達する歯内骨内インプラントをアンカーピンと呼ぶこともあったが，本療法は現在用いられていない．

47 アンキローシス あんきろーしす
ankylosis
同義語 骨性強直
歯と歯槽骨の間や関節に骨癒着が起きる病態である．

48 アングルドアバットメント あんぐるどあばっとめんと
angulated abutment
⇒214 角度付アバットメント

49 安静空隙 あんせいくうげき
interocclusal clearance
同義語 フリーウェイスペース
有歯顎者で下顎安静位と咬頭嵌合位の間に生じる2～3 mmのスペースのこと．一般的には全部床義歯を製作する場合や多数歯欠損のインプラント患者などで適正な咬頭嵌合位が維持されていない場合に，下顎安静位から新たに下顎位を決定するために用いる一つの基準値である．

50 アンテリアガイダンス あんてりあがいだんす
anterior guidance
下顎前方および側方運動時の前歯部による誘導のこと．適切なアンテリアガイダンスを付与することにより臼歯離開が起こり，臼歯にかかるストレスを軽減するとともに，顎機能に対して良好な環境をもたらす．インプラントによる咬合においてもその重要性は同じで，臼歯部のインプラントに対してはアンテリアガイダンスがインプラントに保護的に働く．

51 アンテリアループ あんてりあるーぷ
anterior loop
関連語 下歯槽神経，下歯槽神経麻痺，下歯槽動・静脈
下顎管はオトガイ孔に開孔するが，この孔より前方にループを形成することがある．このループをアンテリアループという．このループ内に下歯槽神経，下歯槽動・静脈が通るので，ループの神経を損傷すると支配領域に麻痺が起こる．

い

52 ES 細胞 いーえすさいぼう
embryonic stem（ES）cell
同義語 胚性幹細胞
関連語 iPS 細胞，再生医療
ヒトなどの初期胚から将来胎児になる内部細胞塊を取り出し，あらゆる細胞に分化できる能力をもったまま培養し続けることができるようにした細胞である．

53 EDM いーでぃーえむ
electric discharge machining
⇒1101 放電加工

54 EBM いーびーえむ
evidence-based medicine
同義語 EBD，エビデンスベイスドメディシン
関連語 ナラティブベイスドメディシン
医学的，科学的な理論とデータ（科学的根拠：エビデンス）に基づいて進める医療のこと．ランダム化臨床試験やコホート研究の結果を根拠として診察，治療を行うもので，医療の質を高めるための手法である．EBD（evidence-based dentistry）は歯科学の EBM を意味する．一方，「科学的根拠」を強調しすぎることの反省から，最近ではナラティブベイスドメディシン（NBM）の重要性も提起されている．

55 e-PTFE 膜 いーぴーてぃーえふいーまく
expanded polytetrafluoroethylene membrane
⇒984 バリアメンブレン

56 易感染性状態 いかんせんせいじょうたい
immunocompromised condition
免疫機能の低下により，さまざまな感染症にかかりやすくなっている状態をいう．糖尿病，肝硬変，腎不全，AIDS，低栄養，悪性腫瘍などの基礎疾患をもつ患者や，ステロイドホルモン，抗癌剤，免疫抑制薬の投与，放射線治療を受けた患者は，通常では感染を起こさない病原性の低い弱毒菌でも感染を起こしやすい．

57 維持装置 いじそうち
retainer，retaining appliance
補綴装置を口腔内に維持，安定させるための装置のこと．インプラントにおいてはアバットメントのような支台装置のほか，上部構造との連結に用いられるスクリュー，またインプラントオーバーデンチャーにおいては，バー，ボール，マグネット，ロケーターのような各種アタッチメントも維持装置に含まれる．

58 異種移植 いしゅいしょく
xenograft
関連語 ABM
異種動物間での組織移植のこと．組織が欠如，あるいは不足している場合，それを補うために自己の組織の代替材料として用いられる．異種骨移植としては動物の処理骨であるウシ由来 Bio-Oss®（ABM），軟組織用材料としてアテロコラーゲンなどがある．

59 異種移植体反応 いしゅいしょくたいはんのう
response of xenograft material
種属の異なる個体からある個体に臓器・組織を移植したときにみられる拒絶反応である．

60 萎縮〔症〕 いしゅく〔しょう〕
atrophy
⇒361 骨萎縮

61 異種骨 いしゅこつ
xenograft bone
⇒58 異種移植

62 異常絞扼反射 いじょうこうやくはんしゃ
gagging reflex
同義語 催吐反射，咽頭反射
類義語 嘔吐反射
舌根部，咽頭部後壁，口蓋扁桃部などへの刺激により，吐き気が誘発される反射が亢進した状態である．歯科治療中の反射出現は，物理的刺激のほか精神的因子や視覚，嗅覚などにも影響を受ける．嘔吐反射と同様にむかつきを生じるが，嘔吐反射が生理的な防御反応であるのに対し，異常絞扼反射では歯科治療に対する不安や恐怖心などの関与が大きく，歯科治療恐怖症と並存することも多い．

63 移植〔術，法〕 いしょく〔じゅつ，ほう〕
grafting，transplantation，graft
関連語 骨移植材《体，片》，細片骨移植，自家骨移植，他家骨移植
提供者（ドナー）から受給者（レシピエント）に組織や臓器を移し植えることをいう．移植される組織としては，自己の骨や歯のような硬組織，軟骨，粘膜，皮膚，結合組織，血管，腱などの自家移植組

織・臓器・材料のほかに，同種移植材，異種移植材，人工骨なども用いられる．口腔インプラントに関連した移植には，骨欠損部への骨移植，上顎洞底挙上術，およびバリアメンブレンを併用した骨再生誘導法（GBR）などがある．軟組織移植として，遊離粘膜移植，結合組織移植が行われる．骨移植にはインレーグラフト，オンレーグラフト，サンドイッチグラフト，ベニアグラフトなどがある．自家骨移植が golden standard と言われ，自家骨の供給源としては，顎骨，腸骨，腓骨，肩甲骨，脛骨，肋骨などさまざまな部位があり，細片骨，ブロック骨などの形態で使用される．

64 移植体《片》拒絶〔反応〕 いしょくたい《へん》きょぜつ〔はんのう〕

grafts rejection

移植の際に，移植された臓器や組織片が生着することを阻害され，排除される現象である．臨床的に，移植直後に起こる超急性拒絶反応，2 週までに起こる亢進性拒絶反応，2 週より 3 か月の頃に起こる急性拒絶反応，およびそれ以降に起こる慢性拒絶反応に分けられている．

65 移植体《片》対宿主反応 いしょくたい《へん》たいしゅくしゅはんのう

graft versus host reaction

免疫能の低い宿主（被移植者）が，免疫が異なる型の移植提供者（ドナー）から免疫反応をもつリンパ組織を移植された際に起こる不適合反応のこと．Simonsen 現象とも言われる．骨髄移植の際に最もよくみられる．

66 異所性骨化 いしょせいこっか

heterotopic ossification

骨形成の起こらない軟組織に認められる骨形成の総称である．古くから筋，腱，靱帯，臓器に骨形成が起こることが知られている．

67 一次固定 いちじこてい

primary splinting

⇒ 631 初期固定

68 一次手術 いちじしゅじゅつ

first stage surgery

関連語　二次手術，2 回法インプラント

2 回法インプラントでは，インプラント体埋入手術を一次手術，アバットメントあるいはヒーリングアバットメントを装着する手術を二次手術という．

69 一次治癒 いちじちゆ

primary healing

同義語　一次創傷治癒

関連語　一次閉鎖，創傷治癒，二次治癒

手術創や外傷による創傷において，創両端の粘膜あるいは上皮を縫合などにより速やかに閉鎖し，感染などの合併症が起こらない治癒のことをいう．軟組織の治癒は一次治癒を目指す．

70 一次閉鎖 いちじへいさ

primary closure

関連語　一次治癒

手術創や外傷による創傷において，切離した創縁同士が縫合などにより，感染などなく緊密に閉鎖している状態．手術の成功のためには創の一次閉鎖を達成する必要がある．

71 1 回法インプラント いっかいほういんぷらんと

one-stage implant，non-submerged implant，single-stage implant，one phase implant

同義語　ノンサブマージドインプラント，シングルステージインプラント

関連語　2 回法インプラント

粘膜を貫通する形状のインプラント体を埋入して，その一部を口腔内に露出しておくインプラントシステムのこと．オッセオインテグレーション成立までの間の荷重を防ぎ，粘膜貫通部からの感染のリスクを少なくする目的を有する 2 回法インプラントと比べて，2 回目の手術が不要になる利点がある．1 回の埋入手術で上部構造製作に移行することで，1 回法インプラントはもちろん，2 回法インプラントにおいても，インプラント体埋入手術時にヒーリングアバットメントを装着し，1 回法インプラントに準拠する場合がある．現在では，症例に応じて埋入術式を使い分けている．

72 異物巨細胞 いぶつきょさいぼう

foreign body giant cell

生体組織内に異物が介在すると，生体はこれを排除しようとする．このとき，マクロファージが異物の周囲に出現してこれを貪食する．さらに，マクロファージが融合して多核巨細胞を形成し，異物巨細胞として異物を処理する．

73 異物反応 いぶつはんのう

foreign body reaction

体外から侵入した異種の物質あるいは生体内で形成された病的産物が生体組織内に介在すると，これらに対して貪食と吸収，肉芽組織による器質化や被

包が起こる現象のこと．

74 イミディエイトプロビジョナルインプラント

いみでぃえいとぷろびじょなるいんぷらんと

immediate provisional implant

⇒ 487 暫間インプラント

75 イミディエイトローディング

いみでぃえいとろーでぃんぐ

immediate loading

⇒ 768 即時荷重

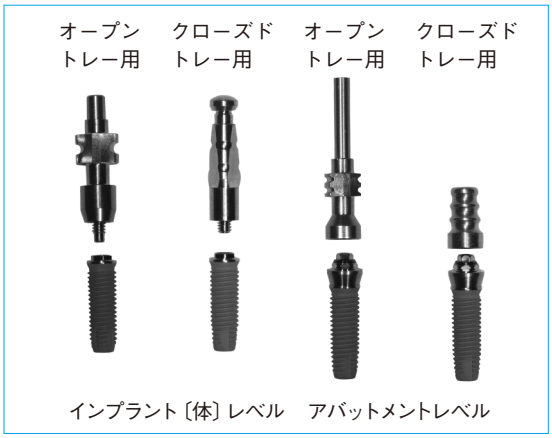
76 印象用コーピング　いんしょうようこーぴんぐ

impression coping，impression transfer coping

同義語　印象用トランスファーコーピング，ピックアップ印象用コーピング，トランスファーコーピング，トランスファーキャップ

関連語　印象用トレー，インプラント〔体〕レベル印象，アバットメントレベル

インプラント上部構造を製作する際に，インプラントの顎堤内における位置を模型上に再現するための印象採得に用いる器具である．印象法の違いに対応してクローズドトレー印象用とオープントレー印象用がある．また，印象採得するレベルの違いによりインプラント〔体〕レベルの印象用コーピングとアバットメントレベルの印象用コーピングがある．



図：印象用コーピング

77 印象用トレー　いんしょうようとれー

impression tray

印象採得時に印象材を保持するための器具のこと．インプラントの印象採得時に印象用コーピングを印象面に取り込むか否かにより２種類に大別される．印象材硬化後に印象用コーピングを印象体の中に取り込む場合，口腔内で印象用コーピングのねじを緩めるための穴をトレーに開けておく必要があることからオープントレーと呼ばれている．一方，印象材硬化後に印象用コーピングを口腔内に残して印象体を外すときに使用するトレーはクローズドトレーと呼ばれている．

78 インターナルコネクション

いんたーなるこねくしょん

internal connection

同義語　インターナルアバットメント連結，インターナルジョイント，内側性の接続，内部連結

関連語　エクスターナルコネクション

アバットメントとインプラント体の連結様式の名称で，アバットメントがインプラント体の内側に嵌合するタイプのものをいう．インプラント体内部には，回転防止機構が付与されているものがある．アバットメントとインプラント体の嵌合接触面積が比較的大きく，側方圧による応力の集中も少なくなるため，アバットメントスクリューが緩みにくいのが特徴である．インターナル・バットジョイント，インターナル・テーパージョイントなどの連結様式がある．

79 インターナルヘキサゴン

いんたーなるへきさごん

internal hexagon

同義語　内部六角

インプラント体とアバットメントが嵌合するために，インプラント体の内側に刻まれた六角形の回転防止機構のこと．六角形の断面形態をもつアバットメントが，インプラントの内側に強固に連結されるように設計された回転防止機構で，内側性の連結様式をとるシステムは，アバットメントにかかる応力がアバットメントスクリューに集中しにくいため，スクリューの緩みなどが少ない．

80 インターロイキン　いんたーろいきん

interleukin

⇒ 465 サイトカイン

81 インテグレーション　いんてぐれーしょん

integration

⇒ 175 オッセオインテグレーション

82 インフォームド・コンセント

いんふぉーむどこんせんと

informed consent

同義語　説明と同意，IC

同意能力のある患者が，自分に対してなされる診療行為について，医師から適切な情報を与えられ，それについて理解し，納得したうえで，自発的に医師に与える同意をいう．インプラント治療時のインフォームド・コンセントを得るためには，インプラントの治療法，そのほかの歯の欠損補綴の選択肢とそれぞれの利点・欠点，全体の治療計画，手術の詳細とリスク，治療にかかる費用，治療後のメインテナンス，回復後の状態などについてわかりやすく説明する必要がある．

83 インプラント　いんぷらんと

implant

体内に埋め込まれる人工物の総称であり，またこれを用いた治療行為のことをインプラントということもある．狭義にはインプラント体のことをいう．

84 インプラントアナログ　いんぷらんとあなろぐ

implant analog《analogue》

同義語　インプラントレプリカ

インプラント体を模倣したパーツである．金属製のものが多く，印象用コーピングに接続し，作業用模型を製作する際に用いる．主に技工操作の過程で用いられるため，インプラント体のプラットフォーム周囲のみを忠実に再現した技工用インプラントアナログが使用される．

85 インプラント安定指数

いんぷらんとあんていしすう

implant stability quotient

同義語　ISQ 値，インプラント安定度指数

インプラントの安定度の客観的評価法として，オステル（Osstell®）という装置を用い，インプラントの共鳴振動周波数分析（resonance frequency analysis：RFA）を行う方法がある．本法は，インプラント体やアバットメントに取り付けた振動変換器（transducer）の発する共鳴振動周波数を分析し，インプラント安定指数（ISQ 値）を非接触的に測定するものである．ISQ 値は，1 ～ 100 の数値で表示され，数値が高いほどインプラントの固定が確実で，安定した状態にあると考えられている．しかし，必ずしもオッセオインテグレーション（骨結合）の状態を反映するものではない．

86 インプラント維持療法

いんぷらんといじりょうほう

implant maintenance therapy

関連語　インプラント支持療法，インプラントのメインテナンス

インプラント治療後，長期に安定させるための管理をインプラントのメインテナンスという．インプラント周囲組織が安定している場合を維持療法という．

87 インプラントオーバーデンチャー

いんぷらんとおーばーでんちゃー

implant overdenture

同義語　IOD，ISOD，IROD

インプラントに各種のアタッチメントを装着して維持や支持を求め，そのインプラントを被覆する形態の可撤性義歯のこと．通常は無歯顎に対して 2 ～ 4 本のインプラントを支台としインプラントコンプリートオーバーデンチャーとして用いられるが，部分欠損に対して少数本のインプラントを支台としたインプラントパーシャルオーバーデンチャーとすることもある．インプラントに支持を強く求めるときは implant supported OD（ISOD），維持を強く求めるときには implant retained OD（IROD）として表現されることもある．

88 インプラント窩　いんぷらんとか

implant socket

同義語　埋入窩

ツーピースタイプのインプラントにおいてはインプラント体を，ワンピースタイプにおいてはインプラントの骨内に埋設する部分を埋入するために形成する骨窩洞のこと．

89 インプラントカード　いんぷらんとかーど

implant card

同義語　インプラント手帳

インプラント治療の概要（埋入部位，埋入手術日，二次手術日，関連手術日，上部構造装着日，インプラント体のメーカーや種類とサイズ，上部構造の種類や材質と固定様式など）を時系列で記載したカードである．インプラント治療の途中または上部構造装着後に患者に渡し，定期的な検診日と診察所見を追加記入することもある．

90 インプラント界面　いんぷらんとかいめん

implant interface

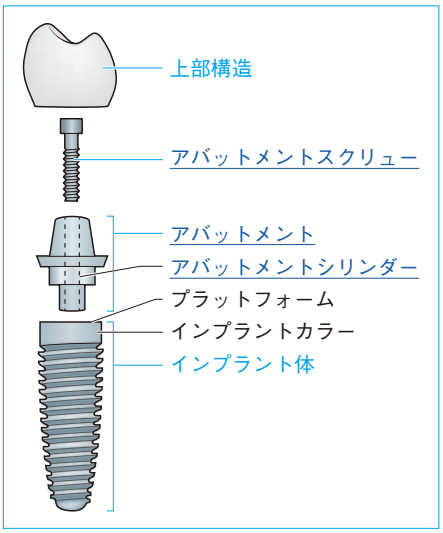
関連語　インプラント表面

インプラントと生体組織の境界面のこと．口腔イ

ンプラントは，骨組織，上皮下結合組織，上皮組織など，さまざまな組織と界面を形成している．

91 インプラント学 いんぷらんとがく
implantology
⇒328 口腔インプラント学

92 インプラントカラー いんぷらんとからー
implant collar
インプラント体軸面の上部 2 mm 程度にあたる部分である．インプラント体のプラットフォームに接する軸面に相当する部位でもあるが，近年はインプラント体の形態もさまざまで明確なカラーの位置を定義するのは難しくなってきている．



図：インプラントの構造

93 インプラント義歯 いんぷらんとぎし
implant denture
⇒132 インプラント補綴

94 インプラント-骨界面 いんぷらんとこつかいめん
implant-bone interface
⇒113 インプラント-組織界面

95 インプラント残存率 いんぷらんとざんぞんりつ
implant survival rate
関連語 Kaplan-Meier 分析，インプラント成功率
生体内に適用されたインプラント体が残存している割合のこと．インプラント体の残存を調査する開始時期から，一定の期間内に撤去されずに残存しているインプラント体の割合を示す．一般に，インプラント体の残存分析に用いられる統計的手法として Kaplan-Meier 分析が用いられる．

96 インプラント〔支持〕ブリッジ
いんぷらんと〔しじ〕ぶりっじ
implant-supported bridge
⇒1103 ボーンアンカードブリッジ

97 インプラント支持補綴装置
いんぷらんとしじほてつそうち
implant-supported prosthesis
⇒109 インプラント上部構造

98 インプラント支持療法
いんぷらんとししりょうほう
implant supportive therapy
関連語 累積的防御療法，インプラント維持療法，インプラントのメインテナンス
インプラントのメインテナンスにおいて，インプラント周囲炎が存在する場合を支持療法（SPT）と分類する．科学的根拠に基づく支持療法は確立されていないが，臨床的観点から累積的防御療法（CIST）が評価・対応基準として用いられることが多い．

99 インプラントシステム いんぷらんとしすてむ
implant system
インプラント治療において，共通の目的で使用する装置や人工物のグループのこと．適用する際に使用するすべてのハードウエアと関連器具，装置を含む．

100 インプラント支台 いんぷらんとしだい
implant abutment
関連語 アバットメント
インプラントを構成する要素のうち，インプラント体に固定して，上部構造を直接支持する部分であり，アバットメントのことをさす．

101 インプラント周囲炎 いんぷらんとしゅういえん
peri-implantitis
関連語 インプラント周囲粘膜炎
広義には感染により引き起こされるインプラント周囲組織の炎症状態の総称である．狭義では，その炎症性病変のうち，周囲支持骨の吸収が生じ歯冠側よりオッセオインテグレーションが徐々に失われ進行した状態をいう．周囲軟組織の可逆性の炎症のみで骨吸収を伴わない初期の状態はインプラント周囲粘膜炎と呼ばれる．

102 インプラント周囲溝 いんぷらんとしゅういこう

peri-implant sulcus

同義語 ペリインプラントサルカス

類義語 インプラント周囲ポケット

インプラントと周囲の歯肉粘膜との間の隙間をいう．天然歯における歯肉溝に類似しているが，天然歯とは異なり，インプラントの埋入部位や埋入方法により，周囲粘膜組織が健常時でもその深さは一定していない．また，天然歯とは異なり，溝の底部で結合組織付着のバリアがないため，細菌感染やそれによる組織の炎症が直接下部の骨組織に波及しやすい．病的に深化した状態では，インプラント周囲ポケットという表現も用いられる．

103 インプラント周囲溝滲出液

いんぷらんとしゅういこうしんしゅつえき

peri-implant sulcus fluid

関連語 歯肉溝滲出液

インプラント周囲溝内に周囲の粘膜組織から滲出してくる組織液である．血清成分や好中球などの炎症性細胞，炎症性サイトカインや酵素などの代謝産物，上皮や結合組織の成分とその分解産物，溝内の細菌や細菌成分およびその代謝産物が含まれる．インプラント周囲粘膜の炎症の増大により滲出液量は増加し，炎症に伴う各種のサイトカインや酵素などの成分がより多く検出されるようになる．インプラント周囲溝内の自浄・抗菌作用の役割を有する．

104 インプラント周囲組織

いんぷらんとしゅういそしき

peri-implant tissue

天然歯とは異なり，インプラントは骨組織に直接埋入されオッセオインテグレーションしているので，歯根膜組織はなく，骨組織，歯肉上皮組織，歯肉結合組織のみから構成される．

105 インプラント周囲組織検査

いんぷらんとしゅういそしきけんさ

peri-implant tissue examination

関連語 改良歯肉炎指数，改良プラーク指数

インプラント周囲組織に関連するさまざまな併発症を早期の段階で発見するために行う検査で，①プラークコントロールの状態（mPI：modified plaque index，改良プラーク指数），②インプラント周囲粘膜の炎症状態（mGI：modified gingival index，改良歯肉炎指数），③インプラント周囲溝滲出液の状態，④probing pocket depth の状態（bleeding on probing 含む），⑤インプラントの動揺度，⑥エックス線検査，⑦咬合状態，⑧歯周病関連細菌検査，などがある．

106 インプラント周囲粘膜

いんぷらんとしゅういねんまく

peri-implant mucosa

インプラント周囲の歯肉粘膜組織をいう．天然歯の場合には接合上皮による上皮性の弱い付着とその下部に歯肉線維による結合織性の強い付着器官が存在するが，インプラント体においては，接合上皮とその下部に結合線維が平行して走行しており，天然歯のような強い付着は存在しない．

107 インプラント周囲粘膜炎

いんぷらんとしゅういねんまくえん

peri-implant mucositis

関連語 インプラント周囲炎

インプラント周囲の炎症および組織破壊の進行が初期状態のもので，周囲粘膜組織の可逆性の炎症のみで骨吸収を伴わない状態をいう．

108 インプラント床 いんぷらんとしょう

implant bed

同義語 インプラントサイト

インプラントを埋入する部位（組織）の総称である．従来は埋入部位の骨量，骨質が重要であるとの考え方に基づいて，主に骨をさすことが多かったが，現在ではこれに該当部位の軟組織を含めて考える．

109 インプラント上部構造

いんぷらんとじょうぶこうぞう

implant superstructure

同義語 インプラント支持補綴装置

関連語 顎顔面補綴

顎骨内に埋入されたインプラント体により支持される補綴装置をいう．スクリュー固定式上部構造あるいはセメント固定式上部構造としては，インプラント支持クラウン，ボーンアンカードブリッジなどがあり，可撤性上部構造としては，インプラントオーバーデンチャーや顎顔面補綴装置がある．

110 インプラントショルダー

いんぷらんとしょるだー

implant shoulder

関連語 インプラントネック

インプラント体の最上部であるプラットフォームの外側縁のこと．埋入深度や隣在歯との距離測定の指標として使用される．

111 インプラントスレッド　いんぷらんとすれっど

implant thread

インプラント体表面の突出形状で，スクリュー形態にデザインされたインプラント体の外側表面にらせん状にねじ切りされた形状のこと．ねじ山の高さ，厚さ，ピッチ，面角，ねじれ角により，インプラント体ごとに形状はさまざまに異なる．基本的な形状としては，V ねじ，のこ歯ねじ，角ねじなどがある．らせんの切り方により，一条ねじ，二条ねじ，三条ねじがある．

112 インプラント成功率　いんぷらんとせいこうりつ

implant success rate

関連語　インプラントの成功基準，インプラント残存率，Kaplan-Meier 分析

研究や臨床試験において，計画に規定された成功基準に従ってインプラントが成功した割合のこと．一般に，設定されたベースラインから特定の期間まで，事前に定義された基準に基づく成功インプラントの割合を推定値として表す累積成功率が用いられる．残存率とは異なり，インプラント本数ベースの成功率と症例ベースの成功率があり，近年では症例ベースの成功率が重要視されている．

113 インプラント-組織界面

いんぷらんとそしきかいめん

implant-tissue interface

生体組織とインプラント体，アバットメント，上部構造の接触面のこと．生活骨と荷重を担うチタンインプラント表面の間（インプラント-骨界面）にはオッセオインテグレーション，すなわち秩序だった構造的機能的な直接接触が獲得される．インプラント-軟組織界面の周囲軟組織内では，結合組織線維はインプラント面に対して平行に走行しており，天然歯における結合織性付着と比較して弱いと考えられる．また，インプラント周囲歯肉溝の基底部には，単層または数層の非角化細胞で構成される接合上皮が存在する．

114 インプラント体　いんぷらんとたい

implant body

インプラント治療において骨の中に埋入する人工歯根のこと．インプラントシステム内のほかのコンポーネントがスクリュー固定などで支持される．

115 インプラント体-アバットメント界面

いんぷらんとたいあばっとめんとかいめん

abutment-implant interface

同義語　アバットメント-インプラント体界面

アバットメントとインプラント体上方部辺縁が連結する部分のこと．界面には，微視的な間隙（マイクロギャップ）が存在するとされる．

116 インプラント体のスタック

いんぷらんとたいのすたっく

stucked implant

インプラント埋入手術においてインプラント体が埋入窩の骨組織と緊密に嵌合して，インプラント体をそれ以上深く埋入することができなくなった状態のこと．埋入窩の骨組織が緻密な場合や，形成した埋入窩が浅い場合，埋入窩の直径が細い場合，あるいは埋入トルク値が低い場合に生じやすい．

117 インプラント体の破折

いんぷらんとたいのはせつ

implant fracture

インプラント体の物理的破壊のこと．インプラント体に過度の咬合力が加わることや，埋入手術時に過度の力が加わることにより，インプラント体に亀裂や破断が生じることがある．そのため，咬合力負担の大きい臼歯部の症例やインプラント体の直径が細い場合に破折のリスクが高まる．物理的に破折したインプラント体の修理は不可能であり，除去することが第一選択となる．

118 インプラント直径　いんぷらんとちょっけい

implant diameter

インプラント体の中心を通しての水平軸の長さのこと．インプラント体にはさまざまな直径と長さがあり，サイズは各インプラントメーカーで異なる．直径を表す記号は ϕ である．一般にねじ山部で計測される．

119 インプラント-軟組織界面

いんぷらんとなんそしきかいめん

soft tissue-implant interface

⇒ 113 インプラント-組織界面

120 インプラントネック　いんぷらんとねっく

implant neck

同義語　インプラント頸部

関連語　インプラントショルダー

一般にインプラント体のうち骨内埋入部上方の粘膜貫通部を指し，多くは機械研磨されているカラー

部分である．プラットフォームシフティングを採用したシステムでは，インプラント体はすべて骨内に埋入され，プラットフォームより短径のアバットメントが装着されるようになっており，その歯肉貫通部がネックに相当する．

121 インプラントのオーバーロード

いんぷらんとのおーばーろーど

overloading

関連語　咬合性外傷

インプラントに対し，許容範囲を超えた過大な咬合力が加わること．アバットメントスクリューの緩みや破折，前装材料の破折やフレームワークの破折などを含めた上部構造の破損を起こす可能性や，インプラント体の破折やインプラント周囲骨の吸収，オッセオインテグレーションの喪失を起こす可能性がある．現在，オーバーロード単独でインプラント周囲骨の減少が生じるかどうかは明らかにはなっていない．

122 インプラントの後期喪失

いんぷらんとのこうきそうしつ

late implant loss，late implant failure

関連語　インプラントのオーバーロード

オッセオインテグレーションを獲得し，最終上部構造が装着され機能を開始したインプラントが，何らかの原因で機能を失い，除去に至ることをいう．このタイプの喪失は，インプラント周囲炎あるいはオーバーロード（負担過重）などが主な原因とされている．

123 インプラントの成功基準

いんぷらんとのせいこうきじゅん

implant success criteria，criteria for success of implant

インプラント治療計画で治療が成功したと評価する際に用いる条件である．たとえばトロント会議（1998 年）の基準があり．以下の要件をすべて満たしていることが必要である．①インプラントは患者と歯科医師の両者が満足する機能的，審美的な上部構造をよく支持している．②インプラントに起因する疼痛，不快感，知覚の変化，感染の徴候などがない．③臨床的に検査するとき，個々の連結されていないインプラントは動揺しない．④機能開始 1 年以降の経年的な 1 年ごとの垂直的骨吸収は平均 0.2 mm 以下である．

124 インプラントの早期喪失

いんぷらんとのそうきそうしつ

early implant loss，early implant failure

最終上部構造装着の前に，何らかの原因（感染，オーバーヒート，初期固定不足など）でインプラント体が除去に至ることをいう．このタイプの喪失は，オッセオインテグレーション獲得不全が主な原因とされている．

125 インプラントの喪失　いんぷらんとのそうしつ

implant loss，implant failure

インプラント体が体外に取り出された状態のことをいう．主に，インプラント体の破折，オッセオインテグレーションを獲得できなかった場合，オッセオインテグレーションを喪失した場合などに生じる．

126 インプラントの動揺〔度〕

いんぷらんとのどうよう〔ど〕

implant mobility

関連語　インプラント安定指数

インプラントに力が加わったときの近遠心的，頬舌的，垂直的あるいはこれらの複合的な動きのこと．これを測定する方法として，肉眼的な観察，ペリオテストを用いた測定，インプラント安定指数（ISQ 値）の測定などが用いられる．

127 インプラントの配置　いんぷらんとのはいち

implant configuration

最終上部構造に対するインプラント体の三次元的位置関係のこと．インプラント体の本数と埋入位置も包含する．インプラント体の配置の決定に際しては個々の患者の咬合状態や咬合力，欠損状態，埋入部位の歯槽骨の骨量や骨質などを総合的に判断し，構造力学的に安定しうる必要十分な埋入本数と埋入位置を考慮する必要がある．

128 インプラントのメインテナンス

いんぷらんとのめいんてなんす

implant maintenance

関連語　インプラント維持療法，インプラント支持療法

インプラント治療終了後にインプラントを含めた口腔内を長期にわたり安定させるための検査や治療法（療法）のこと．定期検診，維持療法（maintenance therapy），支持療法（supportive therapy）を含めた全般的な意味合いで用いる．維持療法はインプラント周囲組織が安定しているときに行う治療法で，支持療法はインプラント周囲粘膜炎やインプラント

周囲炎が存在するときの治療法である．

129 インプラントパーシャルデンチャー

いんぷらんとぱーしゃるでんちゃー

implant removable partial denture

同義語　IRPD，ISRPD，IRRPD，IARPD

インプラント，残存歯，顎堤粘膜の三者により支持される可撤性義歯のこと．インプラントにサベイドクラウンを装着してパーシャルデンチャーの支台とする場合もあるが，少数本のインプラントにアタッチメントを装着し，パーシャルオーバーデンチャーとする場合が多い．インプラントに支持を強く求めるときはimplant supported RPD（ISRPD），維持を強く求めるときにはimplant retained RPD（IRRPD），維持，支持，把持を求めるときにはimplant assisted RPD（IARPD）として表現されることもある．

130 インプラント表面　いんぷらんとひょうめん

implant surface

関連語　インプラント界面

生体組織などの液体や固体ではなく，気体（主に大気）とインプラントとの境界面のこと．すなわち，何も介在させずに外側から観察できるインプラント界面をインプラント表面と呼ぶ．

131 インプラント表面構造

いんぷらんとひょうめんこうぞう

implant surface structure

類義語　インプラント表面形状，インプラント表面性状

インプラント表面の性質をいい，表面形状と表面性状（物理化学的性質）に大別される．インプラント表面の生体反応を理解するためには，この二つの性質を知る必要がある．表面形状（表面の凹凸）は，細胞の伸展・配列や細胞付着に関係する細胞動態，および細胞の発現形態に重要な役割を果たす．表面性状は表面の物理化学的性質を，具体的には表面のぬれ性（表面エネルギー，接触角），荷電状態，比誘電率，あるいは摩擦係数であり，生体材料へのタンパク吸着，細菌あるいは細胞付着に影響を与える．

132 インプラント補綴　いんぷらんとほてつ

implant prosthesis

同義語　インプラント義歯

欠損補綴において，何らかの形でインプラントに支持された補綴方法のこと．また，インプラントに支持された補綴装置そのものをさす場合もある．

133 インプラントリムーバー

いんぷらんとりむーばー

implant remover

同義語　インプラント除去器

関連語　トレフィンバー

インプラント体を骨内から除去する際に用いる専用の器具のこと．インプラント体の除去が必要となった際，インプラント体の内ねじにかみ込むようなインプラント除去専用の器具を用いて逆トルクをかけてスクリュータイプのインプラント体を除去するものが多い．

134 インプラントレプリカ　いんぷらんとれぷりか

implant replica

⇒ 84 インプラントアナログ

135 インプラント〔体〕レベル

いんぷらんと〔たい〕れべる

implant level

関連語　アバットメントレベル，インプラント〔体〕レベル印象，プラットフォーム

インプラント埋入後，印象採得から上部構造装着までの補綴治療をプラットフォームを基準とすること．

136 インプラント〔体〕レベル印象

いんぷらんと〔たい〕れべるいんしょう

implant level impression

関連語　インプラント〔体〕レベル，アバットメントレベル

インプラント補綴に際して，個々のインプラント体の位置関係を記録する方法．アバットメント装着下に行うアバットメントレベル印象と対比して用いられる．上部構造の製作にあたり補綴方法選択の自由度に優れており，ラボサイドにおいて咬合器上でのアバットメント選択が可能である．しかし，印象用のパーツをインプラント体に装着して行う必要があるため印象操作は煩雑になる．また，2回法インプラントにおいては印象用パーツとの連結部が歯肉縁下になるため口腔内での連結状態の検査が困難であり，印象前にデンタルエックス線撮影などでの連結状態の確認を行うこともある．

う

137 Wolff の法則　うぉるふのほうそく

Wolff's law

19世紀にドイツの解剖学者Wolffが提唱したもの

で，骨は荷重ストレスが加わると，これに抵抗するのに最も適した構造に改築，改変されるという法則である．

138 後向きコホート研究
うしろむきこほーとけんきゅう
retrospective study
同義語　後向き研究
関連語　前向きコホート研究
疫学研究における研究デザインの一方法で，最初に症例を選び，症例と性別や年齢などの揃った対照を選んで，両者の違いなどを過去に遡って（後向きに）調査する方法のこと．

え

139 エアアブレージョン　えああぶれーじょん
air abrasion
同義語　エア・アブレージョン，エアポリッシング
関連語　グリシンパウダー
歯の沈着物の除去に用いる粉霧清掃機器のこと．高圧のエアと水で研磨剤の粉末を粉霧することにより，その摩擦力で色素を含む沈着物を物理的に除去する．粉末には，炭酸カルシウム，グリシン，エリスリトールパウダーなどが使用される．インプラント周囲炎にも応用され，汚染されたインプラント表面の除染にβ-TCP パウダーが用いられることがある．

140 AED　えーいーでぃー
automated external defibrillator
同義語　自動体外式除細動器
心室が痙攣し血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して，電気ショックを与え，正常なリズムに戻すための医療機器である．機械自体に心電図解析装置が装備され，自動的に除細動が必要か否かを判断する．

141 ANS　えーえぬえす
anterior nasal spine
⇒ 753 前鼻棘

142 AFG　えーえふじー
autologous fibrin glue
⇒ 303 血液由来成長因子

143 ABM　えーびーえむ
anorganic bovine mineral
ウシ骨を長時間の高温処理と強アルカリ液で処理した無機成分である．歯周病などによる骨欠損部に移植される．原料のウシは過去に BSE（牛海綿状脳症）の発症歴のない国で，病原体の異常なタンパク粒子であるプリオンの感染リスクがない採取部位を使用しており，さらに高温加熱などの処理によって安全性が高い．

144 エクスターナルコネクション
えくすたーなるこねくしょん
external connection
同義語　エクスターナルジョイント，外部連結
関連語　インターナルコネクション
アバットメントとインプラントの接合様式の名称で，アバットメントがインプラント体の外側に嵌合するタイプのものをいう．上部構造の製作が容易で着脱の自由度が高い反面，アバットメントスクリューが緩みやすく，回転や側方力に対しての抵抗性が弱い．また，微少漏洩からの感染も懸念される．

145 エクスターナルヘキサゴン
えくすたーなるへきさごん
external hex
同義語　外部六角
インプラント体とアバットメントが嵌合するために，インプラント体の外側に刻まれた六角形の回転防止機構である．

146 STL データ　えすてぃーえるでーた
standard triangulated language data
関連語　光学印象
3D 形状のデータをコンピュータに保存するためのファイルフォーマットの一つである．曲面を微細な三角形の集合体として表現するシステムであり，データ構造の単純さと互換性の高さから，歯科における CAD/CAM でも一般的なファイルフォーマットとなっている．自由曲面を扱うことができないという欠点があるが，歯の有機的な形態を表現するには最適とされる．歯科用 CAD/CAM のオープン STL とは，異なるメーカーの装置間でこの STL データをやり取りすることである．

147 エックス線検査　えっくすせんけんさ
X-ray examination《check》
医療においては，電磁波であり，光子であるエックス線を利用した画像検査一般をさす．

148 エックス線 CT えっくすせんしーてぃー

X-ray computed tomography

関連語 歯科用コーンビーム CT

被験者に対して薄いエックス線束により多方向から走査を行い，透過したエックス線の強さを検出器で測定しデータをコンピュータで演算処理し，連続した横断像を作成する．寝台を一定速度で移動させながらデータをらせん状に収集（ヘリカルスキャンまたはスパイラルスキャン）し，従来一列であった検出器が体軸方向に複数に配列されたマルチスライス CT が一般的である．歯科用コーンビーム CT（CBCT）をこの範疇に包含して表現することがある．

149 エナメルマトリックスタンパク〔質〕
えなめるまとりっくすたんぱく〔しつ〕

enamel matrix protein

同義語 エナメル基質タンパク〔質〕

類義語 エナメルマトリックスデリバティブ，EMD

歯の発生過程においてヘルトウィッヒ上皮鞘の内エナメル上皮細胞から分泌されるタンパク質のこと．エナメル質の石灰化だけでなくセメント質の形成にも関与している．無細胞セメント質の形成を誘導し，歯根膜および歯槽骨を含む歯周組織の再生を向上させる目的でも使用される．

150 NSAIDs えぬせいず

non-steroidal anti-inflammatory drugs

⇒1017 非ステロイド性消炎鎮痛薬

151 NBM えぬびーえむ

narrative based medicine

⇒920 ナラティブベイスドメディシン

152 エピテーゼ えぴてーぜ

epithesis，facial prosthesis

⇒207 顎顔面補綴

153 エビデンスベイスドメディシン
えびでんすべいすどめでぃしん

evidence-based medicine

⇒54 EBM

154 FEA えふぃーえー

finite element analysis

⇒1158 有限要素法《解析》

155 FGF えふじーえふ

fibroblast growth factor

⇒743 線維芽細胞増殖《成長》因子

156 FGG えふじーじー

free gingival graft

⇒1160 遊離角化粘膜移植術

157 FDA えふでぃーえー

Food and Drug Administration

同義語 米国食品医薬品局

米国の政府機関である食品医薬品局の略称である．食品や医薬品，医療機器（生体材料含む），動物薬，玩具など，消費者が通常の生活を行うにあたって接する機会のある製品について，その許可や違反品の取締りなどの行政を専門的に行う．

158 FDBA えふでぃーびーえー

freeze-dried bone allograft(s)

⇒809 脱灰骨

159 エマージェンスプロファイル
えまーじぇんすぷろふぁいる

emergence profile

歯冠補綴装置もしくは天然歯の歯肉溝内から遊離歯肉頂または歯頸部 1/3 までのエリアの立ち上がり角度・カントゥアなどの形態のこと．インプラントに対しても天然歯と同じ概念で用いられる．

160 MRI えむあーるあい

magnetic resonance imaging

同義語 磁気共鳴撮像法，磁気共鳴画像

核磁気共鳴 nuclear magnetic resonance（NMR）現象を利用し，人体を構成する元素の原子核から磁気的な信号を得て断層画像を生成する撮像法である．放射線被曝がなく，軟部組織のコントラスト描出に優れ，組織分解能が高い．

161 MPR えむぴーあーる

multiplanar reconstruction

⇒807 多断面再構成画像

162 Er:YAG レーザー えるびうむやぐれーざー

Erbium YAG Laser

関連語 炭酸ガスレーザー，Nd:YAG レーザー，レーザー

2.94 μm の波長を有する固体レーザーで，イットリウム（Y）・アルミニウム（A）・ガーネット（G）からなるザクロ石に属する結晶を母材に，エルビウ

ム（Er）をイオン状態にして一様に混在したものを発振媒体としている．水への吸収性が非常に高く水分を含む組織によく吸収され，組織変性が少ない．軟組織のみならず歯質や骨といった硬組織を蒸散（ablation）することができる．歯石を蒸散できることもありインプラント周囲炎への応用が期待されているが，照射条件によってはチタンを母材とするインプラント体表面を変化させるので注意が必要である．

163 エレクトロサージェリー
えれくとろさーじぇりー
electrosurgery
関連語　電気メス，レーザー，超音波骨切削機器
電気的エネルギーを応用した機器を用いて手術する方法をいう．電気メス，レーザーおよび超音波骨切削機器などが用いられる．電気メスは電気を熱エネルギーに変換し，切開，組織凝固を図る．レーザーは分子，気体，物体などを電流や光で刺激して電子を励起状態にして，光線を誘導放出し，この光エネルギーで組織を切開，焼灼，あるいは蒸散させる．超音波骨切削機器は，ピエゾ素子に電気を通して起こした三次元超音波振動により硬組織を切削するもので，軟組織を損傷せず，骨のみを切削するので，少ない出血で移植骨採取，骨切削ができる．

164 炎症　えんしょう
inflammation
生体に加わる有害刺激に対する防御反応である．その原因には生物学的，物理学的および化学的刺激がある．炎症の臨床的５大徴候には，発赤，熱感（発熱），腫脹，疼痛および機能障害がある．炎症では退行性変化（変性・壊死），循環障害と滲出および進行性変化（増殖性変化）が生じる．炎症は部位，時期および組織変化による分類がある．時期からは，急性と慢性に分けられる．組織変化からは，非特異性炎（変質性炎，滲出性炎および増殖性炎）と特異性・肉芽腫性炎に大別できる．歯科で重要なものとして，好中球主体の滲出性炎である化膿性炎があり，膿瘍，蜂窩織炎および蓄膿症の３型に分けられる．

165 炎症性吸収　えんしょうせいきゅうしゅう
inflammatory resorption
⇒ 531 歯根吸収

お

166 横断〔的〕研究　おうだん〔てき〕けんきゅう
cross-sectional study
関連語　縦断〔的〕研究
統計学的調査・解析を伴う科学的な量的研究法の一つであり，複数の調査対象者を同時期に調査する観察研究である．これに対し単一の調査対象者を縦の時間軸に沿って継続的に調査する方法を縦断的研究という．

167 嘔吐反射　おうとはんしゃ
gagging reflex
⇒ 62 異常絞扼反射

168 オーバージェット　おーばーじぇっと
overjet
同義語　水平被蓋
咬頭嵌合位における上顎前歯切縁ならびに上顎臼歯頬側咬頭の下顎歯に対する水平的な被蓋関係のこと．一般的には，上顎中切歯切縁と下顎中切歯唇面までの水平的距離をいい，上顎が前方に位置する場合をプラス（＋），下顎が前方に位置する場合をマイナス（－）とする．

169 オーバーバイト　おーばーばいと
overbite
同義語　垂直被蓋
咬頭嵌合位における上顎前歯切縁ならびに上顎臼歯頬側咬頭の下顎歯に対する垂直的な被蓋関係のこと．一般的には，上顎中切歯切縁と下顎中切歯切縁までの垂直的距離をいい，上顎が下方に位置する場合をプラス（＋），下顎が下方に位置する場合をマイナス（－）とする．

170 オープントレー　おーぷんとれー
open tray
⇒ 77 印象用トレー

171 オーラルリハビリテーション
おーらるりはびりてーしょん
oral rehabilitation
同義語　咬合再構成
固定性の補綴装置を用いて咬合を再構築し，顎口腔系の形態，機能および審美性を回復すること．

172 オクルーザルアプライアンス
おくるーざるあぷらいあんす

occlusal appliance

同義語　バイトアプライアンス，オクルーザルスプリント，床副子

関連語　ナイトガード

顎機能障害や咬合の改善と診断に暫間的に使用される口腔内装置であり，歯列の咬合面を被覆する可撤性レジン製プレートの総称である．スタビライゼーションアプライアンス，リラクセーションアプライアンス，リポジショニングアプライアンス，ピボットアプライアンスなどがある．インプラント治療においては，ナイトガードとして使用されることがある．

173 オステオトーム　おすておとーむ

osteotome

関連語　オステオトームテクニック，リッジエクスパンション法，スプリットクレスト法

槌打して骨を押し広げるときや，骨切り部の拡大や切断に用いる器具のこと．インプラントではオステオトームテクニック，リッジエクスパンション法，スプリットクレストなどに使用される．

174 オステオトームテクニック
おすておとーむてくにっく

osteotome technique

関連語　上顎洞底挙上術

Summers 法とも言われ，オステオトームを用いた歯槽頂アプローチによる上顎洞底挙上術（ソケットリフト）のこと．最初はオステオトームを用いたため付与された名称であるが，現在では器械器具のいかんにかかわらずソケットリフト全般を示すこともある．また骨質の弱い上顎骨へのインプラント埋入の際に行われるオステオトームを用いたインプラント埋入窩形成を示す場合もある．

175 オッセオインテグレーション
おっせおいんてぐれーしょん

osseointegration

同義語　インテグレーション，骨結合，骨性結合

Brånemark による造語である．現在では，光学顕微鏡レベルで骨とインプラント体表面が軟組織を介在せずに接触維持する様相をさすことが多い．インプラント体を顎骨に埋入後，インプラント体周囲にオッセオインテグレーションにより治癒が進行して，インプラント体が安定性を獲得することが二次固定（安定）である．

176 オッセオインテグレーテッドインプラント
おっせおいんてぐれーてっどいんぷらんと

osseointegrated implant

骨と直接的に接触（オッセオインテグレーション）するタイプのインプラントである．骨との直接的接触の達成と持続がインプラントの成功に必要と考えられている．

177 オトガイ下動脈　おとがいかどうみゃく

submental artery

顔面動脈の分枝である．顔面動脈が顎下腺外面で顔面に向かう部位で起こり，下顎底に沿って顎舌骨筋外面上を前走する．その後，顎舌骨筋と顎二腹筋前腹の間を通り，オトガイ下部に分布する．主に顎舌骨筋，顎二腹筋前腹，顎下腺，舌下腺，下顎舌側歯肉などに分布する．

178 オトガイ棘孔　おとがいきょくこう

mental spines foramen

左右オトガイ棘の間にある孔である．この孔には，舌下動脈の分枝が通ることがある．

179 オトガイ孔　おとがいこう

mental foramen

下顎管の開口部で，下顎体外側面に存在する．一般的に，第二小臼歯直下で下顎体のほぼ中央に位置する．下顎管を走行してきた下歯槽神経，下歯槽動・静脈の枝，すなわちオトガイ神経，オトガイ動・静脈が出る．複数の孔がみられることがある．

180 オトガイ神経　おとがいしんけい

mental nerve

下歯槽神経の分枝である．オトガイ孔から出たオトガイ神経は 3 ～ 4 本に分かれ，主に下唇の皮膚，粘膜に分布する下唇枝，オトガイの皮膚に分布するオトガイ枝，口角部の皮膚に分布する口角枝に分枝する．

181 オトガイ神経麻痺　おとがいしんけいまひ

mental nerve paralysis

関連語　下歯槽神経麻痺

下歯槽神経の末梢枝であるオトガイ神経が障害された場合，オトガイ部皮膚，下唇，前歯部・小臼歯部歯肉，粘膜に知覚異常が生じる．

182 オフセット配置　おふせっとはいち

offset implant placement

3 本以上のインプラント埋入時に，同一直線上に配置しないよう意図的に位置をずらして埋入するこ

とをさす．位置をずらすことで，側方力に対し力学的に有利になると言われている．

183 オンレーグラフト おんれーぐらふと
onlay graft(s)
同義語 アンレーグラフト
関連語 サドルグラフト
歯槽高径が低い部位に骨高径を増大するためにブロック骨を移植する方法である．移植片（体）はオトガイ部，臼後部，下顎枝部，下顎大臼歯部頰側などから採取する．骨ねじなどで移植母床の骨にしっかりと固定する．唇頰側方向にブロック骨を移植する方法を特にベニアグラフトという．

か

184 カーボン繊維 かーぼんせんい
carbon fiber
⇒822 炭素繊維

185 開口障害 かいこうしょうがい
disturbance of mouth opening
関連語 最大開口量
開口運動に制限が生じた病態である．一般的に最大開口量の測定によって診断され，成人においては上下顎中切歯間の距離が 40 mm 以下の場合，開口障害と言われる．

186 ガイデッドサージェリー がいでっどさーじぇりー
guided surgery
インプラント埋入窩形成のためにドリルガイドを用いてドリリングする方法である．ガイドは予定された上部構造を写した CT を基に，CAD/CAM で製作するものが一般的である．CT データと歯列模型の情報を重ね合わせて製作する場合もある．ドリルの位置，方向，深さを規定でき，インプラント埋入の正確性が確保できる．ガイデッドサージェリーで埋入したインプラントではあらかじめプロビジョナルを製作しておくことも可能であるが，ドリルガイドの口腔内での正確な再現性が必須である．

187 回転防止機構 かいてんぼうしきこう
antirotational mechanism
インプラントに取り付けるアバットメントの回転を防ぎ，方向が一定に保たれるように両者の接合部に備えられた構造である．主として多角形の突起とそれに対応するくぼみをインプラントとアバットメントのそれぞれに配置して，両者を嵌合させることによって効果を得る．

188 回転モーメント かいてんもーめんと
torque
⇒905 トルク〔値〕

189 外部六角 がいぶろっかく
external hex
⇒145 エクスターナルヘキサゴン

190 海綿骨 かいめんこつ
cancellous bone
骨の外表層は緻密骨が取り囲み，その内部に存在するのが海綿骨である．海綿骨は多数の骨小柱からなり，骨小柱間の間隙に骨髄が存在する．

191 改良歯肉炎指数 かいりょうしにくえんしすう
modified gingival index
同義語 mGI
関連語 インプラント周囲組織検査
第 3 回 ITI コンセンサス会議（2005）が，Löe & Silness の歯肉炎指数（GI）を基本として策定した mGI がインプラント周囲粘膜の健康やマージン部の炎症の評価に用いられることが多い．軽圧（0.2 ～ 0.3 N）のプロービング圧下での BOP の診断精度は，天然歯よりも高いと報告されており，インプラント周囲組織の状態変化をモニタリングするうえで中心的な指標である．BOP が認められないことは，インプラント周囲組織が健康で安定していることを意味している．

表：改良歯肉炎指数（mGI）

mGI0	インプラントに隣接した粘膜縁に沿ってプロービングした際に，出血がない
mGI1	孤立した出血点がみられる
mGI2	インプラント辺縁粘膜に沿った線状の出血
mGI3	著明な出血

192 改良プラーク指数 かいりょうぷらーくしすう
modified plaque index
同義語 mPI
関連語 インプラント周囲組織検査
歯の表面と同様にインプラント表面にはバイオフィルムが形成されることから，インプラントのアバットメントや上部構造におけるバイオフィルムの付着状況を評価し，恒常的に適正なレベルまで達成，

維持させる必要がある．客観的評価法としては，第3回ITIコンセンサス会議（2005）が，Silness & Löe のプラーク指数（PI）を基本として策定したmPIが使用されることが多い．

表：改良プラーク指数（mPI）

mPI0	プラークが認められない
mPI1	インプラント辺縁へのプロービング擦過により検知されるわずかなプラーク
mPI2	肉眼的に確認されるプラーク
mPI3	多量の軟性物質

193 カウンターシンク　かうんたーしんく

countersink

同義語　カウンターボア

インプラント窩形成時にインプラントネックの形態に適合するように顎骨頂部皮質骨に施される形成のこと．インプラント体が適正な埋入深度に到達するように専用のドリル（カウンターシンクドリル）を使用して形成される．

194 下顎安静位　かがくあんせいい

mandibular rest position

⇒195 下顎位

195 下顎位　かがくい

mandibular position

上顎を含む頭蓋に対する下顎の位置のこと．歯の接触により規定される咬合位（中心咬合位，咬頭嵌合位，偏心咬合位など），顎関節により規定される顆頭位（中心位，顆頭安定位など）がある．

中心咬合位は，上下顎の咬合面が最大面積で接触，または咬頭嵌合したときの下顎位（咬頭嵌合位と同義），もしくは下顎が中心位で咬合したときの顎位をいう．

中心位は，歯の接触位置とは無関係の顆頭位である．その定義は何度か変遷しており，当初は下顎最後退位とされていたが，最近は下顎窩内で前上方の位置をとるというCelenzaの考え方が一般的である．しかし，現在においても多様な意味を有している．

下顎安静位は，上体を起こして安静にしているときの下顎位であり，下顎安静位では，上下の口唇は軽く接しているが，上下の歯は接触しておらず，2～3 mmの空隙（安静空隙）がある．咬合高径を決定する際に利用されることもある．

ロングセントリック（intercuspal contact area）とは，中心咬合位（咬頭嵌合位）と下顎最後退位（古い定義における中心位）との間に，咬合高径の変化を伴わず，しかも咬頭傾斜の影響を受けない前後的な自由域をもつ咬合状態をいう．中心咬合位と最後退位を一致させるポイントインセントリックに対する考え方である．

196 下顎運動　かがくうんどう

mandibular movement

上顎を基準としたときの歯列や下顎頭を含む下顎全体の相対的な運動のこと．下顎運動は，基本的下顎運動と機能的下顎運動に分類される．基本的下顎運動には，上下顎歯列の咬合面形態，顎関節，咀嚼筋，靱帯などによって規定される前方，後方，側方への滑走運動，習慣性開閉口運動，タッピング運動および蝶番運動があり，これらの運動は意識的に行うことができる．機能的下顎運動には，咀嚼，嚥下，発音などの生理的運動があり，意識的な運動であるとともに咀嚼運動中枢による反射的な運動としての性質も有している．非生理的な運動としてブラキシズムなどもある．

197 下顎管　かがくかん

mandibular canal

下顎孔から始まり，下顎骨中を前走する下歯槽神経，下歯槽動・静脈を通す管である．一般的に下顎孔から前下方へは，舌側寄りを走行するが，小臼歯部で方向を頬側に変えオトガイ孔に開口する．有歯顎時，神経，脈管が歯へ向かうため，上壁は多孔性で薄い骨壁で構成されるが，無歯顎になると上壁の構造は変化し，骨壁が厚くなる．

198 下顎孔　かがくこう

mandibular foramen

下顎枝内面のほぼ中央に存在する下顎管の入口である．下歯槽神経，下歯槽動・静脈が通る．下顎孔のすぐ前方には下顎小舌が存在し，蝶下顎靱帯の付着部となる．また，下顎孔のすぐ下方には顎舌骨筋神経溝が存在し，前下方に向かって溝を作る．ここには下歯槽神経から分枝した顎舌骨筋神経が通り，この神経は顎舌骨筋，顎二腹筋前腹へ向かう．

199 下顎骨貫通式インプラント

かがくこつかんつうしきいんぷらんと

transmandibular implant

同義語　ステープルボーンインプラント，骨貫通型インプラント

下顎骨のオトガイ部を下縁から頂部まで貫通するインプラントのこと．下顎骨下縁に適合させるアー

チ型のプレートと基底骨から顎骨頂部に向けて挿入する固定スクリューからなる．固定スクリューの先端は口腔内に露出し，上部構造のアバットメントとして使用される．手術は口腔外からのアプローチにより行われる．

200 下顎枝 かがくし
mandibular ramus
下顎骨の下顎角から上方かつ臼後部から後方の部分をさす．上方は筋突起と関節突起に移行する．内面中央には下顎孔がある．そこから前方に向けて下顎管が骨内を走向する．内面下方部は翼突筋粗面，外面下方部は咬筋粗面がある．下顎枝頰側皮質骨はベニアグラフトやオンレーグラフトのためのブロック骨採取に利用される．

201 下顎神経ブロック かがくしんけいぶろっく
mandibular nerve block
関連語 神経ブロック
特発性三叉神経痛に対する治療法の一つである．下顎神経が頭蓋底の卵円孔から出た部分で100％エタノールまたは高濃度麻酔薬の注入，高周波熱凝固によって下顎神経を破壊する．効果の持続時間は1年半～2年である．

202 過換気症候群 かかんきしょうこうぐん
hyperventilation syndrome
同義語 HVS
精神的緊張や身体的ストレスが原因で発作的に呼吸困難を訴えて過換気となる症候群である．呼吸数および1回換気量の増大から分時換気量が増大する．過呼吸により動脈血二酸化炭素分圧の低下，pHの上昇が起こる．動脈血二酸化炭素分圧の低下は脳血管収縮，脳血流量減少を起こす．さらに，呼吸性アルカローシスは血清中のイオン化カルシウムの低下を招き，手指の硬直などのテタニー症状を呈する．処置として，まずゆっくりとした呼吸を指示する．最近では，紙袋再呼吸法は積極的には推奨されない．

203 角化上皮 かくかじょうひ
keratinized epithelium
重層扁平上皮のうち最表層に角質層が存在する上皮である．口腔粘膜上皮においては，歯肉の接合上皮，歯肉溝上皮および歯槽粘膜上皮は角化していないが，付着歯肉上皮は角化している．

204 顎下腺窩 がくかせんか
submandibular fovea，submandibular fossa
下顎骨大臼歯部にあり，顎下腺の存在する位置に相当する骨陥凹をいう．パノラマエックス線画像では判読しづらい．インプラント手術に際しては，舌側に穿孔しないように注意が必要である．

205 角化粘膜 かくかねんまく
keratinized mucosa
⇒206 角化付着粘膜

206 角化付着粘膜 かくかふちゃくねんまく
keratinized attached gingiva
同義語 角化粘膜
関連語 付着粘膜
無歯顎部において表層の上皮が角質化している粘膜組織のこと．臨床的にはインプラント周囲に非可動性の角化付着粘膜が存在することにより，外力や細菌の刺激に対する周囲組織の抵抗性が増し，インプラント体がより安定することが期待されている．

207 顎顔面補綴 がくがんめんほてつ
maxillofacial prosthesis
類義語 エピテーゼ，プロテーゼ
腫瘍や外傷，炎症，あるいは先天性形成不全などが原因で，顔面または顎骨とその周囲組織に大きな欠損が生じた場合に，これらの欠損を非観血的に，人工修復物を装着して失われた機能や形態の回復を図ることをいう．顔面部の欠損を補うものを顔面補綴といい，身体の表面に取り付けるものをエピテーゼと呼ぶ．顔面エピテーゼには，眼窩部エピテーゼ，耳介エピテーゼなどがある．また，口腔内の顎骨を含めた欠損を義歯で補うものを顎補綴といい，身体の中に埋入する人工物をプロテーゼと呼ぶ．エピテーゼ，プロテーゼの維持には，身体欠損部のアンダーカットや眼鏡などを補助として用いる方法，さらにアンダーカットのない欠損に対しては，その周囲にインプラントを埋入して，エピテーゼ，プロテーゼを強固に維持する方法がある．

208 顎舌骨筋 がくぜっこつきん
mylohyoid muscle
下顎体内面を後上方より前下方に斜走する顎舌骨筋線より起始する．停止部において後方約1/3は舌骨大角に停止し，前方約2/3は顎舌骨筋縫線に停止する．顎舌骨筋縫線とは，オトガイ棘と舌骨体中央を結ぶ結合組織である．口腔底を構成し，顎舌骨筋の上方に舌下隙，下方に顎下隙を分ける．舌骨を固定したとき，下顎を後下方に引き，開口に役立つ．

また，下顎骨を固定したとき舌骨を前方に引き，嚥下運動などに役立つ．下顎神経の分枝である顎舌骨筋神経が支配する．

209 顎堤 がくてい

residual ridge

同義語 歯槽堤

歯を喪失した後にみられる歯槽骨の堤状の高まりのこと．顎堤の高さ（高径）や幅（幅径）はインプラント体の長さや径の選択の基準となる．

210 顎堤形成術 がくていけいせいじゅつ

alveolar ridge plastics

同義語 歯槽堤形成術

抜歯後，残された歯槽骨と粘膜によって形成される堤状の高まりを顎堤といい，凹凸不正や変形していてインプラント埋入に適さない場合に行われる方法を顎堤形成術という．突出部位は骨を削合し，陥凹部や不足部位は歯槽堤造成術を併用する．

211 顎堤整形 がくていせいけい

orthopedic surgery of alveolar ridge

同義語 歯槽堤整形

歯槽骨に凹凸不正がある場合，突出部を骨バーや骨ノミ，あるいは骨ヤスリを用いて滑らかな形態に修正する処置法である．

212 顎堤造成術 がくていぞうせいじゅつ

alveolar ridge augmentation

関連語 骨増生，骨造成

抜歯後の長期経過や歯周病，そのほかの疾患で吸収し，低くあるいは狭小になった歯槽骨を増大させるための手術法である．骨再生誘導法（GBR）やチタンメッシュに細片自家骨あるいは骨代替材料を用いて移植する方法，オンレーグラフトなどのブロック骨を移植する方法，仮骨延長術などがある．

213 角度許容アバットメント

かくどきょようあばっとめんと

angulation tolerated abutment

関連語 角度付アバットメント

複数のインプラント体をスクリュー固定で連結する際に使用される既製アバットメントをさす．一般的に20°程度の上部構造装着角度の許容能力がある．特に内部連結機構を有するインプラントでは，インプラント〔体〕レベルでの連結により上部構造の適合精度の確保が困難になりやすく，角度許容アバットメントの使用が推奨される．

214 角度付アバットメント

かくどつきあばっとめんと

angulated abutment

同義語 アングルドアバットメント

既製アバットメントの一種で，インプラントの長軸に対して傾斜した軸をもつアバットメントのこと．インプラント支持補綴装置に審美的に良好な歯冠形態や対合歯との適切な顎間関係を付与するために使用される．通常は補綴装置の頬舌的な傾斜の補正に用いられるが，アバットメント同士の平行関係の補正に使用されることもある．

215 仮骨 かこつ

callus

骨欠損，骨折あるいはインプラント埋入後のインプラント周囲に，骨が新生あるいは治癒するために形成される幼若な骨組織をいう．また，これを線維性仮骨とも呼ぶ．すなわち，再生部では出血により血腫が形成され，この血腫の中のフィブリンが網目構造を作り，この網目に沿って線維芽細胞や新生した毛細血管が侵入して肉芽組織を作る．この肉芽組織を母地として仮骨が生じ，そこから骨の形成が始まる．

216 仮骨延長術 かこつえんちょうじゅつ

distraction osteogenesis

同義語 ディストラクション，歯槽骨延長術

骨切りを行い，骨片間に形成された幼若な仮骨を外力により牽引・延長することで骨形成を促す術式である．歯槽骨では垂直歯槽骨延長術と水平歯槽骨延長術がある．小下顎症や上顎劣成長などの顎変形症にも適用される．骨のみでなく被覆する軟組織の延長も同時に行えるのが利点である．骨切りして移動させる骨をトランスポーテーションセグメント，延長されるためのねじ付きロッドを含む金属ミニプレートを延長器（ディストラクター）という．

217 過酸化水素ガスプラズマ滅菌

かさんかすいそがすぷらずまめっきん

hydrogen peroxide gas plasma sterilization

関連語 滅菌，滅菌法

高減圧下で過酸化水素水を蒸気化し，さらに高周波エネルギーによりプラズマ化し，発生したフリーラジカルで微生物を死滅させる処理である．低温，低湿処理のため，金属のほか，非金属，非耐熱，非耐湿物品にも適用できる．

218 下歯槽神経 かしそうしんけい
inferior alveolar nerve
関連語 オトガイ神経
下顎神経の分枝である．下歯槽神経は，下顎枝内面を下行し，下顎孔から下顎骨中に入る．下顎孔へ進入する直前，顎舌骨筋神経を分枝する．下顎骨内部では下顎管を前走中，臼後枝，臼歯枝などを出す．またオトガイ孔からはオトガイ神経を出す．下顎骨中でオトガイ孔より前方では，切歯枝となり前走する．

219 下歯槽神経側方移動術
かしそうしんけいそくほういどうじゅつ
inferior alveolar nerve lateralization
⇒ 637 神経移動術

220 下歯槽神経麻痺 かしそうしんけいまひ
inferior alveolar nerve paralysis
関連語 オトガイ神経麻痺
下歯槽神経が障害されることによって神経支配領域に知覚異常が出現すること．埋伏智歯抜歯，下顎大臼歯部のインプラント埋入，下顎枝からのブロック骨採取などの手術操作で起こり，特に末梢のオトガイ神経が知覚を担当するオトガイ部皮膚，下唇，前歯部・小臼歯部歯肉，粘膜に知覚低下が生じる．

221 下歯槽動・静脈 かしそうどうじょうみゃく
inferior alveolar artery/vein
顎動脈の分枝である．顎動脈が下顎枝内面を走行中に分枝され，下歯槽神経に随伴して下顎孔より下顎骨へ入る．下顎孔へ進入する直前に顎舌骨筋枝を分枝し，顎舌骨筋枝は顎舌骨筋，顎二腹筋に分布する．下顎孔から下顎骨中に進入した下歯槽神経は，下顎管を前走中，歯に向かう歯枝を分枝し，オトガイ孔付近でオトガイ孔から出るオトガイ動脈と切歯枝に分かれる．切歯枝は前歯部へ向かい前走し，前歯に多くの歯枝を出す．下歯槽動脈は各部位で分布後，下歯槽静脈となり下顎孔から出る．

222 下唇麻痺 かしんまひ
lower lip paralysis
⇒ 220 下歯槽神経麻痺

223 カスタムアバットメント
かすたむあばっとめんと
custom abutment
類義語 鋳接アバットメント
関連語 アバットメント，UCLA アバットメント，CAD/CAM アバットメント
個々のインプラント体ごとにしつらえたアバットメントのこと．鋳造や機械加工によって必要な形態に造形する．適切なインプラント上部構造を製作する際に，既製アバットメントでは対応が難しい場合に用いられる．カスタムアバットメントにより適正なアバットメント外形の獲得，アバットメントの軸の修正，上部構造の頸部辺縁位置の調整が可能である．

224 仮着用セメント かちゃくようせめんと
temporary cement
歯冠補綴装置やインプラント上部構造をセメント合着する前に，後から容易に取り外せるように仮に合着させるために用いるセメントである．ユージノール系，非ユージノール系，カルボン酸系，レジン系セメントに大別される．

225 合併症 がっぺいしょう
complication
関連語 併発症，偶発症
ある病気が原因となって起こる別の病気のこと．たとえば，糖尿病の場合，動脈硬化や脳梗塞などが合併症となる．

226 可撤性上部構造 かてつせいじょうぶこうぞう
removable implant-supported prosthesis
同義語 可撤性インプラント支持補綴装置
類義語 可撤性インプラント補綴装置
関連語 固定性上部構造，インプラントオーバーデンチャー
インプラントにより支持される補綴装置のうち，患者あるいは術者による取り外しができるものをいう．インプラント体に連結したアタッチメントを維持もしくは支持として用いるインプラントオーバーデンチャーや可撤性ブリッジがある．

227 可動粘膜 かどうねんまく
movable mucous membrane，movable mucosa
⇒ 337 口腔粘膜

228 カバースクリュー かばーすくりゅー
cover screw
同義語 封鎖スクリュー
インプラント埋入手術時にインプラント体に装着するスクリューのこと．アバットメント取り付け用のスクリューホール内に血液や組織液が浸入，停滞することを防ぎ，術後の良好な治癒を促進することとインプラントプラットフォーム上の骨被覆を防ぐことを目的として使用される．二次手術時にアバットメントと交換される．

229 カバースクリューミル かばーすくりゅーみる
cover screw mill
関連語 カバースクリュー
二次手術時にカバースクリューを除去する際，カバースクリュー上に形成された骨組織を除去するためのインスツルメントである．カバースクリューの上から圧接しながら回転させ，内面にある刃部で骨を削除する．

230 Kaplan-Meier 分析 かぷらんまいやーぶんせき
Kaplan-Meier analysis
関連語 インプラント残存率，インプラント成功率
一般に 2 群の生存率の差を推定する統計的手法であり，横軸に時間軸を，縦軸にイベント（死亡）の発生率を取ってグラフ化する．縦軸上に表される値は累積生存率と呼ばれる．インプラントでは残存率を表す．

231 ガミースマイル がみーすまいる
gummy smile
⇒1175 リップライン

232 ガム模型 がむもけい
gum silicone mold，silicone gum，silicone gum rubber，soft-tissue replica
同義語 シリコーンガム模型
関連語 インプラントアナログ，アバットメントアナログ
インプラントアナログ（またはアバットメントアナログ）の周囲に，歯肉形態を再現した可撤性のシリコーンゴムのある上部構造製作用の作業用模型のこと．ガム模型の歯肉部分は石膏模型から容易に着脱できる．適切なエマージェンスプロファイルが調整可能で最適な形態を上部構造に付与することができる．また，インプラントアナログ（またはアバットメントアナログ）と適合性の高い上部構造を製作するために有用である．

233 ガラスセラミックス がらすせらみっくす
glass ceramics
同義語 結晶化ガラス
類義語 生体活性セラミックス
関連語 生体活性ガラス
バイオセラミックスの一種で，熱処理などによって結晶化したガラスである．鋳造や射出成形ができるキャスタブルセラミックスであることから，強度にも優れ歯冠補綴材料として用いられている．

234 顆粒骨移植 かりゅうこついしょく
morselized bone graft
⇒470 細片骨移植

235 ガルバニー電流 がるばにーでんりゅう
galvanic current
口腔内や生体内で異種金属が接触したときに，唾液，組織液などが電解質となって外部回路が形成されて電池ができ，その結果流れる電流である．たとえば，イオン化傾向の異なる金属をインプラント体とアバットメントや上部構造に使用した場合などに出現することがある．

236 緩圧型アタッチメント かんあつがたあたっちめんと
stress-breaking attachment
⇒1192 ロケーターアタッチメント

237 緩圧機構 かんあつきこう
relief system
アバットメントとインプラント体の間に，主に樹脂製の部品をスペーサーとして組み込むことにより，上部構造に咬合力が加わった際に適度な変形を認める機構のこと．インプラントと天然歯を上部構造によって連結する場合，両者は被圧変位量が異なるため，咬合時の力学的挙動を補正することを目的としている．生体力学的には妥当であるが，短期間での構造体の劣化など問題点も多く，現在ではほとんど用いられていない．

238 眼窩下孔 がんかかこう
infraorbital foramen
上顎骨体前面で，眼窩下縁の下方に存在する．眼窩下神経，眼窩下動・静脈を通す眼窩下管の出口であり，下内方に開く．眼窩下孔のすぐ下方には犬歯窩が存在することから，皮膚上で部位を触知することは容易である．前歯部の小手術時，伝達麻酔をこの部位に施すことがある．

239 眼窩部エピテーゼ がんかぶえぴてーぜ
orbital prosthesis
⇒207 顎顔面補綴

240 幹細胞 かんさいぼう
stem cell
関連語 ES 細胞，iPS 細胞
組織，器官の再生および維持に必要となる細胞を供給できる母細胞のこと．種々の細胞に分化できる多分化能と自己複製能をもつ．ES 細胞や EG 細胞

の胚性幹細胞と多くの臓器に存在する体性幹細胞があり，後者である間葉系幹細胞は骨再生医療に応用されている．

241 患者主導型治療 かんじゃしゅどうがたちりょう
patient-led implant treatment
関連語 外科主導型治療，トップダウントリートメント
口腔内全体における機能的・審美的な補綴装置の設計やオッセオインテグレーションの獲得だけでなく，外科的侵襲度・治療期間・治療費などの要素に可能なかぎり患者の要望を反映させること．

242 患者立脚型アウトカム かんじゃりっきゃくがたあうとかむ
patient-based outcomes
患者の主観的な評価指標である．QOL，主観的な健康状況，治療に対する満足度などが評価の対象となる．

243 カンチレバー かんちればー
cantilever
同義語 延長ブリッジ
類義語 遊離端ブリッジ
片持ち梁の意味で，ポンティックの1側にのみ，支台が存在するブリッジの構造（カンチレバーブリッジ）をさす．

244 カントゥア かんとぅあ
contour
歯冠・上部構造の概形を意味する．特に頬舌側の豊隆形態を示すことが多い．適正なカントゥアに対して，豊隆が大きいものをオーバーカントゥア，豊隆が小さいものをアンダーカントゥアという．

245 カンペル平面 かんぺるへいめん
Camper's plane
⇒258 基準平面

246 顔面インプラント がんめんいんぷらんと
facial implant
関連語 顎顔面補綴
エピテーゼを支持，維持させるための歯科用インプラントもしくは処置のこと．エピテーゼの支持および維持に対して，従来の接着法，アンダーカットの利用などよりも高い効果が得られる．

247 顔面神経麻痺 がんめんしんけいまひ
facial palsy
関連語 Bell麻痺
顔面神経（第7脳神経）障害によって起こる機能不全である．症状として表情筋の運動（閉眼，口唇突出，口角牽引，頬膨らませ，鼻翼運動）不全，味覚障害（舌前方2/3の味覚を担当する鼓索神経障害），涙量・唾液量減少，聴覚異常がある．

248 間葉系幹細胞 かんようけいかんさいぼう
mesenchymal stem cell
関連語 歯髄幹細胞，脂肪幹細胞
間葉系組織に存在する体性幹細胞のこと．間葉系に属する細胞（骨細胞，軟骨細胞，脂肪細胞など）への分化能をもつ．骨や血管，心筋の再構築などの再生医療への応用が期待されている．骨髄間質細胞が分化誘導されることにより，間葉系に属する細胞（骨細胞，心筋細胞，軟骨細胞，腱細胞，脂肪細胞など）になる．

249 間葉系細胞 かんようけいさいぼう
mesenchymal cell
間葉は，個体発生の初期に内胚葉・外胚葉間の細胞から生じる非上皮性組織である．間葉系結合組織は，胚葉から派生する未分化結合組織の一種である．間葉系細胞は，骨，軟骨，リンパ系，循環器系などの結合組織に分化することができる．

き

250 キーアンドキーウェイ きーあんどきーうぇい
key and keyway
主として半固定性ブリッジに用いるスライド型連結装置の一つで，インプラント体と天然歯を連結する際に用いられることがある．一般に支台の隣接面歯冠内にレール状に設けられたキーウェイ〔マトリックス（フィメール）〕と，これと嵌合するようにポンティック部に設けられたキー〔パトリックス（メール）〕から構成される．キーアンドキーウェイの緩衝によって，インプラント体の咬合圧負担を減じることができると言われている．

251 機械加工インプラント表面 きかいかこういんぷらんとひょうめん
machined implant surface
⇒1025 表面処理

252 機械研磨 きかいけんま
mechanical polishing
切削工具を用いた形態修正に引き続き，ダイヤモンド，炭化ケイ素などの砥粒を用いた研削操作により，被研磨物の表面を荒研磨，中研磨，仕上げ研磨と表面粗さを順次小さくしながら平滑にしていく操作である．

253 機械的強さ きかいてきつよさ
mechanical strength
関連語 圧縮強さ，引張強さ，曲げ強さ，せん断強さ
物質に荷重を付与した際，破壊に要した最大応力のこと．最大荷重値を試験片断面積で除した値であり，単位は Pa で表す．

254 気管切開 きかんせっかい
tracheotomy
経気管的にカニューレを挿入するため，気管とその上部の皮膚を切開する術式である．通常は気管挿管による気道確保が行われたうえで実施される．インプラント手術に関連し，咽頭部の出血や浮腫などによる上気道狭窄を生じた場合には，早急に実施される必要がある．また急激に上気道閉塞が進展し，気管挿管が困難な場合には，緊急気管穿刺（輪状甲状膜穿刺）が実施される．

255 技工用アナログ ぎこうようあなろぐ
laboratory analog《analogue》
⇒ 30 アバットメントアナログ，84 インプラントアナログ

256 技工用デスクトップスキャナー ぎこうようですくとっぷすきゃなー
desktop scanner
関連語 光学印象
石膏によって製作された作業用模型をスキャン（光学印象）する装置である．インプラント治療においては，サージカルガイドプレートや上部構造の製作などに利用されている．

257 気孔率 きこうりつ
porosity rate
骨補填材，スキャフォールド，石膏硬化体，陶材焼成体，鋳造体などに存在する気孔の全体積に占める割合である．外部に通じている気孔のみの割合はみかけ気孔率，外部に通じていない気孔も含める場合は真気孔率と呼ばれる．

258 基準平面 きじゅんへいめん
basal plane，reference plane
人工歯排列など欠損補綴において歯列を再構築する際に基準となる平面のこと．咬合平面〔下顎左右中切歯の切縁の中点（切歯点）と下顎第二大臼歯遠心頬側咬頭頂を基準とした平面〕，フランクフルト平面（顔耳平面：眼窩下縁最下点と両外耳道上縁を結ぶ平面），カンペル平面（鼻聴道線：鼻翼下縁点と左右耳珠上縁点を含む平面）などが用いられる．咬合平面とカンペル平面はほぼ平行とされる．

259 既製アバットメント きせいあばっとめんと
prefabricated abutment
関連語 アバットメント，カスタムアバットメント
直径・高径およびインプラント埋入軸に対する角度が規格化されたアバットメントであり，スクリュー固定用やセメント固定用，単独歯用やブリッジ用がある．埋入されたインプラントの直径と粘膜の厚みとを基準に，サイズを選択して装着される．

260 規定トルク きていとるく
specified torque
類義語 設定トルク，標準トルク，適正トルク
関連語 埋入トルク
インプラント体埋入時に加わる力，上部構造およびアバットメントスクリューを締め付けたり緩めたりする力の一定の適正値である．単位は N・cm で表す．各インプラントメーカーによって規定トルク値は異なる．

261 逆トルク ぎゃくとるく
reverse torque
同義語 逆回転力
逆回転させる力のモーメントのこと．インプラントでは，インプラント体を骨外から取り出す，アバットメントを取り外す際に要する．

262 キャスタブルセラミックス きゃすたぶるせらみっくす
castable ceramics
関連語 ガラスセラミックス
補綴装置（上部構造）に用いるセラミックスのうち，金属と同様に高温で流動化し，鋳造によって任意の形態を付与することができるガラスセラミック材料のこと．

263 CAD/CAM きゃどきゃむ
computer-aided design/computer-aided manufacturing
同義語 コンピュータ支援設計／製造
関連語 光学印象，コンピュータ骨造形，3D プリンタ
形状読取装置（三次元計測スキャナー）によって，作業用模型や口腔内の形状を直接読み取り，コンピュータと各種ソフトによってデジタルデータに基づいて製作物の設計を行い，デジタル制御された切削加工装置によってこれを製作する方法である．製作が鋳造によらないため，優れた物理的特性が確保でき，アバットメントや上部構造を製作する際に用いられることが多い．機械加工によらず三次元プリンタやレーザー焼結によって目的の成形物を得る方法もある．

264 CAD/CAM アバットメント
きゃどきゃむあばっとめんと
CAD/CAM abutment
関連語 カスタムアバットメント，CAD/CAM
CAD/CAM システムによって製作されるインプラントのカスタムアバットメントのことをいう．チタン合金やジルコニアなどを使用することが多い．

265 吸収〔小〕窩 きゅうしゅう〔しょう〕か
resorption lacuna
⇒ 963 ハウシップ窩

266 吸収性生体材料
きゅうしゅうせいせいたいざいりょう
resorbable biomaterial
⇒ 704 生体材料

267 吸収性セラミックス
きゅうしゅうせいせらみっくす
resorbable ceramics
関連語 β-TCP
インプラントや骨補填材として利用されるセラミックスの中で，長期の埋入後に生体内で分解・吸収されるセラミックスのこと．代表的なものにβ-リン酸三カルシウム（β-TCP）がある．

268 吸収性縫合糸 きゅうしゅうせいほうごうし
resorbable thread
⇒ 1097 縫合糸

269 吸収置換型材料 きゅうしゅうちかんがたざいりょう
resorbable and replacement material
生体組織内に埋入された後，吸収されると同時に移植部に生体組織の再生が起こり，移植された材料が吸収されて，最終的に生体組織に置き換わる生体材料のこと．β-TCP や炭酸アパタイトなどがあげられる．

270 供給側 きょうきゅうそく
donor site
⇒ 899 ドナーサイト

271 頬骨インプラント きょうこついんぷらんと
zygomatic implant
⇒ 457 ザイゴマインプラント

272 矯正用インプラント きょうせいよういんぷらんと
orthodontic implant
顎骨内に埋入された矯正治療のための固定源をインプラントアンカーと呼び，固定源となる人工物をアンカーインプラントと呼ぶ．本インプラントを用いた矯正治療をアンカーインプラント矯正またはインプラントアンカー矯正と呼ぶ．アンカーインプラントとして，スクリュー，ミニプレート，デンタルインプラントが用いられている．従来の歯を固定源としたものと異なり，顎骨に固定源を求めるため，より強固な固定が期待できる．

273 共鳴振動周波数分析
きょうめいしんどうしゅうはすうぶんせき
resonance frequency analysis（RFA）
⇒ 85 インプラント安定指数

274 局所的禁忌症 きょくしょてききんきしょう
regional contraindication
関連語 全身的禁忌症，リスクファクター
インプラント治療に対して多くの局所的リスクファクターがあり，その種類および程度により「絶対的禁忌症」と「相対的禁忌症」に分けられる．局所的リスクファクターは以下の検査により評価される．
欠損部の検査：欠損部の顎堤の幅，顎堤の形態，欠損部と対合歯のクリアランス，欠損部の近遠心間隙，隣接歯の状態，下顎管までの距離，オトガイ孔の位置，上顎洞底・鼻腔底までの距離，顎骨・上顎洞内の異常の有無
口腔内検査：残存歯数と欠損歯数，齲蝕の有無，歯冠補綴装置・充填物の状態，義歯の使用状況，口腔衛生状況，口腔衛生状態，歯周疾患の有無，小帯

の付着部位，顎骨の状態，アブフラクション，骨隆起

顎関節・咬合検査：咬合状態，咬合のガイド，残存歯の咬耗，最大開口量，顎関節雑音，顎関節・咀嚼筋の痛み，顎位の安定性，顎運動

審美的検査：リップラインの高さ，歯肉粘膜の形態と厚み，コンタクトポイントと歯肉頂までの高さ，口唇や頬部のリップサポート，スマイルライン，残存歯の歯冠の形態と色，欠損部粘膜の厚みと色

275 局所麻酔中毒 きょくしょますいちゅうどく

toxic reaction for local anesthetics

局所麻酔薬の過度の血中濃度上昇により発症する．局所麻酔薬の濃度や投与量，投与部位の血流，血管収縮薬の有無などが関与する．リドカインの血中濃度が 5 ～ 10 μg/mL 以上で低血圧や痙攣などの症状が出現する．初期治療として酸素投与を行い，必要に応じてミダゾラムやジアゼパム，チオペンタールを投与する．

276 禁忌症 きんきしょう

contraindication

関連語 局所的禁忌症，全身的禁忌症

医療行為が病態の増悪をもたらすために適応してはならない疾患または状態のこと．

277 金属アーチファクト きんぞくあーちふぁくと

metal artifact

CT 検査において金属の周囲から放射状に出る障害陰影をさす場合が多い．MRI においても強磁性体の金属による金属アーチファクトという用語が散見されるが，正確には磁化率アーチファクトと定義される．

278 金属アレルギー きんぞくあれるぎー

metal allergy

関連語 パッチテスト，メタルフリー修復

金属から溶出した金属イオンがタンパクと結合してアレルゲンとなり発症するアレルギーで，主にⅣ型である．インプラントでは使用する異なる金属との電位差に起因することがある．診断は症状とパッチテストなどによる．

279 金属疲労 きんぞくひろう

metal fatigue

金属は靱性に富むので破壊に対する抵抗性が高いが，応力を継続的あるいは繰り返し受けた場合に強度が低下する現象である．インプラントの各構造体でも金属疲労を起こすことがある．

く

280 区域切除 くいきせつじょ

segmental resection

類義語 下顎区域切除術，下顎骨区域切除術，下顎骨連続離断術

関連語 広範囲顎骨支持型装置

下顎に生じた腫瘍などの病変に対して適用される手術法で，下顎骨を離断させ，病変の周囲に安全域を確保して切除する方法である．切除後にインプラント治療を適用するには，骨移植などの下顎骨再建が必要である．症例によっては広範囲顎骨支持型装置が適用される．

281 偶発症 ぐうはつしょう

accidental symptom，procedural accident

関連語 合併症，併発症

手術や検査などの際，偶然に起こった症候あるいは事象で，因果関係がないか，不明なものをさす．

282 グラインディング ぐらいんでぃんぐ

grinding

①咀嚼パターンの一つ．グラインディングタイプは歯の接触滑走が著明で，中心咬合位から非咀嚼側への臼磨運動を呈する．

関連語 咀嚼パターン，ブラキシズム

②炭化ケイ素やダイヤモンドなど，被研削体より硬い砥粒を用いた回転切削器具（ポイント，ホイール，ディスク）で，歯，補綴装置や修復物を切屑を出しながら削る操作のこと．

関連語 切削

283 クラウン-インプラント比 くらうんいんぷらんとひ

crown-implant ratio

⇒ 519 歯冠歯根比

284 クリアランス くりあらんす

clearance

補綴装置が装着可能な間隙のこと．天然歯同士の場合，支台歯形成後の対合歯との距離をさす．無歯顎部位においては，顎堤と対合歯，あるいは顎堤同士における有床義歯やインプラント上部構造が設置可能な距離のことをさす．

285 グリシンパウダー ぐりしんぱうだー
glycine powder
タンパク質を構成物質するアミノ酸であるグリシンから精製されたパウダー．エアと水圧を応用するエアアブレージョン（エアポリッシング）に研磨材として，汚染された歯面やインプラント表層の清掃に使用される．粒子径は使用目的からいくつかみられるが，約 25 ～ 65 μm である．

286 クリップアタッチメント
くりっぷあたっちめんと
clip attachment
⇒ 949 バーアタッチメント

287 クリティカルパス くりてぃかるぱす
critical path
同義語 クリニカルパス
一定の病気の治療や検査を行うごとに，その治療の段階および患者が目指す最終的な治療到達目標に向けて，最適と考えられる医療の介入内容をスケジュール表にしたものである．クリティカルパスの評価・改善を行うことで医療の質を向上させることができる．

288 クリニカルパス くりにかるぱす
clinical path
⇒ 287 クリティカルパス

289 グループファンクション
ぐるーぷふぁんくしょん
group function
⇒ 348 咬合様式

290 クレストモジュール くれすともじゅーる
crest module
同義語 骨頂部形態
インプラントカラーとプラットフォームを含んだインプラントネック部の包括的な呼称である．

291 クレンチング くれんちんぐ
clenching
⇒ 1056 ブラキシズム

292 クロイツフェルト・ヤコブ病
くろいつふぇるとやこぶびょう
Creutzfeldt-Jakob disease
同義語 CJD
全身の不随意運動（ミオクローヌス）と急速に進行する認知症を特徴とする，感染性のある致死的な中枢神経変性疾患である．ヒト神経細胞に存在するプリオンタンパクが何らかの原因で異常化し沈着することで，脳組織が急速に海綿状変性を起こす．感染経路の一つの可能性として，ウシ海綿状脳症（BSE）に感染したウシの特定部位の摂取がある．通常の消毒・滅菌法では感染力を完全には除去できない．

293 クローズドトレー くろーずどとれー
closed tray
⇒ 77 印象用トレー

け

294 Cawood の分類 けいうっどのぶんるい
Cawood classification
類義語 Cawood と Howell の分類
上下顎無歯顎の形態分類で，上下顎の前歯部と臼歯部に分けて下記のように Class Ⅰ～Ⅵに分類している．

表：Cawood の分類

Class Ⅰ	歯がある
Class Ⅱ	抜歯直後
Class Ⅲ	丸みを帯びた顎堤で十分な高径と幅径
Class Ⅳ	ナイフエッジ状の顎堤で十分な高径と不十分な幅径
Class Ⅴ	平坦な顎堤で不十分な高径と幅径
Class Ⅵ	陥凹した顎堤で基底骨まで吸収している

295 脛骨移植 けいこついしょく
tibia bone transplant《graft，implantation，transplantation》
⇒ 63 移植〔術，法〕

296 傾斜埋入 けいしゃまいにゅう
inclined《tilted》implant placement
上顎洞やオトガイ部などへの穿孔を回避するために，インプラント体を意図的に三次元的に傾斜させて埋入する方法である．

297 形状記憶合金インプラント
けいじょうきおくごうきんいんぷらんと
shape memory alloy implant
形状記憶効果を有するニッケルチタン合金などからなるインプラントである．

298 外科主導型治療 げかしゅどうがたちりょう
bottom up treatment
同義語 ボトムアップトリートメント
関連語 トップダウントリートメント，患者主導型治療
歯槽骨の状態などを考慮したうえで，オッセオインテグレーションの獲得を優先させて埋入位置などを決定し，その後補綴設計を行うこと．

299 外科用ガイドプレート げかようがいどぷれーと
surgical guide plate
⇒450 サージカルガイドプレート

300 血液凝固因子 けつえきぎょうこいんし
blood coagulation factor
関連語 出血性素因
血液を凝固させるための二次止血に必要な一連の因子のこと．ローマ数字で表記される12の因子（第Ⅰ因子～第Ⅻ因子，第Ⅵ因子は欠番），プレカリクレイン，高分子キニノゲンで構成されている．血友病Aは第Ⅷ因子の，血友病Bは第Ⅸ因子の欠損あるいは活性低下による．

301 血液検査 けつえきけんさ
blood test
血液を採取し，病状などを調べる臨床検査の一つである．血液学的検査，凝固線溶系検査，生化学的検査，免疫血清学的検査，血液塗沫検査，血液培養検査，血液ガス分析などが行われる．

302 血液疾患 けつえきしっかん
blood disease
赤血球の疾患，顆粒球の疾患，リンパ球と単球・マクロファージ系の疾患，出血・血栓性疾患の総称である．インプラント治療のリスクファクターである．

303 血液由来成長因子 けつえきゆらいせいちょういんし
blood-derived growth factor
類義語 血小板由来成長因子を利用した再生療法
患者の自己血を採取し，遠心分離器にかけて製作し骨造成時などに応用する．創傷の治癒，骨や歯肉の再生促進が期待される．

表：血液由来成長因子

略称	英語表記	日本語名	特徴
CGF	concentrated growth factors	濃縮成長因子	抗凝固剤を添加せず，シリカ（ガラス）を触媒として遠心分離を行った後に得られる完全自己血由来のゲル素材．成長因子や血小板を多く含む．
PRF	platelet rich fibrin	多血小板フィブリン	
AFG	autologous fibrin glue	自己フィブリン糊	抗凝固剤を添加せず，シリカ（ガラス）への接触を避けてプラスチック管を用いて遠心分離を行った後に得られる完全自己血由来の血漿．凝固能を有しており骨補填材などに混ぜて用いられる．
PRP	platelet rich plasma	多血小板血漿	抗凝固剤を添加し，2回の遠心分離により得られる濃縮された血小板と白血球を含む血漿．活性化のために塩化カルシウムなどとの混合が必要．
PRGF	plasma rich in growth factors	—	抗凝固剤を添加して遠心分離した後，赤血球層の上の白血球層を避けて得られる血漿層．活性化のためには塩化カルシウムなどとの混合が必要．

304 血管収縮薬 けっかんしゅうしゅくやく
vasoconstrictor
関連語 アドレナリン過敏症
局所麻酔カートリッジに含まれる薬効成分の一つである．アドレナリンとフェリプレシンがある．局所麻酔効果の増強，麻酔持続時間の延長，術野からの出血抑制などを目的とし添加されている．

305 血管新生 けっかんしんせい
angiogenesis
関連語 創傷治癒
既存の血管から新たな血管枝が分岐して，血管網を構築する生理的現象のこと．創傷治癒の過程で必ずみられる．オッセオインテグレーションの獲得の経過として血管新生がみられる．

306 血管柄付き骨移植 けっかんへいつきこついしょく
vascularized bone graft
関連語 移植〔術，法〕，自家骨移植，広範囲顎骨支持型装置
自家骨移植法の一つで，移植骨に栄養血管柄を付けたままドナーサイトから採取し，顕微鏡下で血管吻合を行うことで，血行を維持したままレシピエントサイトに骨組織を移植する方法である．遊離骨移植とは異なり，移植骨内の細胞成分が生着することで感染に強く，骨形成能が高く維持され，吸収されることなく生着が期待できる．顎骨再建には，腸骨，腓骨，肩甲骨が主に用いられ，広範囲顎骨支持型装置としてインプラント治療による咬合再建も可能である．

307 血管迷走神経反射
けっかんめいそうしんけいはんしゃ
vasovagal reflex
同義語 脳貧血様発作，疼痛性ショック，神経原性ショック
ストレス，疼痛，恐怖などが引き金になり，血圧低下，心拍数減少，発汗，四肢の冷感，めまい，意識消失（失神）などの症状が起こること．症状の軽い順から，血管迷走神経反射性失神前症候群，血管迷走神経反射性失神，神経原性ショック，血管迷走神経反射性心停止の四つに分類される．多くの場合，一過性である．治療法はショック体位とし酸素投与を行う．必要に応じてアトロピン硫酸塩を投与する．

308 結合組織移植術 けつごうそしきいしょくじゅつ
connective tissue graft
同義語 歯肉結合組織移植術，上皮下結合組織移植術
歯肉結合組織を移植する外科手術の総称である．歯槽堤の増大（歯槽堤増大術），または歯，インプラントにおいて歯肉弁下に移植することで歯肉に厚みをもたせる目的で用いる方法である．口腔に露出した歯根面，またはインプラント面を被覆する目的，また GTR 膜や GBR 膜除去時に新生組織を保護するために用いることもある．

309 結合組織性付着 けつごうそしきせいふちゃく
connective tissue attachment
⇒ 626 上皮性付着

310 血腫 けっしゅ
hematoma
同義語 ヘマトーマ，ヘマトーム
血管が損傷を受け，出血することによって組織内あるいは組織間隙に血液が限局して貯留し，塊状を呈した状態をいう．原因は一般に外傷，術後の後出血などがあげられる．口腔領域では機械的，物理的損傷により舌，口唇，頬粘膜，そのほかの粘膜下に発生しやすい．後出血では術野の周囲組織間隙に発生する．

311 血小板減少症 けっしょうばんげんしょうしょう
thrombocytopenia
末梢血中の血小板数が 10 万 /μL 以下に減少した状態である．5 ～ 10 万 /μL 以下に軽度減少している場合には自覚症状に乏しいが，3 万 /μL 以下になると皮膚，粘膜に出血斑が出現し，鼻出血，歯肉出血，血尿，月経過多などが認められる．血小板の産生減少や崩壊の亢進などが原因である．5 万 /μL 未満になると，少量の出血が容易に起こり大量出血のリスクが高まる．血小板輸血が必要となる場合もあるが，その状況は限られる．

312 血小板濃厚血漿 けっしょうばんのうこうけっしょう
platelet-rich plasma（PRP）
⇒ 802 多血小板血漿

313 血小板由来成長因子
けっしょうばんゆらいせいちょういんし
platelet-derived growth factor
同義語 PDGF
間葉系細胞由来で，血小板，血管内皮，マクロファージ，神経細胞，平滑筋細胞などから産生され，線維芽細胞や平滑筋細胞の増殖促進活性を担う血清中の糖タンパク質である．歯周組織再生治療やインプラント治療にも応用されている．

314 犬歯誘導咬合 けんしゆうどうこうごう
canine protected articulation
⇒ 348 咬合様式

315 減張切開 げんちょうせっかい
release incision
同義語 骨膜減張切開
緊張が強い粘膜骨膜弁において，骨膜の緊張を避け，可動性を得るために用いる切開をいう．一般に弁に十分な厚みのある場所を選んで緊張のある方向に一条の切開を行う．

こ

316 誤飲 ごいん

mis-deglutition

関連語 誤嚥

小器具や修復・補綴装置などの食物以外のものが誤って食道に入ってしまう偶発症のこと．不注意な操作によって器具などを口峡，咽頭部に落下させることによって起こる．専門医による内視鏡を用いた除去や経過を観察し自然排泄を待つこともあるが，外科的処置によって除去することもある．

317 高圧酸素療法 こうあつさんそりょうほう

hyperbaric oxygen therapy，hyperbaric oxygen treatment（HBOT）

大気圧よりも高い気圧環境で高濃度の酸素を吸入することで病態の改善を図る治療法である．酸素は，大気圧環境下ではヘモグロビンと結合することにより血中に運ばれるが，高気圧環境下ではその圧力により，ヘモグロビンの存在と関係なく血中に溶け込むことを応用し，血液循環を促進することを目的として行われる．骨髄炎の治療などに用いられる．

318 高圧蒸気滅菌 こうあつじょうきめっきん

autoclave sterilization

関連語 滅菌，滅菌法

チャンバー内を高圧にし，高温の飽和水蒸気で被滅菌物を加熱することにより微生物のタンパク質を不可逆的に変性させ，微生物を死滅させる処理である．滅菌装置は，滅菌処理能力によりクラスB，S，Nに分類される．

表：高圧蒸気滅菌装置の分類

クラス分類	対象・特徴
クラスB (big sterilizer)	・固形物，中空物，多孔性物などのあらゆる種類が対象 ・包装物，非包装物の双方に対応 ・包装されたハンドピース，インプラント用インスツルメントなど ・滅菌パックに包装して滅菌可能なため，滅菌後の長期保存が可能
クラスS (specific products as specified by the manufacturer)	・メーカー指定の特定対象物が対象 ・非包装の中空物や包装された固形物 ・非包装のバキュームチップやハンドピース，包装された持針器など
クラスN (naked solid products)	・非包装の固形物が対象 ・滅菌後ただちに使用する場合 ・バー，ミラー，ピンセットなど ・器材は滅菌パウチに包装して滅菌ができない

319 構音障害 こうおんしょうがい

articulation disorder，dysarthria

同義語 発語障害

類義語 発音障害

構音器官（舌，口蓋，歯，歯列など）の障害や補綴装置の不備などに起因し，習慣的に特定の語音が正しく発音できない症状をいう．口腔インプラント治療においては，構音障害に対し，構音器官の形態や機能，インプラント体埋入位置および上部構造の形態もしくは固定方法などを十分に考慮する．

320 口蓋裂 こうがいれつ

cleft palate

先天的な口蓋部の破裂で，口蓋裂単独で発生する場合と口唇裂を合併する場合がある．歯槽部の先天的な骨欠損を顎裂と呼ぶ．顎裂部の歯胚は先天的に欠損する場合や，過剰歯などの歯の異常が認められることもある．歯列矯正のために顎裂への骨移植が行われる．思春期の成長が終了した後，顎裂への骨移植部にインプラントが応用されることがある．

321 光学印象 こうがくいんしょう

optical impression

類義語 デジタル印象

関連語 スキャンボディ

物体の形状を光学的に読み取り三次元データ化（デジタル化）する機器（スキャナー）を用いて行う印象法のこと．従来どおりに作業用模型を製作し，その形状を光学的に読み取って三次元データ化する光学印象に加え，印象材や石膏を一切使用せず口腔内の形状を直接読み取ることができる口腔内スキャナーを用いた光学印象が実用化され臨床応用されている．インプラントの光学印象においては，従来の印象用コーピングに代わり，光学印象に適した形状をもつスキャンボディと呼ばれる光学印象用アバットメントをインプラント体に連結し，形状を読み取って相対的な位置情報を取得し，CAD/CAM用ソフトウエアによって作業用模型をデジタル化することが行われている．

322 硬化性骨髄炎 こうかせいこつずいえん

sclerosing osteomyelitis

慢性で緩慢な経過をたどる骨髄を主とする炎症で，一般に自覚症状は少ないが，ときに急性化する場合がある．骨硬化の範囲により限局性とびまん性に分けられる．エックス線的に骨硬化像を示し，不透過像に透過像が混在する．程度によりすりガラス様，綿花様，大理石紋様，虫食い状と表現され，骨皮質と骨髄との境界は不明瞭である．骨シンチグラ

フィ（^{99}mTc-MDP）で病変部に強度の集積像がみられる．治療法は皮質骨除去術や皿状形成法などである．インプラント治療のリスクファクターである．

323 抗凝固薬 こうぎょうこやく
anticoagulant
関連語 抗血栓薬，抗血小板薬，ワルファリンカリウム
血流の乱れや血流うっ滞によって生じる赤色血栓の予防に用いられる薬剤のこと．人工弁置換術後，心房細動，深部静脈血栓症，肺塞栓などに対する抗血栓療法に用いられる．ビタミンK依存性凝固因子を抑制するワルファリンカリウムや，直接トロンビン阻害剤のダビガトラン，第Xa因子阻害剤のアピキサバン，エドキサバン，リバロキサバンなどがある．直接トロンビン阻害剤と第Xa因子阻害剤は直接経口抗凝固薬（DOAC）と呼ばれる．

324 抗菌薬 こうきんやく
antibacterial agent，antibiotics
細菌に抗菌活性をもつ化学療法薬のこと．

325 抗菌薬予防〔的〕投与
こうきんやくよぼう〔てき〕とうよ
antibiotic prophylaxis
類義語 予防投与
関連語 前投薬
観血処置などによって感染を発症する可能性がある場合に，術前に薬剤の投与を行うことをいう．抜歯などでは菌血症を誘発する可能性があるため，感染性心内膜炎の予防のために行う．糖尿病など易感染性のものや免疫力低下で術後感染が懸念されるような全身状態においても予防投与を行うことがある．インプラント治療では，感染予防のためには術前からの投与が推奨されている．

326 抗菌療法 こうきんりょうほう
antibiotic therapy
類義語 経口抗菌療法，局所抗菌療法
歯周炎，インプラント周囲粘膜炎，インプラント周囲炎において，機械的プラークコントロールに加えて抗菌薬を併用することで，治療効果の増強や宿主免疫機能を補助する方法である．細菌検査に基づいた投与が原則となる．

327 口腔インプラント こうくういんぷらんと
oral implant
関連語 歯科インプラント，人工歯根
口腔領域で使用するインプラントのこと．

328 口腔インプラント学 こうくういんぷらんとがく
oral implantology，implant dentistry
同義語 インプラント学
口腔（歯科）インプラント支持の修復に関する基礎，臨床の歯科の学術分野のこと．

329 口腔インプラント材料
こうくういんぷらんとざいりょう
dental implant material，oral implant material
口腔インプラントに使用される材料のこと．生体適合性に優れた材料が使用される．

330 口腔衛生指導 こうくうえいせいしどう
oral hygiene instruction
同義語 口腔清掃指導
類義語 TBI
齲蝕や歯周病の原因であるプラークを除去することの意義やその方法を患者に説明し，指導を行うこと．プラークコントロールレコードなどを利用して，患者のモチベーションの向上を図るとともに，個々の患者に適したブラッシングやフロッシングなどの口腔清掃方法の指導を行う．口腔清掃はインプラントの維持療法として欠くことのできないものである．

331 口腔乾燥症 こうくうかんそうしょう
xerostomia，dry mouth
種々の原因で唾液分泌量が減少し，口腔内が乾燥した状態をいう．症状は口腔乾燥感，口腔粘膜萎縮，灼熱感，味覚障害，口臭，多発性齲蝕などがみられる．Sjögren症候群，放射線障害，加齢，ストレス，薬物による唾液分泌神経系の障害，糖尿病や貧血などの全身疾患によるもの，口呼吸や摂食嚥下障害など局所的なものに大別できる．症状改善には原因除去に努め，対症的に食事の改善，唾液分泌刺激，人工唾液の使用，口腔衛生指導などを並行する．

332 口腔機能低下症 こうくうきのうていかしょう
oral hypofunction
類義語 オーラルフレイル
関連語 フレイル
加齢や全身疾患・障害などにより，口腔の機能が複合的に低下している疾患である．放置しておくと，咀嚼障害や摂食嚥下障害になり，漸進的に健康を損なう．口腔衛生状態不良，口腔乾燥，咬合力低下，舌口唇運動機能低下，低舌圧，咀嚼機能低下，嚥下機能低下の7項目のうち，3項目以上が該当すると診断される．2018年4月から，その検査と管理が

保険導入された．

333 口腔常在菌 こうくうじょうざいきん
oral microbial flora
⇒ 620 常在細菌

334 口腔清掃 こうくうせいそう
oral cleaning
⇒ 330 口腔衛生指導

335 口腔前庭拡張術 こうくうぜんていかくちょうじゅつ
vestibuloplasty，oral vestibule extension surgery
同義語 口腔前庭形成手術
歯周形成手術の一つに分類され，義歯床延長や口腔清掃を容易にする目的で，口腔前庭が浅く狭小化した場合に実施される手術である．術後の疼痛や手術部の後戻りの問題があるため，現在ではほとんど行われない．

336 口腔内スキャナー こうくうないすきゃなー
intraoral scanner
印象材を利用した印象採得に代わって，レーザーや LED から発せられる光の反射を利用した三角測量などにより表面形状を認識し，口腔内でデジタル印象採得する光学印象装置である．異常絞扼反射のある患者や開口量が不足している患者に有用である．

337 口腔粘膜 こうくうねんまく
oral mucosa
口腔周囲の壁と舌の表層にある粘膜をいい，粘膜は粘膜上皮と粘膜固有層からなる．機能面から，裏装（被覆）粘膜，咀嚼粘膜，特殊粘膜の三つに分類されている．裏装粘膜は頰，口唇，軟口蓋，口底にある．咀嚼粘膜は硬口蓋，歯肉にある．特殊粘膜は舌背にある．硬口蓋や歯肉の粘膜は可動性がないので不動粘膜と言われる．そのほかの粘膜は可動性があるので可動粘膜と言われる．

338 高血圧症 こうけつあつしょう
hypertension
収縮期血圧 140 mmHg 以上または拡張期血圧 90 mmHg 以上を示す．原因が不明な本態性高血圧と，原因が明確な二次性高血圧に分類される．高血圧症は脳血管障害，心疾患，腎疾患などを合併する割合が高く，コントロールされていない高血圧症はインプラント治療のリスクファクターとなる．インプラント治療時は血圧のモニタリングを行う必要がある．

表：成人における血圧値の分類：診察室血圧（mmHg）

分類	収縮期血圧		拡張期血圧
正常血圧	＜ 120	かつ	＜ 80
正常高値血圧	120 ～ 129	かつ	＜ 80
高値血圧	130 ～ 139	かつ / または	80 ～ 89
Ⅰ度高血圧	140 ～ 159	かつ / または	90 ～ 99
Ⅱ度高血圧	160 ～ 179	かつ / または	100 ～ 109
Ⅲ度高血圧	≧ 180	かつ / または	≧ 110
(孤立性)収縮期高血圧	≧ 140	かつ	＜ 90

（日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会編：高血圧治療ガイドライン 2019，P18，表 2-5 より改変）

339 抗血小板薬 こうけっしょうばんやく
antiplatelet agent
関連語 抗凝固薬，抗血栓薬
血液凝固に関与する血小板に作用し血栓形成を抑制する薬剤のこと．主に血流の速い動脈に生じる白色血栓を予防することから，心筋梗塞，脳梗塞などの疾患に用いられる．代表的な薬剤に，アスピリン，クロピドグレル，シロスタゾールなどがある．

340 抗血栓薬 こうけっせんやく
antithrombotic
関連語 ワルファリンカリウム，PT-INR，抗凝固薬，抗血小板薬
血栓形成を抑制，あるいは血栓を溶解する治療を総称して抗血栓療法と呼び，それに用いられる薬剤を抗血栓薬と呼ぶ．抗血栓薬には，血小板の機能を低下させ，主に動脈に形成される血小板血栓（白色血栓）を抑制する抗血小板薬と，凝固因子を抑制することにより静脈におけるフィブリン血栓（赤色血栓）を予防する抗凝固薬とがある．観血的処置時は出血に対する注意が必要である．

341 咬合干渉 こうごうかんしょう
occlusal interference
類義語 咬頭干渉
関連語 早期接触
正常な下顎運動を妨げる咬合接触のこと．咬頭嵌合位での早期接触と偏心咬合位での咬頭干渉を包括する．

342 咬合挙上 こうごうきょじょう
bite raising
咬合高径を増加させること，ならびにそのために

行う処置のこと．一般には，歯の咬耗や喪失などにより咬合時の咬合高径が低下し，顔貌の異常や顎関節・咀嚼筋などの機能異常を呈した場合などに適応される．

343 咬合高径 こうごうこうけい
occlusal vertical dimension
咬合時，一般には咬頭嵌合位における，上下顎間の垂直的距離のこと．上下顎の対向関係が失われたときには，顔面に設定される種々の計測点間距離や舌背，口角，口唇の位置などの形態学的基準，あるいは安静空隙量や発音，嚥下運動などによる機能的基準を参考する．

344 咬合性外傷 こうごうせいがいしょう
occlusal trauma
類義語 一次性咬合性外傷，二次性咬合性外傷
関連語 インプラントのオーバーロード
外傷性咬合によって生じる歯周組織の傷害である．歯に過大な咬合力が加わることで外傷が起こる一次性咬合性外傷と，歯周炎により歯槽骨が吸収したことによって咬合負担能力が低下し，生理的な咬合力によっても外傷が生じる二次性咬合性外傷の二つに分類される．

345 咬合調整 こうごうちょうせい
occlusal adjustment
上下顎歯の咬合接触を，咬頭嵌合位で下顎位が安定し，かつ下顎運動と調和するように調整すること．天然歯または人工歯の早期接触，咬頭干渉，咬合接触の不均衡の有無，偏心滑走運動時の歯のガイドを検査し，必要部位を選択的に削合し，行われる．

346 咬合負荷 こうごうふか
occlusal loading
類義語 負担荷重
咀嚼・嚥下などの機能運動，ブラキシズムなどのパラファンクションなどによる咬合力を，歯，歯根膜，粘膜，インプラントおよびその周囲組織が負担すること．

347 咬合平面 こうごうへいめん
occlusal plane
⇒ 258 基準平面

348 咬合様式 こうごうようしき
occlusal contact pattern
咬頭嵌合位から偏心咬合位に至る咬合接触の状態のこと．代表的なものを以下に示す．

グループファンクション：側方運動滑走時に作業側の複数の歯，主に前歯，小臼歯が接触滑走し，非作業側は離開する咬合様式．

ミューチュアリープロテクティッドアーティキュレーション：咬頭嵌合位では臼歯部が咬合し，前歯部はわずかに離開する．前方滑走運動では前歯部が，側方滑走運動では作業側犬歯が接触滑走し，臼歯部は離開する咬合様式．

犬歯誘導咬合：側方運動時，作業側の上下顎犬歯のみが犬歯切端咬合位に至るまで接触滑走し，そのほかの前歯，臼歯はすべて離開する咬合様式．

349 咬合力 こうごうりょく
occlusal force，biting force
咬合時に天然歯あるいはインプラント上部構造の咬合面部に発現する力のこと．単位面積あたりの咬合力を咬合圧という．天然歯では歯根膜などの口腔組織内にある圧受容器によって咬合力が調節されているが，インプラントは歯根膜がないため天然歯に比べて過大な咬合力が発現することがある．その場合，インプラント対合歯の咬合性外傷や破折，補綴装置の破損などが生じることがある．

350 咬傷 こうしょう
bite wound
口腔内をかむことによって生じる傷のこと．頰をかむことを咬頰，舌をかむことを咬舌といい，歯列不正や人工歯排列の不備，義歯床の形態不良などにより生じやすい．

351 後上歯槽枝 こうじょうしそうし
posterior superior alveolar branches
上顎神経の分枝である．上顎神経が翼口蓋窩上部を横走中に本枝が2～4本起こり，前下方，下方に走行して，上顎結節上の歯槽孔より骨中に入る．一部は後上歯槽管中を通って前走して前上歯槽枝と交通する．本枝は上顎洞粘膜，上顎骨，大臼歯，一部の小臼歯，これら臼歯部の歯肉に分布する．

352 後上歯槽動脈 こうじょうしそうどうみゃく
posterior superior alveolar artery
顎動脈の分枝である．翼口蓋窩の入口付近で顎動脈から本枝が起こり，上顎骨後壁を前下方に走行し，歯槽孔より骨中に入り，後上歯槽管中を通って前走する．本動脈は上顎洞粘膜，上顎骨，大臼歯，一部の小臼歯，これら臼歯部の歯肉に分布する．

353 高水準消毒 こうすいじゅんしょうどく
high-level disinfection
関連語 中水準消毒，低水準消毒
大量の芽胞がある場合を除き，すべての微生物を死滅させる処理である．粘膜または創のある皮膚に接触する治療用器具に必要である．

表：消毒レベルによる消毒薬の分類

	対象	消毒薬
高水準消毒	器機・器具	グルタルアルデヒド オルトフタルアルデヒド 過酢酸製剤
中水準消毒	生体	ポビドンヨード
	生体，環境	消毒用エタノール
	器機，環境	次亜塩素酸ナトリウム
低水準消毒	生体 器機・器具 環境	クロルヘキシジングルコン酸塩 ベンザルコニウム塩化物 ベンゼトニウム塩化物 アルキルジアミノエチル

（日本歯科医学会連合監修：エビデンスに基づく歯科診療における医療関連感染対策実践マニュアル．永末書店，2023，P19，表5より改変）

354 口底出血 こうていしゅっけつ
hemorrhage in the mouth floor
同義語 口腔底出血
インプラント埋入窩形成時に下顎舌側皮質骨を穿孔し，舌下動脈やオトガイ下動脈（あるいはそれら分枝）を損傷すると口底出血を引き起こす．顎下隙，舌下隙，オトガイ下隙に血液が貯留し，出血による血腫が増大し致死的な呼吸困難に陥ることもある．圧迫止血や血管結紮で止血できる場合もあるが，口腔内からの止血は困難な場合が多い．口底部の腫脹が発現して呼吸困難に陥るまでの時間が数分と速い場合もあるため，止血より気道確保を優先すべきである．経口もしくは経鼻的挿管，緊急時には気管切開が必要になる．対処が困難な場合は高次医療機関に搬送が求められる．搬送時には同乗し，搬送中に出血部位を圧迫止血することも必要である．

355 咬頭嵌合位 こうとうかんごうい
maximal intercuspal position
⇒195 下顎位

356 咬頭傾斜 こうとうけいしゃ
cusp inclination
臼歯の各咬頭を形成する斜面同士のなす角のこと．近遠心的および頰舌的な傾斜角がある．

357 広範囲顎骨支持型装置 こうはんいがっこつしじがたそうち
（適当な英語訳なし）
腫瘍，骨髄炎，外傷などにより生じた広範囲な顎骨・歯槽骨欠損あるいは顎裂などの先天性の骨欠損において，骨移植などにより再建された症例に対して応用されるインプラント体とアバットメントのこと．インプラント体埋入手術（一次手術）とアバットメント連結の際の軟組織の切除（二次手術）を総称して，広範囲顎骨支持型装置埋入手術という．広範囲顎骨支持型装置埋入手術後に行うインプラント上部構造の印象採得から装着までの一連の行為の総称を広範囲顎骨支持型補綴という．2012年4月1日から保険収載され，厚生労働省が定める施設基準に適合し地方厚生局などに届け出た保険医療機関においてのみ治療が可能である．

358 咬耗 こうもう
occlusal wear
関連語 摩耗
歯の咬合接触により生じるエナメル質や象牙質，また補綴装置の摩耗のこと．

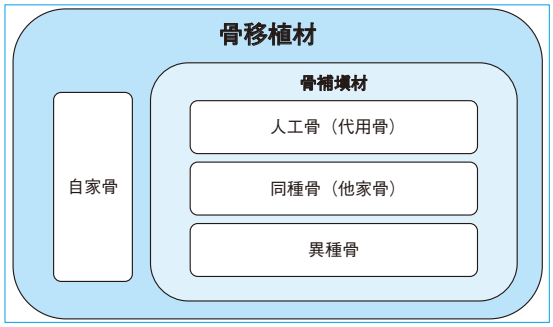
359 誤嚥 ごえん
aspiration
関連語 誤飲
液体または固体が誤って気管に入ってしまう状態をいう．気道防御反射が低下している場合には誤嚥してもむせないことがあり，肺炎を惹起することもある．すみやかな専門医の診察が必要である．

360 ゴシックアーチ描記法 ごしっくあーちびょうきほう
gothic arch tracing method
ゴシックアーチとは下顎の左右への前方および側方限界運動の軌跡を描記した図のことである．ゴシックアーチ描記法は下顎運動の記録法の一つであり，ゴシックアーチを参考として水平的下顎位の決定や診断を行う．口内描記法と口外描記法とがある．

361 骨萎縮 こついしゅく
bone atrophy
関連語 骨吸収
成育した骨の容量または骨基質が減少した状態をいう．全身的には加齢の際の老人性萎縮がある．一方，口腔局所では，歯の喪失によって起こる廃用萎縮と嚢胞の増大などによる圧迫萎縮が観察される．

362 骨移植 こついしょく
bone grafting
⇒ 63 移植〔術，法〕

363 骨移植材《体，片》 こついしょくざい《たい，へん》
bone graft(s)
関連語 移植〔術，法〕，自家骨移植，他家骨移植，骨補塡材
骨移植に用いられる移植材料の総称であり，大別すると自家骨と骨補塡材（人工骨，同種骨，異種骨）に分けられる．



図：骨移植材の種類

364 骨-インプラント接触率
こついんぷらんとせっしょくりつ
bone to implant contact ratio《rate》
同義語 BIC ratio
インプラント体の長軸方向中央部断面において，光学顕微鏡による観察で骨内のインプラント体表面と骨が接している割合（%）のこと．インプラント周囲の骨形成量の評価に用いられる．

365 骨壊死 こつえし
osteonecrosis
骨疾患，細菌感染，放射線治療，ビスホスホネート治療などの影響で，骨組織中の骨細胞が死ぬこと．基本的には，血液供給が阻害されることにより骨の一部が壊死する場合と，骨自体の変化によるものがある．診断では，エックス線検査，CT，MRI，骨シンチグラフィさらには病理組織学的検査，細菌学的検査など必要に応じて併用する．初期には骨の変化としては把握しにくいことがある．治療は原因の除去であるが，骨のリモデリング力も関与し，困難なことが多い．

366 骨塩 こつえん
bone mineral
骨基質の無機成分が骨塩である．骨塩はカルシウム，リン酸，炭酸などからなっている．主としてハイドロキシアパタイトの結晶の型で存在している．これらの骨塩は上皮小体ホルモン（パラソルモン），副腎皮質ホルモン，エストロゲン，カルシトニン，ビタミンDなどによって影響を受ける．

367 骨縁上付着組織 こつえんじょうふちゃくそしき
tissue attachment of supracrestal around dental implant
同義語 骨縁上付着装置
歯槽骨上の角化組織の線維の構造体のことをいう．天然歯ではセメント質に線維が封入され，緊密に付着している．インプラントの場合には，インプラント体あるいはアバットメントに接する軟組織をいう．接する軟組織には上皮組織と結合組織があり，両組織とも非炎症下で緊密に密着している．

368 骨塩量 こつえんりょう
bone mineral density
同義語 骨密度
骨のミネラル量をいい，一般的にカルシウムあるいはほかの基準物質に換算した量として非侵襲的に測定される．骨粗鬆症に代表される骨の代謝性疾患，カルシウム代謝異常の診断，経過観察，薬剤の効果判定などに有効である．

369 骨外逸脱 こつがいいつだつ
extra-osseous deviation
関連語 上顎洞穿孔
インプラント体が骨組織の外に逸脱すること．骨幅が狭小な上下顎前歯部や下顎骨内面の顎下腺窩で生じることがある．主にインプラント体埋入時に生じるが，埋入後でも骨結合が失われて生じる場合がある．

370 骨改造 こつかいぞう
bone remodeling
⇒ 427 骨リモデリング

371 骨界面 こつかいめん
bone interface，osseous interface
⇒ 90 インプラント界面，1026 表面性状

372 骨芽細胞 こつがさいぼう
osteoblast
分化した細胞で，骨形成にかかわり，アルカリホスファターゼ活性を有している．骨形成後は骨細胞として骨内にて機能する．

373 骨火傷 こつかしょう
bone burning
⇒ 409 骨熱傷

374 骨基質 こつきしつ
bone matrix
骨組織は骨基質からなり，骨基質は骨細胞と骨芽細胞から合成，分泌される．骨基質のタンパク質はコラーゲンと非コラーゲン性タンパク質で構成され，骨基質成分にリン酸カルシウムが沈着してハイドロキシアパタイトを作り，骨組織が形成される．

375 骨吸収 こつきゅうしゅう
bone resorption
関連語 骨リモデリング
古くなった骨が生理的に，または炎症などにより病的に骨組織が溶解されて失われること．生理的には骨モデリングや骨リモデリング時に観察される．主に破骨細胞が骨を吸収し，骨吸収作用あるいは骨吸収抑制作用を有する種々のサイトカインがこれを制御している．

376 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死
こつきゅうしゅうよくせいやくかんれんがっこつえし
antiresorptive agents-related osteonecrosis of the jaw
⇒ 45 ARONJ

377 骨切り術 こつきりじゅつ
osteotomy
関連語 スプリットクレスト法
骨を切って，骨の向きや形，関節のかみ合わせを調節することをいい，顎変形症の治療で行われる顎矯正手術などがあげられる．インプラント治療では，上下顎の前後的な位置異常の治療として用いられることがある．狭義には，スプリットクレスト法などで骨を分割する場合なども骨切り術が用いられる．

378 骨形成 こつけいせい
bone formation
関連語 骨伝導，骨誘導
未分化間葉系細胞が骨芽細胞に分化して直接骨組織を形成する膜性骨化と，未分化間葉系細胞が軟骨細胞に分化して骨に置換する軟骨内骨化の2様式がある．頭蓋骨，下顎骨は前者に属し，Ⅰ型コラーゲン，非コラーゲンタンパクにリン酸カルシウムアパタイト結晶が沈着して石灰化する．なお，骨形成は骨誘導，骨伝導を含め，骨を作ることすべての総称である．

379 骨形成因子 こつけいせいいんし
bone morphogenetic factor
関連語 BMP
間葉系細胞を活性化して骨形成を促進するタンパク質の総称である．代表的なものにBMPがある．

380 骨形成タンパク〔質〕 こつけいせいたんぱく〔しつ〕
bone morphogenetic protein
⇒ 995 BMP

381 骨形成不全症 こつけいせいふぜんしょう
osteogenesis imperfecta
Ⅰ型コラーゲンの異常により生じ，さまざまな程度の結合組織の病状を示し，骨の脆弱性から頻回の骨折，骨変形を生じる先天性の疾患である．原因としてⅠ型コラーゲンの量的，質的異常があげられる．インプラント治療のリスクファクターである．

382 骨結合 こつけつごう
osseointegration
同義語 オッセオインテグレーション
口腔インプラント学における骨結合とはオッセオインテグレーションのことをさす．一方，解剖学における骨結合は骨が骨質によって結合されていることを意味しており，学問領域間で意味が異なるので，注意が必要である．

383 骨原性細胞 こつげんせいさいぼう
osteogenic cell
骨芽細胞と骨細胞の由来となる原始間葉細胞であり，骨形成細胞に分化できる細胞の総称である．

384 骨硬化症 こつこうかしょう
osteosclerosis
骨の外形に変化はないが，硬組織成分の増加をきたした状態である．画像検査では不透過性の亢進として把握される．骨細胞，血管などに変化を伴うので，感染や外傷時の治癒に影響を生じうる．インプラント治療に関連して，オーバーヒートやオッセオインテグレーションへの影響，感染などが懸念される．

385 骨構造 こつこうぞう
bone structure
骨は，軟骨面を除いて結合組織よりなる骨膜に覆われ，表層の皮質骨（緻密骨）と内側の海綿骨よりなる．骨の中心部にある髄腔および海綿骨を構成する骨梁の間には造血に関与する骨髄が存在する．

386 骨採取 こつさいしゅ
bone harvest
骨造成などに必要な骨を取ることを意味する．骨採取は回転切削器具（各種バー，トレフィンバー）や超音波メス，骨ノミ，ボーンスクレイパーなどを使用して行われる．また，埋入窩形成時や骨削合の際に生じた骨片を採取するために吸引管内にフィルターを設置した骨片収集器も使用される．

387 骨再生 こつさいせい
bone regeneration
欠損した骨組織が新たに形成されることが骨再生であり，間葉系幹細胞が骨芽細胞に分化して骨を再生する．間葉系幹細胞の増殖・分化を誘導する因子として塩基性線維芽細胞増殖因子（bFGF）や骨形成因子（BMP）などの増殖因子の存在が知られている．

388 骨再生誘導法 こつさいせいゆうどうほう
guided bone regeneration
同義語 GBR〔法〕
骨の再生を目的として非吸収性，または吸収性のバリアメンブレンを骨欠損部に応用する方法である．骨欠損部に対して歯肉・歯槽粘膜由来の細胞の侵入を防ぐため細胞非通過性のバリアの設置を行い，骨の再生を引き起こすためにスペースメイキングを施す．新生骨が形成されるには数～6か月は必要とされる．

389 骨細片《砕片，削片》
こつさいへん《さいへん，さくへん》
bone debris，bone particulate，bone chip
細かく分けられた骨を骨細片という．顎骨を直接削合して採取したものを骨削片，破片状にしたものを骨砕片という．海綿骨が豊富な腸骨や脛骨内部から採取したものは海綿骨細片（PCBM）と呼ばれ，骨移植に用いられる．

390 骨細胞 こつさいぼう
bone cell，osteocyte
骨芽細胞が骨基質を分泌した後，骨小腔に埋没したものが骨細胞である．個々の骨細胞は骨細管内に細い突起を伸ばし，相互に結合しているとともに骨表面の骨芽細胞とも連続している．骨細胞の機能は，外部より加わる機械的刺激を感知して骨芽細胞や破骨細胞の機能を調整している．

391 骨質 こつしつ
bone quality
関連語 Lekholm & Zarb の分類，Misch の分類
骨密度とともに骨の強度に関与している因子で，骨梁の微細構造，石灰化度，コラーゲン線維などの構成成分の割合や質により規定される骨の性質のこと．

392 骨髄 こつずい
bone marrow
骨髄は，骨内部の骨髄腔を満たす組織であり，血液細胞を産生する造血組織である．骨髄組織は，造血機能を有する赤色の赤色骨髄と，加齢などにより脂肪に置換された黄色の黄色骨髄よりなる．成人においては，骨髄の大半は黄色骨髄であるが，胸骨，寛骨などでは赤色骨髄が残存している．

393 骨髄炎 こつずいえん
osteomyelitis
主に細菌感染により骨髄に生じる炎症で，急性骨髄炎と慢性骨髄炎よりなる．顎骨においては，上顎よりも下顎に多くみられ，骨の破壊や骨の硬化がみられる．

394 骨髄幹細胞 こつずいかんさいぼう
myeloid stem cell
骨髄に存在する造血幹細胞のことであり，好中球，好酸球，好塩基球および単球の基になる骨髄系幹細胞とリンパ球の基になるリンパ系幹細胞よりなる．

395 骨髄腔 こつずいくう
medullary cavity
⇒ 392 骨髄

396 骨性強直 こつせいきょうちょく
bone ankylosis
⇒ 47 アンキローシス

397 骨性結合 こつせいけつごう
osseointegration
現在では骨結合という用語が主に用いられている．
⇒ 175 オッセオインテグレーション

398 骨性の隔壁 こつせいのかくへき
bony septum
上顎洞内にしばしば認められる骨壁である．存在部位や高さは上顎洞により固有であり，上顎臼歯部のインプラント治療の手技や治療成績に関連する．

399 骨切除術 こつせつじょじゅつ
ostectomy
関連語 エレクトロサージェリー，超音波骨切削機器
超音波骨切削機器，回転切削器具やボーンソー，骨ノミなどを用いて，骨を外科的に切除，除去する手技のことをいう．

400 骨セメント こつせめんと
bone cement
常温重合レジンやリン酸カルシウム系セメントのこと．整形外科の領域で人工関節の固定や骨粗鬆症の圧迫骨折の補修に用いられる．歯科領域でも骨補填材として賦形性の良い骨セメントが使用されることがある．

401 骨増生 こつぞうせい
bone augmentation
関連語 骨造成
さまざまな手技を用いて水平的（幅），垂直的（高さ）に骨量を増やすこと．生物学的に骨細胞の増加を伴う骨組織の増加を特に骨増生といい，骨造成と区別する．骨増生によって得られた骨は増生骨という．

402 骨造成 こつぞうせい
bone augmentation
同義語 歯槽堤拡大術，歯槽堤増大術，歯槽堤増生，歯槽堤造成
関連語 骨増生
残存歯槽堤に対してさまざまな手技を用いて水平的（幅），垂直的（高さ）に骨量を増やす外科手技のこと．その目的により，骨移植術や骨再生誘導法，仮骨延長術や上顎洞底挙上術などの方法がある．歯槽堤増大術とも呼ばれる．造成した骨は生物学的な意味から増生骨と呼ばれる．

403 骨粗鬆症 こつそしょうしょう
osteoporosis
低骨量と骨組織の微細構造の異常を特徴とし，骨の脆弱性が増大し，骨折の危険性が増加する疾患である．

404 骨代謝回転 こつたいしゃかいてん
bone turnover
破骨細胞による骨吸収と，それに続く骨芽細胞による骨形成によって，骨リモデリングと呼ばれる骨の新陳代謝が局所的に繰り返されている．この新陳代謝のサイクルが骨代謝回転である．

405 骨単位 こつたんい
osteon
同義語 オステオン
関連語 ハバース管，ハバース層板
緻密質（皮質骨）の構成単位のことをいう．骨の内部を走るハバース管を中心に，同心円状に骨が形成した部位である．緻密骨は無数の骨単位で構成される．

406 骨伝導 こつでんどう
bone conduction，osteoconduction
関連語 骨形成，骨誘導
骨形成の中で，近接する骨組織からの細胞遊走により新たな骨組織が形成されること．つまり，周囲骨に連続して新たな骨が形成されることをいう．移植骨や骨伝導性のある生体材料は，新生血管や骨形成細胞の生着するスキャフォールドとなる．

407 骨内インプラント こつないいんぷらんと
endosseous implant
骨内に埋入するインプラントの総称である．インプラント体を上下顎の歯槽骨および基底部などに埋入し，その上に上部構造を製作する．

408 骨内固定〔源〕 こつないこてい〔げん〕
intraosseous anchorage
歯科領域においてはインプラントや固定用のピン，スクリューなどを歯槽骨あるいは基底骨内に維持を求めることを意味する．

409 骨熱傷 こつねっしょう
bone overheating
同義語 骨火傷
骨切削時に切削器具と骨との摩擦熱によって生じる骨の熱傷（火傷）のこと．骨の状態やバーの性状や回転数，注水などが関係する．47℃ 1分間で骨芽細胞は致命的な損傷を受けると言われている．

410 骨ノミ こつのみ
bone chisel
関連語 オステオトーム
骨を削除することを目的として使用するノミ状の器具の総称である．その形状から丸ノミ，角ノミ，両刃，片刃などに区別される．また骨切りにより歯槽部を矢状方向に分割する場合にも薄刃の骨ノミを用いる．

411 骨幅 こつはば
bone width
インプラント埋入部位における頰舌側的な幅のこと．インプラントの成功において重要な因子であり，一般にインプラント界面より頰舌的に 1 mm 以上骨幅が存在することが必要であると言われている．

412 骨粉砕器 こつふんさいき
bone mill
同義語 ボーンミル
採取した骨を粉砕する目的に使用する器具のこと．採取した自家骨を目的とする大きさの細片にするため，たとえば，インプラントの埋入と同時に自家骨移植を行うとき，採取した自家骨を骨粉砕器にて砕いて使用する．

413 骨片収集器 こつへんしゅうしゅうき
bone collector
同義語 ボーンコレクター
類義語 ボーンスクレイパー
ドリリングなどの骨削除を伴う処置において生じた骨片を吸引･収集するために使用する器具のこと．特にカンナのように骨の表面を削って収集するものをボーンスクレイパーという．

414 骨補塡材 こつほてんざい
bone substitute
関連語 人工骨，脱灰骨，骨移植材《体，片》
骨内の欠損部に空間保持もしくは骨再生のスキャフォールドとして利用される材料である．骨補塡材としては他家骨（同種骨，脱灰骨），異種骨，人工骨（代用骨）などに分類される．

415 骨膜 こつまく
periosteum
関節面以外の骨の表面を覆う密性結合組織性の膜で，豊富な血管や神経に富む組織である．外層の膠原線維と少量の弾性線維を含む線維層および骨芽細胞への分化能を有する骨原性細胞を含む骨形成層から構成される．

416 骨膜下インプラント こつまくかいんぷらんと
subperiosteal implant
骨面の印象採得を行い，石膏模型上で製作した金属製フレームワークを骨と骨膜・粘膜層の間に介在させるタイプのインプラントである．

417 骨膜性骨化 こつまくせいこっか
periosteal ossification
⇒1122 膜性骨化

418 骨膜剝離子 こつまくはくりし
periosteum elevator
⇒966 剝離子

419 骨膜反応 こつまくはんのう
periosteal reaction
病変の刺激により骨膜内層に骨が新生する現象であり，エックス線画像で観察できる．骨髄炎，悪性腫瘍，外傷，代謝性疾患などでみられる．

420 骨窓 こつまど，こつそう
bony window
上顎洞底挙上術における側方アプローチにおいて，上顎洞骨壁を削合し，除去もしくは内方に折り込んだ骨除去部を骨窓という．上顎洞底挙上術では窓状に開けた穴から上顎洞粘膜の剝離操作や移植材の塡入操作などを行う．

421 骨密度 こつみつど
bone density
単位体積あたりのミネラル量のこと．bone mineral density（BMD）として表現され，骨質とともに骨強度に関与し，骨強度の 70％を表すと言われる．スクリーニングとして CT 値（Hounsfield Unit）の評価や超音波診断が行われる．

422 骨モデリング こつもでりんぐ
bone modeling
関連語 骨リモデリング
骨の発育過程において，基本的な骨の外形が変わらずにその大きさが変化することを骨モデリングという．骨代謝では，しばしば骨リモデリングと対比して用いられる．

423 骨誘導 こつゆうどう
bone induction，osteoinduction
関連語 骨形成，骨伝導
骨形成細胞が生理的には存在しない組織において周囲細胞を骨芽細胞に分化させることによって新たな骨組織が形成されることをいう．

424 骨誘導因子 こつゆうどういんし
bone inducing factor
関連語 BMP
骨基質中に存在し，骨形成能を有するタンパクの

ことを骨誘導因子（BMP など）という．歯周組織再生治療やインプラント治療における骨造成への応用が図られている．

425 骨癒合 こつゆごう
bone union
連続性をもたない二つの骨の断端が，治癒過程で癒合し，骨の連続性をもつこと．骨折，骨移植，仮骨延長などでみられる．

426 骨由来成長因子 こつゆらいせいちょういんし
bone-derived growth factor
同義語 BDGF
細胞の増殖や分化を促進する成長因子のうち，骨組織由来の因子をいう．主に骨髄由来であり，BMP や TGF-β，bFGF，PDGF などが含まれる．

427 骨リモデリング こつりもでりんぐ
bone remodeling
同義語 骨改造
正常に発育した骨の外形には大きな変化を示さず，その内部で骨基質の吸収と添加が行われること．正常な骨代謝の一環である．骨リモデリングでは骨添加に先立ち骨吸収が先行する．緻密骨では骨単位（ハバース層板とハバース管からなる）が骨リモデリングの結果である．

428 骨隆起 こつりゅうき
bony ridge
骨の局所的過剰発育によって骨体の外側に生じる隆起のこと．外骨症の一つ．表面は正常粘膜で被覆され，骨隆起は緻密な層板骨の増殖からなる．硬口蓋の正中部で起こったものを口蓋隆起，下顎の舌側に局在する場合は下顎隆起と呼ぶ．

429 骨量 こつりょう
bone quantity
顎骨の外形などを総合的に評価するときに用いられ，骨質に対応する用語である．

430 骨梁 こつりょう
bone trabecula，trabecular bone
同義語 骨小柱
海綿骨に存在する骨基質で梁のような構造をしている．外力のかかる方向に応じて走行している．

431 骨梁構造 こつりょうこうぞう
bone trabecular structure
⇒ 430 骨梁

432 骨レベル こつれべる
bone level
同義語 ボーンレベル
歯またはインプラントを基準とした際の周囲骨の垂直的な高さの総称である．また，歯周外科治療やインプラント治療に際しても骨の垂直的な高さの表現に用いられる．

433 骨ろう こつろう
bone wax
⇒ 527 止血剤

434 固定性上部構造 こていせいじょうぶこうぞう
fixed implant-supported prosthesis
同義語 固定性インプラント支持補綴装置
類義語 固定性インプラント補綴装置
関連語 可撤性上部構造
インプラントにより支持される補綴装置のうち，インプラント体もしくはアバットメントにスクリューやセメントで固定するものである．

435 コニカルコネクション こにかるこねくしょん
conical connection
同義語 コニカルシールデザイン
関連語 テーパージョイント
インプラント体とアバットメントがテーパー形状で嵌合する連結形態のこと．インターナルコネクションの一つであり，連結部の適合精度を高めることでマイクロギャップを減らし，周囲からの細菌侵入などを防ぐことを主な目的とする．

436 コバルトクロム合金 こばるとくろむごうきん
cobalt-chromium alloy
生体材料としてのコバルトクロム合金は，コバルトを主成分として，クロム，モリブデンなどを含み，不動態化により耐食性を有する．弾性係数が高く硬質なので，金属床やインプラント上部構造のフレームに使用される．

437 コホート研究 こほーとけんきゅう
cohort study
同義語 要因対照研究
分析疫学における手法の一つで，特定の要因に曝露した集団と曝露していない集団を一定期間追跡し，研究対象となる疾病の発生率を比較することで，要因と疾病発生の関連を調査するものである．

438 固有歯槽骨 こゆうしそうこつ
proper alveolar bone
⇒ 551 歯槽骨

439 コラーゲン線維 こらーげんせんい
collagen fiber
細胞外マトリックスの主成分であるコラーゲンが束を形成して線維状になったものをいう．数 μm ～ 20 μm 程度の太さで，結合組織，関節靱帯，歯根膜，骨などの構成成分である．

440 コラーゲン膜 こらーげんまく
collagen membrane
関連語 バリアメンブレン
ブタやウシから抽出したコラーゲンの主な抗原部位であるテロペプチドを除去し，抗原性を低下させたアテロコラーゲンを利用して精製された吸収性の膜である．一般的に 4 ～ 6 週間で生体に吸収される．生体適合性に優れ，膜自体が組織内で一体化し，創部が安定する．テンドンコラーゲン（Tendon collagen）も同様にウシまたはブタの腱や皮から抽出される不溶性コラーゲンである．物理的強度があり，生体親和性に優れている．

441 コルチコトミー こるちことみー
corticotomy
皮質骨を切断することにより骨に可動性をもたせ，骨形態を修正する方法のこと．骨の移動に伴う歯の移動も可能となることで，矯正治療に主に用いられる．

442 コンタクトオステオジェネシス
こんたくとおすておじぇねしす
contact osteogenesis
関連語 オッセオインテグレーション，ディスタントオステオジェネシス
分化した骨芽細胞がインプラント体表面で，骨を徐々に形成・添加する治癒形態である．

443 コンタクトポイント こんたくとぽいんと
contact point
同義語 接触点
天然歯あるいは歯冠補綴装置において，近遠心に隣在する歯または補綴装置と接触する点あるいは不定形な面のこと．加齢により摩耗が起こり接触面積が増大するが，天然歯では生理的な近心移動が生じ適切な接触関係が保たれる．一方，インプラント支持の歯冠補綴装置では生理的な移動が生じないため，時間の経過とともに天然歯との適切な接触関係が失われることがあり，臨床上注意を要する．

444 コンピュータ骨造形 こんぴゅーたこつぞうけい
computer-generated bone modeling
類義語 光造形模型，塩造形模型，樹脂造形模型
関連語 3D プリンタ
ダイコムデータや STL データを用いてサージカルガイド，三次元骨模型などの造形を行うものである．3D プリンタによる積層造形法が行われている．

445 コンピュータ支援手術
こんぴゅーたしえんしゅじゅつ
computer-aided surgery（CAS）
関連語 ガイデッドサージェリー，ナビゲーション手術
コンピュータ・シミュレーションによって計画されたインプラント体埋入手術ならびに骨造成を行うにあたり，手術計画を実際の手術に反映させた方法をいう．具体的にはガイデッドサージェリーやナビゲーション手術が相当する．

446 コンピュータ支援設計／製造
こんぴゅーたしえんせっけい / せいぞう
computer-aided design/computer-aided manufacturing（CAD/CAM）
⇒ 263 CAD/CAM

447 コンピュータ・シミュレーション
こんぴゅーたしみゅれーしょん
computer simulation
関連語 ナビゲーション手術
口腔インプラントでは，専用ソフトウエアを用いて，画像上で埋入するインプラントの種類や埋入方向を検討することをいう．

448 コンピュータ断層撮影
こんぴゅーただんそうさつえい
computed tomography
⇒ 504 CT

449 コンプライアンス こんぷらいあんす
compliance
関連語 アドヒアランス
本来は法令遵守を意味するが，医療においては，医療者が患者に与えた指示や処方などに対して，患者が医療者の指示に従うことを意味する．

さ

450 サージカルガイドプレート
さーじかるがいどぷれーと
surgical guide plate
同義語　外科用ガイドプレート，サージカルステント，サージカルテンプレート，ドリルガイド
インプラント体埋入手術に使用するインプラント体の埋入位置・方向などを設定したプレートのこと．CT データを基に模型上あるいはコンピュータソフト上で製作され，口腔内への適合性や再現性が求められる．

451 サージカルステント　さーじかるすてんと
surgical stent
⇒ 450 サージカルガイドプレート

452 サージカルテンプレート
さーじかるてんぷれーと
surgical template
⇒ 450 サージカルガイドプレート

453 サージカルパック　さーじかるぱっく
surgical pack《dressing》
⇒ 538 歯周パック

454 サージカルリスク　さーじかるりすく
surgical risk
⇒ 594 手術危険度

455 細菌検査　さいきんけんさ
bacteria test
歯周炎やインプラント周囲炎の病態の把握や診断をする目的で行われる検査である．検査法としては，塗抹標本の作製，暗視野顕微鏡あるいは位相差顕微鏡による形態・機能的な分類による検査，細菌培養法，酵素反応を測定する方法，DNA プローブを用いる方法，ポリメラーゼチェーンリアクション（PCR）法による検査などがあげられる．

456 細菌性バイオフィルム
さいきんせいばいおふぃるむ
bacterial biofilm
⇒ 953 バイオフィルム

457 ザイゴマインプラント　ざいごまいんぷらんと
zygomatic implant
同義語　頬骨インプラント
上顎の骨量が不足している場合に，頬骨を利用して行うインプラントである．通常よりも長いインプラント体を使用する．骨移植を併用せずに行えるが，手術には熟練が必要である．

458 最終印象　さいしゅういんしょう
final impression
同義語　精密印象
関連語　印象用トレー
補綴装置を製作するために採得する印象のこと．インプラント上部構造製作のための最終印象には印象用コーピングが用いられる．精密印象材を用いて作業用模型を製作する従来からの方法に加え，口腔内スキャナーによる光学印象も臨床応用されている．

459 再植〔術，法〕　さいしょく〔じゅつ，ほう〕
replantation
抜去された歯を再度，元の歯槽窩に戻すこと．

460 再生医学　さいせいいがく
regenerative medicine
⇒ 461 再生医療

461 再生医療　さいせいいりょう
regenerative medicine
同義語　再生医学
臓器や組織の欠損あるいは機能障害，不全に陥った際に，その臓器や組織の機能回復を目指す医療をいう．

462 再石灰化　さいせっかいか
remineralization
正常に形成された歯が何らかの原因によりエナメル質の表層が脱灰された後，唾液中に含まれるリン酸カルシウムにより修復される現象をいう．

463 最大開口量　さいだいかいこうりょう
maximum mouth opening
関連語　開口障害
閉口位から最大開口位まで開口したときの上下顎中切歯切端間の距離のこと．

464 最大咬合力　さいだいこうごうりょく
maximum bite force
可能なかぎり強くかみしめた場合に，上下顎の咬

合面間に発現する力のこと．咀嚼能力との関連が深いことが知られており，顎口腔機能のパラメータの一つである．

465 サイトカイン さいとかいん
cytokine
細胞から放出され，細胞間情報伝達を担う物質である．細胞膜上にある受容体に結合して，生化学的あるいは形態学的な変化を引き起こす．インターロイキンやケモカイン，細胞増殖因子などさまざまな種類があり，上皮成長因子（EGF），線維芽細胞増殖《成長》因子（FGF），血小板由来成長因子（PDGF）などが知られている．

466 サイドスクリュー さいどすくりゅー
side screw
インプラント上部構造を固定する目的で，アバットメントを内冠，上部構造を外冠として，外冠軸面に開けられたアクセスホールからスクリューを連結する構造のこと．咬合面にスクリューが露出しないため咬合面形態に影響しない，装着材料が不要，術後のメインテナンスが容易などのメリットがあるが，適合には技工操作において非常に高い精度が求められる．

467 サイナスフロアエレベーション
さいなすふろあえれべーしょん
sinus floor elevation
⇒ 613 上顎洞底挙上術

468 サイナスリフト さいなすりふと
sinus lift
⇒ 613 上顎洞底挙上術

469 再付着 さいふちゃく
reattachment
切開または外傷により健全な歯根面から離断された歯肉結合組織が，再び歯根面に付着すること．

470 細片骨移植 さいへんこついしょく
particulate bone graft(s)，bone chips graft(s)
同義語 顆粒骨移植
関連語 移植〔術，法〕，骨細片《砕片，削片》
採取した骨片を細かく砕いた状態で行う移植のこと．細片骨移植のみではなく骨再生誘導法（GBR）を同時に応用し，移植部を覆うことで形態を整え，細片骨が流出しないようにすることもある．

471 細胞接着 さいぼうせっちゃく
cell adhesion
細胞同士の結合あるいは細胞と基質の結合をいう．臓器および組織は細胞同士が結合して機能を営んでおり，その形態学的あるいは機能的な接着様式により，アドヘレンスジャンクション，タイトジャンクション，デスモゾーム結合，ヘミデスモゾーム結合，ギャップジャンクション，フォーカルコンタクト，フォーカルアドヒージョンなどが存在する．これらの細胞接着にはカドヘリンやインテグリン，ヴィンキュリン，デスモグレインなどのさまざまなタンパク質が関与している．

472 細胞増殖《成長》因子
さいぼうぞうしょく《せいちょう》いんし
cell growth factor
⇒ 465 サイトカイン

473 細胞分化 さいぼうぶんか
cell differentiation
細胞ごとに遺伝情報が発現し，特定の形態や機能が生じること．たとえば重層扁平被覆上皮では基底細胞から有棘細胞，顆粒細胞，角質へと進むことをいう．また，前骨芽細胞がコラーゲンを分泌，石灰化を起こし，骨形成細胞に変化することなどをいう．

474 擦式手指消毒 さっしきしゅししょうどく
antiseptic hand rub
同義語 刷り込み式手指消毒
目に見える汚れ（汚物や油，体液など）がない状態で，60 ～ 95％アルコール（クロルヘキシジングルコン酸塩やベンザルコニウム塩化物などを含有するものもある）を用いて行う手指消毒法である．手指のすべての表面に手指消毒薬を塗布し十分に刷り込ませる．短時間（20 ～ 30 秒）で効果的に，微生物の数を減少させることができる．

475 サドルグラフト さどるぐらふと
saddle graft
同義語 J グラフト
関連語 オンレーグラフト
歯槽骨の骨造成を垂直的，水平的に行いたいときに，歯槽骨を馬の背中に見立てて鞍を載せるような形で骨を移植することをいう．

476 サファイアインプラント
さふぁいあいんぷらんと
sapphire implant
生体不活性セラミックスであるアルミナ単結晶

（いわゆる人工サファイア）のインプラント体のこと．形態的にはブレードやスクリューなどが存在し，日本では1980年代のインプラント治療において頻繁に用いられた．

477 サブジンジバルカントゥア
さぶじんじばるかんとぅあ
subgingival contour
関連語 エマージェンスプロファイル
インプラント上部構造やアバットメントにおけるインプラント周囲粘膜下における豊隆や角度などの形態のこと．

478 サブトラクションエックス線撮影法
さぶとらくしょんえっくすせんさつえいほう
subtraction radiography
同一の幾何学的条件で異なる時期に撮影された2枚のエックス線画像を引き算（サブトラクション）することにより，その間に生じた微細な骨の変化などを検出する方法である．

479 サブマージドインプラント
さぶまーじどいんぷらんと
submerged implant
⇒ 923 2回法インプラント

480 サベイング さべいんぐ
surveying
部分床義歯を設計するためにサベイヤーを用いて行う一連の操作のこと．作業用模型もしくは研究用模型を模型台に装着し，アナライジングロッドにより義歯の着脱方向を決定した後，カーボンマーカーと補強鞘を用いてサベイラインを描記する．その後，アンダーカットゲージによりクラスプ先端の位置を決定する．

481 サポーティブペリオドンタルセラピー
さぽーてぃぶぺりおどんたるせらぴー
supportive periodontal therapy
同義語 SPT，サポーティブペリオドンタルトリートメント，サポーティブ治療，サポーティブセラピー，歯周サポート治療，歯周支持療法
類義語 メインテナンス
歯周基本治療，歯周外科治療，修復・補綴治療により，病状安定となった歯周組織を維持するために，歯周治療の一環として行われる継続した治療である．プラークコントロール，スケーリング，ルートプレーニング，咬合調整などの治療が主体となる．

482 皿状吸収 さらじょうきゅうしゅう
saucer absorption
同義語 ソーサライゼーション
骨の欠損形態の俗称である．周囲の骨の高さに対し，中央部が陥凹し皿状を呈した骨の吸収状態の総称である．

483 酸エッチング さんえっちんぐ
acid etching
チタンインプラントの表面を強酸によりエッチングすることで，微小な凹凸を付与する方法である．また，サンドブラストを併用することにより，比較的大きな凹凸内に微小な凹凸を付与することができる．インプラント表面を粗面化することによりオッセオインテグレーションの獲得が良好になる．

484 酸化ジルコニウム さんかじるこにうむ
zirconium dioxide
⇒ 636 ジルコニア

485 酸化チタン さんかちたん
titanium dioxide
同義語 チタニア
チタンの酸化物のこと．チタンインプラントの表面に不動態膜として生成し，耐食性ならびにオッセオインテグレーションの獲得に貢献する．

486 酸化被膜 さんかひまく
oxide layer
類義語 不動態膜
金属の表面に薄く生成した酸化物の被膜のこと．

487 暫間インプラント ざんかんいんぷらんと
temporary implant
同義語 イミディエイトプロビジョナルインプラント，プロビジョナルインプラント
暫間補綴装置を支持するために期間を限定して使用されるインプラントのこと．一般に永続的に使用するインプラントよりも細い直径・構造をもつ骨内インプラントである．

488 暫間上部構造 ざんかんじょうぶこうぞう
temporary superstructure
同義語 プロビジョナルレストレーション，暫間補綴装置
類義語 暫間被覆冠，暫間ブリッジ，暫間義歯，プロビジョナルクラウン，プロビジョナルデンチャー
歯もしくは歯質の欠損を一時的に補い，最終的な

補綴歯科治療が実施されるまでの間，審美性や咀嚼，発音，嚥下などの口腔諸機能を維持，回復を図る装置のこと．比較的短期間の使用を前提とし，最終的な上部構造のための診断，設計にも用いられる．

489 暫間被覆冠 ざんかんひふくかん
provisional crown
⇒488 暫間上部構造

490 暫間補綴装置 ざんかんほてつそうち
temporary prosthesis
⇒488 暫間上部構造

491 三叉神経 さんさしんけい
trigeminal nerve
同義語 第Ⅴ脳神経
脳神経12対のうちの5番目の神経である．体性運動神経と知覚神経の混合神経である．脳幹の橋から出てすぐに眼神経，上顎神経，下顎神経に分かれる．

492 三叉神経痛 さんさしんけいつう
trigeminal neuralgia
三叉神経領域に激しい疼痛発作をきたす神経痛で，特発性のものと症候性のものとに分類される．トリガーポイント（発痛点）やトリガーゾーン（発痛帯）を触刺激することで数秒から数十秒間持続する電撃痛が起こる．疼痛発作と疼痛発作の間は全く無症状である．カルバマゼピンが奏効することが多い．眼窩上孔（第Ⅰ枝），眼窩下孔（第Ⅱ枝），オトガイ孔（第Ⅲ枝）部分はValleixの3圧痛点と呼ばれ，皮膚の上から押したときに生じる痛みにより，どの神経枝の領域に異常があるのかを知ることができる．

493 三次元CT画像 さんじげんしーてぃーがぞう
three-dimensional CT image（3D CT image）
同義語 3D CT
CTにより得られる三次元画像である．最近の医科用CTや歯科用コーンビームCTでは，体軸方向に連続的な二次元データを収集できるようになったため，任意間隔の再構成画像を作成することにより，多断面再構成法や最大値投影法，表面表示法，ボリュームレンダリングなどの高精度な三次元画像処理が可能である．

494 三次元〔的〕測定 さんじげん〔てき〕そくてい
three-dimensional measurement，coordinate measuring
物体などの三次元的座標値を検出し，物体の線長や角度などの計測を行うことをいう．具体的な物体の位置の検出には光学的プローブなどが，また，数値の計算にはコンピュータが用いられる．

495 三点曲げ試験 さんてんまげしけん
three-point bending test
関連語 曲げ強さ
試験片の両端を2点で支え，中央の上部から荷重を加えて変形や破壊時の強さ（曲げ強さ）を測定する試験のこと．

496 サンドブラスト さんどぶらすと
sandblast
関連語 表面処理
圧搾空気によりノズルからアルミナ，ガラスなどの研磨粒子を吹き付け，材料表面を加工する方法である．チタンインプラントの表面の粗面処理に使用される．

し

497 GI じーあい
gingival index
⇒570 歯肉炎指数

498 CEJ しーいーじぇー
cement-enamel junction
⇒732 セメントエナメル境

499 CAS しーえーえす
computer-aided surgery
⇒445 コンピュータ支援手術

500 COPD しーおーぴーでぃ
chronic obstructive pulmonary disease
⇒1128 慢性閉塞性肺疾患

501 CGF しーじーえふ
concentrated growth factors
⇒303 血液由来成長因子

502 GCF じーしーえふ
gingival crevicular fluid
⇒572 歯肉溝滲出液

503 CJD しーじぇーでぃ
Creutzfeldt-Jakob disease
⇒ 292 クロイツフェルト・ヤコブ病

504 CT しーてぃー
computed tomography
同義語 コンピュータ断層撮影，CT スキャン，MDCT
関連語 エックス線 CT，CT 値，歯科用コーンビーム CT
エックス線などを用い，三次元的物体を走査してその位置情報とボクセルに特定の値（CT 値）を演算処理し，非破壊的に内部構造を再構成して表示する技術，あるいはその目的をもった装置をいう．汎用的に CT 値は内部構造の構成要素を想定する目的に用いられ，有用性が高い．歯科用コーンビーム CT（CBCT）をこの範疇に包含することがある．

505 GTR〔法〕 じーてぃーあーる〔ほう〕
guided tissue regeneration
⇒ 778 組織再生誘導〔法〕

506 CT 値 しーてぃーち
computed tomography value
同義語 ハンスフィールド値
関連語 CT
水のエックス線吸収係数を基準として CT 値は〔(組織の減弱係数－水の減弱係数)／水の減弱係数〕×定数で定義される．CT 値の単位には HU（Hounsfield Unit）を使用する．エックス線の吸収率は物質によって異なることから，任意のボクセルの物質の推定や物質の変化を推定することが可能となる．

507 GBR〔法〕 じーびーあーる〔ほう〕
guided bone regeneration
⇒ 388 骨再生誘導法

508 CPTi しーぴーちたん
commercially pure titanium
⇒ 833 チタン

509 J グラフト じぇーぐらふと
J graft
⇒ 475 サドルグラフト

510 シェードガイド しぇーどがいど
shade guide
色調選択のための色見本のこと．人工歯，前装材料，成形修復材料，義歯床用レジン，顔面補綴装置の皮膚色材料などを選択する際に用いられる．

511 シェフィールドテスト しぇふぃーるどてすと
Sheffield test
⇒ 973 パッシブフィット

512 哆開 しかい
wound dehiscence
同義語 創哆開
手術併発症の一つで，閉創した部位が，術後，何らかの理由で開き，広がっている状態をいう．

513 自家《自己》移植〔術，法〕
じか《じこ》いしょく〔じゅつ，ほう〕
autologous grafting
⇒ 63 移植〔術，法〕，516 自家骨移植

514 自家移植材 じかいしょくざい
autograft(s)
⇒ 63 移植〔術，法〕，516 自家骨移植

515 歯科インプラント しかいんぷらんと
dental implant
関連語 口腔インプラント
広義の意味（医科と歯科の二元論）では，歯科が取り扱うインプラントのこと．狭義の意味では，インプラント支持の補綴治療のことで，デンタルインプラントともいう．

516 自家骨移植 じかこついしょく
autogenous bone graft(s)，autogenous bone transplantation
関連語 移植〔術，法〕，他家骨移植
患者自身から採取された骨を使用して，骨欠損を補うこと．海綿骨細片を使用する場合と，ブロック骨として使用する場合がある．移植部位の母床骨との生着がよく，骨欠損修復材料としては最適であるが，採取部位に侵襲が加わること，採取量に限界があることが欠点となる．

517 歯科用コーンビーム CT
しかようこーんびーむしーてぃー
dental cone-beam CT
同義語 CBCT
歯科用コーンビーム CT は，エックス線管と二次元検出器が対向し，エックス線を円錐状（コーン状）に照射することにより，二次元データを取得する．そのため，エックス線管と対向する検出器が 1 回転

することで，三次元画像の作成が可能である．利点として，①解像度（空間分解能）が高い，②被曝線量が少ない，③撮影時間が短い，④金属によるアーチファクトが目立たない，⑤軽量で設置面積が小さい，があげられる．

518 歯間鼓形空隙 しかんこけいくうげき
embrasure
関連語 ブラックトライアングル
隣接する歯のコンタクトポイントを中心に現れる三角垂形の空隙のこと．その部位から，咬合面（上部）鼓形空隙，歯頸（下部）鼓形空隙などに分類される．歯周疾患や加齢変化などにより歯頸（下部）鼓形空隙の歯間乳頭が退縮した状態は，いわゆるブラックトライアングルと呼ばれ，審美的に問題を生じる．

519 歯冠歯根比 しかんしこんひ
crown-root ratio
同義語 クラウン-インプラント比
補綴装置の力学的な支持能力評価指標の一つである．一般的には，顎骨の歯槽窩から突出している部分を歯冠とし，歯槽窩内の部分を歯根として，それぞれの長さの比を歯冠歯根比という．インプラントにおいては，同様の指標としてクラウン - インプラント比（crown-implant ratio）が知られている．歯冠歯根比が大きな（歯根に比べ歯冠が長い）天然歯またはインプラントでは歯冠部への側方力が顎骨内への大きな応力となるため臨床的対応が必要となる．

520 歯間乳頭 しかんにゅうとう
interdental papilla
類義語 乳頭部歯肉
歯の両隣接面のコンタクトポイントの下方の三角形の歯肉，隣在する歯の歯間鼓形空隙を埋めている歯間部の歯肉をいう．この歯肉は，歯の隣接面の幅，コンタクトポイントの位置，歯間部の骨形態などにより形態が異なる．隣接面の広い大臼歯部では，頰側・舌側の二つにピークをもち，その中間がコルと呼ばれる陥凹部になっている．

521 歯間乳頭保存術 しかんにゅうとうほぞんじゅつ
papillae preservation flap surgery
同義語 パピラプリザベーションフラップ手術，乳頭保存フラップ手術
歯周外科治療において歯間部歯肉を保存することで，術前の歯間乳頭の形態を極力保存する手術法である．具体的には，歯肉溝内切開を口蓋側（舌側）の歯間乳頭部まで延長し，歯間乳頭部を保存した状態で，唇（頰）側歯肉弁を形成する．

522 歯間ブラシ しかんぶらし
proxy brush
同義語 インターデンタルブラシ，歯間清掃ブラシ
コンタクトポイント下の歯間部隣接面の清掃用具の一つである．中心のワイヤーからブラシが放射状に配列されている．一般にブラシ部分が円錐状のものが多く，歯間部の大きさに合わせた毛束の長さの異なる数種類のサイズがある．インプラントの表面の損傷を避けるため中心部のワイヤーがプラスチックでコーティングされている場合もある．

523 磁気共鳴画像 じききょうめいがぞう
magnetic resonance imaging（MRI）
⇒ 160 MRI

524 死腔 しくう
dead space
無駄な，あるいは意味のない空間や間隙のこと．生体組織に実質欠損が生じた場合の欠損空隙などをいう．死腔には出血や滲出液が貯留し，細菌増殖の場となり，感染を惹起する場合があるので注意が必要である．

525 止血鉗子 しけつかんし
hemostat
手術時に血管を結紮する目的で，血管を挟むために用いられる器具である．モスキート，ペアン，コッヘルなどがある．狭い口腔内ではモスキートが用いられることが多い．

526 止血機能検査 しけつきのうけんさ
hemostatic function test
止血機能には，血管壁，血小板，凝固因子，線溶系が関与する．止血機能のスクリーニング検査として，毛細管抵抗試験，出血時間，凝固時間，血小板数と機能，APTT（活性部分トロンボプラスチン時間），PT（プロトロンビン時間），フィブリノゲン，FDP（フィブリン／フィブリノゲン分解産物）などの測定が行われる．

527 止血剤 しけつざい
hemostatic agent
関連語 止血法
止血のために用いられる薬剤のこと．ゼラチン，トロンビン，ビタミン K，カルシウム製剤などがある．骨からの出血には骨ろう（ボーンワックス）が

用いられる．

528 止血法 しけつほう
hemostasis
関連語 止血剤
出血への対処法である．一時的止血法と永久的止血法がある．前者には指圧法，圧迫法，塞栓法などが，後者には血管結紮法，挫滅法，焼灼法などがある．骨出血には，挫滅法や塞栓法を用いる．さらに全身的，局所的止血剤を併用する場合もある．

529 自己免疫疾患 じこめんえきしっかん
autoimmune disease
免疫系が内因性抗原に対する自己抗体を作り出すことで起こる疾患の総称である．関節リウマチや膠原病などの全身性自己免疫疾患と，重症筋無力症などの臓器特異的疾患の２種類に分けることができる．治療にはステロイドホルモンが用いられることが多く，その副作用として易感染性，骨粗鬆症，二次的な副腎皮質不全などがあり，インプラント治療のリスクファクターとなる．

530 歯根型インプラント しこんがたいんぷらんと
root form implant
現在主流となっている骨内インプラントの形態である．構造はインプラント体とアバットメントの二つの部品で構成され，一体型も存在する．材料はチタン製がほとんどで，表面にはさまざまな手段によって粗面が付与されたり，生体材料によるコーティングなどが行われている．いずれもオッセオインテグレーションを積極的に獲得するよう工夫されている．

531 歯根吸収 しこんきゅうしゅう
root resorption
歯根のセメント質および象牙質の吸収をいう．セメント質に接する破歯細胞によって行われる．歯根膜を介さず骨組織と歯根が接し，骨組織のリモデリングにより，歯根が骨組織に置換されることを置換性吸収という．また，歯根膜のない部位でセメント質が吸収されると，象牙細管が露出し，失活歯などの歯髄腔より放出された細菌により炎症が惹起し，歯根吸収が起こることを炎症性吸収という．

532 歯根膜 しこんまく
periodontal ligament
同義語 歯周靱帯
歯槽骨とセメント質の間に介在している線維性結合組織である．歯根膜には主線維と呼ばれるコラーゲン線維が豊富に存在し，その両端はセメント質と歯槽骨にシャーピー線維となって埋入され，歯に加わるさまざまな方向の力に対応するように機能配列している．

533 支持歯槽骨 ししそうこつ
supporting alveolar bone
⇒ 551 歯槽骨

534 歯周形成手術 ししゅうけいせいしゅじゅつ
periodontal plastic surgery
同義語 歯肉歯槽粘膜形成術
小帯の高位付着，付着歯肉幅の不足，口腔前庭の狭小，歯根面露出などの歯肉歯槽粘膜部位の形態異常を改善するための歯周外科手術の総称である．インプラント周囲軟組織に対しても同様の目的で行われる．歯肉歯槽粘膜形成術と同義語であり，歯肉弁根尖側移動術，歯肉弁歯冠側移動術，歯肉弁側方移動術，口腔前庭拡張術，遊離歯肉移植術，遊離結合組織移植術がある．

535 歯周支持療法 ししゅうしじりょうほう
supportive periodontal therapy
⇒ 481 サポーティブペリオドンタルセラピー

536 歯周靱帯 ししゅうじんたい
periodontal ligament
⇒ 532 歯根膜

537 歯周バイオタイプ ししゅうばいおたいぷ
periodontal biotype
同義語 バイオタイプ
頬側歯肉の厚さおよび形状を示す．歯周バイオタイプは厚いタイプ（thick-flat）と薄いタイプ（thin-scallop）に分類される．歯周バイオタイプを評価することにより，歯周外科の難易度，支台歯形成時の形成限界の位置決定，術後および長期経過における歯肉退縮のリスクを判定することが可能である．

538 歯周パック ししゅうぱっく
periodontal pack
同義語 サージカルパック，歯周包帯《包塡剤，包塡材》，ペリオドンタルドレッシング
歯周外科手術後の創傷部を保護するために使用する材料である．後出血の防止，術後の不快感・疼痛の緩和，感染の防止，象牙質知覚過敏，肉芽組織の過剰増殖の抑制，術後における動揺歯の固定，歯肉弁の固定，咀嚼中における外傷の防止などが期待される．代表的なものとして，ユージノール系と非ユー

ジノール系のものがある．

539 歯周病原細菌 ししゅうびょうげんさいきん
periodontopathic bacteria
歯周病やインプラント周囲炎の発症・進行に関与するとされるグラム陰性嫌気性の細菌の総称である．特に，*Aggregatibacter actinomycetemcomitans* は侵襲性歯周炎に，red complex と称される *Porphyromonas gingivalis*，*Tannerella forsythia*，*Treponema denticola* の 3 菌種は慢性歯周炎の進行や発症に強くかかわると言われている．

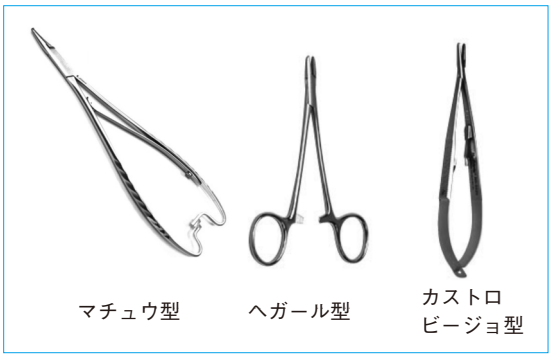
540 歯周プローブ ししゅうぷろーぶ
periodontal probe
同義語 ポケット探針
歯肉溝，歯周ポケットやインプラント周囲溝の深さを測定するための器具で，根面の触知により歯根面の状態を把握することにも用いる．挿入圧は 0.2 ～ 0.3 N が適切とされている．インプラント周囲溝の測定にはプラスチック製プローブを使用することもある．

541 歯周包帯《包塡剤，包塡材》
ししゅうほうたい《ほうてんざい》
periodontal dressing
⇒538 歯周パック

542 歯周ポケット ししゅうぽけっと
periodontal pocket
類義語 真性ポケット
歯と歯肉の間の溝（歯肉溝）が病的に深くなったものである．歯肉縁からポケット底部までの深さを，歯周プローブを用いて測定し，歯周病の進行度を診断する．通常の歯肉溝の深さは 0.5 ～ 2 mm 程度であるが，4 mm 以上の深さになり，歯周ポケットが形成された場合は病的な状態である．

543 矢状顆路 しじょうかろ
sagittal condylar path
下顎頭（顆頭）の運動経路である顆路を矢状面に投影したものである．前方滑走運動時における顆路を矢状前方顆路といい，側方滑走運動時における非作業側下顎頭の顆路を矢状側方顆路という．またフランクフルト平面などの水平基準面と矢状顆路がなす角度を矢状顆路傾斜角と呼ぶ．

544 持針器 じしんき
needle holder
手術時の創の縫合などの際，縫合針を把持する器具のこと．縫合針の保持部，連結部，把持部から構成される．把持部の形態によりマチュウ型，ヘガール型，カストロビージョ（カストロビエホ）型に分類される．



図：持針器

545 歯髄幹細胞 しずいかんさいぼう
dental pulp stem cells
関連語 間葉系幹細胞，脂肪幹細胞
象牙質に囲まれた歯髄組織内に存在する間葉系幹細胞である．歯髄組織内では線維芽細胞や象牙芽細胞に分化する．骨髄の間葉系幹細胞と同様に，自己複製能と中胚葉系の細胞への多分化能をもつ．

546 システマティックレビュー
しすてまてぃっくれびゅー
systematic review
医療文献を徹底的に調査し，ランダム化比較試験（RCT）のような質の高い研究のデータを限りなく偏りを除き，分析を行うこと．EBM（根拠に基づいた医療）で用いるための客観性の高い情報の収集と検証を行う調査である．

547 CIST しすと
cumulative interceptive supportive therapy
⇒1183 累積的防御療法

548 磁性アタッチメント じせいあたっちめんと
magnetic attachment
同義語 マグネットアタッチメント
関連語 アタッチメントシステム，バーアタッチメント，ボールアタッチメント，ロケーターアタッチメント
磁力を維持に利用した支台装置のこと．現在市販されているものは希土類磁石をステンレス製のヨークで被覆したものが多い．支台歯やインプラント体に装着されるキーパーと吸着することで義歯の維持

力を発現する．オーバーデンチャーの支台装置のためにアタッチメントとして設置されることが多い．

549 歯石 しせき
calculus
類義語 歯肉縁下歯石，歯肉縁上歯石
プラークがリン酸カルシウムを主成分とし石灰化したものである．無機質が約90％，有機質が約10％である．歯石の形成は唾液腺からの分泌も影響しているため，下顎前歯部の舌側，上顎第一大臼歯の頰側などの大唾液腺開口部に近接して認められることが多い．歯石はプラークリンテンションファクターとして二次的に歯周組織に影響を及ぼす．

550 自然孔 しぜんこう
semilunar hiatus
⇒ 986 半月裂孔

551 歯槽骨 しそうこつ
alveolar〔bone〕crest
歯根の周囲を取り巻く骨を歯槽骨という．歯槽骨は固有歯槽骨と支持歯槽骨に分けられる．固有歯槽骨は歯根膜に接している緻密骨で，束状骨と層板骨に分けられる．束状骨には，主線維が埋没しており，埋没した主線維がシャーピー線維である．支持歯槽骨は固有歯槽骨を除く歯槽骨の部分で，固有歯槽骨を支持している．

552 歯槽骨延長術 しそうこつえんちょうじゅつ
alveolar distraction osteogenesis
⇒ 216 仮骨延長術

553 歯槽骨吸収 しそうこつきゅうしゅう
alveolar〔bone〕resorption
同義語 歯槽骨喪失
関連語 歯槽骨，骨吸収
歯槽骨にみられる骨吸収のこと．生理的または病的な吸収がある．病的な吸収は主として垂直性骨吸収および水平性骨吸収に分類される．

554 歯槽骨頂 しそうこっちょう
alveolar〔bone〕crest
類義語 歯槽縁，歯槽稜
関連語 歯槽頂
歯根を入れる歯槽の自由縁（歯槽縁）で，歯槽突起の内板・外板の緻密骨（皮質骨）と線維骨と層板骨からなる固有歯槽骨との接点（頂部）である．

555 歯槽頂 しそうちょう
alveolar ridge crest
歯槽突起（上顎）あるいは歯槽部（下顎）において，歯の喪失後に生じる骨改造によって鞍状を呈した顎堤粘膜の頂上のこと．

556 歯槽頂アプローチ しそうちょうあぷろーち
alveolar crest approach
⇒ 557 歯槽頂切開

557 歯槽頂切開 しそうちょうせっかい
alveolar crestal incision
同義語 歯槽頂アプローチ
上顎骨歯槽突起・下顎骨歯槽部の骨稜または歯が欠損した部分における歯槽堤頂部の切開のこと．

558 歯槽堤 しそうてい
alveolar ridge
⇒ 209 顎堤

559 歯槽堤拡大術 しそうていかくだいじゅつ
alveolar ridge enhancement
⇒ 402 骨造成

560 歯槽堤形成術 しそうていけいせいじゅつ
alveolar ridge plastics
萎縮した歯槽堤を補綴治療やインプラント治療が有利に行えるように形成する手術法の一つである．口腔前庭や舌側の可動性軟組織を切り下げて形成する相対的歯槽堤形成術と，骨移植などで骨高径を高める絶対的歯槽堤形成術とがある．インプラント治療では，前者は角化付着粘膜（非可動粘膜）の獲得に，後者はインプラント体埋入部の骨量獲得に用いられる．

561 歯槽堤整形 しそうていせいけい
orthopaedics of alveolar ridge
⇒ 211 顎堤整形

562 歯槽堤増生 しそうていぞうせい
alveolar ridge augmentation
⇒ 402 骨造成

563 歯槽堤造成 しそうていぞうせい
alveolar ridge augmentation
⇒ 402 骨造成

564 歯槽堤幅〔径〕 しそうていふく〔けい〕
alveolar ridge width
⇒ 209 顎堤

565 歯槽突起 しそうとっき
alveolar process
上顎骨における歯が釘植している歯槽窩を取り巻く骨である．

566 歯槽部 しそうぶ
alveolar part
下顎骨における歯が釘植している歯槽窩を取り巻く骨である．

567 自動体外式除細動器
じどうたいがいしきじょさいどうき
automated external defibrillator（AED）
⇒ 140 AED

568 歯内骨内インプラント
しないこつないいんぷらんと
endodontic endosseous implant
天然歯根を貫通し，骨内にまで到達しているインプラントのこと．歯周病などで歯が動揺している場合に，インプラントを利用して固定する歯の延命処置であったが，現在ではほとんど行われていない．

569 歯肉炎 しにくえん
gingivitis
同義語 辺縁性歯肉炎
類義語 プラーク性歯肉炎，単純性歯肉炎，妊娠性歯肉炎，壊死性潰瘍性歯肉炎
歯周病の一つで，付着の喪失や歯槽骨吸収を伴わない，歯肉に限局した炎症である．プラークや歯石，歯列不正などの局所的な原因と，ホルモンの変調，内分泌異常などの全身的要因がある．歯周炎とは異なり，炎症が歯槽骨，歯根膜などに及んでいないため，原因の除去により健康な歯周組織へと治癒をする．

570 歯肉炎指数 しにくえんしすう
gingival index
同義語 GI
歯肉の炎症の程度を表す指数で，1963 年に Löe と Silness により提唱された．歯面を 4 面（頰・唇側面，舌・口蓋側面，近心面，遠心面）に分け，4 段階のスコアで判定する．

571 歯肉縁切開 しにくえんせっかい
crestal incision
関連語 歯肉溝内切開
歯周外科手術のフラップ手術に応用される代表的な切開法で，歯肉辺縁部より歯槽骨頂部に向けて内縁上皮を含むように内斜切開する．主に付着歯肉幅の少ない部位や審美的領域に適応される．

572 歯肉溝滲出液 しにくこうしんしゅつえき
gingival crevicular fluid
同義語 GCF
上皮を通過して周囲組織から歯肉溝に滲出してくる組織液のこと．炎症の亢進によってその量が増加する．歯周組織の健康状態と関連するさまざまな細菌成分，細菌由来成分および生体由来成分を含む．

573 歯肉溝内切開 しにくこうないせっかい
intracrevicular incision
関連語 歯肉縁切開
歯周ポケット内（歯肉溝）から根尖方向に行う切開法である．術後の付着歯肉の幅がほとんど変化しないことから，審美性に優れ，付着歯肉幅の少ない症例にも応用できる．
反面，深い歯周ポケットなどでは，内縁上皮の残存の可能性がある．

574 歯肉歯槽粘膜移行部《境》
しにくしそうねんまくいこうぶ《きょう》
mucogingival junction
同義語 MGJ
非可動性・角化性の歯肉と可動性・非角化性の歯槽粘膜が移行・境界する部分のこと．インプラント周囲組織にも可動粘膜と非可動粘膜の移行部が存在し，非可動部の狭小はインプラント周囲粘膜炎の発現との関連相関が指摘されている．

575 歯肉歯槽粘膜形成術
しにくしそうねんまくけいせいじゅつ
mucogingival surgery
⇒ 534 歯周形成手術

576 歯肉整形 しにくせいけい
gingivoplasty
歯肉の形態異常を生理的な歯肉形態に改善すること．審美的な改善，機能的な改善を目的とする．

577 歯肉切除術 しにくせつじょじゅつ
gingivectomy
切除療法に分類される歯周外科手術であり，歯肉

炎による仮性ポケットや線維性歯肉増殖症あるいは軽度歯周病の浅い骨縁上ポケットに適応され，歯周ポケットの除去や減少を目的としている術式である．

578 歯肉退縮 しにくたいしゅく
gingival recession
辺縁歯肉がセメントエナメル境より根尖側方向へ退行することで歯根面が露出した状態である．歯周炎による付着の喪失や，咬合性外傷，加齢による変化，過度のブラッシング圧などの機械的刺激によって生じる．露出した根面は，象牙質知覚過敏や根面齲蝕が生じやすくなる．歯周形成手術により根面被覆が可能な場合もある．

579 歯肉剝離子 しにくはくりし
gingival raspatory
⇒ 966 剝離子

580 歯肉付着〔部〕 しにくふちゃく〔ぶ〕
gingival attachment
歯肉が歯に付着している部位を歯肉付着部という．生理的にはセメントエナメル境を挟んでエナメル質側に上皮が，セメント質側に結合組織が付着するが，歯周病の進行などにより歯肉が退縮した場合には，歯肉付着も根尖側に移動する．インプラントにも類似した付着がみられるが，天然歯に比べて付着が脆弱である．

581 歯肉弁 しにくべん
gingival flap
同義語 フラップ
歯肉が手術により周囲の組織から切り離されて弁状になり（フラップ），可動性となったものをさす．骨膜を含め歯肉全層を剝離して形成された歯肉弁を粘膜骨膜弁（全層弁）といい，骨膜を骨面上に残して上皮と結合組織の一部のみを剝離して形成された歯肉弁を粘膜弁（部分層弁）という．基底部も含めて周囲の組織から完全に切り離された歯肉を遊離歯肉弁，基底部を残した場合を有茎弁という．

582 歯肉弁根尖側移動術
しにくべんこんせんそくいどうじゅつ
apically positioned flap operation
⇒ 534 歯周形成手術

583 歯肉弁歯冠側移動術
しにくべんしかんそくいどうじゅつ
coronally repositioned flap surgery
⇒ 534 歯周形成手術

584 歯肉弁側方移動術
しにくべんそくほういどうじゅつ
laterally repositioned flap surgery
⇒ 534 歯周形成手術

585 脂肪幹細胞 しぼうかんさいぼう
adipose-derived stem cells
関連語 間葉系幹細胞，歯髄幹細胞
脂肪組織中に存在する間葉系幹細胞である．骨髄の間葉系幹細胞と同様に，自己複製能と中胚葉系の細胞への多分化能をもつ．

586 脂肪髄 しぼうずい
fatty marrow
同義語 黄色髄，黄色骨髄
骨髄において，本来の生理的な働きを担っている血球系や間葉系幹細胞がその機能を失い，脂肪組織に置き換えられたもので，黄色骨髄ともいう．骨髄が脂肪髄化すると，骨量は減少し，骨密度は低下するとされる．

587 シミュレーションソフトウエア
しみゅれーしょんそふとうえあ
simulation software
擬似画像をコンピュータ画面上に形成するプログラム一般をいう．インプラント治療に関しては，解剖学的な構造を画面に投影し，顎骨形態の立体的検査や上部構造においてインプラント体の埋入位置・方向などを診断する作業に利用される．

588 射出成形 しゃしゅつせいけい
injection molding
熱可塑性樹脂や金属，ガラスなどの材料を，高温・高圧・高速で型内へ充填する成形法である．歯科では，材料にはポリカーボネート，ポリスルフォン，アクリルなどの熱可塑性樹脂やガラスが利用される．また型材には石膏が用いられる．

589 斜切開法 しゃせっかいほう
bevel incision
関連語 内斜切開
メスや外科用ナイフ，電気メスなどにより歯肉や歯槽粘膜に斜めに切開を加える方法のことで，これにより歯肉や歯槽粘膜の厚みは減少する．歯肉外側

の根尖側から歯冠側へ斜めに加える切開を外斜切開といい，歯肉切除術や歯肉整形術などのときに用いられる．歯肉辺縁のやや根尖側より歯槽骨頂に向けて行う切開を内斜切開という．

590 遮断膜 しゃだんまく
barrier membrane
⇒984 バリアメンブレン

591 集学的治療 しゅうがくてきちりょう
multidisciplinary treatment
複数の異なる分野の診療科が協力して統合的に行う治療である．

592 周術期管理 しゅうじゅつきかんり
perioperative management
術前，術中，術後を通じた患者管理で，術前検査をはじめ，手術計画，術中のモニタを含めた麻酔管理，感染防止，疼痛管理を含めた術後管理などからなる．

593 縦断〔的〕研究 じゅうだん〔てき〕けんきゅう
longitudinal study
関連語 横断〔的〕研究
統計学的調査・解析を伴う科学的な量的研究法の一つである．同一の対象者を，時間軸に沿って定期的，継続的に追跡調査する研究方法である．長期において行うため，連続性や安定性を観察できるが，労力や費用が大きくなる．横断的研究と対比して用いられる．

594 手術危険度 しゅじゅつきけんど
surgical risk
同義語 サージカルリスク
関連語 physical status
手術に伴う危険度のこと．
⇒1031 physical status

595 出血時間 しゅっけつじかん
bleeding time
関連語 止血機能検査，出血性素因
止血機能検査の一つである．血小板数の減少や機能低下，血管壁の脆弱性の存在などにより異常を示すが，臨床的には血小板機能のスクリーニング検査としての意義が大きい．血小板無力症，非ステロイド性消炎鎮痛薬（NSAIDs）や抗血小板薬内服などが測定値に影響する．耳朶を用いたDuke法が一般に用いられる．基準値：2～5分．

596 出血性素因 しゅっけつせいそいん
hemorrhagic diathesis
類義語 出血傾向
種々の疾患や薬物などが原因となり，止血機序が破綻し出血を起こしやすい状態のことをさす．血管壁，血小板，凝固因子，線溶系などの異常が関与している．出血傾向ともいう．

597 術後管理 じゅつごかんり
postoperative care
同義語 術後ケア
手術後の全身状態，局所の感染，血腫の防止などの管理のこと．術後感染予防に抗菌薬を投与する，半流動性の食事や摂食後の含嗽の励行などを含む．個々の症例によって対応は異なる．

598 術後性上顎嚢胞 じゅつごせいじょうがくのうほう
postoperative maxillary cast
上顎洞の粘膜をすべて除去する上顎洞根治術の後に，上顎洞内に生じる嚢胞である．上顎洞臼歯部へのインプラント埋入の際に注意を要する．

599 術前管理 じゅつぜんかんり
preoperative care
関連語 術前評価
外科処置一般の術前の患者管理のことをいう．全身既往症への対応，術後を予想したインフォームド・コンセント，埋入部位の診断などが含まれる．

600 術前評価 じゅつぜんひょうか
preoperative assessment
同義語 術前アセスメント
関連語 術前管理，physical status
手術を安全に行うために，手術前の血圧，脈拍，呼吸数などのバイタルサイン，全身合併症の有無および管理状態，精神的状態を評価すること．評価基準としてNYHAの心機能分類やASAのphysical statusなどがある．局所の評価としては，開口量や画像診断によって埋入部位の骨の状態を診断することも重要である．

601 シュナイダー膜▲ しゅないだーまく
Schneiderian membrane
⇒615 上顎洞粘膜

602 受容側 じゅようそく
recipient site
⇒1187 レシピエントサイト

603 純チタン じゅんちたん
pure titanium
⇒ 833 チタン

604 常温重合レジン じょうおんじゅうごうれじん
cold-curing resin, self-curing resin, self-curing repair resin
同義語 即時重合レジン
常温で重合するレジンの総称である．義歯用の流し込みレジンや筆積法などを用いる義歯補修用レジン，あるいは歯冠修復用コンポジットレジンや接着性レジンセメントなど歯科では多種類のレジンが用いられる．基材にはアクリレートやメタクリレートなど多種類のポリマーやモノマーが用いられる．重合反応させる方法は，過酸化ベンゾイル（BPO）と第三級アミンのレドックス系，トリ n- ブチルボランの系，光増感剤と可視光線あるいは紫外線による系，パラトルエンスルフィン酸の系などが歯科用として用いられている．
代表的な常温重合レジンである流し込みレジンは，加熱重合レジンと比べて寸法精度が高く，操作性に優れるが，残留モノマーが多く，機械的性質に劣るなどの欠点をもつ．強さが増すことから専用の重合器で 40 ～ 60℃に加温し加圧条件で重合させる製品が多い．

605 上顎結節 じょうがくけっせつ
maxillary tuberosity
上顎体の後面（側頭下面）の中央部が後方へ隆起した部分で，上顎洞の後方への膨隆部にあたる．上顎結節の骨壁はきわめて薄く，骨壁表面には数個の歯槽孔（後上歯槽動・静脈および同名神経が通過）が存在している．

606 上顎洞 じょうがくどう
maxillary sinus
同義語 ハイモア洞
副鼻腔の一つで，上顎骨体の中に体外形に一致した，鼻腔面を底とするピラミッド型の空洞で，副鼻腔最大の大きさ（10 ～ 15 mL）を有する．洞壁は鼻粘膜の続きで，線毛上皮で覆われている．鼻腔とは中鼻道に開口する自然孔を介して交通する．

607 上顎洞炎 じょうがくどうえん
maxillary sinusitis
同義語 歯性上顎洞炎
副鼻腔炎の一つで，上顎洞に発症した炎症である．歯根が上顎洞底と近接しているため，歯の炎症や治療が原因で生じるものを歯性上顎洞炎と呼ぶ．インプラント治療においては上顎洞に侵襲が及ぶような操作により洞炎が生じる．特に上顎洞底挙上術，ソケットリフト時の上顎洞粘膜剥離操作，上顎洞粘膜の穿孔とそれに継発する骨補填材の上顎洞への逸出，インプラント体の迷入などに伴い炎症を生じる場合がある．

608 上顎洞隔壁 じょうがくどうかくへき
maxillary sinus septum
上顎洞底から上顎洞を分けるように隆起した突起状構造物である．日本人の約 3 割にみられ，棘状，鋸歯状，隆起状などを呈し，頂部では薄い上顎洞粘膜が固着しており，剥離が難しく，上顎洞底挙上術においては，粘膜穿孔をきたしやすい．

609 上顎洞根治術 じょうがくどうこんちじゅつ
radical operation of maxillary sinus
同義語 上顎洞炎根治術，上顎洞根本手術
関連語 術後性上顎嚢胞
上顎洞炎に対する手術法の一つで，口腔内より上顎洞前壁の骨を開削し，病的な上顎洞粘膜を摘出するものである．鼻腔側壁との境界の骨を開削し，下鼻道に開放する．数年～数十年後に，術後性上顎嚢胞を発症することがあり，上顎臼歯部のインプラント治療の際には注意が必要である．

610 上顎洞穿孔 じょうがくどうせんこう
perforation of maxillary sinus
上顎臼歯部の抜歯やインプラント体埋入の際などに，粘膜の裂開とともに骨欠損が生じ，口腔と上顎洞が交通した状態である．自然閉鎖することもあるが，閉鎖床や閉鎖手術が必要となることもある．口腔と上顎洞の間に長期間瘻孔が形成されることを口腔上顎洞瘻と呼び，瘻孔閉鎖術が必要となる．

611 上顎洞貯留嚢胞 じょうがくどうちょりゅうのうほう
maxillary sinus mucocele
⇒ 614 上顎洞粘液貯留嚢胞

612 上顎洞底 じょうがくどうてい
maxillary sinus floor
上顎洞の下壁の最深部である．洞底には隔壁がみられることがある．

613 上顎洞底挙上術 じょうがくどうていきょじょうじゅつ
maxillary sinus floor elevation
同義語 サイナスフロアエレベーション
類義語 サイナスリフト，ソケットリフト，ラテラルウィンドウテクニック，クレスタルアプローチ
関連語 オステオトームテクニック
上顎洞底挙上術（サイナスフロアエレベーション）とは，上顎臼歯部の歯槽頂から上顎洞底までの骨高径が短い場合に，インプラント体を埋入するために行う洞底部の骨造成法である．上顎洞前壁の骨を開窓し，洞底部から上顎洞粘膜を剝離挙上するラテラルウィンドウテクニック（側方アプローチ；側方開窓術）と，歯槽頂から行うクレスタルアプローチ（歯槽頂アプローチ）が一般的である．前者をサイナスリフト，後者をソケットリフトと呼ぶことがある．

614 上顎洞粘液貯留嚢胞 じょうがくどうねんえきちょりゅうのうほう
maxillary sinus mucocele
同義語 上顎洞貯留嚢胞，ムコツェーレ
上顎洞底部に発症する半円形の粘液貯留嚢胞である．摘出は必ずしも必要ではないが，上顎洞底挙上術を行う際には注意が必要である．

615 上顎洞粘膜 じょうがくどうねんまく
maxillary sinus mucous membrane
関連語 上顎洞底挙上術
上顎洞の粘膜は鼻腔の粘膜の続きで，厚さは 0.5 ～ 1.0 mm である．上顎洞の骨壁を覆っており，粘膜上皮は偽重層（線毛）上皮で，粘膜固有層は線維性結合組織で，洞壁の骨膜に移行している．粘膜下組織はほとんど認められない．上顎洞粘膜は口腔インプラントの上顎洞底挙上術時に注意を要する粘膜である．シュナイダー膜とも呼ばれるが，医学用語として使用は好ましくない．

616 上顎洞迷入 じょうがくどうめいにゅう
aberration into the maxillary sinus
歯，歯根，根管治療材料，インプラント体などが上顎洞内に入り込んでしまうことをいう．上顎洞内の迷入異物は上顎洞炎（副鼻腔炎）の原因となるために除去しなければならない．

617 上顎洞裂孔 じょうがくどうれっこう
aperture of maxillary sinus
⇒ 986 半月裂孔

618 衝撃破壊試験 しょうげきはかいしけん
impact fracture test
試験片に衝撃荷重を加え，破壊に要したエネルギーを測定する試験のこと．シャルピー試験やアイゾット試験が行われる．単位はジュール（J）で表す．

619 焼結アパタイト しょうけつあぱたいと
sintered apatite
アパタイト粉末の集合体を融点より低い温度での加熱で，粉末同士が結合した多孔質体である．人工骨の場合には気孔率などによって新生骨が焼結体の内部まで侵入可能となる．

620 常在細菌 じょうざいさいきん
indigenous bacterium
同義語 口腔常在菌
皮膚や粘膜に常在している細菌のこと．通常，それぞれの固有の環境に適応しやすい複数の微生物が集団となって細菌叢を形成している．このうち，口腔内に常在する細菌のことを口腔常在菌という．歯肉縁上，縁下にそれぞれ常在細菌が存在し，歯周ポケットが深くなると，歯肉縁下に高頻度で歯周病原細菌が検出されるようになることが知られている．

621 焼成骨 しょうせいこつ
sintered bone
関連語 骨補填材
骨補填材の他家骨，異種骨は高温焼成して感染源を除去したものである．焼成温度や焼成後の粉砕方法が規格化されていないので，人工材料に比較して同品質のものが提供できるかが問題になる．日本ではウシ骨由来の骨補填材が使用される．

622 掌蹠膿疱症 しょうせきのうほうしょう
palmoplantar pustulosis
手掌，足底に多数の無菌性の膿疱が両側性に出現し，増悪，寛解を繰り返す皮膚病の一つで，胸鎖肋関節症を合併することが多い．根尖病巣，歯周病などの病巣感染やパラジウム，ニッケルなどの歯科用金属による金属アレルギーとの関連が指摘されている．

623 小帯切除〔術〕 しょうたいせつじょ〔じゅつ〕
frenectomy，frenulectomy
審美性不良や機能障害の原因となる小帯を外科用メスやレーザー照射により切除すること．歯肉歯槽粘膜形成を目的とした場合，切除前に歯槽頂近くにあった小帯の付着部位は，切除後は口腔前庭（歯肉頬移行部）近くに改善される．

624 小帯付着異常 しょうたいふちゃくいじょう
malformation of frenum
上唇小帯，下唇小帯，舌小帯，頰小帯の付着位置や厚み，大きさの異常である．これらの小帯が通常よりも歯冠側に付着することを高位付着といい，その逆を低位付着という．小帯の高位付着や肥厚は，ブラッシングや発音の障害や，歯間離開の原因となることもある．

625 上皮 じょうひ
epithelium
身体の外表面，体腔，中空器官の内面，および腺腔の内面を覆う表面構造である．身体における位置やその位置における機能によって特殊化し，最も原始的な状態を保っている組織で，体表は外胚葉性，消化器・呼吸器系の器官は内胚葉性，泌尿器系の上皮や体腔の内面は中胚葉性である．形態によって扁平上皮，立方上皮，円柱上皮，偽重層上皮などに大別される．

626 上皮性付着 じょうひせいふちゃく
epithelial attachment
歯肉溝の底部における単層または多層の非角化上皮の，歯面またはインプラント表面への付着のこと．一方，上皮下の歯肉線維または歯根膜線維のセメント質やインプラント表面へ付着を結合組織性付着という．歯周治療により露出歯根面に長い上皮性付着が得られることが知られている．

627 上部構造〔物〕 じょうぶこうぞう〔ぶつ〕
superstructure
⇒109 インプラント上部構造

628 静脈内鎮静法 じょうみゃくないちんせいほう
intravenous sedation
治療に対する恐怖心や不安・緊張感を最小限に抑制し，円滑・快適かつ安全に治療を施行することを目的とし，経静脈的に薬物を投与して行われる患者管理方法である．健忘効果，異常絞扼反射の抑制効果も期待できる．ベンゾジアゼピン系緩和精神安定薬などの抗不安作用をもつ薬物やプロポフォール，デクスメデトミジンなどが用いられる．

629 商用純チタン しょうようじゅんちたん
commercially pure titanium
同義語 CPTi
⇒833 チタン

630 ショートインプラント しょーといんぷらんと
short implant
関連語 ミニインプラント
通常より短い長径のインプラント体のことで，一般に8 mm以下のものをいう．この際，長径とは，スクリュータイプのインプラント体において，骨の中に入るべき部分の長さをさし，骨内長と呼ばれることもある．ショートインプラントにおいても，インプラント体の表面性状の改良やガイデッドサージェリーの進歩により，近年，良好な治療成績が報告されている．顎堤の吸収が進み，上顎洞や下顎管に近接している部位に骨造成を回避する目的で用いられることが多い．

631 初期固定 しょきこてい
primary stability
同義語 一次固定
埋入直後のインプラント体と周囲骨組織との機械的な安定性のこと．

632 除去トルク値 じょきょとるくち
removal torque value
同義語 RTV
スクリュー型インプラント体に対して，埋入時と反対方向の回転力を加えて，骨との界面を破壊するのに必要な回転力の数値であり，単位はN・cmで表す．基礎研究ではオッセオインテグレーションの評価として用いる．

633 植立 しょくりつ
implantation
⇒1116 埋入

634 シランカップリング しらんかっぷりんぐ
silane coupling
シリカを含むセラミックスやハイブリッド型コンポジットレジン用の接着剤キットに包含されている，ガラス，シリカなど無機質の表面改質に用いられるケイ素を含む有機化合物のこと．

635 シリンダー型インプラント
しりんだーがたいんぷらんと
cylinder implant
同義語 プレスフィットインプラント
円筒形の骨内インプラントである．形成した埋入窩にインプラント上面をマレットなどで槌打したり，指圧装置で圧入して骨内に埋入する．

636 ジルコニア じるこにあ

zirconia

同義語 酸化ジルコニウム

関連語 部分安定化ジルコニア

二酸化ジルコニウム（ZrO_2）のこと．常態では白色の固体で融点が2,700℃と高く，耐熱性セラミック材料としても利用されている．ジルコニアにカルシウム，マグネシウム，イットリウムの希土類酸化物を固溶させて昇降温による破壊を抑制したジルコニアのことを安定化ジルコニア，あるいは部分安定化ジルコニアといい，強度や靱性などの機械的特性に優れる．主にインプラント上部構造に用いられており，特にイットリア安定化ジルコニア（YSZ）が多用される．最近では上部構造だけでなくインプラント体にも用いられている．

637 神経移動術 しんけいいどうじゅつ

nerve repositioning

手術時の神経損傷を回避したり，神経圧迫を解除するために神経を移動させる方法である．下歯槽神経側方移動術やオトガイ神経移動術などがあるが，神経損傷のリスクを伴い，術後には合併症として知覚神経麻痺，感染，骨髄炎，病的骨折などがあるため，現在では推奨されていない．

638 神経筋機構 しんけいきんきこう

neuromuscular mechanism

中枢神経と末梢神経によって筋が調節され，反射的に体の位置や運動を制御するメカニズムをいう．顎口腔系では，顎運動，咀嚼，嚥下，発音などの機能を生理的に良好に行えるようにする神経系と筋の協働作業を制御する．

639 神経損傷 しんけいそんしょう

nerve injury

関連語 神経麻痺，神経縫合

中枢系あるいは末梢系の神経が何らかの刺激によって障害を受け，神経麻痺が起こる状態である．末梢神経の損傷程度は以下の三つに分類される（Seddon の分類）．

表：Seddon の分類

neurapraxia	神経線維の圧迫による一過性神経伝導障害
axonotmesis	軸索断裂．断裂部より末梢の軸索はWaller 変性を起こす．髄鞘の連続性は保たれており回復が期待できるが，早期の専門的治療が必要
neurotmesis	神経線維が軸索，髄鞘ともに破壊された状態．最も重症で神経保存的な治療では回復は困難

640 神経痛 しんけいつう

neuralgia

末梢神経系が何らかの障害を受けることによって起こる痛みである．障害には腫瘍，動脈硬化，ウイルス感染，外傷，代謝性，遺伝性などがある．原因不明のものは特発性神経痛，明らかなものは症候性神経痛と呼ぶ．口腔顔面領域で神経痛の名称をもつ疾患には三叉神経痛，舌咽神経痛，帯状疱疹後神経痛などがある．

641 神経ブロック しんけいぶろっく

nerve block

関連語 下顎神経ブロック，星状神経節ブロック

局所麻酔を用いて原因となる神経を一時的にブロックする痛みの治療法の一種である．神経痛などの恒常的な痛みを訴えている患者に行われる．歯科領域では星状神経節ブロック，三叉神経ブロック（眼窩下神経ブロック，下顎神経ブロック，ガッセル神経節ブロック），トリガーポイントブロックなどが行われる．

642 神経縫合 しんけいほうごう

nerve suture

関連語 神経麻痺，神経損傷

神経断裂の修復のために行う手技である．患者の年齢，創傷の状態，手術までの期間，縫合部から神経終末までの距離，神経の緊張の有無，手術手技などにその効果は影響される．細い神経線維を１本１本縫合するのではなく，神経周膜を縫合するものであり，完全に元の神経につながるものではない．

643 神経麻痺 しんけいまひ

neuroparalysis

外傷，炎症などによって末梢神経系が障害を受け，その支配領域に運動麻痺，知覚麻痺が起こること．

644 人工器官 じんこうきかん
prosthesis
身体の喪失部分を補って機能的回復や審美的回復をするための人工的な代用品のこと．義歯・義手・義足や義眼など生体外部環境に装着するものと，人工心臓・心臓弁・ペースメーカー・人工血管・人工関節・人工歯根・眼内レンズなど生体内部環境に設置するものとがある．

645 人工骨 じんこうこつ
artificial bone
同義語 代用骨
関連語 β-TCP，炭酸アパタイト
骨欠損の著しい部位に適用される骨代替材料で，化学的に合成されたものである．国内で販売をされている人工骨は，非置換型材料（ハイドロキシアパタイト），吸収置換型材料（炭酸アパタイト，β-TCP），硬化型材料（α-TCP）が主なものである．

646 人工サファイア じんこうさふぁいあ
synthetic sapphire
⇒ 476 サファイアインプラント

647 人工歯根 じんこうしこん
dental implant，artificial tooth root，implant body，fixture
同義語 インプラント体
歯の欠損部の顎骨内に埋入し，その上に歯冠部分を装着することにより咬合・咀嚼，審美ならびに発音機能を回復することができる人工材料のこと．純チタン，チタン合金，ジルコニアなど，生体親和性がよく，力学的強度が十分な材料で作られる．

648 人工歯肉 じんこうしにく
artificial gum
歯肉退縮や歯肉の実質欠損によって生じた空隙を修復する付加的な補綴装置である．審美性や発音機能の回復を目的に，義歯床用レジンやシリコーンなどの軟性材料で製作，装着されることが多い．また，作業用模型上に歯肉形態を再現するために，シリコーンなどの軟性材料で付与した疑似歯肉をさすこともある．

649 人工多能性幹細胞
じんこうたのうせいかんさいぼう
induced pluripotent stem cell（iPS cell）
⇒ 10 iPS 細胞

650 新生骨 しんせいこつ
newly formed bone
骨欠損，骨折，骨増生などにより，既存の骨に新しく形成された骨のこと．

651 身体表現性障害 しんたいひょうげんせいしょうがい
somatoform disorders
身体疾患を疑わせる身体症状を呈するが，その症状を説明できる器質的な異常所見に乏しく，心理的要因（ストレス，心的葛藤など）によって身体症状が起こる障害である．診断にあたっては，身体疾患およびうつ病などのほかの精神疾患を否定することが必要である．身体症状が痛みであることもあり，その場合は身体表現性障害の中の一つである疼痛性障害と呼ばれる．米国精神医学会における DSM-IV-TR の診断基準では，持続時間が 6 か月未満のものを急性疼痛性障害，6 か月以上のものを慢性疼痛性障害と分類している．

652 診断用セットアップ しんだんようせっとあっぷ
diagnostic setup，diagnostic set-up
術前の治療計画立案において，患者の顎口腔模型に対し最終上部構造の形態をワックスなどで示すこと（診断用ワックスアップ），あるいはコンピュータにより最終上部構造の三次元データを構築すること．

653 診断用テンプレート しんだんようてんぷれーと
diagnostic template
同義語 診断用ステント，診断用ガイドプレート
関連語 サージカルガイドプレート
欠損部の骨量や骨質を診断するとともにインプラント体の埋入計画を立てる指標として用いられる．金属，ガッタパーチャ，仮封材などのエックス線不透過物質を使用して，計画したインプラントの埋入位置と方向を示す指標を取り付ける．

654 診断用模型 しんだんようもけい
diagnostic cast
⇒ 677 スタディモデル

655 診断用ワックスアップ
しんだんようわっくすあっぷ
diagnostic wax-up
⇒ 652 診断用セットアップ

656 深度ゲージ しんどげーじ
depth gauge
⇒ 876 デプスゲージ

657 審美修復 しんびしゅうふく
esthetic restoration
⇒658 審美性

658 審美性 しんびせい
esthetic(s)
類義語 審美修復
顎口腔系における形態美・色彩美・機能美の調和のこと．健康でかつ高さ，量，色調，そしてカントゥアを含めた審美性のあるインプラント周囲組織は，健康的な周囲の天然歯と調和がとれていなければならない．インプラント治療において一般的に上顎前歯部の審美修復の難易度は高く，また複雑な術式が必要であると考えられる．そのため，補綴主導型の手法に基づいた包括的な術前計画と繊細な外科手術が必要とされる．

659 審美領域 しんびりょういき
esthetic zone
前歯部のような，高いレベルの審美的配慮が必要となる領域をさす．上下顎前歯部をさすことが多いが，小臼歯部までを含める場合もある．

す

660 垂直歯槽骨延長術
すいちょくしそうこつえんちょうじゅつ
vertical alveolar distraction《lengthening, elongation》osteogenesis
⇒216 仮骨延長術

661 垂直性骨吸収《欠損》
すいちょくせいこつきゅうしゅう《けっそん》
vertical bone resorption
天然歯ではセメントエナメル境を結んだ仮想線に対して，インプラントではインプラント体のプラットフォームに対して，歯槽骨が角度をもって斜めに吸収している状態である．

662 垂直被蓋 すいちょくひがい
vertical overlap
⇒169 オーバーバイト

663 垂直マットレス縫合
すいちょくまっとれすほうごう
vertical mattress suture
切開部に深部と浅部で二重に糸を通し，露出する縫合糸が切開線に対して垂直になるような状態で縫合する方法である．創縁を深部まで確実に密着させるための縫合法で，死腔を作りにくく，術後の創面の裂開を防止できる．切開部の底面が平面でない場合や，切開部の両端の厚さが異なる場合にも有効である．

664 水平歯槽骨延長術
すいへいしそうこつえんちょうじゅつ
horizontal alveolar distraction osteogenesis〔lengthening, elongation〕
⇒216 仮骨延長術

665 水平性骨吸収《欠損》
すいへいせいこつきゅうしゅう《けっそん》
horizontal bone resorption
天然歯ではセメントエナメル境を結んだ仮想線に対して，インプラントではインプラント体のプラットフォームに対して，歯槽骨がほぼ平行に吸収している状態である．

666 水平被蓋 すいへいひがい
horizontal overlap
⇒168 オーバージェット

667 水平マットレス縫合 すいへいまっとれすほうごう
horizontal mattress suture
関連語 単純結節縫合
切開部に対して離れた位置で2回糸を通し，露出する縫合糸が切開線に対して平行になるような状態で縫合する方法である．創縁を広い範囲で確実に密着させるための縫合法で，創面を強く結ぶことができる．切開部の表面の密着性が弱いため，単純結節縫合の追加が必要になることもある．

668 スカルプティング すかるぷてぃんぐ
sculpting
インプラント上部構造の最終印象前に，粘膜貫通部を理想的な形態に修正することをいう．プロビジョナルレストレーションでスカルプティングを行い，カスタム印象用コーピングでその形態を印象採得する間接法と，理想的形態の最終アバットメントでスカルプティングを行う直接法がある．

669 スキャフォールド すきゃふぉーるど
scaffold
同義語 足場
細胞の接着，増殖，分化を制御させるための細胞培養基材，および体内における再生誘導のための細胞の足場となる担体周辺環境のこと．再生医療には

細胞，成長因子とともに不可欠な要素としてあげられる．

670 スキャンボディ すきゃんぼでぃ
scan body
関連語 光学印象
インプラントの光学印象に使用する印象用コーピングまたはアバットメントのことをいう．インプラントの位置および方向を，CAD/CAM システム上で確定するためのデジタルコードが付与されている．

671 スクリュー型インプラント
すくりゅーがたいんぷらんと
screw type implant
同義語 スレッドインプラント
関連語 シリンダー型インプラント
インプラント体の表面にスレッドが形成されているもので，現在使用されているインプラントの多くがこれである．スレッドの形態はオッセオインテグレーションを促進したり，脆弱な骨でも初期固定が得られるような工夫が行われている．

672 スクリュー固定式上部構造
すくりゅーこていしきじょうぶこうぞう
fixed screw type implant superstructure
⇒ 109 インプラント上部構造

673 スクリュータップ すくりゅーたっぷ
screw tap
スクリュー型インプラントのスレッドと一致した概形を埋入窩骨面に形成するための切削器具のこと．埋入窩の骨質が硬く，スクリュー型インプラントのセルフタップ埋入が難しい場合に用いられる．

674 スクリューホール【インプラント体内部の】
すくりゅーほーる
screw hole
関連語 アクセスホール，プラットフォーム
プラットフォーム中央部に内部に向けて設けられたねじ穴のこと．インプラントとアバットメント，もしくはインプラントと上部構造を連結する．

675 スクレイパー すくれいぱー
scraper
⇒ 413 骨片収集器

676 スケーリング すけーりんぐ
scaling
歯面またはインプラント表面に付着したプラーク，歯石などの沈着物を機械的に除去する操作をいう．歯面のスケーリングに用いる金属製手用スケーラーや超音波スケーラーをインプラントに使用すると，表面に傷がついたり，異種金属の混入を起こしてしまうので，プラスチックスケーラーやチタン製スケーラーなどが用いられる．

677 スタディモデル すたでぃもでる
study cast，study model
同義語 診断用模型
診断や治療計画に使われる上下顎模型のこと．術前検査において，上部構造の設計，インプラント体の種類，本数，近遠心的および頬舌的な埋入位置を決定する際の参考となる．咬合器に装着することで，残存歯列や顎間関係を把握し，咬合平面の是正やインプラント上部構造の設計などに利用する．

678 スタビライズドブレードインプラント
すたびらいずどぶれーどいんぷらんと
stabilized blade implant
関連語 ブレードインプラント
ブレードインプラントにおいて骨との維持を強固にするためにインプラント体に突起物（スタビライザー）を付けたものをいう．

679 スタンダードプリコーション
すたんだーどぷりこーしょん
standard precautions
感染症の有無や重篤度を問わず，常に実施されるべき一般的な感染予防処置である．具体的には，手洗いの励行，手袋やガウンの着用，器具の適切な洗浄滅菌処理を常に行い，いかなる場合でも患者や医療者への感染を防止する．

680 Student の t 検定
すちゅーでんとのてぃーけんてい
Student t-test
対応のある二つの母集団の平均値（母平均）の差をみる統計方法のこと．母集団が正規分布と仮定するパラメトリック検定法である．

681 ステージドアプローチ すてーじどあぷろーち
staged approach
同義語 段階的アプローチ
関連する二つの処置の間に期間を設け，段階的に処置を進める手法のこと．たとえば，骨移植を行い，

骨が生着してからインプラント体を埋入する，などである．

682 ステロイドカバー すてろいどかばー
steroid cover
副腎皮質ステロイドホルモンを長期投与された患者では，副腎皮質機能低下や副腎萎縮の可能性があり，手術，全身麻酔など大きなストレスが加わった場合，十分なコルチゾールが分泌されず急性副腎不全（副腎クリーゼ）を生じる可能性がある．そのためストレスが加わる前に副腎皮質ステロイドホルモンを投与する必要があり，これをステロイドカバーという．

683 ステント すてんと
stent
同義語 テンプレート
関連語 サージカルガイドプレート，診断用テンプレート
本来は人体の管状の部分を管腔内部から拡げる医療機器のことをいう．インプラント治療では，インプラントの埋入位置を決定するため，金属棒などを装着してエックス線画像や CT を撮影するものを診断用テンプレート（診断用ステント）と呼ぶ．診断用テンプレートで決定したインプラントの埋入位置で埋入のガイド孔やスリーブを形成したものをサージカルガイドプレート（手術用ステント）という．現在ではステントは使わず，テンプレートという．

684 スパイラルインプラント
すぱいらるいんぷらんと
spiral implant
同義語 らせん型インプラント
骨内インプラントの最初の形状で，ワイヤーをらせん状にねじって使用された．

685 スパイラルドリル すぱいらるどりる
spiral drill
⇒ 903 ドリル

686 スパッタリング法 すぱったりんぐほう
sputtering method
インプラント表面処理の乾式メッキ法の一つで，真空中に不活性ガス（主にアルゴンガス）を導入しながら基板とターゲット（成膜させる物質；クロム，チタンなど）間に直流高電圧を印加し，イオン化したアルゴンをターゲットに衝突させて，はじき飛ばされたターゲット物質を基板に成膜させる方法である．

687 スプリットクレスト法 すぷりっとくれすとほう
split crest technique
インプラント体を埋入するために十分な骨幅がない症例で，歯槽頂部に骨切りを行い徐々に分割して，その空隙にインプラント体を埋入する方法である．インプラント体と骨との空隙には，人工の骨補塡材や自家骨を移植することもある．スプリットする骨は骨膜から剝がれないように注意する．

688 スプリンティング すぷりんてぃんぐ
splinting
変位した組織あるいは可動性の硬組織を一定期間適切な位置に固定する処置のこと．インプラント治療では上部構造同士を連結する処置を意味する．

689 スペースメイキング すぺーすめいきんぐ
space making
関連語 バリアメンブレン
再生療法（骨再生，組織再生）において，再生のための空間を確保すること．この空間を保持し上皮や結合組織の侵入を阻止する目的でバリアメンブレンが使用されることが多い．組織再生誘導法（GTR）に使用されるバリアメンブレンは GTR 膜，骨面やインプラント体表面に骨を再生させる骨再生誘導法（GBR）に使用されるものを GBR 膜と呼ぶ．

690 スマイルライン すまいるらいん
smile line
関連語 リップライン
笑顔をつくった際の下唇のラインと上顎前歯の先端を横に結んだラインのこと．前歯のラインは，唇と平行なやや凸型の彎曲を呈す．上顎前歯歯頸線の指標となる．適切なスマイルラインの決定には，咬合関係，歯肉レベル，歯冠形態に加え，患者の性別や年齢などの要素が複雑に絡み合う．上唇の挙上量によって 3 パターン（ハイリップライン・ミドルリップライン・ローリップライン）に分類されるが，ハイリップの症例は審美的な治療難易度は高いとされる．

691 3D CT すりーでぃーしーてぃー
three-dimensional（3D）CT
⇒ 493 三次元 CT 画像

692 3D プリンタ すりーでぃーぷりんた
three-dimensional（3D）printer
関連語 光造形法
三次元デジタルデータを利用して立体を造形する機器である．従来は光造形方式が代表であったが，

粉末焼結方式，インクジェット方式など新しい技術も開発されている．従来の切削法では難しい中空形状や複雑形状の造形が可能である．歯科医療ではすでに，鋳造用原型，デジタル印象採得後の模型，手術シミュレーション模型，補綴装置（金属フレーム，義歯）などの製作に幅広く利用されている．インプラント治療ではサージカルガイドプレートの製作に多用されている．

693 スリーピング すりーぴんぐ
sleeping
何らかの理由でインプラントの上部構造を装着せず，カバースクリューを装着し，インプラント体を機能させないことをいう．また，当面は使用しないものの，将来必要となることをあらかじめ想定し埋入されたインプラント体のことをいう．

694 スレッドインプラント すれっどいんぷらんと
threaded implant
⇒671 スクリュー型インプラント

せ

695 脆弱骨 ぜいじゃくこつ
brittle bone，osteopenia
骨密度が低くなり，骨質も粗になることで強度が低下した骨のこと．脆弱骨へのインプラント体の埋入は良好な初期固定が得られにくい．

696 星状神経節ブロック
せいじょうしんけいせつぶろっく
stellate ganglion block
頸部交感神経の局所麻酔薬によるブロックである．口腔顔面領域の疼痛性疾患（筋筋膜痛症候群，非定型口腔顔面痛，舌痛症など），麻痺性疾患（顔面神経麻痺，外傷性三叉神経ニューロパチーなど），インプラント治療による下歯槽神経麻痺の治療にも適応がある．

697 精神鎮静法 せいしんちんせいほう
psychosedation
同義語 鎮静法
関連語 静脈内鎮静法
歯科治療に対する精神的緊張を緩和し，快適で円滑な歯科治療を行うことを目的とした薬物を用いた患者管理法である．薬物の投与方法により吸入鎮静法と静脈内鎮静法がある．

698 生存率【植皮・移植片の】 せいぞんりつ
survival rate
植皮・移植片が生体内にどのくらいの期間生存するかを表す指標である．通常は観察期間を考慮して，Kaplan-Meier 分析や生命表による手法で累積生存率を算出する．

699 生体活性 せいたいかっせい
bioactive
関連語 生体不活性，生体許容性
生体内でみずからが生理的に活性化して骨と化学的に直接結合する状態をいう．生体内活性材料としては，リン酸カルシウム，生体活性ガラスなどがあげられる．

700 生体活性ガラス せいたいかっせいがらす
bioactive glass
同義語 バイオガラス
ケイ素，カルシウム，ナトリウム，リンおよび酸素によって構成されたアモルファス構造で，生体内ではその表面上に自然骨と同等のミネラルマトリックスを形成する．

701 生体監視 せいたいかんし
patient monitoring
⇒1151 モニタリング

702 生体許容性 せいたいきょようせい
biotolerance
関連語 生体適合性，生体活性，生体不活性
生体に許容されるが，線維性結合組織で被包され，埋入部位の母床骨と直接は結合することがない状態をいう．生体許容性材料としては，コバルトクロム合金や医療用ステンレス鋼，PMMA などがあげられる．

703 生体高分子材料 せいたいこうぶんしざいりょう
biopolymer
骨組織，心筋，動物の血管壁などを精製処理し，抗原性を除去したものである．医用材料としては，コラーゲン（人工皮膚や止血剤），ゼラチン（止血剤や人工血漿），フィブリン（接着剤やカバー），フィブロイン（縫合糸），ヘパリン（抗血液凝固剤），キチン（創傷被覆材）などがある．

704 生体材料 せいたいざいりょう
biomaterial
生体に移植する目的を有した材料をいい，人工関節や口腔インプラント，人工骨，人工血管などに用

いられ，組織反応や拒絶反応がほとんどないことが求められる．ハイドロキシアパタイトなど生体由来の材料を用いて，組織誘導など材料の特性を生かすことを目的とした材料が探求される．吸収性と非吸収性の生体材料がある．

705 生体情報モニタ せいたいじょうほうもにた
patient monitor，medical monitor
⇒1151 モニタリング

706 生体適合性 せいたいてきごうせい
biocompatibility
同義語 生体親和性
生体組織に有害な作用を及ぼさず，本来の機能を保ちながら生体になじむ性質である．材料が用いられる用途や場所によって求められる性質は変動する．たとえば，ハイドロキシアパタイト（HA）は生体適合性や骨伝導に優れている．歯科用インプラントではさらに力学的適合性なども求められる．

707 生体不活性 せいたいふかっせい
bioinert
関連語 生体活性
口腔インプラント材料を硬組織および軟組織に埋入した場合の生体反応で，生体組織とは化学結合しない状態をいう．生体不活性材料としては，金属ではチタンとチタン合金，セラミックスではアルミナ，ジルコニアならびにカーボンなどがあげられる．

708 生体防御機構 せいたいぼうぎょきこう
biophylactic mechanism
病原体の侵入，増殖を阻止するシステムをいう．組織内への侵入を防止する皮膚，粘膜の機械的バリア，常在細菌叢による生物学的バリア，抗菌物質，抗体，免疫応答などの機序がある．

709 静的荷重 せいてきかじゅう
static load
同義語 静荷重，定荷重
関連語 動的荷重
構造物に加わる荷重の中で，時間的な変化をしない一定の荷重のことをいい，定荷重ともいう．

710 生物学的安全性試験
せいぶつがくてきあんぜんせいしけん
biological safety test
インプラントや歯科材料などを含む医療機器は十分な生物学的安全性が必要である．JIS T 0993-1 および ISO 10993-1 などに準拠し，生物学的安全性のリスク分析手法により医療機器の接触部位，接触期間や原材料の特性などに応じて必要な評価項目や試験方法を選定し，市販前の安全性評価を行う．インプラントなど体内植込み機器のリスク評価は全身的および局所的影響の考慮が求められる．評価項目は細胞毒性，感作性，刺激性／皮内反応，急性／亜急性全身毒性，遺伝毒性，発熱性，埋植，血液適合性などがある．

711 生物学的安定性 せいぶつがくてきあんていせい
biological stability
ヒトや動物の体内で医薬品や歯科生体材料を含む医療機器などが示すべき性質．さらに体内環境すなわち血液やリンパ液などと物理化学的にも示される必要がある．また，医薬品の有効性および安全性が維持されるために必要な品質の安定性のことでも使われる．

712 生物学的封鎖 せいぶつがくてきふうさ
biological seal
関連語 接合上皮
インプラント体あるいはアバットメントは口腔粘膜を貫通しており，この生体内と生体外を隔する部位を生物学的封鎖層と呼んでいる．これは天然歯の接合上皮にあたる．

713 生物学的幅径 せいぶつがくてきふくけい
biologic width，biological width
関連語 骨縁上付着組織，上皮性付着
生物学的幅径は歯肉溝底から歯槽骨頂までの歯肉の付着の幅を示し，上皮性付着と結合組織性付着からなり立っている．インプラント周囲では上皮性付着と結合組織の垂直的高さをいう．

714 セカンドオピニオン せかんどおぴにおん
second opinion
患者自身が納得できる治療を選択することを目的として，これから受けようとする検査や治療について，主治医以外の医師に意見を求めることをいう．患者は主治医にセカンドオピニオンを希望することを話し，それまでの経過を診療情報提供書として作成してもらうことで，二重に検査を行うことが避けられる．

715 セグメントタイプ せぐめんとたいぷ
segment type
⇒948 ノンセグメントタイプ

716 石灰化 せっかいか
calcification, mineralization
カルシウム塩が沈着して硬組織が形成されることをいう．骨では，骨芽細胞が骨基質を合成分泌し，体液中のリン酸カルシウムが沈着して起こる．

717 切開法 せっかいほう
incision
インプラント治療における切開法としては，主として歯槽頂切開法，口腔前庭切開法があげられる．血流の面からは前者がよいと言われている．哆開や術後の歯肉壊死・退縮を生じないように血流を考慮して設計することが重要である．

718 舌下動脈 ぜっかどうみゃく
sublingual artery
舌動脈から分岐する終枝の一つで，舌骨舌筋前縁部にて舌動脈から分岐し，オトガイ舌筋と顎舌骨筋の間を前方に走行し，舌下腺と舌下部の口腔粘膜に血液を供給する．本動脈がよく発達すると，下顎前歯部の舌側歯肉に分布したり，下顎骨内側面にあるオトガイ棘孔に入る．下顎前歯部の舌側の観血的処置には注意をしないと，出血死に至ることがある．

719 舌孔 ぜつこう
lingual foramen
下顎骨前歯部の内側面にみられるオトガイ棘孔以外の小孔のこと．小孔には血管や神経が通っていることがある．

720 接合上皮 せつごうじょうひ
junctional epithelium
同義語 付着上皮
生理的にはエナメル質に付着している部分の上皮であり，最先端はセメントエナメル境に位置する．最表層の細胞の基底板とヘミデスモゾームを介してエナメル質に付着している．インプラント表面にも接合上皮と類似した組織が存在する．

721 切削 せっさく
cutting
関連語 グラインディング
材料の加工法の一つで，刃物を用いて切屑を出しながら加工すること．エアタービン，エアモーターや電気エンジンなどの回転切削器具に対して手用切削器具がある．回転切削器具ではインプラント用ドリルで埋入窩の形成や各種のバーで技工物の切削加工を行う場合などの例がある．これに対して，砥粒を固めて成型したポイントやディスクなどを使用する場合はグラインディングといい，切削とは区別する．

722 切削トルク せっさくとるく
cutting torque
回転軸にかかる力のモーメントのことであり，単位はN・cmで表す．インプラントの埋入窩を形成する際に用いる回転式切削ドリルは，回転数が少なく，切削トルクの大きい電気モーターが適している．

723 切歯管 せっしかん
incisive canal
左右上顎骨口蓋突起による正中口蓋縫合上にみられ，鼻腔面の鼻稜の両側から起こって口蓋に通じる上下に貫く管である．骨中で一つに合して口腔側の上顎骨の切歯窩に開口し，ここを切歯孔といい，切歯乳頭が目安となる．鼻口蓋動脈と同名の神経の枝が通る．臨床では顎堤の吸収により相対的な位置の変化や切歯管の太さにも配慮しなければならない．

724 接触点 せっしょくてん
contact point
⇒443 コンタクトポイント

725 切歯路 せっしろ
incisal path
下顎が前方あるいは側方運動したときの切歯の運動路のこと．上下前歯の形態や被蓋関係によって決定される．

726 舌神経 ぜつしんけい
lingual nerve
三叉神経第三枝で下顎神経の終枝の一つである．下顎第二大臼歯の舌側を走行しており，舌の前2/3の知覚を司るとともに，顔面神経からの味覚線維を含むために，舌神経の損傷は知覚と味覚の両方の障害を生じる．したがって下顎臼歯部へのインプラント埋入手術の際には，軟組織を圧排し，舌神経を巻き込まないことが重要である．

727 切端咬合 せったんこうごう
edge-to-edge bite
咬頭嵌合位において，上下顎の前歯が切縁同士で接触する咬合様式である．オーバージェット，オーバーバイトがともに0 mmの状態を示す．

728 接着 せっちゃく
adhesion, bonding
異なった二つの物体が接したときに働く，分子を引き付ける力で起こる現象が接着である．歯科用セ

メントでは化学的な接着のほかに物理的な嵌合なども期待される．接着剤が被着体間に介在して化学的相互作用によって結合力が発揮されることである．接着強さは，接着構造物の破壊に要する応力で，接着剤や被着体の機械的性質，接着部の形態，接着剤層の厚み，加わる外力の種類などの要因の影響を受ける．

729 セットアップモデル せっとあっぷもでる
set up model
同義語 予測模型
類義語 デジタルワックスアップ，バーチャルワックスアップ，バーチャルセットアップ
術後の咬合状態や歯冠形態，排列位置を模型上で予測試作する模型のこと．治療の最終目標を視覚的に把握できる．検査診断用と装置製作用のセットアップモデルがある．

730 説明と同意 せつめいとどうい
informed consent
同義語 IC
⇒ 82 インフォームド・コンセント

731 セファログラム せふぁろぐらむ
cephalogram
⇒ 895 頭部エックス線規格撮影法

732 セメントエナメル境 せめんとえなめるきょう
cement-enamel junction
同義語 CEJ
歯の歯頸部におけるセメント質とエナメル質との境界部のこと．解剖学的歯頸線と一致する．生理的にはエナメル質には接合上皮が付着し，セメント質には結合組織が付着している．このため，臨床的アタッチメントレベルおよび歯肉退縮の基準点とされる．

733 セメント芽細胞 せめんとがさいぼう
cementoblast
セメント質を形成する細胞である．由来は，歯小嚢の間葉系細胞で，ヘルトウィッヒ上皮鞘の間隙を通過した間葉系細胞が歯根象牙質に直接接触することでセメント芽細胞に分化する．セメント芽細胞自身が産生したセメント質に封入されるとセメント細胞と呼ばれる．

734 セメント固定式上部構造
せめんとこていしきじょうぶこうぞう
cement fixed implant-supported prosthesis
⇒ 109 インプラント上部構造

735 セラミックアバットメント
せらみっくあばっとめんと
ceramic abutment
⇒ 33 アバットメント材料

736 セラミックインプラント
せらみっくいんぷらんと
ceramic implant
アルミナやジルコニアなど酸化物系セラミックスで製作されたインプラント体のこと．セラミックスは，金属に比べ，化学的に安定しており，腐食や拒絶反応を認めない材料であり，生体適合性にも優れている．特にジルコニアはセラミックスの中でも機械的強度が大きいためインプラント体の材料として注目されている．

737 セラミッククラウン せらみっくくらうん
ceramic crown
歯科用セラミックスのみで製作された被覆冠のこと．インプラント上部構造としては金属よりも審美性，化学的安定性，耐摩耗性に優れ，組織に対する為害作用が少なく，金属アレルギー患者に対応できる利点がある．反面，脆弱で破折しやすく，製作行程が煩雑である欠点がある．従来の陶材を用いたポーセレンジャケットクラウンは素材的に衝撃力に弱く破損しやすいという欠点があったが，ジルコニアのフレームを用いるジルコニアクラウンが登場し機械的強さの点では改善された．しかし，アルミナスポーセレン同様に天然歯と違って白色傾向が強く，ジルコニアに陶材を焼き付けて審美性を改善した製品もある．成形法として機械的性質の向上した加圧加熱成形法（プレス法），CAD/CAM によるセラミッククラウンが多用される．

738 セラミックコーティング
せらみっくこーてぃんぐ
ceramic coating
インプラント体表面にリン酸カルシウム系セラミックスの層を形成すること．リン酸カルシウム系セラミックスの代表として，ハイドロキシアパタイトやリン酸三カルシウムなどがあげられる．これらの材料は，生体内で高い骨伝導性を有する反面，単独でのインプラント体への応用は強度的に難しく，チタン表面へのコーティング材として応用される．

739 セラミックス せらみっくす
ceramics
酸化物，炭化物，ホウ化物，窒化物などの無機化合物よりなる成形体材料の総称である．陶磁器を含

む．ガラスセラミック系（長石，リューサイトおよび2ケイ酸リチウムとガラスマトリックス），ガラス含浸系（スピネル，アルミナ，ジルコニア多孔質にガラスを含浸），高密度焼結系（アルミナ，ジルコニア）の3種類に大別される．

740 セルフスレッディングスクリューインプラント
せるふすれっでぃんぐすくりゅーいんぷらんと
self threading screw implant
⇒741 セルフタッピングインプラント

741 セルフタッピングインプラント
せるふたっぴんぐいんぷらんと
self tapping implant
同義語 セルフスレッディングスクリューインプラント
インプラント体の先端にスレッドが付与され，ねじ切りの機能が備わっているインプラント体のこと．セルフスレッディングスクリューインプラントともいう．このタイプのインプラントは，前もってスレッドを骨床に形成する必要がなく，インプラント自体が骨内でねじを切りながら埋入することができる．

742 線維芽細胞 せんいがさいぼう
fibroblast
線維性結合組織の主要な細胞で，紡錘形の形態が特徴的である．主にコラーゲン，エラスチンやプロテオグリカンなどを合成し，膠原線維や弾性線維を形成する．また老化した線維も分解する．組織や器官の維持・安定に重要な役割を果たし，組織が障害を受けた後の結合組織の構造や機能の修復（創傷治癒）にも大きく関与する．

743 線維芽細胞増殖《成長》因子
せんいがさいぼうぞうしょく《せいちょう》いんし
fibroblast growth factor
同義語 FGF
線維芽細胞の増殖を促進する，ヘパリン結合性の増殖因子である．細胞増殖，血管新生，創傷治癒，細胞分化の促進など多くの機能を有しており，骨代謝にも重要な役割を果たしている．

744 線維骨 せんいこつ
fibrous bone
骨欠損や骨折などで，骨の治癒過程の初期に形成される．線維性成分が多く，石灰沈着が少ない骨である．

745 線維性オッセオインテグレーション
せんいせいおっせおいんてぐれーしょん
fibro-osseointegration
インプラント周囲に線維性組織が増殖し，インプラント体を一定の層で被包した状態である．

746 線維性骨 せんいせいこつ
woven bone
関連語 線維骨
膜内骨形成の初期にみられる不規則な走行のコラーゲン線維の基質からなる石灰沈着が少ない骨である．

747 線維性被包 せんいせいひほう
fibrous encapsulation
生体内において異物周囲に形成される線維性結合組織のこと．

748 線維束骨 せんいそくこつ
bundle bone
⇒772 束状骨

749 全身的禁忌症 ぜんしんてききんきしょう
general contraindication
関連語 局所的禁忌症，リスクファクター
インプラントの禁忌症は全身的禁忌症と局所的禁忌症に大別される．全身的禁忌症には絶対的禁忌症と相対的禁忌症がある．
・絶対的禁忌症：改善の望めない全身疾患のなかで，外科処置が困難となる循環系の疾病，血液疾患，免疫不全，末期の悪性腫瘍などがあげられる．また治療へのコンプライアンスが得られない場合も含まれる．
・相対的禁忌症：全身疾患に罹患している患者でも，症状の改善が期待でき，専門医による管理がなされたうえで，的確な術式が施されリスクが少ないと判断される場合はインプラント治療が可能となる．糖尿病，喫煙などがあげられ，医科との連携が重要である．

750 全層弁 ぜんそうべん
full thickness flap
⇒942 粘膜骨膜弁

751 せん断強さ せんだんつよさ
shear strength
材料が破断せずに耐えられる最大せん断応力のこと．せん断応力とは，せん断荷重を受ける材料の極限強さ，断面積を規定した単一の物質または二つを

接合，結合，合着，接着したものを試験片とし，試験片断面または接合面をせん断面とし，この平面と並行で反対方向にせん断荷重を負荷して破壊したときの最大荷重を断面積で除した値である．単位はPaで表す．

752 前投薬 ぜんとうやく
premedication
関連語 抗菌薬予防〔的〕投与
手術もしくは侵襲的治療に先立って行われる薬物療法のこと．インプラント治療においては，患者の手術に対する不安や恐怖を取り除く目的で，必要に応じて手術開始30分～1時間前に，ベンゾジアゼピン系薬剤を投与することがある．また抗菌薬も症例に応じて投与する．

753 前鼻棘 ぜんびきょく
anterior nasal spine
同義語 ANS
上顎骨口蓋突起の前端に位置し，鼻腔下位から前方に突出する三角形状の骨突起である．小規模の骨移植のために，自家骨の口腔内供給源として使用されることがある．

そ

754 早期荷重 そうきかじゅう
early load
同義語 アーリーローディング，早期負荷，早期加重
インプラント体埋入後1週から2か月までの間に，暫定的なアバットメントあるいは最終的なアバットメントを装着し，暫間上部構造を装着して咬合接触を与えること．早期荷重を加える作業に関しては早期加重ともいう．

755 早期失敗 そうきしっぱい
early failure
インプラント体埋入後，インプラントを機能させる前に，オッセオインテグレーションが得られずに喪失すること．

756 早期接触 そうきせっしょく
premature contact
関連語 咬合干渉
咬頭嵌合位など安定した顎関係に達する前に起こる咬合接触や咬合干渉のこと．歯根膜のある天然歯の歯冠修復と比較して，インプラントではわずかな早期接触がチッピングや咬合の不調和を招きやすい．

757 早期負荷 そうきふか
early loading
⇒ 754 早期荷重

758 早期埋入 そうきまいにゅう
early implant placement
抜歯窩周囲の軟組織が治癒した状態（抜歯後1～4週後），あるいは抜歯窩に部分的に骨が形成された状態（抜歯後12～16週後）でインプラント体を埋入すること．

759 双極性障害 そうきょくせいしょうがい
bipolar disorder
うつ状態と躁状態という相反する二つの状態を繰り返す疾患である．社会生活に弊害を伴う躁状態を呈する双極Ⅰ型障害と，明らかに躁状態を呈しているが社会生活を維持でき入院を必要としない双極Ⅱ型障害に分類される．うつ病に比較し若年発症が多く，妄想や幻覚などの精神病症状を伴いやすい．

760 創傷治癒 そうしょうちゆ
wound healing
関連語 一次治癒，二次治癒
外的あるいは内的要因により生じた体表組織の損傷が修復される過程のこと．手術創のような新鮮創が無菌的に癒合治癒し，瘢痕形成を伴わない一次治癒と，組織欠損もしくは感染や壊死を伴い，多量の肉芽組織が形成され，瘢痕を残して治癒する二次治癒に分類される．抜歯窩の治癒は二次治癒である．またインプラントの埋入とその後のオッセオインテグレーションの獲得も骨の創傷治癒の状態により左右される．創傷治癒は全身的因子，局所的因子，手術関連因子によって影響を受ける．

761 創傷被覆材 そうしょうひふくざい
wound dressing material
創傷治癒過程において，湿潤療法の概念により，創傷が生じた部位を保護し，治癒を促進するために用いられる医療機器である．用途により，ポリウレタン，ハイドロコロイド，アルギン酸，ハイドロポリマー，ハイドロジェルなどが使用されている．

762 増殖因子 ぞうしょくいんし
growth factor
関連語 サイトカイン
細胞の増殖を促進する作用をもつ物質のことで，

歯周組織再生に用いられるPDGF，BMP-2およびbFGFなどはその代表である．

763 増生術 ぞうせいじゅつ
augmentation
⇒401 骨増生

764 造成術 ぞうせいじゅつ
augmentation
⇒402 骨造成

765 層板骨 そうばんこつ
lamellar bone
⇒842 緻密骨

766 ソーサライゼーション そーさらいぜーしょん
saucerization
⇒482 皿状吸収

767 即時インプラント そくじいんぷらんと
immediate implant
同義語 即時埋入
抜歯あるいはインプラント除去と同時に抜歯窩に埋入するインプラントのこと．周囲組織に感染や炎症がなく，また初期固定が期待できる症例に限られる．

768 即時荷重 そくじかじゅう
immediate load
同義語 イミディエイトローディング，即時負荷，即時加重
インプラント体埋入時あるいはその1週以内に暫間的なアバットメントあるいは最終的なアバットメントを装着し，暫間上部構造を装着して咬合接触を与えること．即時荷重を加える作業に関しては即時加重ともいう．

769 即時義歯 そくじぎし
immediate denture
抜歯の必要な歯があるとき，抜歯後の状態を予測して製作し，抜歯と同時に装着する義歯のこと．時間的ロスがなく審美的回復もしやすいが，抜歯窩の治癒に伴いリラインが必要になることが多い．

770 即時負荷 そくじふか
immediate loading
⇒768 即時荷重

771 即時埋入 そくじまいにゅう
immediately implant
⇒767 即時インプラント

772 束状骨 そくじょうこつ
bundle bone
同義語 線維束骨
歯槽骨の中にシャーピー線維が貫入している骨のこと．その内側や周囲にはシャーピー線維を欠く層板骨が存在する．

773 側方運動 そくほううんどう
lateral movement
下顎の側方への運動であり，通常は咬頭嵌合位あるいは下顎後退接触位から側方への接触滑走運動のこと．側方運動の咬合様式には，犬歯誘導咬合，グループファンクション，バランスドオクルージョンなどがある．

774 側方応力 そくほうおうりょく
lateral stress
歯あるいはインプラントに対して側方荷重が加わったときに生じる応力のこと．咬合力だけでなく，ブラキシズム，傾斜埋入によっても生じ，インプラントのリスクファクターと考えられている．

775 側方開窓術 そくほうかいそうじゅつ
lateral window technique
⇒613 上顎洞底挙上術

776 ソケットプリザベーション そけっとぷりざべーしょん
extraction socket preservation
抜歯の際に，骨補塡材やバリアメンブレンを用いて骨再生の場を維持し，抜歯窩内の骨形成の促進を図る処置である．抜歯後の顎堤吸収を抑制または遅延させ，歯槽部の骨と軟組織の形態を維持することを目的としている．

777 ソケットリフト そけっとりふと
socket lifting
⇒613 上顎洞底挙上術，174 オステオトームテクニック

778 組織再生誘導〔法〕 そしきさいせいゆうどう〔ほう〕
guided tissue regeneration〔method〕
同義語 歯周組織再生誘導〔法〕，GTR〔法〕
歯周組織再生療法に含まれる手術法である．歯槽骨欠損部位にバリアメンブレンを適用し，歯肉上皮

細胞の歯根面への付着，根尖側方向への移動を阻止し，歯根膜組織に含まれる間葉系細胞を歯根面に最初に付着できるようにすることで，シャーピー線維を含む細胞性セメント質の新生が得られ，結合組織性付着である新付着が形成される．

779 組織適合性 そしきてきごうせい
histocompatibility，tissuecompatibility
造血幹細胞，腎臓，肝臓，膵臓および心臓などの移植医療で，移植される側（宿主）と移植片との間に起こる拒絶反応の程度である．また，再生医療では人工材料や，組織や細胞などの生体成分と人工材料とのハイブリッド材料による人工臓器などについても生体適合性のレベルが重要である．

780 咀嚼 そしゃく
chewing
関連語 咀嚼運動
摂取した食物を粉砕し，食塊を形成して，嚥下しやすくすること．食物中の異物除去の役割がある．また，咀嚼刺激により消化液の分泌を促進し，食物の消化吸収を助けたり，舌・顎・筋など口腔諸組織の血流の増加により健康を保持し組織の発育を促進したりする役割がある．脳内の血流量の増加により脳の活性化，覚醒，リラックス効果なども得られる．

781 咀嚼運動 そしゃくうんどう
masticatory movement
関連語 咀嚼
咀嚼時に随意的あるいは反射的に行われる顎運動のこと．食物を摂取する際に，かみ切る（咬断），かみ砕く（粉砕），すりつぶす（臼磨），混ぜ合わせる（混合），食塊形成，嚥下に至る動作などが含まれる．咀嚼運動は食物の状態や種類に関係なく，ほぼ一定のリズムが保たれる．

782 咀嚼機能 そしゃくきのう
masticatory function
同義語 咀嚼，咀嚼能率
関連語 咀嚼運動
食物摂取から嚥下に至る一連の過程で，咀嚼運動によって生じるさまざまな能力のこと．

783 咀嚼筋 そしゃくきん
masticatory muscles
下顎骨の下顎枝内面および外面に広がる，咬筋・側頭筋・内側翼突筋・外側翼突筋からなる筋群で，下顎骨の下顎枝内面および外面に位置し，咀嚼運動に関与する．咬筋，側頭筋は頭蓋骨の表層の頬骨・側頭骨を起始とし，主に下顎枝外側面に付着する．内側翼突筋，外側翼突筋は深層の頭蓋底の蝶形骨翼状突起を起始とし，下顎枝内側面に付着する．支配神経は三叉神経の枝である下顎神経である．下顎骨の挙上，下制，前突，後退，側方運動に関与する．

784 咀嚼効率 そしゃくこうりつ
masticatory efficiency
⇒ 787 咀嚼能率

785 咀嚼困難 そしゃくこんなん
difficulty chewing
器質性障害による咬合支持域の喪失，運動性障害および加齢変化などに起因して咀嚼能力が著しく低下した際に，患者自身が咀嚼機能の低下を自覚すること．患者がものをうまくかめない，かむと顎が痛いなどの様子を表現し，主訴に用いる．

786 咀嚼障害 そしゃくしょうがい
masticatory dysfunction，dysmasesis
関連語 咀嚼困難
食物の切断・粉砕，食塊形成，食塊の咽頭への送出など口腔期の一連の正常な咀嚼過程が，器質性障害や運動性障害によって妨げられる障害である．咀嚼障害は客観的かつ定量的に評価し，判定には咀嚼能力検査法などを用いて検査する．咀嚼障害は傷病名として使用する．

787 咀嚼能率 そしゃくのうりつ
masticatory efficiency
同義語 咀嚼効率
咀嚼機能を評価する指標の一つである．検査法としては，粉砕性のある咀嚼試料（ピーナッツや生米など）を決められた時間だけ咀嚼させて，その粉砕粒子の分布状態を測定する方法があるが，先進医療「有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査」における咀嚼能率検査においては，グミゼリーを左右いずれか片側で咀嚼させた後，口腔内に溶出したグルコース濃度を測定する方法が採用されている．

788 咀嚼パターン そしゃくぱたーん
chewing pattern
同義語 咀嚼運動経路
咀嚼運動時における切歯点の運動経路の前頭面観のこと．歯の接触滑走が著明で，中心咬合位から非咀嚼側への臼磨運動を呈するグラインディングタイプと，歯の接触滑走が少なく，咀嚼側のみで運動する咬断運動様の経路を呈するチョッピングタイプの

2種類に大別できる．咀嚼パターンは咀嚼する食品によって異なる．

789 ソフトティッシュマネジメント そふとてぃっしゅまねじめんと
soft tissue management
インプラント周囲組織の審美性の回復や長期の維持安定を図るために軟組織に行う処置のこと．インプラント周囲組織の退縮の予防，角化付着粘膜の獲得，歯肉切除，結合組織移植，歯肉整形などがある．

790 ソフトレーザー そふとれーざー
soft laser
⇒ 989 半導体レーザー

た

791 対孔 たいこう
nasoantral window，intranasal drainage
同義語 鼻腔内ドレナージ
関連語 上顎洞炎，上顎洞根治術
上顎洞炎に対する上顎洞根治術において，洞内粘膜の除去と同時に通気と膿排出の改善を図る目的で形成される中鼻道，下鼻道への交通路のこと．術後性上顎嚢胞の手術においても形成される．上顎洞根治術施行患者では，上顎洞粘膜は除去されているため，上顎洞底挙上術は禁忌とされている．

792 大口蓋孔 だいこうがいこう
greater palatine foramen
上顎第二大臼歯遠心口蓋側の口蓋突起の後縁で，上顎骨と口蓋骨の移行部にあり，大口蓋管の硬口蓋への開口部である．大口蓋動脈と大口蓋神経は大口蓋管内を走行し大口蓋孔から出て前方に進み，鼻口蓋動脈・神経と交通し，硬口蓋の粘膜や口蓋腺，舌側歯肉の栄養と知覚，腺の分泌に関与する．

793 ダイコム だいこむ
DICOM
Digital Imaging and Communication in Medicine の略（DICOM）であり，医用画像のフォーマットとそれらの画像を扱う医用画像機器間の通信プロトコルの共通規格を示す．DICOM にのっとったデータにより，多機種の画像形成装置や画像観察システムが互換可能となる．インプラント治療における CT データの活用に貢献している．

794 待時荷重 たいじかじゅう
conventional loading
同義語 待時負荷，通常荷重，待時加重
関連語 即時荷重，早期荷重
インプラント体埋入後2か月以上経過した後に，暫定的なアバットメントあるいは最終的なアバットメントを装着し，暫間上部構造を装着して咬合接触を与えること．さらに荷重までに時間をかける場合（遅延荷重または遅延負荷）では，下顎で3か月，上顎で6か月待つ場合もある．待時荷重を加える作業に関しては待時加重ともいう．

795 待時負荷 たいじふか
waiting load
⇒ 794 待時荷重

796 待時埋入 たいじまいにゅう
delayed implant placement
同義語 遅延埋入
関連語 早期埋入，即時インプラント
抜歯窩が治癒した状態でインプラント体を埋入すること．抜歯窩が完全に治癒して骨に変換されるまでには6か月以上はかかるとされている．

797 耐食性 たいしょくせい
corrosion resistance
同義語 耐蝕性
金属が気体もしくは液体中で腐食に抵抗する性質である．金属腐食の中心には酸化還元反応があり，異種金属が接触している部位はガルバニー電流が発生するために腐食が加速する．

798 代用骨 だいようこつ
bone substitute
⇒ 645 人工骨

799 唾液分泌障害 だえきぶんぴつしょうがい
hypoptyalism
⇒ 331 口腔乾燥症

800 他家移植〔体，片〕 たかいしょく〔たい，へん〕
homograft(s)，allograft(s)
⇒ 63 移植〔術，法〕

801 他家骨移植 たかこついしょく
allogenic bone graft，homogeneous bone graft
関連語 移植〔術，法〕，自家骨移植，同種移植
本人以外から採取した骨移植片を用いた骨移植の

こと．他人の骨を用いるものを特に同種骨移植と呼び，異種骨移植と区別する．インプラント治療には凍結乾燥骨（FDB），脱灰凍結乾燥骨（DFDB）などが海外では用いられているが，感染のリスクなどから日本ではほとんどが未承認である．

802 多血小板血漿 たけっしょうばんけっしょう
platelet-rich plasma
同義語 血小板濃厚血漿，PRP
関連語 血液由来成長因子
全血を遠心分離して得られる血液成分のうち，血小板を多く含む血漿成分である．間葉系組織の再生を促す血小板由来成長因子（PDGF），血管内皮成長因子（VEGF），トランスフォーミング成長因子（TGF）などの増殖因子を高濃度に含む．

803 多孔質材料 たこうしつざいりょう
porous material
細孔が非常にたくさんある材料のことで，細孔の大きさによって，ミクロポーラス材料，メソポーラス材料，マクロポーラス材料に分けられる．また材質により，多孔質セラミックス（アルミナ，ハイドロキシアパタイト），多孔質金属（チタン）などがあり，多孔質ハイドロキシアパタイトや多孔質チタンは多孔質インプラントとして使用される．

804 多孔質ハイドロキシアパタイト
たこうしつはいどろきしあぱたいと
porous hydroxyapatite
⇒ 803 多孔質材料

805 多職種連携 たしょくしゅれんけい
interprofessional work
関連語 チームアプローチ，チーム医療
医療・保健・福祉・介護など複数の専門職が，患者や利用者に関する情報を共有し，それぞれの職種が専門性を活かしながら協働することにより，患者や利用者の状況に的確に対応した医療や支援を提供すること．インプラント治療においても，超高齢社会や在宅医療の普及などに伴い，多職種連携の重要性が高まってきている．

806 打診 だしん
tap，percussion
叩打することにより疼痛の有無や音で検査する方法のことで，垂直打診と水平打診がある．インプラント治療では，打診によりオッセオインテグレーションの状態，アバットメントやスクリューの緩みを打診音，動揺，痛みなどで診断する．

807 多断面再構成画像 ただんめんさいこうせいがぞう
multiplanar reconstruction，multiplanar reformation
同義語 MPR，多断面変換画像
類義語 クロスカット画像，クロスセクショナル画像，オブリーク画像
CT などの容積データから抽出した任意平面の画像を示す．主に体軸横断像，矢状断像，前額断（冠状断）像などが用いられる．

808 多断面変換画像 ただんめんへんかんがぞう
multiplanar reconstructed image
⇒ 807 多断面再構成画像

809 脱灰骨 だっかいこつ
demineralized bone
類義語 凍結乾燥骨（FDB），脱灰凍結乾燥骨（DFDB），脱灰凍結乾燥同種骨移植〔体，片〕（DFDBA），凍結乾燥同種骨移植（FDBA），凍結乾燥異種骨移植（FDBX）
骨移植に用いる材料の一種で，自家骨，他家骨（同種，異種）材料からリン酸カルシウム塩の結晶を溶出させて作製されるものである．一般的に，自家骨移植が臨床的に最も有効な方法であるが，採取部位への侵襲と，採取できる骨量に限界がある．そこで，同種でほかの個体から採取した骨を脱灰凍結乾燥することで，感染の危険性，免疫原性を下げた他家同種骨移植の DFDBA が臨床応用されている．骨誘導能を有すると報告されているが，日本では厚生労働省から認可されていない．

810 脱灰凍結乾燥骨 だっかいとうけつかんそうこつ
demineralized freeze-dried bone（DFDB）
⇒ 809 脱灰骨

811 脱灰凍結乾燥同種骨移植〔体，片〕
だっかいとうけつかんそうどうしゅこついしょく〔たい，へん〕
demineralized freeze-dried bone allograft(s)（DFDBA）
⇒ 809 脱灰骨

812 タッピング たっぴんぐ
tapping
①スクリュー型インプラントの埋入前に，骨内にスレッド（ねじ山）を形成すること．
同義語 ねじ切り
②基本的な下顎運動の一つ．咬合面間に食物のない状態で上下顎の歯（人工歯）を反射的にカチカチとかみ合わせること．

た

関連語　下顎運動，ブラキシズム

813 段階的アプローチ　だんかいてきあぷろーち
staged approach
⇒ 681 ステージドアプローチ

814 単結晶体　たんけっしょうたい
monocrystalline，single crystal
任意の結晶軸に対してどの部分もその向きが同じになるように原子が規則正しく配列した結晶体である．多結晶体と比較して，一般に機械的強さや化学的安定性が高い．ハイドロキシアパタイトは主に単結晶粒が不規則に集合した多結晶体で利用されるが，単結晶粒を配向させたハイドロキシアパタイトが単結晶アパタイトである．アルミナの単結晶である単結晶サファイアはダイヤモンドに次ぐ硬さであり，高純度のアルミナを人工的に巨大結晶に成長させたもので，インプラントとして使用されていた．

815 炭酸アパタイト　たんさんあぱたいと
carbonate apatite，apatite carbonate
同義語　炭酸含有水酸アパタイト
関連語　ハイドロキシアパタイト，β-TCP
ヒトの骨の無機成分で，ハイドロキシアパタイトのリン酸基の一部が炭酸基に置換したものである．骨補填材として合成されたものは骨伝導性を有し，経時的に吸収されて新生骨に置換される．化学組成式は $Ca_{10-a}(PO_4)_{6-b}(CO_3)_c(OH)_{2-d}$ である．

816 炭酸ガスレーザー　たんさんがすれーざー
carbon dioxide laser
同義語　CO_2 レーザー
関連語　レーザー，Er:YAG レーザー，Nd:YAG レーザー
炭酸ガスを用いて発生する気体レーザーである．発振波長は 10.6 μm の連続波，あるいはパルス波として発振される．水に吸収されやすく表面吸収型である．軟組織の蒸散・除去，メラニン色素除去，知覚過敏処置などに用いられる．止血作用にも優れ，熱凝固層も比較的薄いが，熱作用が強く，照射表面に炭化層を生じやすい．

817 短縮歯列　たんしゅくしれつ
shortened dental arch
遊離端欠損において歯列の回復を第二小臼歯までにとどめ，大臼歯は補綴しないという概念である．少なくとも小臼歯の咬合接触が存在する遊離端欠損の場合，その欠損を放置しても咬合支持や顎機能には問題がなく，むしろ欠損補綴を行うことにより残存歯の二次齲蝕や歯周病の進行，顎堤の吸収，異物感，患者負担などが生じるという考え方がある一方，咀嚼機能の低下や顎関節症状発現の危険性などを懸念する考え方もある．

818 単純結節縫合　たんじゅんけっせつほうごう
simple interrupted suture
関連語　水平マットレス縫合
創傷を 1 針ずつ縫合結紮する方法である．創面を合わせやすく，張力を調整しやすい，部分的な抜糸が可能という利点をもつ．一方，連続縫合に比較し，操作に時間を要する，結節痕が残りやすいという欠点もある．

819 弾性係数　だんせいけいすう
elastic modulus
同義語　弾性率，ヤング率
材料の変形のしにくさを表す物性値である．単軸応力の下での材料の応力とひずみは，弾性変形の範囲では比例関係にあり，その比例定数をいう．単位は Pa で表す．チタンの弾性係数は 106 GPa で骨の弾性係数 10 ～ 30 GPa より大きい．

820 弾性変形　だんせいへんけい
elastic deformation
材料に外力を加えたときに起こる変形のうち，外力を取り除くとただちに元に戻る変形である．

821 弾性率　だんせいりつ
elastic modulus
⇒ 819 弾性係数

822 炭素繊維　たんそせんい
carbon fiber
同義語　カーボン繊維
ポリアクリロニトリル（PAN）繊維やピッチ（PITCH）繊維などの有機繊維を不活性雰囲気中で蒸し焼きにして炭素以外の元素を脱離させて製作する．炭素含有量は標準弾性係数の炭素繊維で 90％以上，高弾性係数の炭素繊維ではほぼ 100％が炭素となる．炭素繊維の比重は約 1.8 でチタンの約 4.5，アルミニウムの約 2.7，ガラス繊維の約 2.5 と比べても軽い．また，強度，弾性係数，耐摩耗性，耐熱性，耐酸性，エックス線透過性，熱や電気の伝導性などに優れる．しかし，加工性が欠点とされ，単独使用例が少なく，炭素繊維強化プラスチックあるいは炭素繊維強化複合材料などとして用いられる．医療用としては整形外科領域でインプラント材料や義肢などに使用される．歯科領域ではポスト用の材料

として使用され，ガラス繊維と同様にメタルフリーのブリッジのポンティック部の補強用としても用いられる．ほかのさまざまな歯科用途への研究開発がされている．

823 担体 たんたい
carrier
⇒ 900 ドラッグデリバリーシステム

824 単独植立 たんどくしょくりつ
single standing
同義語 単独インプラント
天然歯またはほかのインプラントと上部構造で連結することなく，単独で機能するインプラントのこと．オッセオインテグレーションを獲得したインプラントであれば，単独植立は可能である．

ち

825 チームアプローチ ちーむあぷろーち
team approach
関連語 チーム医療，多職種連携
インプラント治療を受ける患者に対し，歯科医師，歯科衛生士，歯科技工士，受付，メーカー，医師，看護師，さらには患者とその家族など，患者を取り囲むすべてのスタッフが連携し，包括的に治療やケアを行うための取り組みをさす．

826 チーム医療 ちーむいりょう
team medical care，team care，team treatment
関連語 チームアプローチ，多職種連携
主に医療機関を中心とした治療やケアを行う場合に用いられる．インプラント治療では，患者を中心とし，歯科医師，歯科衛生士，歯科技工士，さらに医師，看護師などの医療従事者が連携し，それぞれの専門性を活かすことでよりよい医療を行うことを意味する．各専門職が協力して多角的に病態を捉えて治療にあたることで，インプラント治療の質を向上させることができる．

827 遅延荷重 ちえんかじゅう
delayed load
⇒ 794 待時荷重

828 遅延負荷 ちえんふか
delayed loading
⇒ 794 待時荷重

829 遅延埋入 ちえんまいにゅう
delayed implant
⇒ 796 待時埋入

830 知覚異常 ちかくいじょう
abnormal sensation
関連語 知覚障害
知覚神経の障害後にその神経支配領域に発症する痛感，温度感覚，触覚あるいは深部感覚などに異常を生じた状態で，知覚鈍麻および知覚消失，知覚過敏などの状態がある．anesthesia（感覚消失），hypoesthesia（知覚低下）のほか，allodynia（通常は痛みを誘発することがない刺激強さで痛みが出現する），hyperalgesia（加えられた痛み刺激以上に強い痛みを感じる），dysesthesia（自発性または誘発性に生じる「不快な感覚」）などの異常感覚も含まれる．

831 知覚障害 ちかくしょうがい
sensory disturbance
関連語 知覚異常
中枢あるいは末梢神経の知覚伝導路障害によって，刺激を正常に知覚できない状態をいう．末梢神経での伝導路障害は抜歯，口腔インプラント，歯内療法，局所麻酔注射などの歯科治療によっても起こりうる．

832 置換性吸収 ちかんせいきゅうしゅう
replacement resorption
⇒ 531 歯根吸収

833 チタン ちたん
titanium
同義語 チタニウム，Ti
原子番号 22，第 4 族元素（チタン族元素）の一つで，金属光沢をもつ．歯科用金属の中で比重は 4.5 と非常に軽く，電気や熱の伝導性が低く，弾性に富み，展性や延性が大きく，磁性がきわめて弱い．商用純チタン（CPTi）は不純物元素の含有量から JIS で 1 ～ 4 種までに分類され，引張強さは順に大きくなり，4 種が最も大きく 600 MPa 以上となる．チタン表面に安定な酸化チタンの不動態膜の生成による高い耐食性や優れた生体適合性がある．さらに，純チタン製インプラントは，オッセオインテグレーションを示し，インプラント体として優れている．

834 チタンインプラント ちたんいんぷらんと
titanium implant
⇒ 833 チタン

835 チタン合金 ちたんごうきん

titanium alloy

チタンの機械的性質などを改善するため，チタンを主成分にほかの元素を添加した合金のこと．チタン合金の機械的性質は金属組織依存性が大きく，室温での組織によってα型，α＋β型，β型などに分類される．1954年に実用化されたα＋β型のチタン6-アルミニウム4-バナジウム合金は工業用のチタン合金として，優れた機械的性質を有し，熱処理性や溶接性などのバランスが良いことから最も多く用いられている．歯科領域でも各種補綴装置のほか，純チタン同様にオッセオインテグレーションがあるとされ，インプラントに用いられている．しかし，合金組成のV（バナジウム）の細胞毒性が特に強いことが古くから知られており，生体適合性の点からVをNb（ニオブ）など，毒性が低いほかの元素に置き換えた合金も各種研究開発され，インプラントやほかの整形外科用材料として用いられている．過去には，ニッケルチタン合金なども用いられていた．

836 チタン-ジルコニウム合金

ちたんじるこにうむごうきん

titanium-zirconium alloy

関連語 チタン合金

チタンとジルコニウムの合金のこと．機械的強度や生体適合性に優れ，インプラント材料として用いられている．

837 チタンの腐食 ちたんのふしょく

corrosion of titanium

チタンは表面に酸化チタンの不動態膜を形成するので，コバルトクロム合金やステンレス鋼よりも耐食性が良好でインプラントに利用されているが，強酸性下のフッ化物，塩基性の過酸化水素水，硫化物の存在する環境下で腐食する可能性がある．

838 チタンプラズマコーティング

ちたんぷらずまこーてぃんぐ

titanium plasma coating

⇒ 860 TPSコーティング

839 チタンプラズマ溶射インプラント

ちたんぷらずまようしゃいんぷらんと

titanium plasma sprayed（TPS）implant

同義語 TPSインプラント

関連語 TPSコーティング

チタンプラズマ溶射（TPS）により表面処理されたインプラントのこと．

840 チタンメッシュ ちたんめっしゅ

titanium mesh

骨造成や骨再生のためスペースを維持するために用いられる網状のチタン膜である．通常0.1～0.2 mm厚のものが使用される．細片状の移植骨などを本メッシュにて覆い，マイクロスクリューなどで固定する．本材料は賦形性に優れ，作られたスペースに移植された材料が安定しやすいという利点をもつ反面，被覆粘膜の菲薄な部位では，メッシュが露出しやすく，ときに細菌感染を引き起こしやすいことに注意を要する．

841 チタン6-アルミニウム4-バナジウム合金

ちたんろくあるみにうむよんばなじうむごうきん

Ti-6Al-4V

同義語 JIS60種

アルミニウム（Al）を6 mass%，バナジウム（V）を4 mass%含むチタン合金である．純チタンよりも引張強さや耐力が大きい．高耐食性で比強度（密度あたり引張強さ）が大きい合金の代表として整形外科領域の医療材料として使用されている．インプラント体として用いた場合，純チタンと同様に骨とオッセオインテグレーションする．

842 緻密骨 ちみつこつ

compact bone

同義語 皮質骨

類義語 緻密質，層板骨

骨の表層を形成する緻密な性状の骨質からなり，皮質骨とも呼ばれる．長管骨の骨幹部では，緻密骨が厚く発達する一方で，ほかの短骨などにおいては薄い．緻密骨には動静脈を通すための二つの管系（ハバース管とフォルクマン管）が発達している．組織学的には骨層板が重なり合うことで構成される．特に骨の長軸に並走するハバース管を同心円状に取り巻くハバース層板が特徴で，一つの円柱構造を骨単位（オステオン）と呼ぶ．

843 中間欠損 ちゅうかんけっそん

bounded missing，intermediate missing

欠損部の近遠心側のいずれにも残存歯が存在する歯列の部分欠損のこと．Kennedy分類ではⅢ級またはⅣ級に分類される．装着される部分床義歯を咬合圧の支持様式により分類すると，主として歯根膜支持型義歯となる．

844 中空円柱状インプラント
ちゅうくうえんちゅうじょういんぷらんと
hollow cylinder implant, implant basket, inverted basket implant
インプラント体の設計の一つで，維持安定を図るため先端部が中空になっており，埋入時の骨形成の際，コア部分の骨を残してインプラント根尖の中空部分と適合する形態をとる．

845 中心位 ちゅうしんい
centric relation
⇒195 下顎位

846 中心咬合位 ちゅうしんこうごうい
centric occlusion
⇒195 下顎位

847 中水準消毒 ちゅうすいじゅんしょうどく
intermediate-level disinfection
関連語 高水準消毒，低水準消毒
芽胞以外のすべての微生物を殺滅する処理である．実際に死滅するのは結核菌，栄養型細菌，ほとんどのウイルス，ほとんどの真菌とされる．
⇒353 高水準消毒の表参照

848 超音波骨切削機器 ちょうおんぱこつせっさくきき
ultrasonic bone cutting equipment
関連語 エレクトロサージェリー
三次元超音波振動を利用する骨切削器具のこと．神経や血管などの軟組織を傷つけずに骨だけを切削することができるため，創傷治癒は従来のバーや鋸に比べて良好とされる．目的に応じてさまざまな形態のチップがあり，インプラント手術では上顎洞底挙上時の骨窓形成，骨移植時の骨採取などに用いられる．このような超音波骨切削機器を用いた手術はピエゾエレクトリック（エレクトリカル）サージェリーと呼ばれる．

849 超音波スケーラー ちょうおんぱすけーらー
ultrasonic scaler
25,000 ～ 42,000 Hz/ 秒の超音波振動出力により，注水下で歯石を粉砕，除去するスケーラーのこと．歯石表面をフェザータッチで振動，槌打し，歯石を破砕，空洞現象（キャビテーション）で剝離させると同時に，噴霧，洗浄によりスケーリングを行う．ペースメーカー装着者には禁忌である．

850 腸骨移植 ちょうこついしょく
iliac bone graft(s)
⇒63 移植〔術，法〕

851 治療用義歯 ちりょうようぎし
treatment denture
最終補綴装置の製作に先立ち，顎堤粘膜や筋・顎関節の異常を治療することを目的として装着する暫間的な義歯のこと．使用中の義歯を修正する場合と，治療を目的として新義歯を製作する場合がある．インプラント治療では，最終的な上部構造の装着前に使用する．

852 鎮静法 ちんせいほう
sedation
⇒628 静脈内鎮静法，697 精神鎮静法

つ

853 ツイストドリル ついすとどりる
twist drill
⇒903 ドリル

854 ツーピースインプラント
つーぴーすいんぷらんと
two-part implant
インプラント体とアバットメントが分かれているタイプのインプラントシステムで，現在使用されているインプラントのほとんどがこのタイプである．

て

855 DFDB でぃーえふでぃーびー
demineralized freeze-dried bone
⇒809 脱灰骨

856 DFDBA でぃーえふでぃーびーえー
demineralized freeze-dried bone allograft(s)
⇒809 脱灰骨

857 TGF てぃーじーえふ
transforming growth factor
同義語 形質転換成長《増殖》因子，トランスフォーミング成長《増殖》因子
二つのポリペプチド成長因子からなる．TGF-α は形質転換細胞や癌細胞の条件培地から得られ，多くの表皮や上皮細胞の増殖を促進する．もう一方の

TGF-βは腎臓や血小板から得られ，多くの細胞に対し増殖，分化を制御する．

858 DDS でぃーでぃーえす
drug delivery system
⇒900 ドラッグデリバリーシステム

859 TPS インプラント てぃーぴーえすいんぷらんと
titanium plasma sprayed（TPS）implant
⇒839 チタンプラズマ溶射インプラント

860 TPS コーティング てぃーぴーえすこーてぃんぐ
titanium plasma sprayed（TPS）coating
同義語 チタンプラズマコーティング
インプラント体の表面改質法の一つで，インプラント体にチタン粉末を完全にまたは部分的に溶融し，高温蒸着し急激に凝固させ高密度または多孔質の被膜を形成する表面処理のこと．

861 低血糖性昏睡 ていけっとうせいこんすい
hypoglycemic coma
血液中のブドウ糖量が低下することによって起こる意識障害である．一般的には血糖値が70 mg/dL以下になると，動悸，冷汗，手指の震えなどの自律神経症状（警告症状）が出現し，さらに，血糖値が50 mg/dL以下になると，意識障害などの症状が出現する．インスリン注射あるいはスルフォニル尿素薬を内服する糖尿病患者のインプラント治療においては，長時間の手術や術後の食事摂取が困難であるため，低血糖性昏睡に注意が必要である．

862 低水準消毒 ていすいじゅんしょうどく
low-level disinfection
関連語 高水準消毒，中水準消毒
ほとんどの栄養型細菌，ある種のウイルス，ある種の真菌を殺滅する処理である．一方で，結核菌，芽胞，B型肝炎ウイルスは殺滅できない．傷のない健常な皮膚に接触する器具や頻繁に手が接触する環境に適切な消毒方法である．
⇒353 高水準消毒の表参照

863 ディスインテグレーション でぃすいんてぐれーしょん
disintegration
同義語 骨結合喪失
獲得したオッセオインテグレーションが喪失した状態である．オッセオインテグレーションの失敗は獲得失敗と維持喪失に分かれるが，本用語はオッセオインテグレーションの維持喪失のこと．

864 ディスクルージョン でぃすくるーじょん
disclusion
同義語 臼歯離開咬合
類義語 即時離開咬合，遅延離開咬合
下顎の偏心運動中に，下顎をガイドしている前歯以外の対向している臼歯に離開が認められる咬合様式である．有歯顎における理想咬合では，咬頭嵌合位での両側同時均等接触，偏心運動時の犬歯誘導や臼歯離開などが条件として提示されている．インプラント体の上部構造においても理想的な咬合様式は有歯顎の咬合様式と同じとする考えがある．

865 ディスタントオステオジェネシス でぃすたんとおすておじぇねしす
distant osteogenesis
関連語 オッセオインテグレーション，コンタクトオステオジェネシス
インプラント体の方向へ向かって既存骨から骨が徐々に添加していく治癒形態である．

866 ディストラクション でぃすとらくしょん
destruction
⇒216 仮骨延長術

867 ティッシュエンジニアリング てぃっしゅえんじにありんぐ
tissue engineering
同義語 組織工学
類義語 生体組織工学，組織再生工学
関連語 再生医療
細胞などを使った生命科学と工学を組み合わせて，失われた臓器や組織の機能を補う技術である．

868 ティッシュコンディショナー てぃっしゅこんでぃしょなー
tissue conditioner
義歯床粘膜面を削除してそのスペースを満たすように用いる弾性あるいは粘弾性を有した材料のこと．インプラント治療においては，埋入手術後の治癒期間中に有床義歯を装着する場合，創傷治癒への対応やインプラント体への応力緩和を目的として治療用義歯の義歯床粘膜面をリリーフしてティッシュコンディショナーを使用することがある．なお，軟質リライン材は暫間的な材料ではないため，ティッシュコンディショナーとは区別される．

869 ティッシュパンチ てぃっしゅぱんち
tissue punch
同義語 粘膜パンチ
類義語 歯肉パンチ
関連語 フラップレスサージェリー《手術》
粘膜や骨膜などの軟組織に穴を開ける器具のこと．大きく切開を入れずに目的とする部分の軟組織のみを除去する場合に用いる．インプラントの二次手術では，ティッシュパンチの先端部をカバースクリュー中央部に挿入して回転させることにより，骨膜や結合組織を除去し，カバースクリューを露出させる目的で用いる．

870 テーパージョイント てーぱーじょいんと
tapered joint
同義語 モーステーパー
インプラント体の内部にテーパーの形状が付与されており，アバットメントスクリューを締めることで楔効果が生じて強固にインプラントとアバットメントが固定される適合様式のこと．アバットメントの緩みが生じにくいだけでなく，微少漏洩が少なく，インプラント体の内部に細菌感染が及びにくいという利点がある．

871 テーパードインプラント
てーぱーどいんぷらんと
tapered implant
インプラント体の上部から先端にかけて細くなる形状で，天然歯形態に類似した形状をもつインプラント体である．ストレート（パラレル）タイプに比べて下顎前歯部などの解剖学的に天然歯と近接する部位に埋入しやすく，埋入時のトルクが大きく初期固定を得やすいとされている．

872 適合性試験 てきごうせいしけん
fit checking，evaluation of fit
関連語 パッシブフィット，微少漏洩
上部構造の適合精度を検査するための試験である．天然歯と比較してインプラント体は可動性が著しく小さいので，より高い適合精度が求められる．特にスクリュー固定の連結冠やブリッジの上部構造ではパッシブフィットが要求されるので最端部のスクリューだけを連結して，ほかの部のマージンの浮き上がり量をチェックする（ワンスクリューテスト）．マージンが歯肉縁下にあり肉眼で確認できないときは，エックス線画像を利用する．また，連結する際のトルクの変化率によって浮き上がりを予測することができる（スクリューレジスタンステスト）．セメント固定の上部構造では天然歯と同様に手指圧で上部構造を適合させ，マージン部の浮き上がりやがたつきを確認したり（alternate finger pressure test），シリコーン系適合試験材を用いたりする．

873 DXA できさ
dual-energy X-ray absorptiometry
同義語 二重エネルギーエックス線吸収測定法
二重エネルギーエックス線を用いて骨密度を測定する方法であり，腰椎や大腿骨の値を用いて骨粗鬆症の診断が行われる．

874 デコルチケーション でこるちけーしょん
decortication
⇒1012 皮質骨穿孔

875 デジタルワークフロー でじたるわーくふろー
digital workflow
デジタル印象法とCAD/CAMシステムを用いて，補綴装置ならびにインプラント上部構造を製作する一連の過程のこと．

876 デプスゲージ でぷすげーじ
depth gauge
同義語 深度ゲージ，デプスプローベ
インプラント体の埋入窩をドリルで形成する際に，埋入窩の深さや直径を測定するために使用する器具である．深さはデプスゲージに刻印されたマーカーを使用して測定する．

877 デブライドメント でぶらいどめんと
debridement
同義語 壊死組織除去，創傷郭清，デブリードマン
損傷などにより挫滅した軟組織，血行障害で壊死に陥る可能性の大きい創縁，感染創などにおける壊死部分をメスや鋭匙などを用いて除去し，健常な創傷治癒を導くこと．特に汚染創の処置においては必須の手技である．異物や壊死部分は血行障害や感染を招き，創傷の治癒機転を著しく阻害して瘢痕も醜形となるため，一次治癒に導くために，できるだけ早期にデブライドメントを徹底的に行うことが重要である．
インプラント治療や歯周治療においては，インプラントや歯根表面に強固に付着した歯石や異物，バイオフィルム，骨欠損部感染組織などを除去する行為を含む．

878 デブリードマン でぶりーどまん
debridement
⇒ 877 デブライドメント

879 テレスコープ てれすこーぷ
telescope
類義語 テレスコープクラウン，シリンダーテレスコープ，二重金属冠
分離可能な外冠と内冠からなる二重金属冠であり，義歯の支台装置として用いられる．両者の緊密な適合から生じる摩擦力や楔効果を利用して維持力を得る．内冠の軸面が平行なパラレル（シリンダー）型と内冠の軸面がテーパーを有し円錐面となっているコーヌス型がある．また金属製の内冠とレジン製の外冠が組み合わされたコーピングテレスコープは支台歯の状況により支持力の調整が容易である．

880 電気メス でんきめす
electric scalpel
電気を熱エネルギーに変換し，切開，組織凝固を図るメスである．

881 テンションフリー縫合
てんしょんふりーほうごう
tension-free sutures
関連語 減張切開
切断された軟組織を緊張なく縫い合わせること．過度な結紮糸の締め込みによる組織断端の断裂や縫合創部の血流障害，術後の縫合創の哆開の防止などを目的に行う．前段階として，粘膜，骨膜の減張切開，粘膜下，骨膜下の十分な剝離操作を行うことがある．

882 伝達麻酔 でんたつますい
block anesthesia
末梢神経の本幹または神経叢に局所麻酔薬を注射して，その神経の支配領域の麻酔を得る方法である．少量の麻酔薬で広範囲に麻酔効果が得られる，麻酔奏効時間が長く手術部位より離れたところで神経を麻酔するので，局所に炎症があっても効果的に麻酔が行えるなどの利点がある．歯科領域では下顎孔伝達麻酔が多く用いられる．

883 デンタルエックス線画像
でんたるえっくすせんがぞう
dental radiography
歯科用のエックス線撮影装置によって撮影する方法，またはその方法により撮影された画像のこと．撮影法としては，平行法，二等分法，咬翼法，咬合法などがある．解像度が高いため，診断には欠かすことができない．

884 デンチャースペース でんちゃーすぺーす
denture space
口腔内における補綴装置が装着可能な空間のこと．

885 テンプレート てんぷれーと
template
関連語 診断用テンプレート，サージカルガイドプレート
診断用テンプレート，サージカルガイドプレートの総称である．

886 テンポラリーアバットメント
てんぽらりーあばっとめんと
temporary abutment
同義語 テンポラリーシリンダー
関連語 暫間上部構造
最終上部構造を装着するまでの期間に，咀嚼機能，審美性の回復，理想的な歯肉形態を得るために装着する暫間上部構造の製作に使用するアバットメントのこと．

と

887 凍結乾燥異種骨移植
とうけつかんそういしゅこついしょく
freeze-dried bone xenograft(s)（FDBX）
⇒ 809 脱灰骨

888 凍結乾燥骨 とうけつかんそうこつ
freeze-dried bone（FDB）
⇒ 809 脱灰骨

889 凍結乾燥同種骨移植〔体，片〕
とうけつかんそうどうしゅこついしょく〔たい，へん〕
freeze-dried bone allograft(s)（FDBA）
⇒ 809 脱灰骨

890 陶材焼付金属冠 とうざいやきつけきんぞくかん
ceramometal crown，porcelain fused-to-metal crown
同義語 メタルボンドクラウン
単独，連結，またはブリッジタイプの固定性上部構造として用いられる前装冠の一つである．セメント合着では内冠を個別に固定する．スクリュー固定

では，インプラント体に直接メタルフレームを固定するので適合性が重要になる．またアクセスホール周辺のポーセレンの破折に注意を要する．

891 同種移植 どうしゅいしょく
allograft(s)
同義語 アログラフト
広義には同一種間で行う細胞，組織，臓器の移植をいう．ヒトでは他人由来の材料を移植することをいう．使用される材料は拒絶反応を阻止するために，抗原性を除去する処理が施される．代表的な材料としては，脱灰凍結乾燥同種骨移植片（DFDBA）などがある．

892 疼痛外来 とうつうがいらい
pain clinic
⇒1087 ペインクリニック

893 動的荷重 どうてきかじゅう
dynamic load
同義語 機能負荷
物体に働く力の大きさや向きが時間とともに変わる荷重である．インプラント体に加わる荷重の種類では，咬合圧などによる荷重の大きさや方向が一定時間中に変化することであり，変化しない場合の静的荷重と対比される．

894 糖尿病 とうにょうびょう
diabetes mellitus
同義語 DM
インスリンの相対的あるいは絶対的欠乏により生じる慢性代謝性疾患である．膵ランゲルハンス島の破壊・消失によりインスリン産生が著しく低下して発症する1型糖尿病と，インスリンの分泌低下・抵抗性をきたす遺伝子因子に過食，肥満，ストレス，運動不足などが加わって発症する2型糖尿病に分けられる．重篤な場合は慢性の高血糖症，尿糖，電解質異常，ケトアシドーシス，昏睡などが生じる．血管合併症として末梢神経障害，網膜症，腎障害，心筋梗塞などがある．インプラント治療のリスクファクターの一つである．

895 頭部エックス線規格撮影法 とうぶえっくすせんきかくさつえいほう
cephalometric radiography
同義語 セファログラム
「焦点-セファロスタット回転中心-感光系」の距離を「0-150-165（mm）」に規格し，頭部の平均的拡大率を1.1倍になるようにしたエックス線撮影システムのこと．この方法で撮影された画像をセファログラムと呼称する．撮影は基本的に患者のフランクフルト平面を床面に平行にして行う．

896 動揺度検査 どうようどけんさ
mobility examination
オッセオインテグレーションの状況の診断方法のこと．動揺度検査法には，直接インプラント体の動揺を調べる肉眼的観察もあるが，客観的にかつ非侵襲的に測定する方法として，直接アバットメントを槌打測定する検査法（Periotest™）と共振周波数分析法を用いる検査法（Osstell mentor™）がある．

897 毒性 どくせい
toxicity
生命活動に芳しくない影響を与える物質（毒）の性質や，物体・生物を問わず，そのような性質があるものを有毒と表現する．なお，これを専門に扱う学問としては毒性学がある．

898 トップダウントリートメント とっぷだうんとりーとめんと
top-down treatment
同義語 補綴主導型治療
関連語 外科主導型治療，患者主導型治療
機能的，審美的に優れたインプラント治療を行うために，補綴学的に理想的な補綴装置の位置や形態を想定し，それに合わせてインプラント体の本数や埋入位置を決定する方法のこと．そのため，インプラント体埋入時に骨量不足が生じる場合もあり，骨造成をしばしば必要とする．

899 ドナーサイト どなーさいと
donor site
同義語 供給側
関連語 レシピエントサイト
骨などの移植組織を採取する身体の領域のこと．移植される部位はレシピエントサイトという．

900 ドラッグデリバリーシステム どらっぐでりばりーしすてむ
drug delivery system
同義語 DDS，薬物送達システム，薬物伝達システム
体内における薬物分布を量的・空間的・時間的に制御することにより，薬物の効果を最大限に高めて副作用を最小限に抑えることを目的とした薬物送達システムのこと．放出抑制・制御（徐放製剤化，腸溶性製剤），吸収改善（プロドラッグ化，投与経路の変更）および標的指向化（薬剤の修飾，目的部位

に直接投与）の三つがあり，薬を運ぶ「輸送担体・ドラッグキャリア」の工夫が重要である．

901 トランスファーコーピング とらんすふぁーこーぴんぐ
transfer coping
⇒ 76 印象用コーピング

902 ドリリング どりりんぐ
drilling
インプラント埋入窩を形成するために骨を切削することをいう．

903 ドリル どりる
drill
インプラント体の骨内埋入窩を形成するための器具である．用途によってインプラント体の埋入方向を決定するスパイラルドリル，インプラント体長径を形成するパイロットドリル，インプラント体埋入径を形成するツイストドリルなどがある．

904 ドリルガイド どりるがいど
drill guide
⇒ 450 サージカルガイドプレート

905 トルク〔値〕 とるく〔ち〕
torque
同義語 回転モーメント
回転軸のまわりに働く力のモーメントのこと．インプラント治療ではインプラント体埋入時に加わる力やスクリューの締め付けや緩める力を意味する．単位はN・cmで表す．

906 トルクコントローラー とるくこんとろーらー
torque controller
インプラント体埋入あるいはインプラント体とアバットメントの締め付けや緩める場合に回転トルク値を適切に保つために用いる装置，あるいは器具のこと．埋入手術時に用いるサージカルモーターに内蔵され電気的に回転トルクを検出するものや，機械工具の一種であるトルクレンチやトルクドライバーなどがある．

907 トルクドライバー とるくどらいばー
torque driver
アバットメントやスクリューで固定する上部構造の締め付けに用いる器具のこと．設定トルク値を超えると音を発して知らせる機構を付与した回転締め付け器具の一種である．

908 トルクレンチ とるくれんち
torque wrench
同義語 トルクラチェット，ラチェットレンチ，トルクメーター
インプラント体埋入あるいはインプラント体とアバットメントの締め付けや緩める場合に用いる器具のこと．規定のトルク値を超えると折れ曲がるものや，金属の変形を利用して回転トルク値の測定ができるものなどがある．

909 ドルダーバーアタッチメント どるだーばーあたっちめんと
Dolder bar attachment
⇒ 949 バーアタッチメント

910 ドレーピング どれーぴんぐ
draping
清潔域の確保と顔面の保護を目的に，顔面および全身に手術用滅菌覆い布を掛けることをいう．覆い布は布鉗子やテープで固定する．

911 トレフィンバー とれふぃんばー
trephine bur
同義語 トレパンバー
中空の円柱状のバーのこと．先端に刃がついており，注水下で骨を円柱状にくり抜いて採取する．自家骨採取あるいはオッセオインテグレーションしたインプラント体周囲の骨を削り，インプラント体を除去するために使用する．また骨生検で用いることもある．

912 トロンビン末 とろんびんまつ
thrombin
関連語 フィブリン糊
トロンビンの粉末製剤で，フィブリノゲンに配合してフィブリン糊として生体接着剤として用いる．ヒト由来とウシ由来とがある．通常の結紮では止血困難な場合に用いられ，小血管，毛細血管および実質臓器からの出血（歯科では，外傷による出血，術中出血，骨性出血，抜歯後出血など）が適応症である．

な

913 内斜切開 ないしゃせっかい
internal bevel incision
関連語 歯肉溝内切開
歯肉縁または歯肉縁のやや根尖側より歯槽骨頂や

歯周ポケット底部に向けて切る切開法である．フラップ手術，Widman 改良フラップ手術，歯冠長延長術や新付着術などに用いられる最も一般的な切開法である．類似した切開法に歯周組織再生療法で使用される歯肉溝内切開がある．

914 ナイトガード ないとがーど
night guard
関連語 オクルーザルアプライアンス
睡眠時ブラキシズムによる補綴装置の物理的破壊を防ぐ目的で装着するスタビライゼーションアプライアンスに類似した装置のこと．透明なアクリルレジン製のハードタイプと柔軟性がある樹脂性のソフトタイプがある．

915 内部注水 ないぶちゅうすい
internal irrigation
埋入窩を顎骨に形成する際に，内部に注水路を有する特殊なドリルを用いて，ドリル先端から直接骨切削部位に注水すること．これに対し，ドリルの外から切削部位に対して注水して冷却することを外部注水という．

916 内部連結 ないぶれんけつ
internal connection
⇒ 78 インターナルコネクション

917 内部六角 ないぶろっかく
internal hexagon
⇒ 79 インターナルヘキサゴン

918 ナビゲーションシステム
なびげーしょんしすてむ
navigation system
関連語 ナビゲーション手術
インプラント体の埋入手術の際に，CT ならびに歯列の画像データを用いて術前にシミュレーションしたインプラント体のサイズと三次元的位置を，口腔内に再現するために用いる誘導システム．サージカルガイドを使用する静的ナビゲーションシステム（static navigation）とドリル先端の位置をリアルタイムでモニタリングするダイナミックナビゲーション（dynamic navigation）と呼ばれる動的ナビゲーションシステムがある．

919 ナビゲーション手術 なびげーしょんしゅじゅつ
navigation surgery
関連語 ラジオグラフィックマーカー，コンピュータ支援手術，ナビゲーションシステム
ナビゲーションシステムを用いて行うインプラント体の埋入手術．医科では一般にダイナミックナビゲーションシステム（動的ナビゲーションシステム）を使用する手術のことを指す．術野の上部に設置したカメラで顎骨の位置とドリル先端の位置を捕捉し，モニタ上にその位置関係をリアルタイムで描出しながら行う手術方法．近年は，インプラント体の埋入手術にもこのシステムが使用されることがある．

920 ナラティブベイスドメディシン
ならてぃぶべいすどめでぃしん
narrative based medicine
同義語 NBM
関連語 EBM
患者との対話を通じて，病に至るまでの語り（物語：ナラティブ）を真摯に受け止めて理解し，患者にとって最も有効な医療を進めるアプローチのこと．EBM を補完する目的で用いられる．

921 ナローインプラント なろーいんぷらんと
narrow implant
関連語 ミニインプラント
インプラント体の直径が 3.0 ～ 3.5 mm のインプラントのことをさす．力学的強度に劣るため，咬合力が強く加わらない部位（前歯部など），骨幅の狭い部位，隣接歯あるいはインプラント間のスペースが限られている症例などに用いられる．さらに細いものとして，直径が 2 mm 前後のミニインプラントがある．

922 軟骨内骨化 なんこつないこっか
enchondral ossification
同義語 軟骨性骨化
類義語 置換骨
骨の骨化様式の一つで，胎生期に軟骨が作られ，これが破骨細胞と骨芽細胞によって骨組織に置き換えられる．この様式で形成された骨を置換骨ともいう．身体の大部分の骨はこの軟骨内骨化で作られる．顎顔面領域では，下顎骨の下顎頭，頭蓋底（篩骨，蝶形骨，側頭骨の錐体および後頭骨の底部），およびすべての長管骨，椎骨と肋骨である．

に

923 2回法インプラント　にかいほういんぷらんと

two-stage implant

同義語　サブマージドインプラント

関連語　1回法インプラント

アバットメントとインプラント体が分かれるもので，一次手術としてインプラント体の埋入，二次手術としてアバットメントの連結（歯肉貫通部形成）が必要である．インプラント体が歯肉レベルよりも下方（骨側）にあることからサブマージドインプラントとも呼ばれる．

924 肉芽組織　にくげそしき

granulation tissue

同義語　炎症性肉芽組織，線維性肉芽組織

関連語　創傷治癒，瘢痕

創傷治癒過程において，障害を受けた局所の防御や修復のために形成される幼若な血管結合組織である．主要構成成分は線維芽細胞，毛細血管および白血球などの小型円形細胞である．瘢痕治癒するものを健康肉芽，糖尿病などの全身性因子あるいは血行障害や感染などの局所的因子により治癒に向かわないものを病的肉芽（陳旧肉芽）と呼ぶ．

925 二次固定　にじこてい

secondary stability

同義語　二次安定

⇒175 オッセオインテグレーション

926 二次再建　にじさいけん

secondary reconstruction

類義語　二次的骨移植，二次移植

外傷や切除手術などにより生じた組織欠損に対して，まず初回手術では腫瘍の切除や閉創のみを行い，その後，時期を異にして二期的に骨移植などの硬組織や軟組織の再建，さらにはインプラントも含めた咬合の再建を行うこと．

927 二次手術　にじしゅじゅつ

second-stage surgery

関連語　一次手術

2回法インプラントにおいて一次手術後オッセオインテグレーション獲得のための免荷期間をおき，インプラント体にアバットメントあるいはヒーリングアバットメントを連結する手術のこと．二次手術と同時にインプラント体周囲の粘膜のマネジメント手術（角化付着粘膜形成，口腔前庭拡張術など）を行うこともある．

928 二次治癒　にじちゆ

secondary healing

同義語　二次創傷治癒

関連語　一次治癒，創傷治癒

創縁や創腔の組織欠損，壊死組織や異物の介在，細菌感染などが原因で，多量の肉芽組織が形成され，上皮創の緊密な閉鎖が不完全なために瘢痕形成を伴って治癒することをさす．

929 二重盲検試験　にじゅうもうけんしけん

double blind test

薬物などの効果を試験する方法で，被験者（患者）が薬の投与などを受けることによる精神的影響を排除し，効果を判定する験者（評価者：医師）も，どの被験者にどの薬が投与されているかをわからないようにして行う評価試験方法である．この試験方法で被験者，験者の両者の精神的，心理的影響を排除できる．

930 ニッケルチタン合金　にっけるちたんごうきん

nickel-titanium alloy

ニッケルとチタンから構成される合金のこと．形状記憶合金あるいは超弾性合金として利用されている．形状記憶ブレードインプラントに用いられたが，現在は超弾性矯正用ワイヤーや根管形成器具に用いられる．

931 二点識別検査　にてんしきべつけんさ

two-point discrimination test

同義語　二点弁別閾

知覚検査の一つである．コンパスやノギスを使って体表面の2点に同時に機械的刺激を加えたとき，視覚によらずにこれらが1点でなく2点であると識別できる最小の距離を計測する．測定された値は二点弁別閾と呼ばれ，部位により大きな差があり，背部では60～70 mmであるのに対し，顔面部の皮膚は数mmと小さい．

932 ニューロパチー　にゅーろぱちー

neuropathy

神経障害と訳す．末梢神経系に機能的障害あるいは病理学的変化がある状態を示す．組織学的には神経細胞が軸索変性や脱髄を起こす．障害は外傷，炎症，腫瘍，代謝性疾患，膠原病などがあり，知覚神経，運動神経，自律神経のいずれにも起こる可能性がある（例：糖尿病性ニューロパチー，Guillain-

Barré 症候群，腫瘍随伴性ニューロパチー）．

933 尿検査 にょうけんさ
urine analysis
尿から患者の全身状態を把握するために行う検査のこと．尿にタンパク質が含まれる場合は腎疾患や尿路系の異常，糖代謝低下によるケトン体上昇，糖の混在では糖尿病，血液の混在では尿路系の炎症や結石が疑われる．ウロビリノーゲンの量や尿の比重も臓器の疾患を示唆する．ウイルス，細菌の混在では泌尿器系の感染症が疑われる．

ぬ

934 ぬれ ぬれ
wetting
一般的には固体に少量の液体が接した状態の現象であり，付着ぬれと呼ばれる．さらに，固体全体が液体に沈んだ状態を浸漬ぬれ，固体内部に液体が浸透した状態を浸透ぬれ，液体が固体表面に広がっていく状態を拡張ぬれという．表面のぬれの程度は接触角またはぬれ角によって定量的に測ることができる．金属表面は親油性であり，水あるいは体液との接触角が大きくぬれが悪いが，金属表面に酸化被膜を作ることで親水性になり，体液とのぬれが良好となる．

ね

935 Nd:YAG レーザー ねおじむやぐれーざー
Neodymium YAG laser
関連語 レーザー，Er:YAG レーザー，炭酸ガスレーザー
Yttrium Aluminum Garnet（YAG）にネオジム（Nd）を添加した物質を用いて発生する固体レーザーである．歯科用機種では発振波長は 1.064 μm のパルス波として発振される．色調選択性があり黒色色素によく吸収される．水における吸収が少なく，組織深達性が大きいため，深部組織への影響を常に配慮する必要がある．

936 ねじ切り ねじきり
tapping
⇒ 812 タッピング

937 熱可塑性樹脂 ねつかそせいじゅし
thermoplastic resin
加熱によって軟らかくなり，容易に塑性変形する高分子材料のこと．冷却すると元に戻り，塑性変形しにくくなる．モノマーや溶媒に溶けやすい性質がある．義歯床用レジンであるポリメチルメタクリレート（PMMA）などの直鎖状高分子材料が該当する．コンポジットレジンに使用されている架橋性モノマーは加熱しても塑性変形しない熱硬化性樹脂である．

938 熱伝導 ねつでんどう
thermal conductivity
物質内部に温度差が生じた場合，物質内部の温度勾配をなくして一様な温度になろうとして，熱エネルギーが高温側から低温側へ移動する現象である．熱伝導は温度差，物質の断面積，熱伝導率などによって左右される．金属材料は無機材料や高分子材料に比べて熱伝導率が高い．

939 粘性 ねんせい
viscosity
流体（液体または気体）が流れの場にあるときに流れに逆らって示す抵抗のこと．運動している流体の内部で，相対的に流れの速度が異なる層がある場合，この速度差をなくして一様にしようとするために，その境界面に沿って流れに対する抵抗が生じる．粘性材料は一定応力下では一定速度で変形が進行し，応力を取り除いても変形はそのまま残る．

940 粘膜移植 ねんまくいしょく
mucosal grafting
広義には，口腔腫瘍の手術や外傷などによって生じた組織欠損，特に舌や歯肉などの粘膜部再建のために口腔粘膜を採取して移植する方法である．狭義には，付着歯肉の獲得，歯肉退縮による露出根面を被覆する遊離歯肉移植術や結合組織移植術がこれにあたる．

941 粘膜貫通部 ねんまくかんつうぶ
transmucosal extension
骨内のインプラント体と接合したヒーリングアバットメントもしくは上部構造装着のためのアバットメントにより形成される粘膜の貫通部をいう．軟組織の治癒後の補綴装置装着に際し，貫通部の形態によりマージン位置に変化を及ぼし，その長さ（ジンジバルハイト）によりアバットメントが選択される．

942 粘膜骨膜弁 ねんまくこつまくべん
mucoperiosteal《mucoperiosteum》flap
同義語 全層弁，全層歯肉弁，フルシックネスフラップ
関連語 粘膜弁
骨面から粘膜（上皮，結合組織）と骨膜を一体に剝離して形成された有茎の歯肉弁である．骨膜ごと剝離するので歯槽骨は露出する．骨面の処置が必要な手術の際，骨に達する内斜切開を行い，骨膜剝離子の先端を切開部に挿入，骨に沿って粘膜骨膜を剝離し，歯肉弁を形成する．

943 粘膜内インプラント ねんまくないいんぷらんと
mucosal implant
類義語 ボタンインプラント
関連語 骨内インプラント
可撤性義歯の維持・安定を図る目的で，義歯床粘膜面に装着される複数のボタン状のインプラントのことである．顎堤粘膜内には専用バーでインプラントと同数の窩を形成し，そこに義歯床粘膜面に装着されたボタン状のインプラントが挿入されることで義歯を維持する．義歯を装着しないと顎堤粘膜の窩がふさがってしまうため，再度，窩を形成しなければならない．現在はあまり行われていない．

944 粘膜剝離子 ねんまくはくりし
mucosal elevator
⇒ 966 剝離子

945 粘膜パンチ ねんまくぱんち
mucosal punch
⇒ 869 ティッシュパンチ

946 粘膜弁 ねんまくべん
mucosal flap
同義語 部分層弁，部分層歯肉弁，パーシャルシックネスフラップ，スプリットシックネスフラップ
関連語 粘膜骨膜弁
粘膜の上皮と結合組織の一部からなり，骨膜を骨に残して形成される歯肉弁である．一般的に遊離歯肉移植術，結合組織移植術，歯肉弁移動術（側方，歯冠側，根尖側）などの歯周形成手術（歯肉歯槽粘膜形成術），インプラント治療のティッシュマネジメントに用いられる．

の

947 ノンサブマージドインプラント
のんさぶまーじどいんぷらんと
non-submerged implant
⇒ 71 1回法インプラント

948 ノンセグメントタイプ のんせぐめんとたいぷ
non-segment type
関連語 UCLA アバットメント
インプラント体と歯冠修復装置（上部構造）が直接スクリューで連結されている様式のこと．インプラント体と歯冠修復装置の間に，何らかの独立した構造体（アバットメントなど）が介在する様式をセグメントタイプという．

は

949 バーアタッチメント ばーあたっちめんと
bar attachment
関連語 アタッチメントシステム，ボールアタッチメント，ロケーターアタッチメント，磁性アタッチメント
インプラント-インプラント間を既製（ドルダーバーアタッチメントなど）または自家製の金属製バーで連結し，義歯内面に装着されたクリップアタッチメントやスリーブがバーに嵌合し義歯を維持および支持するアタッチメントのこと．

950 ハーバード会議 はーばーどかいぎ
Harvard Conference
類義語 トロント会議
ハーバード大学と米国国立衛生研究所の共催で1978年に開催された初のインプラント治療のコンセンサス会議のこと．この会議はインプラント治療のデータ収集と分析の評価基準と標準が確立された象徴的な会議であったと評価されている．

951 バイオエンジニアリング
ばいおえんじにありんぐ
bioengineering
同義語 生物工学
生物学の知見を基にし，実社会に有用な利用法をもたらす技術の総称であり，特に，生物のもつ機能や構造，運動機構，運動性能を模倣または利用して，実用的な材料を生み出す技術として認識されてい

る．たとえば，生物の行う反応を工業規模で行ってエネルギーを取り出したり，新しい物質を作ったりする技術などが提唱されている．医療や創薬分野への工学技術の応用もバイオエンジニアリングと言われている．

952 バイオガラス ばいおがらす

bioglass

⇒ 700 生体活性ガラス

953 バイオフィルム ばいおふぃるむ

biofilm

同義語 細菌性バイオフィルム

類義語 プラーク

菌体外多糖よりなるグリココッカスに覆われた細菌の凝集塊がフィルム状に付着した細菌集合体である．バイオフィルム中の細菌は共生，共存して，好中球などによる食作用を防ぎ，抗菌薬に対して抵抗性を示す．狭義ではプラークと同義語と考えてよい．

954 バイコルチカル ばいこるちかる

bicortical

コルチカルとは，「皮質骨の」という意味で，インプラント体埋入に際して，インプラント体頸部と尖端部の2か所を皮質骨で固定する手技である．周囲組織への侵襲に伴う併発症に注意する必要がある．

955 胚性幹細胞 はいせいかんさいぼう

embryonic stem cell

⇒ 52 ES細胞

956 バイタルサイン ばいたるさいん

vital signs

医療における生体情報，特に生命徴候をいう．一般的には，脈拍または心拍，呼吸，血圧，体温，意識状態をさす．

957 ハイドロキシアパタイト

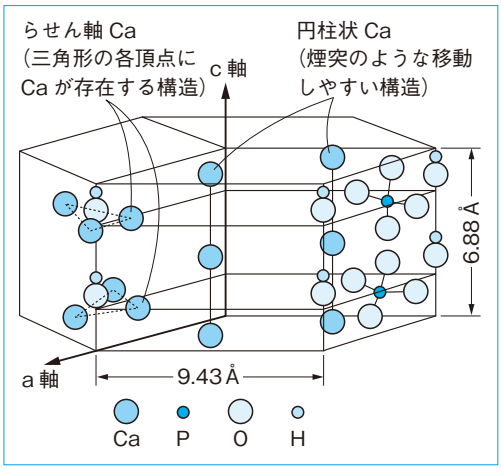
はいどろきしあぱたいと

hydroxyapatite

同義語 ヒドロキシアパタイト，HA

関連語 アパタイト

歯や骨の無機質の主成分であり，化学組成式は，$Ca_{10}(PO_4)_6(OH)_2$である．塩基性リン酸カルシウム化合物である．中性条件下ではほとんど溶解しないが，酸性条件下では溶解しやすくなる．合成ハイドロキシアパタイトの焼結緻密体はインプラント体として使用されていたが，破折などの問題があり，現在はチタンインプラントへのコーティング材や骨補填材として使用されている．



図：ハイドロキシアパタイトの結晶構造

958 ハイドロキシアパタイトコーティング

はいどろきしあぱたいとこーてぃんぐ

hydroxyapatite coating

同義語 HA コーティング

チタンインプラント体の表面改質手法として用いられており，骨との早期結合が期待されている手法である．物理的気相蒸着法によるコーティングが主流であり，プラズマスプレー法によるハイドロキシアパタイトコーティングが多く用いられているが，現在はマグネトロンスパッタリング法による薄膜ハイドロキシアパタイトコーティングインプラントも製品化されている．また，国産では熱分解法を用いた薄膜ハイドロキシアパタイトコーティングインプラントも市販されている．

959 ハイブリッド材料 はいぶりっどざいりょう

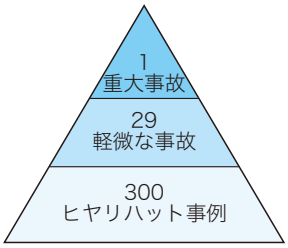
hybrid material

二つまたはそれ以上の性質の異なるものを分子や原子レベルで混合して組み合わせて，それぞれの長所を相乗的に高めた材料である．インプラントの上部構造に用いられるハイブリッドセラミック材料は，天然のエナメル質に近い性質を目指して，高密度の無機物フィラーを高分子材料に混合させたもので，フィラー含有率が高いほど硬さ，圧縮強さや耐摩耗性に優れている．ジルコニアやセラミック単独の材料と比べて経済性に優れているが，機械的性質や耐変色性がやや劣ることが多い．また，医療分野としてハイブリッド材料が用いられることも多い．さらに再生医療分野では高分子材料と血管から採取した細胞とを組み合わせたハイブリッド人工血管などがある．

960 廃用性骨萎縮 はいようせいこついしゅく
disuse bone atrophy
関連語 Wolff の法則
適度な刺激が加わると骨は緻密化し，皮質骨の幅，海綿骨梁は増加する．これに対して刺激が途絶えると逆の現象が起きる．これらは骨に過重ストレスがかかると，これに拮抗できるよう骨の微小構造が改築，改変されるという Wolff の法則にのっとった現象でもある．

961 パイロットドリル ぱいろっとどりる
pilot drill
⇒903 ドリル

962 ハインリッヒの法則 はいんりっひのほうそく
Heinrich's law
一つの重大事故や災害の背後には，29 の軽微な事故や災害があり，さらにその背景には 300 の事故に至らなかったヒヤリ・ハット事例が存在するという，労働災害における経験則の一つ．



図：ハインリッヒの法則

963 ハウシップ窩 はうしっぷか
Howship's lacuna，resorption lacuna
同義語 骨吸収窩，吸収〔小〕窩
破骨細胞が存在するくぼみであり，破骨細胞がハウシップ窩にて骨と接する側（機能側）には高さ 1.5 ～ 2 μm の複雑で密なひだである波状縁（ruffled border）（刷子縁に似た構造）があり，酸と各種水解酵素を分泌し，骨のミネラルを溶解し，有機基質を消化吸収する．

964 破壊靱性 はかいじんせい
fracture toughness
材料が破壊されるまでの粘り強さを表す．材料表面や内部の亀裂が応力集中によって拡大して破壊に至る場合，破壊に対する抵抗性を表すパラメータであり，破壊靱性値が大きいほど，破壊抵抗性は大きくなる．

965 歯ぎしり はぎしり
bruxism
⇒1056 ブラキシズム

966 剥離子 はくりし
raspatorium，elevator
骨と骨膜，骨膜と骨膜上疎性結合組織間を剥がす手術用器具のこと．骨膜を骨から剥がす骨膜剥離子，歯肉や歯槽部の非可動粘膜を骨から剥がす歯肉剥離子は両者間を結んでいる繊維を切断できるよう先端が鋭利に作られている．一方，粘膜剥離子は剥離組織を損傷しないように先端が鈍になっている．

967 破骨鉗子 はこつかんし
bone cutting forceps
骨をちぎり取れるように両方の刃の先端が鋭く，合わさるように作られた手術器具のこと．ちぎり取った骨片が周囲に飛び散らないよう，両側の刃先を合わせた状態でも内部に空隙が設けられている．インプラント手術では，インプラント体埋入前に歯槽骨の鋭縁部除去や，移植骨片の採取や粉砕に用いられることがある．

968 破骨細胞 はこつさいぼう
osteoclast
造血幹細胞由来で，骨組織を吸収し，骨改造の中心的役割を果たす．破骨細胞は大型で樹枝状の運動性細胞である．骨髄由来の単球系細胞が分化・融合したものである．数個から数十個の核を有する多核巨細胞で，細胞質は好酸性を示し，酒石酸抵抗性酸性ホスファターゼ（TRAP）活性を有する．破骨細胞の分化はパラソルモンで促進，カルシトニンやビスホスホネートで抑制される．

969 破歯細胞 はしさいぼう
odontoclast
破骨細胞と類似の多核巨細胞で，歯の吸収を担う．単球から誘導され，血管の中から吸収部位へ遊走して，互いに融合して明らかな接着帯と波状縁をもつ．後継永久歯萌出時の乳歯・歯根吸収や過剰な物理力や炎症などの病理学的状況でも出現する．

970 VAS ばす
visual analogue scale
痛みの強さや患者満足度の評価方法として広く用いられている．痛みの評価では長さ 10 cm の黒い直線の左端が「痛みなし」，右端が「想像できる最高の痛み」とし，現在の痛みがどの程度かを指し示させる．痛みの程度は左端よりの距離（mm）で表

される（例：左端より 60 mm であれば 60/100 と表記される）．患者の主観を数値化できる利点があるが，被検者によって基準となる痛みの決定が曖昧であり，異なった被検者間での痛みの比較ができないという問題点もある．

971 バス法 ばすほう
Bass method
⇒1053 プラークコントロール

972 発音障害 はつおんしょうがい
speech disorder
⇒319 構音障害

973 パッシブフィット ぱっしぶふぃっと
passive fit
複数のインプラントを連結するスクリュー固定式メタルフレームの望ましい適合状態のこと．外力を加えない（パッシブな）状態で，すべてのインプラント，あるいはアバットメントとメタルフレームが肉眼的に良好な適合状態を示すことをさす．確認方法として，一番端のスクリュー 1 本のみを締めたときに，短冊状にしたパラフィンワックスで反対側の端を押さえて肉眼的にギャップが生じず適合しているかどうかを調べるシェフィールドテスト（ワンスクリューテストともいう）が用いられる．

974 パッチテスト ぱっちてすと
patch test
アレルギー性疾患の原因物質（アレルゲン）を特定する検査法の一つである．アレルゲンと推定される物質を背部，上腕内側の健常皮膚に絆創膏などで密封貼付し，48 時間後の皮膚反応を観察，評価する．通常，遅延型アレルギー反応をみる．歯科では歯科用金属，歯科材料のアレルギー検査として用いられる．

975 バットジョイント ばっとじょいんと
butt joint
関連語 テーパージョイント，コニカルコネクション
二つの構造物を互いの端を重なることなく水平な面同士で接合することにより形成される継ぎ目のこと．インプラントにおいては，インプラント体とアバットメントとの連結部の主要構造が平面同士で接合するタイプの連結様式をさす．更なる分類として，インプラント体内部にアバットメントの突起部が嵌合するインターナルコネクションと，アバットメント内部にインプラント体の突起部が嵌合するエクスターナルコネクションに大別される．ブローネマルクインプラントは，バットジョイントのエクスターナルコネクションに分類される代表例である．

976 歯の移植〔術〕 はのいしょく〔じゅつ〕
tooth transplantation
関連語 歯の再植〔術〕
本来とは別の部位に歯槽窩を形成し，歯を移し替えることによって審美性・咀嚼機能を回復する手術である．自家移植で智歯が使用されることが多い．移植歯は骨性癒着し，歯根吸収することが多い．

977 歯の再植〔術〕 はのさいしょく〔じゅつ〕
tooth replantation
関連語 歯の移植〔術〕
外傷など何らかの原因により脱落した歯を元の歯槽窩に戻し，審美性・咀嚼機能を回復する手術である．脱落後，短時間で再植すれば生着することが多い．

978 歯の保存液 はのほぞんえき
tooth preservation solution
関連語 歯の移植〔術〕，歯の再植〔術〕
移植・再植歯の保存液のこと．脱落歯の乾燥，歯根膜組織の保護などを目的とし，浸透圧，pH が調整されている．成分は塩化ナトリウム，塩化カリウム，塩化マグネシウム，塩化カルシウム，硫酸マグネシウムなどである．

979 パノラマエックス線画像
ぱのらまえっくすせんがぞう
panoramic radiograph
⇒980 パノラマエックス線撮影〔法〕

980 パノラマエックス線撮影〔法〕
ぱのらまえっくすせんさつえい〔ほう〕
panoramic radiography
回転断層の原理で撮影する顎骨を展開して観察できる総覧撮影法の呼称で，撮影された画像をパノラマエックス線画像という．インプラント治療においては，初診時から経過観察まで幅広く応用される．

981 ハバース管 はばーすかん
Haversian canal
同義語 中心管
類義語 ハバース系
関連語 骨単位，ハバース層板
緻密骨における動静脈を通す管系の一つで，骨の長軸に平行する長い無数の管である．ハバース管は口径 20 ～ 100 μm の管で，毛細血管ないし細い動

静脈を通し，疎性結合組織で満たされる．骨細胞は酸素と栄養をハバース管を通して供給されている．介在層板は骨単位（オステオン）間を埋める層板である．

982 ハバース層板 はばーすそうばん
Haversian lamella
関連語 骨単位，ハバース管
ハバース管のまわりを玉葱のように同心円状に取り囲む5～20枚の骨層板（厚さ約5 μm）である．中心に位置するハバース管とその周囲の円筒状のハバース層板をまとめて骨単位（オステオン）という．

983 パラファンクション ぱらふぁんくしょん
parafunction
関連語 ブラキシズム
非生理的な咬合運動の総称である．ブラキシズム（クレンチング，グラインディング，タッピング）や咬舌癖などがあり，歯やインプラント体の上部構造に負荷を与える．特に睡眠時ブラキシズムでは，過大な咬合力が生じることがあり，その結果として上部構造の咬耗，前装部やスクリューの破折，ひいてはインプラント周囲骨の吸収やインプラント体の破折に至る可能性があり，インプラント治療のリスクファクターと考えられている．

984 バリアメンブレン ばりあめんぶれん
barrier membrane
同義語 遮断膜，遮蔽膜，誘導膜，保護膜，生体親和性膜
類義語 GTRメンブレン，GTR膜，e-PTFE膜，d-PTFE膜，ポリ乳酸膜
関連語 コラーゲン膜
組織再生誘導法（GTR）や骨再生誘導法（GBR）に適応されるメンブレンのこと．非吸収性膜と吸収性膜に大別される．非吸収性膜にはe-PTFE膜（延伸ポリテトラフルオロエチレン膜）や，d-PTFE膜（高密度ポリテトラフルオロエチレン膜）がある．吸収性膜にはポリ乳酸などの合成高分子膜や，コラーゲン膜などの天然高分子膜がある．非吸収性膜は，膜の除去のために二次手術が必要であるが，新生した再生組織を明視下で確認できる利点がある．

985 パルスオキシメータ ぱるすおきしめーた
pulse oximeter
呼吸器系モニタとして，血液の酸素化のチェックに用いられる．指先などにセンサーを装着することで，非侵襲的，連続的な測定が可能である．測定値は動脈血中酸素飽和度（SpO_2）として示され，基準値は96～100%．呼吸不全，気道閉塞などで低値を示す．多くの機種では脈拍数の測定表示も可能である．

986 半月裂孔 はんげつれっこう
semilunar hiatus
同義語 上顎洞裂孔，自然孔
上顎洞と鼻腔に通じる通路で，中鼻道にみられる裂孔である．この裂孔は口蓋骨，篩骨，下鼻甲介により，その一部が塞がれ，さらに鼻粘膜に覆われるため，著しく小さくなる．臨床では鼻腔と副鼻腔を交通している裂孔を自然孔と呼び，半月裂孔は自然孔の一つである．

987 瘢痕 はんこん
scar tissue
関連語 創傷治癒，二次治癒
創傷治癒機転の最終段階にある組織の総称である．組織学的には成熟した線維性組織で，豊富な膠原線維，線維芽細胞からなり，触診上は弾性硬を示す．内部に血管が乏しいため，肉眼的には白味を帯びる．ケロイド体質患者の瘢痕は肥厚して周囲より隆起し，いわゆるケロイドとなる．

988 ハンスフィールド値 はんすふぃーるどち
Hounsfield unit
⇒ 506 CT値

989 半導体レーザー はんどうたいれーざー
semiconductor diode laser
レーザー光源に半導体を使用したレーザーのこと．歯科用には800～900 nm程度の短波長のものが使用される．組織透過型であり，軟組織の止血，切開や凝固などが可能である．電気メスの場合と異なりインプラントなどの金属材料に接触した場合や，ペースメーカー装着患者への電気刺激によるリスクも少ない．

ひ

990 被圧変位性 ひあつへんいせい
tissue displaceability
顎堤粘膜部のように，負荷を受けると粘弾性によって変形移動すること．天然歯では歯根膜にも同様な性質があり，負荷を受けると変位することで傾斜する．骨結合したインプラント体では天然歯に比べて被圧変位性は著しく低い．

991 PRF ぴーあーるえふ
platelet-rich fibrin
⇒ 303 血液由来成長因子

992 PRGF ぴーあーるじーえふ
plasma rich in growth factors
⇒ 303 血液由来成長因子

993 PRP ぴーあーるぴー
platelet rich plasma
⇒ 303 血液由来成長因子

994 PMTC ぴーえむてぃーしー
professional mechanical tooth cleaning
同義語 専門的機械的歯面清掃，プロフェッショナルメカニカルトゥースクリーニング
熟練した歯科医師，歯科衛生士が，機械的清掃用具を用いて，歯間隣接面も含め，すべての歯面の歯肉縁上，および歯肉縁下 1 ～ 3 mm からプラークを取り除くこと．フッ化物ペースト，ブラシコーン，ラバーカップ，ラバーチップなどを使用して施行する．スケーリングやルートプレーニングは，原則として含まれない．

995 BMP びーえむぴー
bone morphogenetic protein
同義語 骨形成タンパク〔質〕
関連語 リコンビナント BMP-2
骨基質中に存在する骨形成タンパクのこと．特に遺伝子組み換え骨形成誘導タンパク質（リコンビナント BMP-2）は，米国ですでに商品化され，インプラント治療などにおける骨補填材との応用が期待されている．

996 BOP びーおーぴー
bleeding on probing
⇒ 1074 プロービング

997 PCR ぴーしーあーる
plaque control record
⇒ 1054 プラークコントロールレコード

998 PT-INR ぴーてぃーあいえぬあーる
prothrombin time-international normalized ratio
関連語 止血機能検査，ワルファリンカリウム
プロトロンビン時間－国際標準比の略語である．凝固系機能検査として，主に抗凝固薬であるワルファリンカリウム服用中の薬効評価に用いられる．基準値は 0.80 ～ 1.20 である．対象疾患によるが通常 2.0 ～ 3.0 にコントロールされることが多い．インプラント治療では，観血的処置時の止血機能の指標の一つとして用いられ，PT-INR が高値を示すと止血が困難となる．

999 PTFE ぴーてぃーえふいー
polytetrafluoroethylene
同義語 ポリテトラフルオロエチレン
テトラフルオロエチレン（C_2F_4）の重合体で，フッ素原子と炭素原子のみからなるフッ素樹脂のこと．テフロンの商品名で知られる．

1000 BDGF びーでぃーじーえふ
bone-derived growth factor
⇒ 426 骨由来成長因子

1001 PDGF ぴーでぃーじーえふ
platelet-derived growth factor
⇒ 313 血小板由来成長因子

1002 ヒーリングアバットメント ひーりんぐあばっとめんと
healing abutment
同義語 ヒーリングキャップ，ヒーリングスクリュー
1 回法インプラントの埋入時や 2 回法インプラントの二次手術時に装着され，治癒過程において周囲軟組織の状態を整える目的で使用される．

1003 ヒーリングキャップ ひーりんぐきゃっぷ
healing cap
⇒ 1002 ヒーリングアバットメント

1004 ヒーリングスクリュー ひーりんぐすくりゅー
healing screw
⇒ 1002 ヒーリングアバットメント

1005 光造形法 ひかりぞうけいほう
stereolithography
関連語 3D プリンタ
液状の光硬化樹脂をレーザーと光増感剤で重合させ，これを 3D データに基づいて積層して精密な立体模型を作成する技術のこと．インプラント治療では CT で得られたダイコムデータを変換した STL データを基にした模型が製作されている．

1006 引き抜き試験 ひきぬきしけん
pullout test
実験動物の骨内にインプラント体を埋入し，一定期間後に引き抜き，その強さでオッセオインテグレーションの程度を評価する試験方法である．逆に，押し込む方法もあり，push-in test（押込み試験）という．

1007 非吸収性生体材料
ひきゅうしゅうせいせいたいざいりょう
non-resorbable biomaterial
⇒704 生体材料

1008 非吸収性縫合糸 ひきゅうしゅうせいほうごうし
non-absorbable thread
⇒1097 縫合糸

1009 鼻腔内ドレナージ びくうないどれなーじ
nasal cavity drainage
⇒791 対孔

1010 皮質骨 ひしつこつ
cortical bone
⇒842 緻密骨

1011 皮質骨海綿骨ブロック
ひしつこつかいめんこつぶろっく
corticocancellous bone block
類義語 自家骨ブロック，ブロック骨
皮質骨と海綿骨が一塊となった状態のブロック状の自家骨をいう．皮質骨海綿骨ブロックは，形態の保持に優れる皮質骨と，骨形成能を司る細胞成分を含む海綿骨からなるため，自家骨移植の際，移植部での活発な骨形成が期待できる．

1012 皮質骨穿孔 ひしつこつせんこう
decortication，cortical bone perforation
同義語 骨穿孔，デコルチケーション
回転切削器具などを用いて骨に穴を開ける手技をいう．皮質骨を穿孔することにより，血管や細胞進入の経路を作り，骨内部への栄養供給が豊富となることにより骨形成を促す．骨再生誘導法（GBR）や骨移植術に併用することにより，骨形成が良好であるとされる．

1013 微小骨折 びしょうこっせつ
microfracture
⇒1113 マイクロフラクチャー

1014 微小循環 びしょうじゅんかん
microcirculation
炎症や物質代謝に反応する微小な血管を介した局所の血液循環を微小循環といい，細動脈→毛細血管→細静脈の血液の流れを表す．インプラント周囲の微小循環はインプラント体の維持に影響を与える因子と考えられている．

1015 微小動揺 びしょうどうよう
micromovement
⇒1115 マイクロムーブメント

1016 微少漏洩 びしょうろうえい
microleakage
同義語 マイクロリーケージ
関連語 マイクロギャップ
インプラント体とアバットメントの間に存在するマイクロギャップを通して，体液や汚染物質が流出することをいう．これが慢性刺激となり，インプラント周囲炎を惹起する原因になると言われている．

1017 非ステロイド性消炎鎮痛薬
ひすてろいどせいしょうえんちんつうやく
non-steroidal anti-inflammatory drugs
同義語 NSAIDs
損傷部位においてシクロオキシゲナーゼ（COX2）を阻害し，アラキドン酸からのプロスタグランジン（PG）の産生を抑制することで消炎・鎮痛効果を示す．PG 産生抑制は発痛物質であるブラジキニンに対する知覚神経の感受性を高めるのを阻止する．副作用としてライ症候群，腎障害，アスピリン喘息や，他薬剤との相互関係に注意が必要である．

1018 ビスホスホネート びすほすほねーと
bisphosphonate
⇒1084 BRONJ

1019 ビスホスホネート関連顎骨壊死
ぼすほすほねーとかんれんがっこつえし
bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw
⇒1084 BRONJ

1020 ピックアップ印象 ぴっくあっぷいんしょう
pick-up impression
クラウンやブリッジあるいはメタルフレームや印象用コーピングなどを支台歯やインプラントに装着した状態で印象採得を行い，補綴装置などを印象体の中に採り込む印象方法である．この印象方法を用

いて作業用模型を製作することにより，支台歯やインプラントの口腔内における位置関係を正確に記録することができる．

1021 引張強さ ひっぱりつよさ
tensile strength
材料の引張力あるいは引張応力に対する強さのこと．変形挙動を調べるために引張試験を行い，この際に材料が破断するまでに示した最大荷重を初期の断面積で除した値のこと．

1022 ヒドロキシアパタイト ひどろきしあぱたいと
hydroxyapatite
⇒ 957 ハイドロキシアパタイト

1023 被包 ひほう
encapsulation
⇒ 747 線維性被包

1024 表面粗さ ひょうめんあらさ
surface roughness
固体表面の微視的な凹凸のこと．表面粗さの表示法としては，算術平均粗さ（Ra，旧称：中心線平均粗さ），最大高さ（Ry），十点平均粗さ（Rz），凹凸の算術平均間隔（Sm）などがあり，単位は μm である．インプラント表面は骨と結合性を高めるために粗造化されている場合が多い．

1025 表面処理 ひょうめんしょり
surface treatment
物理的または化学的な方法によって材料表面の特性を向上させるための処理のこと．インプラント体は，骨との適合性や伝導性を向上させるため，サンドブラストなどの機械加工による表面処理が行われたが，さらに陽極酸化処理，アルカリ処理，ハイドロキシアパタイトコーティング処理などのさまざまな表面処理法が工夫されてきた．また，歯面の表面処理法としては，コンポジットレジン修復の際のプライマー処理やセルフエッチングプライマー処理などもある．

1026 表面性状 ひょうめんせいじょう
surface texture
関連語 インプラント表面構造
材料が組織と接する場合，材料表面の凹凸状態や曲面の程度などの物理的要因のほかに，材料表面のタンパクなどさまざまな吸着現象，ぬれや表面エネルギーなど表面に関連するさまざまな要因が影響する．生体と接する材料では，生体側の細胞の接着や増殖などに大きな影響を与えるばかりではなく，さらに細胞分化など複雑に影響する．インプラントの表面性状は骨に接する部分と軟組織に接する部分など相手によって表面性状は大きく異なった設計がされる．インプラント体ではオッセオインテグレーションに関係する重要な因子となる．

1027 疲労試験 ひろうしけん
fatigue test
材料の疲労特性をみるための試験である．弾性範囲内の小さい力学的応力を継続的あるいは繰り返し受けた場合に破壊に至ることがある．金属は金属疲労と称されるがセラミックや樹脂でも疲労が生じる．経年劣化とは区別して用いられている．歯科領域ではクラスプの破損が例としてよく用いられる．疲労試験では一定のひずみを付与し繰り返す方法と，一定荷重下で繰り返す方法がある．

1028 疲労破壊 ひろうはかい
fatigue fracture
材料が弾性限以下の負荷でも持続的に繰り返すことで破壊に至る現象のこと．インプラント治療後の疲労破壊を想定した研究も報告されている．

ふ

1029 ファインセラミックス ふぁいんせらみっくす
fine ceramics
目的の機能を十分に発現させるため，化学組成，微細組織，形状および製造工程を精密に制御して製造したもので，主として非金属の無機物質からなるセラミックスである．ジルコニア，アルミナ，サファイア，窒化ケイ素，炭化ケイ素，イットリアなどが含まれる．ほかにも医療用として内視鏡を用いた電気手術用デバイス，エックス線管などの絶縁部品など，さまざまな医療器具や体外検査装置用部品など多用途に使用される．

1030 ファセット ふぁせっと
facet
同義語 咬耗面
歯や上部構造における摩耗面のこと．咬合接触や対合歯との接触滑走によって光沢を有した面が形成される．ブラキシズムを示す患者では多数歯にわたりみられることが多い．

1031 physical status ふぃじかるすていたす

関連語 手術危険度

米国麻酔科学会（ASA）における手術患者の全身状態分類（ASA-PS）である．手術患者の全身状態を 6 クラスに分類している．

表：米国麻酔学会（ASA）による physical status クラス分類（ASA-PS）

class 1	手術となる原因以外は合併症なし．健康な患者
class 2	軽度の全身疾患をもつ患者
class 3	重度の全身疾患をもつ患者
class 4	生命を脅かすような重度の全身疾患をもつ患者
class 5	手術なしでは生存不可能な瀕死状態の患者
class 6	脳死患者

1032 フィブリン ふぃぶりん

fibrin

血液凝固にかかわる線維状タンパク質のこと．血液凝固の最終過程で，フィブリノゲンの各鎖 C 末端からフィブリン・モノマーが形成され，カルシウムによって重合して難溶性ポリマーとなった後，第ⅩⅢ因子により架橋結合して安定化フィブリン（狭義のフィブリン）と呼ばれるメッシュ状の線維となり，血液凝固が起きる．

1033 フィブリン糊 ふぃぶりんのり

fibrin glue

関連語 トロンビン末

血液凝固反応を利用した組織接着剤の一つで，血漿分画製剤（血液製剤）である．機序は，血漿由来のフィブリノゲンにトロンビンを加えてフィブリンに変化させ，糊状の膜を形成しながら出血部位を被覆して止血する．歯科では軟組織切除後の縫合閉鎖部などの止血に用いる．

1034 フィブロネクチン ふぃぶろねくちん

fibronectin

約 440 kDa の高分子糖タンパク質で，細胞外マトリックスの一つである．細胞膜上の受容体タンパク質であるインテグリンと結合するほか，コラーゲン，フィブリンなどほかの細胞外マトリックスとも結合して，細胞の接着，成長，遊走，分化にかかわる．創傷治癒過程ではフィブリンとともに傷害部位に沈着し，凝血塊形成，組織保護に関与する．

1035 フェイスボウ ふぇいすぼう

face-bow

同義語 顔弓

下顎顆頭に対する上顎歯列あるいは顎堤の三次元的位置関係を記録し，咬合器に上顎模型を装着する際に用いる器具のこと．前方基準点（眼窩下点あるいは鼻翼下点）と後方基準点（外耳道上縁あるいは下縁など）で決まる平面（フランクフルト平面あるいはカンペル平面）を基準として装着する．

1036 フォルクマン管 ふぉるくまんかん

Volkmann canal

皮質骨（緻密骨）に存在する血管を容れる管には 2 種類存在し，その一つが骨の長軸に平行に走るハバース管であり，もう一つが，これと垂直に走るフォルクマン管である．フォルクマン管は，骨膜から血管を導入している管であり，ハバース管同士を連絡しているとともに最内層のハバース管を髄腔へ連絡している．

1037 副甲状腺ホルモン ふくこうじょうせんほるもん

parathyroid hormone

同義語 PTH

副甲状腺が分泌するホルモンの一つ．血中カルシウム濃度が低下すると分泌され，骨に含まれるカルシウムを血液中へ放出するとともに，腸からのカルシウムの吸収を促進することにより血中カルシウム濃度を上昇させる．副甲状腺ホルモンの測定は，カルシウムおよびリン酸代謝に関与する各臓器の機能を検査する指標となる．上皮小体ホルモンとも呼ばれる．

1038 副腎皮質ステロイドホルモン ふくじんひしつすてろいどほるもん

adrenocortical hormone

副腎皮質より産生されるステロイドホルモンの総称である．その作用で重要なものは免疫抑制作用と抗炎症作用で，アレルギー疾患や自己免疫疾患などの治療に使われている．副作用としては，過剰な免疫抑制作用による易感染性，副腎皮質機能不全，糖尿病，骨粗鬆症，消化器潰瘍などがある．また二次的な副腎皮質機能不全により，手術などのストレスで副腎クリーゼなど重篤な全身的合併症を起こす可能性があるために，ステロイドホルモンを追加投与する必要がある．ステロイドホルモン投与を受けている場合はインプラント治療のリスクファクターとなる．

1039 複製義歯 ふくせいぎし
duplicating denture, copy denture
使用中の義歯を複製したものである．インプラント治療においては現義歯だけでなく，理想的な上部構造を再現する方法としてろう義歯まで製作して試適し，その複製を製作してこれをCT撮影用のガイドならびにインプラント埋入時のガイドとして利用することがある．

1040 副鼻腔 ふくびくう
paranasal cavity
鼻腔を取り囲む骨が空洞を有して，鼻腔に通じる開口部をもつ空洞である．鼻腔と同じ種類の粘膜で内面が覆われており，前頭洞，篩骨洞，蝶形骨洞，上顎洞の4洞があり，それぞれの洞は同名の骨にある．上顎洞は最大の副鼻腔で，半月裂孔を経て中鼻道に開いている．

1041 腐骨 ふこつ
sequestrum
細菌感染による骨髄炎などで血行の閉塞によって骨が壊死すると腐骨を生じる．腐骨が存在するかぎり排膿と慢性炎症は続き，この刺激によって残った骨膜や骨髄から骨の新生が起こり，腐骨は新生骨で囲まれ，最終的には排除される．この新生骨を骨柩という．口腔領域で生じる腐骨の原因は細菌性骨髄炎，放射線性骨壊死，薬剤性（ビスホスホネート系薬剤など）の骨髄炎などがあげられる．

1042 浮腫 ふしゅ
edema
組織の細胞間における過剰な液体（主成分は水）の貯留をいう．血管から血管外腔への過剰な液体排出および組織または漿膜腔からの液体の再吸収障害によって生じる．発生機序によって，炎症性浮腫，静脈浮腫，リンパ浮腫および低アルブミン血症性浮腫に分類される．臨床的には，浮腫が皮下または粘膜下に存在する場合，病変部を指で圧迫すると指圧痕が一時的に残るのが特徴である．

1043 付着上皮 ふちゃくじょうひ
attached epithelium
⇒720 接合上皮

1044 付着粘膜 ふちゃくねんまく
attached mucous membrane
同義語 顎堤粘膜，不動粘膜
口唇，頰粘膜などの動きに左右されない不動性の口腔粘膜のこと．骨膜によって歯槽骨と強固に付着した角化付着粘膜であり，歯周組織では付着歯肉という．

1045 付着の獲得 ふちゃくのかくとく
attachment gain
⇒1180 臨床的アタッチメントレベル

1046 付着の喪失 ふちゃくのそうしつ
attachment loss
⇒1180 臨床的アタッチメントレベル

1047 浮動歯肉 ふどうしにく
flabby gum
⇒1065 フラビーガム

1048 不動態化 ふどうたいか
passivation
金属表面が薄い酸化被膜に覆われるとイオン溶出が著しく減少し，生体安定性に優れるようになる．このような保護被膜を形成する現象を不動態化という．不動態化しやすい金属にはチタン，クロム，スズなどがある．

1049 不動粘膜 ふどうねんまく
attached mucous membrane
⇒337 口腔粘膜，1044 付着粘膜

1050 部分安定化ジルコニア
ぶぶんあんていかじるこにあ
partially stabilized zirconia
関連語 ジルコニア
ジルコニア（酸化ジルコニウム）にイットリアなどの希土類酸化物を安定化剤として添加し，安定化させたものである．インプラントでは上部構造などに使用される．

1051 部分層弁 ぶぶんそうべん
partial thickness flap
⇒946 粘膜弁

1052 プラーク ぷらーく
dental plaque
⇒953 バイオフィルム

1053 プラークコントロール ぷらーくこんとろーる
plaque control
歯面あるいはインプラント上部構造表面において，周囲軟組織辺縁より上方に付着したプラークを取り除くこと．また再付着を防止するために口腔内

を清潔に保つこと．ブラッシングなどによる機械的な手法と抗菌薬などの使用による化学的な手法がある．インプラント上部構造に対するブラッシング法としては，バス法が主に用いられる．

1054 プラークコントロールレコード
ぷらーくこんとろーるれこーど
plaque control record
同義語 PCR
O'Leary ら（1972）が発表した歯頸部歯面におけるプラーク付着状態を評価する方法である．各歯面を両隣接面，唇（頰）側，舌（口蓋）側に 4 分割し，歯頸部付近のプラーク付着の有無を判定する．プラークコントロールレコード（PCR）は，一口腔単位で算出され，被験歯面数に対するプラーク付着歯面数の割合（%）で表される．臨床的には 20% 以下が望ましいとされている．

1055 ブラキサー ぶらきさー
bruxer
⇒1056 ブラキシズム

1056 ブラキシズム ぶらきしずむ
bruxism
同義語 歯ぎしり
関連語 パラファンクション
パラファンクションの一つである．ブラキシズムにはクレンチング（かみしめ），グラインディング，タッピングなど異なったタイプがある．睡眠時に発生する場合と，覚醒時に発生する場合に分けられる．睡眠時ブラキシズムでは，機能時よりもはるかに大きな力を発揮することで，歯やインプラント上部構造に負荷を与え，その結果として咬合面の咬耗，前装部の破折，ひいてはインプラント周囲骨の吸収，インプラント体の破折に至ることがある．常習的にブラキシズムを行う者をブラキサーという．

1057 プラスチックスケーラー
ぷらすちっくすけーらー
plastic scaler
プラスチックで作られたインプラント用の特殊な手用スケーラーである．主として歯肉縁下に使用され，インプラント体のチタン表面に傷をつけないため，また異種金属の混入を防止するためにプラスチックで作られている．先端はアバットメントやインプラント体の彎曲形状に合わせてある．

1058 プラズマコーティング ぷらずまこーてぃんぐ
plasma coating
高エネルギーの下で原子が電子と陽子に電離する現象をプラズマという．プラズマは超高温であるため金属やセラミックスを溶融し，噴霧状にコーティングすることが可能となる．これがプラズマ溶射法であり，親和性の良いハイドロキシアパタイトやチタンをコーティングしたものがプラズマ溶射インプラントである．

1059 ブラックトライアングル
ぶらっくとらいあんぐる
black triangle
天然歯やインプラントを含む修復物の下部鼓形空隙は歯間乳頭で満たされているのが理想的であるが，歯間乳頭が退縮すると，外観上は黒い三角形として認識される空隙となる．これをブラックトライアングルという．

1060 プラットフォーム ぷらっとふぉーむ
platform
インプラント体の最上部面のこと．
⇒ 92 インプラントカラーの図参照

1061 プラットフォームシフティング
ぷらっとふぉーむしふてぃんぐ
platform shifting
同義語 プラットフォームスイッチング，ホリゾンタルオフセット
プラットフォームの直径に対して，より小さい径のアバットメントを使用して，インプラント体-アバットメント連結部をインプラントショルダーから内方に移動させること．周囲の骨吸収を防ぎ，軟組織の安定性を図ることを目的とする．プラットフォームシフティングにすることで，歯肉の厚みが確保され，生物学的幅径を維持しやすくなると考えられている．

1062 フラップ ふらっぷ
flap
⇒ 581 歯肉弁

1063 フラップ手術 ふらっぷしゅじゅつ
flap surgery
同義語 歯肉剝離掻爬術
歯周外科治療における基本的な術式であり，歯周組織再生療法やインプラント周囲炎の治療に応用される．周囲軟組織に切開を加え，粘膜骨膜弁あるいは粘膜弁を剝離・翻転，汚染部を廓清し，その後，

弁を復位・縫合する．病巣部を明視化し，術後管理が容易な周囲環境を整えることを目的とする．

1064 フラップレスサージェリー《手術》 ふらっぷれすさーじぇりー《しゅじゅつ》
flapless surgery
同義語 無切開手術
関連語 ティッシュパンチ
術前のCTシミュレーションデータからサージカルガイドプレートを製作し，それをガイドに粘膜切開，剝離を行わずにインプラント体の埋入手術を行う方法である．本術式は生体への侵襲が小さく，手術時間を短縮できるメリットがある一方，盲目的な操作になるため重要な血管や神経の損傷の危険性も内在する．CTデータの誤差，サージカルガイドプレート製作時や手術時のガイドプレート固定時の誤差などがリスクとなる．

1065 フラビーガム ふらびーがむ
flabby gum
同義語 浮動歯肉
顎堤に発現する可動性の大きい粘膜組織で，上顎前歯部が好発部位である．歯槽骨の吸収と粘膜の肥厚および粘膜下組織の線維性増生がみられる．不適切な義歯の長期使用による慢性的な機械的刺激が原因とされ，外科的切除が必要な場合がある．

1066 フランクフルト平面 ふらんくふるとへいめん
Frankfort plane
⇒ 258 基準平面

1067 フリクショナルフィット ふりくしょなるふぃっと
frictional fit
同義語 フリクションフィット，楔嵌合
摩擦力を利用する接合のこと．インプラント体とアバットメントの接合様式におけるテーパージョイントや，インプラント体の埋入時に窩壁を圧迫する接合もこれに該当する．

1068 フレイル ふれいる
frailty
同義語 虚弱
関連語 口腔機能低下症
加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能など）が低下し，複数の慢性疾患の併存などの影響もあり，生活機能が障害され，心身の脆弱性が出現した要介護の前状態である．適切な介入・支援により，生活機能の維持・向上が可能である．口腔機能低下症もその増悪因子である．

1069 ブレードインプラント ぶれーどいんぷらんと
blade implant
板状（ブレード）のインプラント体のこと．1960年代にLinkowがブレードに窓を開けたブレードベントインプラントを開発したのが最初である．ブレード周囲に骨組織が広い面積で接することが特徴である．

1070 フレームワーク ふれーむわーく
framework
関連語 CAD/CAM
ボーンアンカードブリッジを構成する金属製またはセラミックス製の骨格のこと．従来は鋳造法で製作されてきたが，最近ではCAD/CAMによる製作法により精度が向上した．

1071 プレシジョンアタッチメント ぷれしじょんあたっちめんと
precision attachment
⇒ 16 アタッチメントシステム

1072 プレスフィット ぷれすふぃっと
press fit
加圧による接合のこと．インプラント体とアバットメントの接合様式におけるテーパージョイント以外の接合様式や，シリンダー型インプラントの埋入時の接合もこれに該当する．

1073 フレミタス ふれみたす
fremitus
類義語 機能的咬合診断
咬合検査の一つであり，早期接触，咬合干渉の検査に用いる触診の手技である．咬合検査では，上顎の唇・頬側面に指を当てて，咬合時の歯およびインプラント上部構造の振動の状態を検査する．

1074 プロービング ぷろーびんぐ
probing
歯周プローブを用いて歯周組織あるいはインプラント周囲組織の状態を探索すること．歯肉溝，歯周ポケットあるいはインプラント周囲溝におけるプロービング深さ（プロービングデプス），アタッチメントレベル，プロービング時の出血（BOP）の有無，および根面，インプラント表面における石灰化沈着物の有無などが評価される．挿入圧は，歯周組織およびインプラント周囲組織ともに軽圧（0.2～0.3N）が推奨されている．

1075 プロービングデプス ぷろーびんぐでぷす
probing depth
⇒1074 プロービング

1076 プログレッシブローディング
ぷろぐれっしぶろーでぃんぐ
progressive loading
関連語 Wolff の法則
オッセオインテグレーションしたインプラントに対して漸増的に荷重させる方法のこと．骨に対する物理的ストレスに反応してリモデリングが生じるとした Wolff の法則に基づいたもので，インプラント周囲でも該当すると考えられている．

1077 プロスタグランジン ぷろすたぐらんじん
prostaglandin
プロスタン酸骨格をもつ一群の生理活性物質である．アラキドン酸から生合成されるエイコサノイドの一つで，さまざまな強い生理活性をもつ．プロスタグランジンとトロンボキサンを合わせてプロスタノイドという．プロスタグランジン E_2（PGE_2）はパラソルモン，活性型ビタミン D_3，インターロイキン 1，6 や 11 などと同様に破骨細胞の分化を促進し，骨吸収を促進させる．

1078 ブロック骨移植 ぶろっくこついしょく
bone block graft
⇒63 移植〔術，法〕

1079 プロテーゼ ぷろてーぜ
prosthesis
⇒207 顎顔面補綴

1080 プロビジョナルインプラント
ぷろびじょなるいんぷらんと
provisional implant
⇒487 暫間インプラント

1081 プロビジョナルクラウン
ぷろびじょなるくらうん
provisional crown
⇒488 暫間上部構造

1082 プロビジョナルデンチャー
ぷろびじょなるでんちゃー
provisional denture
⇒488 暫間上部構造

1083 プロフェッショナルメカニカルトゥースクリーニング
ぷろふぇっしょなるめかにかるとぅーすくりーにんぐ
professional mechanical tooth cleaning
⇒994 PMTC

1084 BRONJ ぶろんじぇ
bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw
同義語 ビスホスホネート関連顎骨壊死
関連語 ARONJ，MRONJ
ビスホスホネート関連顎骨壊死．破骨細胞を不活化して，骨粗鬆症，癌の骨転移などに適応をもつビスホスホネート系薬剤を使用している患者に発生する特徴的な顎骨壊死のこと．一般に BRONJ と称される．抜歯などの口腔外科手術，歯周外科治療，不適合義歯など，通常の歯科治療に関連して発症・顕在化することが多い．進行性できわめて難治性であり，インプラント治療の大きなリスクファクターである．ビスホスホネート系薬剤を投与されている患者にインプラント治療を行う場合には，関連学会から出される最新のポジションペーパーを参考とする．

へ

1085 米国食品医薬品局
べいこくしょくひんいやくひんきょく
Food and Drug Administration
⇒157 FDA

1086 併発症 へいはつしょう
complication，concurrent disease
関連語 合併症，偶発症
手術や検査などの後，それらが基になって起こることがある症候あるいは事象のこと．たとえば，インプラント埋入手術後に生じる皮下出血など．

1087 ペインクリニック ぺいんくりにっく
pain clinic
同義語 疼痛外来
痛みを主症状とする疾患を治療する診療部門である．神経ブロック療法，薬物療法，理学療法などのさまざまな方法を用いて，慢性疼痛や麻痺の検査，治療を行う．口腔顔面領域の対象疾患として，三叉神経痛，舌咽神経痛，三叉神経帯状疱疹後神経痛，複合性局所疼痛症候群，顔面神経麻痺，筋筋膜痛症候群，外傷性三叉神経ニューロパチー，非定型口腔（顔面）痛，舌痛症，癌性疼痛などがある．

1088 β-TCP べーたてぃーしーぴー
β-tricalcium phosphate
TCP（リン酸三カルシウム，$Ca_3(PO_4)_2$）はリン酸カルシウムの一種で，単斜晶系のαと三方晶系のβがあり，水に対する溶解性はαが大きい．インプラントでは骨補填材（人工骨）として骨再生誘導法（GBR）に使用される．スキャフォールドなどの用途にも用いられる．

1089 ベニアグラフト べにあぐらふと
veneer graft
⇒ 183 オンレーグラフト

1090 ヘミデスモゾーム へみですもぞーむ
hemidesmosome
同義語 半接着斑
類義語 ハーフデスモゾーム
上皮・基底部と基底膜との接着装置である．構造はデスモゾーム（接着斑）の半側とほとんど同じであるが，細胞膜を貫通するタンパクがカドヘリンファミリーではなくインテグリンであり，細胞質の接着円板と基底膜とに終わっている．そのほか，ヘミデスモゾームはエナメル質と接合（付着）上皮との接着装置でもある．

1091 ヘモグロビン A1c へもぐろびんえーわんしー
hemoglobin（Hb）A1c
ヘモグロビンにブドウ糖が結びついたもので，過去1～2か月の平均血糖値の状態を示す．糖尿病の診断や血糖値のコントロール状態を示す指標として用いられる．合併症予防の観点から目標値は7.0%未満とされている．糖尿病はインプラント治療のリスクファクターであり，インプラント手術を行う場合には十分な主治医との対診が必要である．

1092 ペリオトーム ぺりおとーむ
periotome
刃先が細く，歯根膜と歯槽骨の間に挿入して歯から歯根膜のみを剝離することにより，抜歯窩周囲の歯槽骨を残すことが可能な抜歯器具である．特に審美的に重要な部位で抜歯後インプラントを即時埋入する際，固定源となる骨を極力破壊せず保存しつつ抜歯するのに有効であるとされる．

1093 ヘルシンキ宣言 へるしんきせんげん
declaration of Helsinki
1964年世界医師会ヘルシンキ大会で採択された，ヒトを対象とした医学研究を実施する際の倫理的原則である．重要な基本原則は，①研究よりも患者・被験者の福利を優先，②本人の自発的・自由意志による研究参加，③倫理審査委員会による事前審査と研究進行状況の監視継続，④先立つ動物実験と臨床研究データの有効活用を前提として科学的で倫理的な研究実施，の4点である．特に医学論文においては倫理指針の観点から，ヘルシンキ宣言にのっとった研究である必要がある．

1094 Bell 麻痺 べるまひ
Bell's palsy
関連語 顔面神経麻痺
原因不明の末梢性顔面神経麻痺とされていたが，現在では単純疱疹あるいは水痘・帯状疱疹の回帰感染が原因とされている．顔面神経は側頭骨の骨性トンネル（顔面神経管）を通過する．感染を受けた顔面神経は浮腫を起こし，二次的に顔面神経管で圧迫を受け伝導障害を起こす．

ほ

1095 蜂窩織炎 ほうかしきえん
cellulitis
同義語 蜂巣炎
組織内に好中球がびまん性に浸潤・拡大し，細胞間質を広範囲に融解し，細胞実質を壊死分解する進展性の化膿性炎症である．口腔領域においては歯周組織炎，歯冠周囲炎，顎炎から顎骨周囲へ炎症が波及し重症化することがある．易感染性の患者などではインプラント周囲炎から炎症が拡大し，蜂窩織炎に至る可能性がある．

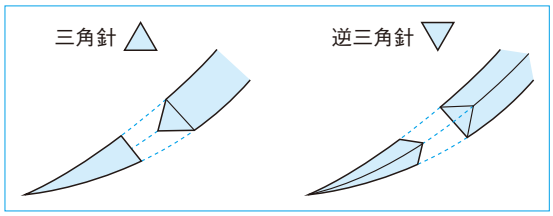
1096 縫合 ほうごう
suture
関連語 水平マットレス縫合，垂直マットレス縫合
外科手術，外傷などで切断された組織を縫い合わせること．単純縫合，連続縫合，水平マットレス縫合，垂直マットレス縫合などの方法があり，創が開きやすい部位は単純縫合に水平マットレス縫合などを併用する．

1097 縫合糸 ほうごうし
suture thread
材質から合成高分子素材系（非吸収性：ナイロンなど，吸収性：ポリグリコール酸系など）と天然素材系の絹糸に分けられる．ナイロン糸は組織親和性が良いが緩みやすい．最近開発されたソフトナイロン糸は柔らかく，縫いやすいうえ，周囲軟組織への圧迫・刺激が少なく，インプラント手術に向いてい

る．吸収性縫合糸は主に組織内縫合などに用いられる．絹糸は緩みにくいが，プラークが付着しやすいため，インプラント手術には不向きである．モノフィラメントスーチャーは１本の繊維で作られた単糸で，プラークは付着しにくい．マルチフィラメントスーチャーは複数の細い糸を編み込んだ編み糸で，プラークは付着しやすいが結紮は緩みにくい．

1098 縫合針 ほうごうしん
suture needle

断面の形状により角針（三角針，逆三角針），丸針がある．角針は一般的に硬い組織縫合用で，刃が外側に付いている逆三角針は三角針と比べると組織を損傷しにくい．丸針は脆弱な組織縫合用である．



図：縫合針

1099 放射線〔性〕骨壊死
ほうしゃせん〔せい〕こつえし
osteoradionecrosis

関連語 放射線治療

悪性腫瘍に対する放射線治療により，局所の血行不全から生じる炎症を放射線骨髄炎といい，その結果生じる壊死のことを放射線〔性〕骨壊死という．放射線治療の際に照射野に含まれた下顎骨は，放射線骨壊死になりやすいため，インプラント治療のリスクファクターとされている．

1100 放射線治療 ほうしゃせんちりょう
radiation therapy

関連語 放射線〔性〕骨壊死

外科療法や化学療法とならんで，悪性腫瘍の主たる治療法の一つである．また，これらを併用しての治療が多くなされている．放射線治療の際に，下顎骨がその照射野に入ると，放射線照射骨と言われ，放射線骨壊死になりやすいため，放射線照射骨はインプラント治療のリスクファクターとされている．

1101 放電加工 ほうでんかこう
electric discharge machining

同義語 EDM

加工液中で被加工物と電極との間に電圧を付加した際に生じる火花放電現象を利用して加工を行う方法である．自在な形状に加工可能なワイヤー放電加工法と電極と同じ形状の型を溶融によって成形する型彫り放電加工法などがある．

1102 ボールアタッチメント ぼーるあたっちめんと
ball attachment

関連語 アタッチメントシステム，バーアタッチメント，ロケーターアタッチメント，磁性アタッチメント

インプラント上の金属製ボールとOリングまたは既製の金属マトリックス（フィメール）で構成されるアタッチメントのこと．

1103 ボーンアンカードブリッジ
ぼーんあんかーどぶりっじ
bone-anchored bridge

同義語 インプラント〔支持〕ブリッジ

関連語 インプラント上部構造

インプラントによって支持される固定性上部構造のうち，単独植立を除く固定性上部構造をさす．

1104 ボーンマッピング ぼーんまっぴんぐ
bone mapping

同義語 ボーンサウンディング

浸潤麻酔下で，麻酔用の注射針やポケットプローブなどを歯肉に刺入し，骨表面までの距離を計測したり，骨形態や骨質などを把握したりする方法である．インプラント治療時の骨移植，インプラント体埋入手術の前などに粘膜下の骨の形態を把握し，切開線のデザインなどを決定するために行われる．

1105 ボーンミル ぼーんみる
bone mill

⇒ 412 骨粉砕器

1106 ポステリアガイダンス ぽすてりあがいだんす
posterior guidance

関連語 アンテリアガイダンス

偏心運動時の両側顎関節の誘導のこと．顎運動はアンテリアガイダンスとポステリアガイダンスによって制御される．チェックバイト法やパントグラフ法などによって顎関節の動きを調節性咬合器にトランスファーすることにより，矢状顆路や側方顆路などのポステリアガイダンスがある程度再現される．補綴治療において，無歯顎などアンテリアガイダンスが失われている場合，前歯部の排列や臼歯部咬合面形態付与の指標となる．

1107 補綴用スクリュー ほてつようすくりゅー
prosthetic screw
上部構造をアバットメントに連結するためのねじ.

1108 ポビドンヨード ぽびどんよーど
povidone-iodine
ポリビニルピロリドンとヨウ素の複合体であり，暗赤褐色の粉末である．一般的に溶液化された外用消毒薬や手指消毒薬，含嗽薬などとして用いられる．特異なにおいと味をもち，遊離ヨウ素の酸化作用により，殺菌力を有するとされる．一方，甲状腺機能異常やヨウ素過敏症の患者への使用には注意を要する．

1109 ポリテトラフルオロエチレン
ぽりてとらふるおろえちれん
polytetrafluoroethylene
⇒ 999 PTFE

1110 ボリュームレンダリング
ぼりゅーむれんだりんぐ
volume rendering
サーフェースレンダリングに対する用語であり，三次元的に構造を仮想画面内に構成する際に，観察できない隠れた部分に対してもデータを構成しておくことをいう．CT 画像を再構成する場合に，ボリュームレンダリングをした画像から観察断面を作成すると，内部の構造を観察することができる．

ま

1111 マージナルボーンロス まーじなるぼーんろす
marginal bone loss
同義語 ボーンロス
関連語 インプラントネック
インプラント義歯を支持している周囲骨の吸収状態を表しており，インプラントネックでの骨吸収を計測する．一般的にデンタルエックス線画像において，上部構造を装着した時点を基準とし計測する．

1112 マイクロギャップ まいくろぎゃっぷ
microgap
同義語 微小間隙
インプラント体とアバットメントとの接合面に存在する微小間隙のこと．微少漏洩により，感染がインプラント周囲組織に及ぶなどの問題が指摘されている．

1113 マイクロフラクチャー まいくろふらくちゃー
microfracture
同義語 微小骨折
埋入時の強いトルクやリッジエクスパンションにより起こる骨小柱の破折のこと．骨の微細構造の連続性が失われるために骨のリモデリングに影響する．

1114 マイクロプレート まいくろぷれーと
microplate
同義語 ミニプレート
骨固定用の小さいプレートで材質はチタン製のものが主として用いられる．通常負荷が大きくかからない頭蓋骨，上顎骨などの骨固定用として用いられるが，インプラントのための骨造成においては，ブロック骨移植の固定や，スプリットクレストを行ったときの補強などに用いられることがある．

1115 マイクロムーブメント まいくろむーぶめんと
micromovement
同義語 微小動揺
インプラント体周囲の骨形成前に，荷重によって生じるインプラント体の動揺のこと．マイクロムーブメントは骨形成の障害とならないとされているが，一定以上の動揺は線維の介入をきたし，オッセオインテグレーションの獲得に障害をきたす．

1116 埋入 まいにゅう
installation，placement
同義語 植立
関連語 埋入トルク
インプラント治療においては，専用の器具などを用いてインプラント体を骨内の規定の位置に固定すること．

1117 埋入窩 まいにゅうか
insertion socket
⇒ 88 インプラント窩

1118 埋入トルク まいにゅうとるく
insertion torque
インプラント体埋入時に骨内に埋入される際の抵抗をトルクとよび，初期固定の目安となる．単位は N・cm で表す．

1119 マウスガード まうすがーど
mouth guard
スポーツなどによる外力から歯や歯周組織の損傷を予防するために歯列を覆うように装着する装置の

総称である．スポーツマウスガードの場合，主に軟性材料で製作され，スポーツの種類によって多くの種類がある．

1120 前向きコホート研究 まえむきこほーとけんきゅう
prospective study
同義語 前向き研究
関連語 後向きコホート研究
観察研究の調査手法の一つである．研究を立案・開始してから新たに生じる事象について，未来に向かって観察を行う研究である．

1121 McGill コンセンサスステートメント
まぎるこんせんさすすてーとめんと
McGill consensus statement
2002 年にモントリオールの McGill 大学で，下顎無歯顎に対する標準的な治療法について専門家らによって決議されたコンセンサスである．下顎無歯顎に対する標準的な治療法は従来の義歯ではなく，2 本のインプラント体で支持されたインプラントオーバーデンチャーであることを示すものである．

1122 膜性骨化 まくせいこっか
intramembranous ossification
同義語 骨膜性骨化，膜内骨化
類義語 膜性骨
骨膜に含まれる未分化間葉系細胞が直接骨芽細胞に分化し骨を形成する，軟骨を介さない骨化のことで，膜内骨化ともよばれる．頭蓋や下顎骨などの扁平な骨にみられる．一方，いったん軟骨が形成された後に骨組織に置き換えられていく骨の形成を軟骨内骨化という．

1123 曲げ強さ まげつよさ
bending strength, flexural strength
関連語 三点曲げ試験
断面が角柱あるいは円柱の棒状試験片を二つの支点に固定し，中央部に負荷をかけて破断に至るまでに記録した最大値を曲げ強さという．曲げ強さを求める試験法には上記の三点曲げ試験のほかに支持部から等距離の 2 点に同じ負荷を与えて評価する四点曲げ試験法がある．

1124 摩擦トルク まさつとるく
friction torque
接触する面と面の間に生じるねじり力のこと．二面間の摩擦係数および押し付け圧に比例する．

1125 マットレス縫合 まっとれすほうごう
mattress suture
⇒667 水平マットレス縫合，663 垂直マットレス縫合

1126 麻痺 まひ
paralysis
中枢神経あるいは末梢神経障害による身体機能の低下・消失状態である．運動神経障害による運動麻痺，知覚神経障害による知覚麻痺がある．

1127 摩耗 まもう
abrasion，wear
関連語 咬耗
比較的硬い物質が擦れ合うことで，接触部が徐々に減っていくこと．歯科では咬合接触による摩耗を咬耗といい，過度のブラッシングなどを原因とするものを狭義の摩耗という．

1128 慢性閉塞性肺疾患
まんせいへいそくせいはいしっかん
chronic obstructive pulmonary disease
同義語 COPD
タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露することで生じる肺の炎症性疾患である．呼吸機能検査で 1 秒率の低下を示し，臨床的には体動時の呼吸困難や慢性の咳，痰を特徴とする．症状の進行を伴う場合は，長時間の手術や増悪の誘因となるストレスを避ける必要がある．

1129 Mann-Whitney 検定 まんほいっとにーけんてい
Mann-Whitney test
独立した 2 標本の差を検定するノンパラメトリックな統計解析手法の一つである．二つの母集団で観察された分布を，「両標本が同じ母集団から抽出された」という帰無仮説にもとづいて検定する方法．適用できる尺度は比率尺度・間隔尺度・順序尺度である．

み

1130 Misch の骨密度の分類
みっしゅのこつみつどのぶんるい
Misch's bone density classification
⇒1131 Misch の分類

1131 Misch の分類 みっしゅのぶんるい
Misch's classification
同義語 Misch の骨密度の分類
関連語 CT 値
Misch（1999）が提唱したインプラント体埋入部の骨密度を CT 値（ハンスフィールド単位：HU）で評価した骨密度の分類である．
850 HU 以上のものは埋入窩形成時に摩擦熱による火傷を生じやすく，350 HU 以下であると軟らかい骨質のため一次固定が得られにくい．

表：Misch の分類

D1 骨（HU：＞1,250）	主に骨密度の高い皮質骨である
D2 骨（HU：850 ～ 1,250）	歯槽頂部に厚い皮質骨を有し，内部に粗造な海綿骨が存在する
D3 骨（HU：350 ～ 850）	歯槽頂部に薄い皮質骨と微細な海綿骨を有する
D4 骨（HU：150 ～ 350）	ほとんど皮質骨が存在せず大部分が微細な海綿骨である
D5 骨（HU：＜150）	不完全なミネラル化を伴う非常に軟らかい骨である

1132 ミニインプラント みにいんぷらんと
mini implant
多くは直径 2 mm 前後でワンピース構造のインプラントをさす．粘膜外部はボールアタッチメント構造をとり，可撤性有床義歯側に設定されるハウジング内の O リングにより義歯の維持を増強する目的で使用される．対象部位は下顎前歯部を主とし，複数本で義歯の維持を担うことが多い．

1133 ミニプレート みにぷれーと
mini plate
⇒1114 マイクロプレート

1134 ミューチュアリープロテクティッドアーティキュレーション
みゅーちゅありーぷろてくてぃっどあーてぃきゅれーしょん
mutually protected articulation
⇒ 348 咬合様式

1135 ミリングテクニック みりんぐてくにっく
milling technique
ドリルやバーなどの回転切削器具を利用する金属の加工技術で，歯科では歯科用ミリングマシーンを利用して切削加工することをいう．軸面を精密に付与できることから，テレスコープクラウンやアタッチメントの技工などに使用されてきた．近年は，CAD/CAM の普及によって金属以外も加工できるようになり，また，単純な軸面の加工だけでなく多軸の CAM によって複雑な形態のアバットメントやコーピング，大型のフレームワークの製作が容易になった．

1136 ミリングマシーン みりんぐましーん
milling machine
関連語 アバットメント，CAD/CAM
チタンやセラミックのブロックからアバットメントやインプラント上部構造を削り出す装置である．チタンやセラミック，ジルコニアのほかにも，レジンやワックスといった材料も削り出すことが可能である．

む

1137 無機性牛ミネラル むきせいぎゅうみねらる
anorganic bovine mineral
⇒ 143 ABM

1138 無作為化比較試験 むさくいかひかくしけん
randomized controlled trial
⇒ 4 RCT

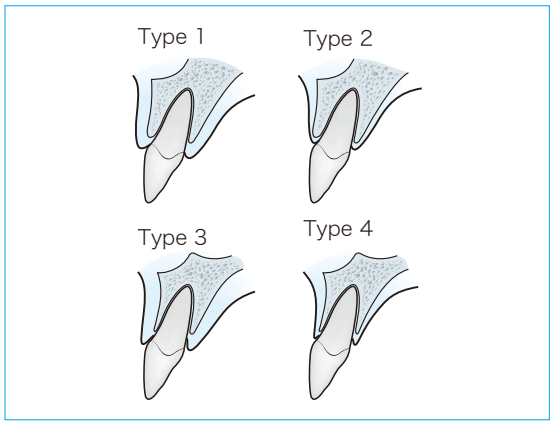
1139 MRONJ むろんじぇ
medication-related osteonecrosis of the jaw
同義語 薬剤関連顎骨壊死
関連語 ARONJ，BRONJ
薬剤関連顎骨壊死．骨吸収抑制薬（ビスホスホネート系薬剤や抗 RANKL 抗体デノスマブなど），抗癌剤として使用される血管新生阻害薬やチロシンキナーゼ阻害薬などの分子標的治療薬など，薬剤によって引き起こされる顎骨壊死の総称である．

め

1140 Maynard の分類 めいなーどのぶんるい
Maynard classification
関連語 歯周バイオタイプ
Maynard と Wilson（1980）により提唱された歯周組織の分類である．唇側歯槽骨の厚さと付着歯肉の量に基づき，Type1 ～ 4 の四つに分類される．

表：Maynard の分類

Type1	唇側歯槽骨，付着歯肉の量ともに十分な厚さがある
Type2	唇側歯槽骨の厚さは十分あるが，付着歯肉は薄い
Type3	唇側歯槽骨は薄いが，付着歯肉は厚い
Type4	唇側歯槽骨，付着歯肉ともに薄い



図：Maynard の分類

1141 メインテナンス めいんてなんす
maintenance
⇒ 128 インプラントのメインテナンス

1142 メカニカルストレス めかにかるすとれす
mechanical stress
同義語 機械的ストレス
生体内の細胞や組織に負荷される物理的，力学的な刺激のこと．メカニカルストレスに応じて骨梁構造が変化することが指摘されているが，骨のみならず，血管や神経などを含めた多くの組織や器官がメカニカルストレスを認識するだけではなく，適切に応答し変化することで形態と機能を維持している．

1143 メゾストラクチャー めぞすとらくちゃー
mesostructure
インプラント体あるいはアバットメントと上部構造の間に装着される中間構造体のこと．審美性の確保を目的として用いられることが多い．骨吸収が大きく，骨造成や骨移植によって理想的な骨量を確保できない場合などに，歯肉色で前装された中間構造体を製作することにより，インプラント上部構造の歯冠長を見かけ上適正に保つことができる．しかし，中間構造体と歯肉との境界は審美性や清掃性が問題となるため，設計上注意が必要である．

1144 メタアナリシス《分析》 めたあなりしす《ぶんせき》
meta-analysis
系統的レビューで用いられる統計学的手法のこと．過去に独立して実施された複数の研究のデータを統合し，共通の指標値を推定することができる．併合効果（併合リスク比，併合オッズ比）と信頼区間の算出，一様性の検定，出版バイアスの推定などがある．

1145 メタルフリー修復 めたるふりーしゅうふく
metal-free restoration
構成要素に金属を含まない修復物のこと．ファイバーコアによる支台歯築造とオールセラミッククラウンによる歯冠修復は典型的な天然歯のメタルフリー修復である．金属アレルギーの患者に対する修復方法として有効である．

1146 滅菌 めっきん
sterilization
関連語 過酸化水素ガスプラズマ滅菌，高圧蒸気滅菌
圧や熱，ガス，電気，薬品，放射線照射などにより，あらゆる微生物を完全に除去した状態をいう．医療器具滅菌は器具の材質などにより適した滅菌法を選択する．細菌をはじめとする病原微生物の生細胞を死滅させる殺菌とは区別される．

1147 滅菌法 めっきんほう
sterilization method
関連語 過酸化水素ガスプラズマ滅菌，高圧蒸気滅菌
あらゆる微生物を完全に除去する操作を行うための方法である．高圧蒸気滅菌法，ガス滅菌法，プラズマ滅菌法，ガンマ線滅菌法，電子線照射滅菌法，紫外線照射滅菌法，閃光照射滅菌法などがある．特に高圧蒸気滅菌器は，性能によりヨーロッパ規格 EN13060 でクラス分類されており，最高基準がクラス B，次いでクラス S，クラス N の順となる．クラス B では固形製品（包装･非包装），中空製品（包装・非包装），繊維製品（包装・非包装）の滅菌が可能である．

1148 免疫グロブリン めんえきぐろぶりん
immunoglobulin
免疫を担う糖タンパク質である．B 細胞が抗原特異的に活性化されると，B 細胞は形質細胞に分化し，分泌型免疫グロブリン（抗体）を産生するようになる．IgG，IgM，IgA，IgD および IgE の 5 種類に

分類される．

1149 免荷期間 めんかきかん
relief period
関連語 早期荷重，即時荷重
インプラント体に咬合力などの荷重をかけない期間のこと．インプラント体埋入後，オッセオインテグレーションが得られるまでの間を免荷期間とすることが多い．免荷期間を短縮すると患者の期待に早期に応じることができるが，早期荷重，即時荷重などはインプラント治療の成否にかかわるため慎重な選択が必要である．

も

1150 モーステーパー もーすてーぱー
morse taper
⇒870 テーパージョイント

1151 モニタリング もにたりんぐ
monitoring
同義語 生体監視
呼吸状態，心拍数，血圧，体温といったバイタルサインや，心電図，経皮的酸素飽和度などを経時的に観察し，記録することを示す．これらを行う装置は生体監視モニタ，生体情報モニタと呼ばれ，患者の生体情報をさまざまな角度から連続的に把握することができる．

1152 モノフィラメントスーチャー
ものふぃらめんとすーちゃー
monofilament suture
⇒1097 縫合糸

や

1153 薬剤関連顎骨壊死 やくざいかんれんがっこつえし
medication-related osteonecrosis of the jaw
⇒1139 MRONJ

1154 薬物アレルギー やくぶつあれるぎー
drug allergy
関連語 アナフィラキシーショック
特異的IgEが関与する即時型のアナフィラキシー反応（Ⅰ型）と感作リンパ球が関与する遅延型アレルギー反応（Ⅳ型）が多くみられる．アレルギー反応の多くは皮膚症状が認められ，急速に症状が発現するほど重篤度が高い．歯科臨床では，抗菌薬や消炎鎮痛薬が原因となることが多い．

1155 ヤング率 やんぐりつ
Young's modulus
⇒819 弾性係数

ゆ

1156 有茎弁 ゆうけいべん
pedicle flap
ドナーサイトとの連続性を残してレシピエントサイトに移動または回転させる移植弁のこと．遊離弁と異なり血流を途絶しない利点がある．

1157 有茎弁歯肉移植術
ゆうけいべんしにくいしょくじゅつ
pedicle gingival graft
有茎歯肉弁を用いた歯肉移植術である．露出根面被覆を目的とする歯肉弁歯冠側移動術，歯肉弁側方移動術や，付着歯肉の増大を目的とする歯肉弁根尖側移動術などの歯周形成手術に応用される．

1158 有限要素法《解析》 ゆうげんようそほう《かいせき》
finite element analysis
同義語 FEA
複雑な形態や性質の物質を小単位に分割して単純化し，全体の挙動を数学的に解析する手法である．分割は三角形，四角形または三角錐，四角錐に分割するため分割後のモデルはメッシュ状にみえる．インプラントの分野では，骨内の応力分布の解析や上部構造やスクリューに関連した応力解析に用いられる．

1159 UCLA アバットメント
ゆーしーえるえーあばっとめんと
UCLA abutment
関連語 ノンセグメントタイプ
上部構造を製作するための技工用パーツの一種である．インプラント体に直接スクリュー固定できるような連結部とスクリューアクセスホールを囲むシリンダー部が一体となった形態をしており，鋳接可能な金属，または焼却可能なプラスチックで作られている．直接ワックスアップして鋳接あるいは鋳造することにより，ノンセグメントタイプのスクリュー固定上部構造やカスタムアバットメントの製作に使用される．

1160 遊離角化粘膜移植術
ゆうりかくかねんまくいしょくじゅつ
free keratinized mucosal graft
類義語 FGG
関連語 遊離結合組織移植術
インプラント周囲の角化粘膜を増大させる歯周形成手術の一つである．口腔前庭拡張術に準じて，粘膜弁（部分層弁）により必要な大きさのレシピエントサイト（移植床）を形成する．ドナーサイトとしては，一般的に上顎臼歯部の口蓋側角化粘膜から遊離角化粘膜移植片が採取される．天然歯周囲での遊離歯肉移植術と区別して，インプラント周囲では遊離角化粘膜移植術という．

1161 遊離結合組織移植術
ゆうりけつごうそしきいしょくじゅつ
free connective tissue graft
遊離した結合組織を用いる移植術である．有茎弁による移植との比較では血流を途絶する点で不利である．移植片は主に口蓋側の上皮下結合組織から採取される．根面被覆や顎堤増大を目的とする歯周形成手術あるいはインプラント関連外科手術に用いられる．

1162 遊離端ブリッジ ゆうりたんぶりっじ
cantilever bridge
⇒ 243 カンチレバー

よ

1163 陽極酸化 ようきょくさんか
anodic oxidation
異種金属同士を電解液中で通電すると，イオン化傾向の大きな金属が陽極となりイオンを放ちながら酸化すること．この原理を応用して積極的に酸化被膜を付与して金属材料を強化する手法もある．金属表面を安定な酸化被膜で覆うことにより耐食性，耐摩耗性を向上させるための処理であり，インプラントではオッセオインテグレーションを高めるために行われる．

1164 溶接 ようせつ
welding
金属の接合方法の一つである．同種金属で接合可能なために腐食しにくいが，金属を足さないため溶融後の収縮による強度低下や寸法変化が起こる可能性がある．不活性ガス中で金属の電極と材料の間にアークを発生させて接合するアーク溶接法と，電気抵抗を利用したスポット溶接が一般的である．最近ではレーザー溶接も行われ，炭酸ガスレーザーやNd:YAG レーザーなどが用いられる．

1165 翼突筋静脈叢 よくとつきんじょうみゃくそう
pterygoid plexus
側頭筋から外側翼突筋の間に広がる顎動脈の枝に対応する静脈群である．後方で顎静脈に集束する．海綿静脈洞と交通している．また，顔面静脈とも交通する．上顎骨後方の手術操作による損傷で止血困難となることがあるので注意が必要である．

ら

1166 ラジオグラフィックマーカー
らじおぐらふぃっくまーかー
radiographic marker
関連語 コンピュータ支援手術
インプラントのガイデッドサージェリーを行う際には，術前のCT 撮影が重要である．この撮影に用いる診断用テンプレートなどにエックス線不透過性のマーカーを介在させることによって，コンピュータ支援手術の際に再現性を確保する．このマーカーをラジオグラフィックマーカーという．

1167 らせん型インプラント らせんがたいんぷらんと
spiral implant
⇒ 684 スパイラルインプラント

1168 ラチェットレンチ らちぇっとれんち
ratchet wrench
回転方向を一定に制限する機構を有するレンチのこと．正方向のみトルクを付与し，逆回転では空回りする機構とすることができるため，レンチを装着したままで連続的にスクリューを締めることができる．

1169 ラテラルウィンドウテクニック
らてらるうぃんどうてくにっく
lateral window technique
⇒ 613 上顎洞底挙上術

り

1170 リコンビナント BMP-2
りこんびなんとびーえむぴーつー

recombinant BMP-2

同義語　rh BMP-2

関連語　BMP

ヒト遺伝子組み換え BMP-2 のこと．

1171 リスクファクター　りすくふぁくたー

risk factor

同義語　リスク因子，危険因子

有害事象の発生する可能性を高める危険因子のこと．インプラント治療では，患者側に起因するものと，医療提供者側に起因するものとがある．

1172 リスクマネジメント　りすくまねじめんと

risk management

同義語　医療安全管理

有害事象の発生と再発防止を目的に，医療設備や医療従事者の組織体制，治療過程のリスクを体系的に管理すること．

1173 リッジエクスパンション法
りっじえくすぱんしょんほう

ridge expansion

関連語　スプリットクレスト法

骨幅が狭い部分を頬（唇）舌的に広げる方法で，インプラントのガイドホールを形成した後，オステオトームや拡大用のドリルを挿入し，少しずつ力を加えながら側方に拡大し，インプラントを埋入する手技である．また，歯槽頂部に切り込みを入れ，徐々に皮質骨を広げて若木骨折させ，骨幅の拡大を行いながら埋入する手技を特にスプリットクレストと呼ぶ．

1174 リップサポート　りっぷさぽーと

lip support

歯や歯槽部による口唇の支持をさす．歯の喪失によってリップサポートがなくなると，口唇が後退し，しわが形成されるため，いわゆる老人様顔貌となる．インプラント治療によってリップサポートを回復するには，歯の修復だけで回復できるのか，歯槽部を含めた修復が必要であるかを判断して，上部構造を選択する必要がある．

1175 リップライン　りっぷらいん

lip line

微笑んだときの上唇の位置であり，審美性回復の難易度にかかわる指標となる．歯の一部だけが露出するローリップライン，歯頸部相当に位置するミドルリップライン，歯頸部や歯槽部の一部が露出するハイリップラインに分類される．歯槽部が完全に露出するタイプをガミースマイルという．

1176 リテーナー　りてーなー

retainer，retaining appliance

歯列などを保持する役割の装置やその構造のこと．インプラント治療においては，抜歯後の欠損部位への隣在歯や対合歯の移動を防ぐことでインプラント体埋入スペースおよび補綴空隙を確保するための固定性または可撤性の装置をいい，暫間的に歯列欠損の形態と機能を補うための装置にもなる．

1177 リマウントレコード　りまうんとれこーど

remount record

咬合器に装着して製作した補綴装置を修正する目的で咬合器に再装着をするために，補綴装置を装着した状態で，口腔内で採得する咬合記録のこと．

1178 リン酸オクタカルシウム
りんさんおくたかるしうむ

octacalcium phosphate（OCP）

化学式は $Ca_8H_2(PO_4)_6 \cdot 5H_2O$．歯や骨の生体アパタイトの前駆物質で，生体内に埋入されると生体アパタイトに転換する．ハイドロキシアパタイトや TCP に比べて溶解性が高く，熱力学的に不安定であり焼結成形はできないが，板状結晶の凝集体として人工合成が可能となり，顆粒状に整粒し骨補填材へ応用されており，ブタ由来のアテロコラーゲンと複合化させた製剤（リン酸オクタカルシウム・コラーゲン複合体）がある．

1179 リン酸三カルシウム　りんさんさんかるしうむ

tricalcium phosphate

同義語　TCP

⇒1088 β-TCP

1180 臨床的アタッチメントレベル
りんしょうてきあたっちめんとれべる

clinical attachment level

同義語　アタッチメントレベル，プロービングアタッチメントレベル

歯と歯肉の付着を表す数値で，プロービング時のプローブ先端からセメントエナメル境など基準点ま

での距離のこと．インプラント周囲軟組織では，アバットメント・補綴装置移行部あるいはテンプレートが基準点として用いられる．純粋な組織学的付着位置である組織学的アタッチメントレベルと区別して，臨床的アタッチメントレベルと呼ばれる．一般的に，付着の喪失は病変の進行を意味し，付着の獲得は治癒傾向を表す場合が多いので，治療の効果判定に用いられることが多い．

る

1181 累積残存率　るいせきざんぞんりつ

cumulative survival rate

関連語　インプラント成功率

任意の群において，調査開始から対象期間までに口腔内に存在していたインプラントの割合の算定値である．生命表分析に基づき，統計学的にKaplan-Meier分析が用いられ，対象とする期間区分内でインプラントが残存していた割合（残存率）に対象期間前までの残存率を掛け合わせることで算出される．

1182 累積成功率　るいせきせいこうりつ

cumulative success rate

任意の群において，調査開始から対象とする期間までに，成功と判断されるインプラントの割合の算定値である．事前に定義された成功の評価基準にのっとって調査され，統計手法にはKaplan-Meier分析が用いられる．インプラント治療の成功の定義としては，トロント会議（1998）での成功基準を用いることが多い．

1183 累積的防御療法　るいせきてきぼうぎょりょうほう

cumulative interceptive supportive therapy

同義語　CIST

Lindheら（2003）によって提唱され，Langら（1995，2000）によって改訂されたインプラント周囲疾患の予防，治療プログラムである．プラーク付着の有無，プロービングデプス，プロービング時の出血の有無，エックス線画像から骨吸収を評価し，A：機械的クリーニング，B：殺菌療法，C：抗菌薬療法，D：外科的アプローチ，E：インプラント体除去の5種の治療法を程度に応じて単独，累積的に組み合わせて行う．

1184 Le Fort Ⅰ型骨切り術

るふぉーいちがたこつきりじゅつ

Le Fort Ⅰ osteotomy

Le Fortによって提唱された骨切り線に従って行う上顎骨骨切り術の一つで，上顎骨の前方移動や咬合平面の修正に用いられる．梨状孔下縁付近から上顎洞壁，鼻腔外側壁，鼻中隔を水平に骨切りを行い，目的位置に移動を行う．上顎骨の高さが足りない場合，インプラント埋入と同時に，あるいは二期的にLe Fort Ⅰ型骨切り術を行う場合がある．

れ

1185 レーザー　れーざー

laser

関連語　Er:YAGレーザー，炭酸ガスレーザー，Nd:YAGレーザー

Light Amplification by Stimulated Emission of Radiation（輻射の誘導放出による光の増幅）の略である．一般的には媒体となる原子に強力なエネルギーを加えて励起させることで人工的に取り出された波長と位相が揃った指向性の良い光のこと．レーザー光は自然光と異なり可干渉性を有し，エネルギーを一点に集中させることが可能となる．通常は発振媒体の種類によって分類され，歯科では炭酸ガスレーザー，Er:YAGレーザー，Nd:YAGレーザー，半導体レーザーなどが使用される．

1186 レーザー溶接　れーざーようせつ

laser welding

高エネルギーのレーザーを微小範囲に集中させて照射し，溶接部分を瞬時に高温にして溶融，凝固させて接合する方法である．金属の酸化や腐食を防ぐため不活性ガス雰囲気中で行う必要があり，凝固収縮による変形には注意を要する．歯科用溶接機はNd:YAGレーザーが使用されることが多い．

1187 レシピエントサイト　れしぴえんとさいと

recipient site

同義語　受容側

関連語　ドナーサイト

移植される部位，つまり移植される術野を示す．移植するものを採取する部位をドナーサイトと呼ぶ．下顎枝から骨を採取し，上顎前歯歯槽部へ移植するのであれば，レシピエントサイトは上顎前歯歯槽部となる．

1188 裂開 れっかい

dehiscence

関連語 哆開

歯槽骨の吸収により歯根面が部分的に露出し，骨膜と歯肉によってのみ歯根表面が覆われている状態を示す．また，創部における裂開は，縫合した部位が血流障害や機械的刺激により裂けたり切れたりして離開することを示し，哆開という．

1189 Lekholm&Zarb の骨形態の分類

れっくほるむあんどざーぶのこつけいたいのぶんるい

Lekholm&Zarb's jaw bone morphology classification

⇒1191 Lekholm&Zarb の分類

1190 Lekholm&Zarb の骨質の分類

れっくほるむあんどざーぶのこつしつのぶんるい

Lekholm&Zarb's bone quality classification

⇒1191 Lekholm&Zarb の分類

1191 Lekholm&Zarb の分類

れっくほるむあんどざーぶのぶんるい

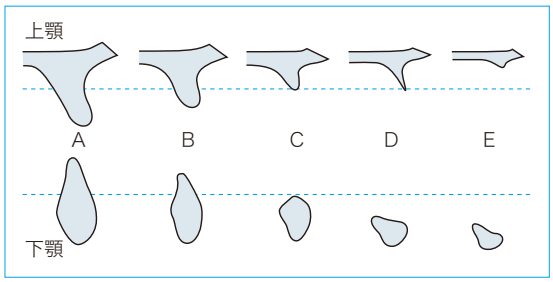
Lekholm & Zarb's classification，classification by Lekholm & Zarb

同義語 Lekholm & Zarb の骨形態の分類，Lekholm & Zarb の骨質の分類

Lekholm&Zarb（1985）が提唱した顎骨の骨形態および骨質の分類である．

表：Lekholm & Zarb の骨形態の分類

A	歯槽堤がほぼ存在している
B	歯槽堤に中等度の吸収が認められる
C	歯槽堤のほとんどが吸収している
D	顎骨の吸収が認められる
E	顎骨の著しい吸収が認められる

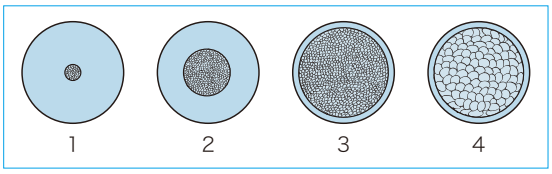


図：Lekholm & Zarb の骨形態の分類〔Lekholm U. & Zarb, G.A.（1985）, Patient selection and preparation.（In：Tissue Integrated Prostheses：Osseointegration in Clinical Dentistry, pp199-209）〕

表：Lekholm & Zarb の骨質の分類

1	高密度で均質な緻密骨からなり海綿骨はほとんど存在しない
2	厚い皮質骨に囲まれた良好な密度を示す海綿骨からなる
3	2と比べやや薄い皮質骨とやや粗な海綿骨を有する
4	きわめて薄い皮質骨ときわめて粗な海綿骨からなる

2と3はインプラント体埋入に適した骨質である．



図：Lekholm & Zarb の骨質の分類〔Lekholm U. & Zarb, G.A.（1985）, Patient selection and preparation.（In：Tissue Integrated Prostheses：Osseointegration in Clinical Dentistry, pp199-209）〕

ろ

1192 ロケーターアタッチメント

ろけーたーあたっちめんと

locator attachment

関連語 アタッチメントシステム，バーアタッチメント，ボールアタッチメント，磁性アタッチメント

緩圧型アタッチメントの一種．義歯側のメタルハウジング内に弾性マトリックス（フィメール）を，インプラント側に緩圧型の金属パトリックス（メール）が設置されている．高径が低いため，デンチャースペースが少なくても適応可能であり，弾性マトリックスの選択により維持力の調整ができる．

1193 ロングセントリック ろんぐせんとりっく

long centric

⇒195 下顎位

わ

1194 若木骨折 わかぎこっせつ

green stick fracture

関連語 スプリットクレスト法

小児の骨のように柔軟性に富む場合の骨折では骨の連続性が保たれたまま不完全骨折を呈し，骨折部

は彎曲してみえる．これを若木骨折という．完全骨折と違い血流が保たれるため，スプリットクレスト法などで応用される．

1195 ワルファリンカリウム わるふぁりんかりうむ
warfarin potassium
関連語 抗血栓薬，PT-INR
抗血栓療法のうち，主として静脈血栓症に対する経口抗凝固療法として用いられることが多い抗血栓薬である．心臓弁膜症に対する弁置換手術後などに投与される．血液凝固能はPT-INR値で管理されている．抜歯やインプラント手術の際にワルファリンカリウムを中止すると血栓を形成する危険性があり，手術侵襲の程度とPT-INRの値により，できるだけ継続したまま外科処置を行うことが推奨される．術後の出血には十分注意する．

1196 ワンスクリューテスト わんすくりゅーてすと
one screw test
⇒ 973 パッシブフィット

1197 ワンピースインプラント
わんぴーすいんぷらんと
one-piece implant
同義語 ワンパートインプラント
インプラント体とそれに連結されるアバットメントが一体構造で設計されたインプラントのこと．インプラント体の埋入はアバットメント部によって歯肉粘膜を貫通する1回法となり，切削形成されたアバットメント支台にセメント固定式上部構造を装着する．下顎前歯欠損のように近遠心幅経に制限がある部位へのナローインプラントで使用されることが多い．以前はワンパートインプラントと呼ばれることもあった．

付録　インプラントシステム等商品名一覧

（2024 年 2 月現在，本学会賛助会員の協力により作成．英文末尾の記号は下記メーカー名の略）

AI：愛知製鋼㈱，AL：㈱アルタデント，B：㈱ブレーンベース，BM：㈱ BMS JAPAN，C：㈱カイマンデンタル，DI：DIO デジタル㈱，DL：㈱デンタリード，DS：デンツプライシロナ㈱，GC：㈱ジーシー，HS：白水貿易㈱，HU：ヒューフレディ・ジャパン�同，IM：㈱インプラテックス，IT：伊藤超短波㈱，K：ケンテック㈱，KC：京セラ㈱，KK：京都機械工具㈱，MO：㈱モリタ，NA：株式会社ナカニシ，NO：ノーベル・バイオケア・ジャパン㈱，NP：日本ピストンリング㈱，O：㈱ OSSTEM JAPAN，P：㈱プラトンジャパン，S：ストローマン・ジャパン㈱，SF：松風バイオフィックス㈱，W：和田精密歯研㈱，YO：㈱ヨシダ，YS：㈱ヨシオカ，ZI：ジンヴィ・ジャパン�同

インプラントシステム		
RBT	Resorbable Blast Texturing	C
IAT インプラントシステム	IAT Implant System	NP
IAT EXA	IAT EXA	NP
IAT EXA PLUS	IAT EXA PLUS	NP
IAT FIT Ⅱ	IAT FIT Ⅱ	NP
IS-Ⅱ	active IS-Ⅱ active	W
IT インプラントシステム	IT Implant System	P
IT-SE インプラントシステム	IT-SE Implant System	P
ITS インプラントシステム	ITS Implant System	P
アクティブボーンコントロール	ActiveBone Control™	DS
アストラテックインプラント EV	Astra Tech Implant EV	DS
アストラテックインプラント EV プロファイル	Astra Tech Implant EV Profile	DS
アストラテックインプラントシステム	Astra Tech Implant System®	DS
アストラテックインプラントシステム EV	Astra Tech Implant System® EV	DS
アストラテックインプラントシステム　バイオマネージメントコンプレックス	Astra Tech Implant System BioManagement Complex®	DS
アルファタイトインプラント	Alphatite Implant	K
アンカーサーフェイス	Aanchor Surface™	GC
アンキロス インプランティング ティッシュケア	Ankylos® Implanting TissueCare	DS
アンキロス C/X インプラント	Ankylos® C/X Implant	DS
iSy インプラントシステム	iSy Implant System	AL
ET IMPLANT SYSTEM	ET（Essential Treatment）Implant System	O
ED サーフェス	ED Surface（Wire-Type Electric Dischage Machining Surface）	NP
イニセルインプラントエレメント	INICELL® Implant Element	MO
イニセルインプラントコンタクト	INICELL® Implant Contact	MO
インタラクティブ　システム	InterActive System	IM
HSA	HSA	DI
HM インプラント	HM Implant	ZI
エイトローブ　プロ　インプラントシステム	Eight-Lobe Pro Implant System	P
エクスターナル ヘクス コネクション　インプラント	External Hex connection implant	ZI
SAI	Sandblasted Acid Etching Ion Bombard	YS
SAG	SAG（Sand-blasting Acid Etching Glow Discharge Treatment）	P
SS SA フィクスチャ	SS SA（Sand Blasted with alumina and Acid etched）fixture	O

SS-type	SS-type	K
エスエルアクティブサーフェイス	SLActive® Surface	S
エスエルエーサーフェイス	SLA® Surface	S
SPI® システムエレメントインプラント	SPI®System Element Implant	MO
SPI® システムコンタクトインプラント	SPI®System Contact Implant	MO
SB-type	SB-type	K
エソミックアバットメント	Esthomic Abutment	AL
AnyTime Loading	AnyTime Loading	W
F-type	F-type	K
エミネオ	EMINEO	KC
MFG	Multiple And Fine Groove	YS
エムティーアイ　インプラント	MIT Implant	IM
NH サーフェイス	NH（Nano Hydroxyapatite）Surface	O
MS IMPLANT SYSTEM	MS（Micro Solution）Implant System	O
OS-type	OS-type	K
オクタフィックス インプラント システム	Octafix Implant System	YS
オクタフィックスⅡ インプラント システム	Octafix Ⅱ Implant System	YS
オッセオスピード	OsseoSpeed®	DS
オッセオスピード TX	OsseoSpeed® TX	DS
オッセオスピード TX プロファイル	OsseoSpeed® TX　Profile	DS
オッセオタイト インプラント	Osseotite Implant System	ZI
ガイドシステム CAMLOG/CONELOG	Guide System CAMLOG/CONELOG	AL
CAM チタンブランク　IAC/ME/AG	CAM Titanium blank	AL
カム連結	CAM Connection	AL
カムログインプラントシステム	CAMLOG Implant System	AL
カムログインプラントスクリューライン	CAMLOG Implant Screw-Line	AL
クロスフィット	CrossFit®	S
コーンログインプラントシステム	CONELOG Implant System	AL
コニカルシールデザイン	Conical Seal Design™	DS
コネクティブカウントゥアー	Connective Contour™	DS
コノメトリックアバットメント	Conometric Abutment	DS
コンシステントエマージェンスプロファイル	Consistent Emergence Profiles™	S
コンストリクションヘッド	Constriction Head	SF
COMFOUR アバットメントシステム	COMFOUR Abutment System	AL
サーテン インターナル コネクション　インプラント	Certain internal connection implant	ZI
ザイブ S インプラント	Xive® S Implant	DS
ジーシーインプラント Re	GC IMPLANT Re	GC
ジーシーインプラント Aadva®	GC IMPLANT Aadva®	GC
ジェネシオ Plus	GENESiO® Plus	GC
シンオクタ	synOcta®	S
シンコーン コンセプト	SynCone® concept	DS
ジンジバフォーマー	Gingivaformer	AL
スウィッシュアクティブ　システム	SwishActive System	IM
スウィッシュプラス　システム	SwishPlus System	IM
スクリューエッジ	Screw Edge	K
スタンダードインプラント	Straumann® Standard Implant	S
スタンダードプラスインプラント	Straumann® Standard Plus Implant	S
ステージ 1 インプラント	Stage-1 implant	HS

スナップスキャンボディ	Snap Scan Body	C
Spiralock	Spiralock®	C
スプラインインプラントシステム	Spline® Implant System	ZI
スマートフィックスコンセプト	SmartFix® concept	DS
3inOne アバットメント	3inOne Abutment	C
スリーブオンドリル	Sleeve-on-drill™	DS
スリットグルーブ	Slit Groove	SF
スリットスクリュ	Slit Screw	SF
セティオ Plus	SETiO® Plus	GC
ソフトティッシュチャンバー	SoftTissure Chambaer™	DS
タイオブラスト	TiOblast™	DS
TiLobe テクノロジー	TiLobe Technology	HS
チタンスキャンボディ	Titanium Scan Body	C
チタンベースアバットメント	Titanium Base Abutment	AL
Tube-in-Tube 連結	Tube-in-Tube Connection	AL
DIOnavi.	DIOnavi.	DI
DIOnavi.　フルアーチ	DIOnavi. FullArch	DI
DIO UF Ⅱインプラント	DIO UF Ⅱ Implant	DI
DIO UF Ⅱインプラント UV	DIO UF Ⅱ Implant UV	DI
TS SA 3.0 システム	TS SA（Sand Blasted with alumina and Acid etched）3.0 system	O
TS SA フィクスチャー	TS SA（Sand Blasted with alumina and Acid etched）Fixture	O
DS プライムテーパー EV インプラント	DS PrimeTaper EV Implant	DS
DM 嵌合	Double Morse Connection	K
TF-type	TF-type	K
T3 インプラント	T3 Implant System	ZI
T3 ショートインプラントシステム	T3 Short Implant System	ZI
T3 DCD インプラント	T3 DCD Implant System	ZI
T3 PRO インプラント	T3 PRO Implant System	ZI
テーパードショートインプラント	Tapered Short Implant	C
テーパードスイスプラスインプラントシステム	Tapered SwissPlus® Implant System	ZI
テーパードスクリューベントインプラントシステム	Tapered Screw-Vent® Implant System	ZI
テーパードティッシュレベルインプラント	Tapered Tissue Level Implant	C
テーパードプラスインプラント	Tapered Plus Implant	C
Dentium インプランティウム	Dentium IMPLANTIUM	BM
Dentium スーパーライン 2	Dentium SimpleLine	BM
Dentium シンプルライン	Dentium SimpleLine	BM
Dentium スーパーライン	Dentium SuperLine	BM
トラベキュラメタルインプラント	Trabecular Metal™ Dental Implant	ZI
トルクフィット	TorcFit™	S
ナノラフサーフェス	Nano Rough Surface	SF
ネオス　アクセス　アバットメント	Neoss Access Abutment	DL
ネオス　エステティック　ヒーリングアバットメント	Neoss Esthetic Healing Abutment	DL
ネオス　ガイドキット	Neoss Guide Kit	DL
ネオス　Ti ネオリンク	Neoss Ti NeoLink	DL
ネオス　Ti ベース　アバットメント	Neoss TiBase Abutment	DL

ネオス　プレパブル　Ti　アバットメント	Neoss Prepable Ti Abutment	DL
ネオス　プロアクティブ　ストレート　インプラント	Neoss ProActive Straight Implant	DL
ネオス　プロアクティブ　テーパー　インプラント	Neoss ProActive Tapered Implant	DL
ノーベルアクティブ インプラント	NobelActive® Implant	NO
ノーベルザイゴマ インプラント	NobelZygoma™ Implant	NO
ノーベルスピーディーグルービー インプラント	NobelSpeedy® Groovy Implant	NO
ノーベルテーパード CC インプラント	NobelReplace® Tapered CC Implant	NO
ノーベルパラレル CC インプラント	NobelParallel™ CC Implant	NO
BiO®	BiO	P
バイオシール	BioSeal	W
バイオフィックスアイディー	BIOFIX iD	SF
バイオフィックスインプラントシステム	BIOFIX IMPLANT SYSTEM	SF
ハイブリッドベースアバットメント	Hybrid Base Abutment	C
ビーエルエックスインプラント	Straumann® BLX Implant	S
ＰＥＥＫスキャンボディ	PEEK Scan Body	C
ファインシア	FINESIA	KC
ファインシア　レリオス	FINESIA Relios	KC
フィクスチャーエンドカット	Fixture End Cut	K
プラトンインプラント SD	PLATON IMPLANT SD	P
プラトンインプラントシステム	PLATON IMPLANT SYSTEM	P
プラトンインプラント Series φ 3.1	PLATON IMPLANT Series φ 3.1	P
プラトン TM インプラント	PLATON TM Implant	P
フリアデント プラス サーフェイス	Friadent® plus surface	DS
プリマコネックスインプラント	PrimaConnex implant	HS
プリマソロインプラント	PrimaSolo implant	HS
ブローネマルクシステム インプラント	Brånemark System® Implant	NO
プログレッシブスレッド	Progressive thread	DS
プログレッシブライン	PROGRESSIVE-LINE	AL
プロモートサーフェス	Promote Surface	AL
プロモートプラス	Promote Plus	AL
ヘックスロック	Hex Lock	SF
ボーンレベルインプラント	Straumann® Bone Level Implant	S
ボーンレベルテーパードインプラント	Straumann® Bone Level Tapered Implant	S
マイクロスレッド	MicroThread®	DS
マイティス アロー インプラント	MYTIS Arrow Implant	B
マグフィット ® MIP	Magfit® MIP	P
マグフィット ® IP	MAGFIT® IP	AI
マジックスレッド	Magic Thread	W
マルチベースアバットメント	MultiBase Abutment	DS
US SA フィクスチャ	US SA（Sand Blasted with alumina and Acid etched）fixture	O
LIPUS	Low Intensity Pulsed Ultra Sound	IT
リプレイスセレクト テーパード インプラント	Replace Select™ Tapered Implant	NO
レーザーロックインプラントシステム	Laser-Lok® Implant System	C
レガシー　システム	Legacy System	IM
レストアーインプラント	Restore implant	HS
ロキソリッド	Roxolid®	S

ログフィット アバットメント	Logfit Abutment	AL
ワンポジションオンリー	One-position-only	DS
インプラント関連器具		
R-Brush	R-Brush	W
IAT ガイド	IAT Guide（Intelligent Artificial Teeth Guide）	NP
IAT 3D NAVI	IAT 3D NAVI（Intelligent Artificial Teeth 3D NAVI）	NP
IS 3700 スキャナ	IS 3700 Scanner	NO
IS 3800 スキャナ	IS 3800 Scanner	NO
電池電源式骨手術用機械　iSD900	iSD900	NA
IS フルキット	IS Full Kit	W
iChiropro 外科用ユニット	iChiropro Surgical Unit	MO
IP ドライバ	IP Driver	AI
i-Brush	i-Brush	W
i-Brush2	i-Brush Ⅱ	W
アクセサリーキット	Accessory Kit	W
ACT ツイストドリル	ACT Twist Drill	ZI
アジャスタブルアバットメント	Adjustable Abutment	P
アダプターリング	Adapter Ring	SF
アディショナルドリル	Additional Drill	SF
アバットメントディスコネクタ	Abutment Disconnector	AL
アローインプラント用インスツルメント	Arrow Implant Instrument	B
アロー FIT パーツ	Arrow Fit-System	B
アンギュレーションドライバー	Angulation Driver	SF
アングルアバットメント（デジタルアバットメント）	Angle Abutment（Digital Abutment）	DI
Angled torque ドライバー	Angled torque driver	O
アンシラリーツール	Ancillary Tools	C
ESR Full キット	ESR Full Kit（Easy Screw Removal Full kit）	O
EFR Full キット	EFR Full Kit（Easy Fixture Removal Full kit）	O
EZ ステント	EZ stent	W
EZ ストッパーキット	EZ stopper kit	W
イデアランド	IDEALand	GC
イニシャルドリル	Initial Drill	P
インサートエクステンション	Insart Extension	YS
インサートコネクター	Insart Connector	YS
インプラケアⅡ	Implacare™ Ⅱ	HU
インプラテックス シロプロ 3G	IMPLATEX Chiropro 3G	IM
インプランター	IMPLANTOR	KC
インプラントスケーラー チタン	Titanium Implant Scalers	HU
インプラントスタジオ	Implant Studio	MO
インプラントモーター IM-Ⅳ	IMPLANTMOTOR IM-Ⅳ	GC
インプラントモーター BA	IMPLANTMOTOR BA	GC
H-Scanbody	H-Scanbody	DI
ARO キーパー	ARO Keeper	YS
ACM	ACM	W
エクスストリーム	X-Stream™	S
エスアールエー	SRA	S
SLA キット	SLA Kit	W
SCA キット	SCA Kit	W

エステティック アバットメント	Esthetic Abutment	NO
S-Wide キット	S-Wide Kit	W
X- ガイド	X-Guide®	NO
AnyCheck	AnyCheck	W
M・キャナルバー	M・Canal Bar	P
M・サージカルダイヤモンドバー	M・Surgical Diamond Bar	P
M・マジックデタッチャー	M・Magic Detacher	P
M S キット	MS kit	O
MJ ガイドシステム	MJ Guide System	K
ELOS トルクレンチ	Elos Torque Wrench	C
Encode インプレッションシステム	Encode Impression System	ZI
Encode エマージェンスヒーリング アバットメント	Encode Emergence Healing Abutment	ZI
オートボーンコレクター	AutoBone Collector	O
OB キット	OB kit	O
オクタフィックス ドリル システム	Octafix Drill System	YS
オクタフィックス ドリル ストッパー	Octafix Drill Stopper	YS
オステオキット	Osteo kit	O
オステオトームキット	Osteotome kit	O
オステオプッシャー	Osteo　Pusher	P
Osstem アバットメント	Osstem Abutment	O
OSSTEM ゴールドアバットメント	Osstem Gold Abutment	O
Osstem ヒーリング ABT	Osstem Healing Abutment	O
OSSTEM ジルコニアアバットメント	Osstem Zr Abutment	O
Osstem ドライバー	Osstem driver	O
オステルビーコン	Osstell Beacon	MO
歯接触分析装置　オッセオ 100+	Osseo 100+	NA
オッセオセット 300	OsseoSet™ 300	NO
オムニグリップ ドライバー	Omnigrip™ Driver	NO
オメガドリル	OMEGA Drill	W
On1 ベース アバットメント	On1™ Base Abutment	NO
ガイデッドフロー	Guided Flow	K
CAS キット	Cas kit（Crestal Approach sinus kit）	O
カラービュープローブ	ColorVue™	HU
キャロット ドリル	Carrot Drill	YS
キャロット ドリル D1	Carrot Drill D1	YS
クワッドシェイピング ドリル	Quad Shaping Drill	ZI
クワトロシステム	Quattro System	P
K2 バーティカルサイナスアプローチ	K2 Vertical Sinus Approach	IM
K- トレフィン RB	K-Trephine RB	IM
ケンテックガイド	KENTEC Guide	K
ゴールドアダプト アバットメント	GoldAdapt™ Abutment	NO
コダイアグノスティックス　クライアント	coDiagnostiX® Client	S
コダイアグノスティックス　プロデューサー	coDiagnostixX® Producer	S
コニカルシステム	Conical System	P
サージカルカセット	Surgical Cassette	YS
電動式骨手術器械　サージックプロ２	Surgic Pro2	NA
サイナスオールキット	Sinus All Kit	W
再埋入用ホルダー	Re-embedding holder	YS

CGS ガイデッドサージェリーキット	CGS Guided Surgery Kit	C
CT 撮影用テンプレート	CT template	W
GBR 用ドリル	GBR Drill	O
シムプラント	Simplant®	DS
シムプラント ガイド	Simplant® Guide	DS
シムプラント セーフ ガイド	Simplant® SAFE Guide	DS
シムプラント パイロット ガイド	Simplant® Pilot Guide	DS
シムプラント プランニング サービス	Simplant® Planning Service	DS
シムプラント プロ	Simplant® Pro	DS
シムプラント ユニバーサル ガイド	Simplant® Universal Guide	DS
手術支援用サージカルガイド	surgical guide	W
シラトリキュレット	SHIRATORI Curette	IM
シロプロ 3rd ジェネレーション	Chiropro 3rd Generation	MO
シロプロ PLUS 3rd ジェネレーション 外科用ユニット	Chiropro PLUS 3rd Generation Surgical Unit	MO
ジンジヒュー ポスト	GingiHue Post	ZI
Gingi-Brush	Gingi-Brush	W
スクリューリテインドブリッジ＆バー	SRBB	S
スクリューリムーバーキット	Screw Remover Kit	W
スターティングドリル	Starting Drill	YS
ストローマンケアーズ	Straumann® CARES®	S
スナッピー アバットメント	Snappy™ Abutment	NO
スマートガイドキット	Smart Guide kit	O
セーフスクレイパー直 / 曲	Safescraper Straight/Curve	IM
セーフティドリル	Safety Drill	C
セットピン	Set Pin	YS
ソニックサージオン 310L	Sonic Surgeon 310L	MO
DASK	DASK	BM
DASK Simple	DASK Simple	BM
タッピングインスツルメント	Tapping Instrument	YS
DIO IDx	DIO IDx	DI
DIOnavi. サイナスキット	DIOnavi. Sinus Kit	DI
DIOnavi. ナローキット	DIOnavi. Narrow Kit	DI
DIOnavi. マスターキット	DIOnavi. Master Kit	DI
TS ロケーターアバットメント	TS Locator Abutment	O
TSG テーパードショート ガイデッド サージェリーキット	TSG Tapered Short Guided Surgery Kit	C
TS マルチアバットメント	TS Multi Abutment	O
TL アングルアバットメント	TL Angle Abutment	YS
TL ソリッドアバットメント	TL Solid Abutment	YS
TL トランスファー OP	TL Transfar OP	YS
TL トランスファー CL	TL Transfar CL	YS
TL ヒーリングキャップ	TL Healing Cap	YS
TL フィクスチャー	TL Fixture	YS
TL レプリカ	TL Replica	YS
T's ボーンスプレッディング	T's Bone Spreading	IM
DTX Studio™ インプラント	DTX Studio™ Implant	NO
DTX Studio™ ラボ	DTX Studio™ Lab	NO
T-Brush	T-Brush	W

テーパーツイストドリル	Taper Twist Drill	P
テーパードナビゲーターガイデッド サージカルキット	Tapered Navigator Guided Surgery Kit	ZI
デュアルスキャン	Dual Scan	DS
10DR インプラントソフト	10DR implant software	W
Dentium iCTmotor	Dentium iCTmotor	BM
Dentium アバットメント	Dentium Abuntment	BM
Dentium サージカルキット	Dentium Surgical Kit	BM
トランスファー OP	Transfar OP	YS
トランスファー CL	Transfar CL	YS
トランスファー CL キャップ	Transfar CL Cap	YS
トランスファー樹脂パーツ	Transfar Resin Parts	YS
トルクレンチ Light	Torque Wrench Light	KK
トレーニングキューブ	Training Cube	SF
ナロースプレッダー	Narrow Spreader	P
ネオナビガイドキット	Neo NaviGuide Kit	W
ネオナビガイドキットナロー	Neo NaviGuide Kit Narrow	W
ノーベル ロケーター アバットメント	Nobel Locator Abutment	NO
ノーベルガイドコンセプト	NobelGuide® Concept	NO
パーフォレーションドリル	Perforation Drill	P
バイオフィックスプランニング	BIOFIX PLANNING	SF
バイトリフター	Bite Lifter	P
パイロットドリル	Pilot Drill	YS
ハッチリーマーエクスプレスキットコンパクト	HATCH-REAMER Express Kit Compact	MO
パラレルガイドキット	Parallel Guide kit	O
電動式骨手術器械　バリオサージ 3	VarioSurg 3	NA
バリオサージ3	Variosurg 3	GC
バリオベース	Variobase®	S
パワーボーンクラッシャー	Power Bone Crusher	IM
BL アングルアバットメント	BL Angle Abutment	YS
BL アングルアバットメント G	BL Angle Abutment G	YS
BL エクストラアバットメント	BL Extra Abutment	YS
BL エクストラアバットメント G	BL Extra Abutment G	YS
BL ストレートアバットメント	BL Straight Abutment	YS
BL テンポラリーアバットメント	BL Temporary Abutment	YS
BL トランスファー OP	BL Transfar OP	YS
BL トランスファー CL	BL Transfar CL	YS
BL フィクスチャー	BL Fixture	YS
BL プラスチックパターン	BL Plastic Pattern	YS
BL ユニバーサルアバットメント G	BL Universal Abutment G	YS
BL レプリカ	BL Replica	YS
ヒーリングスクリュー	Healing Screw	YS
ピエゾサージェリー	PIEZOSURGERY	IM
ピエゾサージェリー タッチ	PIEZOSURGERY Touch	IM
ピエゾサージェリー ホワイト	PIEZOSURGERY White	IM
BioNa®	BioNa®	W
ピックキャップインプレッションキット	PickCap Impression Kit	W
ピュアセット	PureSet™	NO
ファインシア サージカルガイドシステム	FINESIA Surgical Guide System	KC

フィクスチャーホルダー	Fixture Holder	YS
フィクスチャーリムーバーキット	Fixture Remover Kit	W
フォトニッククリーナー	Photonic cleaner	W
プラスチックパターン	Plastic Pattern	YS
フラットキャップ	Flat Cap	P
プラットフォームキャップ	Platform Cap	P
プラトンガイドシステム	PLATON Guide System	P
フランジキャップ	Flange Cap	YS
フランジキャップ	Flange Cap	P
プレフォーマンス ポスト	PreFormance Post	ZI
Prosthetic キット	Prosthetic kit	O
プロセティックキット	Prosthetic Kit	W
プロセティックプランニングキット	Prosthetic Planning Kit	W
プロファイルドリル	Profile Drill	YS
HEX ドライバー	HEX Driver	YS
HEX ドライバー CA	HEX Driver CA	YS
Hex-Lock アバットメント	Hex-Lock Abutment	ZI
ベロドリル	Straumann® VeloDrill™	S
ボーンスプレッダー	Bone Spreader	P
BoneNavi® System	BoneNavi® System	W
BoneNavi® ドリル	BoneNavi® Drill	W
ボーンプロファイラー	Bone Profiler	ZI
ボーンプロファイルドリル	BONE PROFILE DRILL	DI
ボーンプロファイルドリル	Bone Profile Drill	SF
ボーンミル KM-3	Bone Mill KM-3	IM
ポジショニングガイド	Positioning Guide	YS
ホルダーキャリアー	Holder Carrier	YS
マイティス アタッチメント	MYTIS Attachment	B
マイティスアローインプラント用 インスツルメント	MYTIS Arrow Implant Instrument	B
マスターミル	Master Mill	IM
マルチドライバセット	Multi Driver Set	KK
マルチユニット アバットメント	Multi-unit Abutment	NO
ミクロス	Micross	IM
MEIS デコルチケーション用ドリル	MEIS Decortication Drill	IM
MEGANAVI	MEGANAVI	W
MEDIFUGE	MEDIFUGE	W
モジュラーカセット	Straumann® Modular Cassette	S
UF サージカルキット	UF Surgical Kit	DI
UF マスターキット	UF Master Kit	DI
UF ワイドサージカルキット	UF Wide Surgical Kit	DI
UCLA アバットメント	UCLA Abutment	ZI
UV Activeter2	UV Activeter2	DI
ユニグリップ ドライバー	Unigrip™ Driver	NO
UNI ドリルシステム	UNI Drill System	K
ユニバーサルツールボックス	Universal Tool BOX	SF
ユニバーサルドリルキー	Universal Drill Key	DS
ユニバーサルベース アバットメント	Universal Base Abutment	NO
ユニバーサルホルダ	Universal Holder	SF

485 キット	485 kit	O
485 Drill	485 Drill	O
ラウンドドライバー	Round Driver	P
ラウンドラチェット	Round Ratchet	P
LAS キット	Las kit（Lateral Approach sinus kit）	O
ラテラル オープン スリーブ	Lateral Open Sleeves	DS
ラボセットピン	Lab Set Pin	YS
リッジワイダーキット	Ridge Wider Kit	W
ロー プロファイル アバットメント	Low Profile Abutment	ZI
ロキシム	Loxim®	S
ロングストップ ドリル	LongStop Drill	DS
OneMS Kit	OneMS Kit	O
OneGuide キット	OneGuide Kit	O
OneGuide ドリル	OneGuide Drill	O
OneCAS キット	OneCAS kit	O
122 Taper キット	122 taper kit	O
122 Taper フルキット	122 taper full kit	O
One485 Kit	One485 Kit	O
インプラント関連材料		
アイピーエスイーマックスキャド	IPS e.max® CAD	S
アローボーン-β-デンタル	ArrowBone-β-Dental	B
A-Oss	A-Oss	O
OssBuilder TS システム	OssBuilder TS System	O
オスフェリオン DENTAL	OSFERION DENTAL	GC
オズボーン	Osbone®	ZI
コバルトクロムシリンダー	Cobalt-chromium Cylinder	IM
サクラ	Sakura	S
ジーシー サイトランス ® エラシールド	GC Cytrans® Elashield	GC
ジーシー サイトランス ® グラニュール	GC Cytrans® Granules	GC
ジーシーメンブレン	GC membrane	GC
ジール	Xeal™	NO
スリーエムエスペラヴァプラス	3M™ ESPE™ Lava™ Plus	S
スリーエムラヴァエステティック	3M™Lava™Esthetic	S
セラソルブ M	CERASORB® M	ZI
ゼリオンエルティー	zerion® LT	S
ソフトレッチ	SOFTRETCH	GC
タイウルトラ	TiUltra™	NO
タイユナイト	TiUnite®	NO
チタンマイクロメッシュ	Titanium Micro Mesh	IM
Ti ハニカムメンブレン	Titanium honeycomb membrane	MO
テルダーミス ®	TERUDERMIS®	GC
テルプラグ ®	TERUPLUG®	GC
truFix システム ボーンスクリュー	truFix System Bone Screw	IM
truFix システム ボーンタック	truFix System Bone Tack	IM
ナイスガラスセラミック	n!ce® Glass-Ceramic	S
ナイスコバルトクロム	n!ce® Cobalt-Chromium	S
ナイスタイタニウム	n!ce® Titanium	S
ナイスピーエムエムエー	n!ce® PMMA	S
ニューフジロック IMP	NEW FUJIROCK IMP	GC

ネオジェン	NeoGen®	DL
ネオジェン	NeoGen®	S
ノーベルプロセラ アバットメント	NobelProcera® Abutment	NO
ノーベルプロセラ インプラント バー オーバーデンチャー	NobelProcera® Implant Bar Overdenture	NO
ノーベルプロセラ インプラント ブリッジ	NobelProcera® Implant Bridge	NO
ノーベルプロセラ ASC ジルコニア アバットメント	NobelProcera® ASC Zirconia Abutment	NO
ノーベルプロセラ FCZ アバットメントクラウン	NobelProcera® FCZ Abutment Crown	NO
ノーベルプロセラ クラウン ナセラ	NobelProcera® Crown Nacera	NO
ノーベルプロセラ ジルコニア インプラント ブリッジ ナセラ	NobelProcera® Implant Bridge Nacera	NO
ノーベルプロセラ ブリッジ ナセラ	NobelProcera® Bridge Nacera	NO
バイオソフトレッチ	BIO SOFTRETCH	GC
パターンレジン XF	PATTERN RESIN XF	GC
ビュッセンダブルワイド歯ブラシ	Vussen Double Wide Tooth Brush	O
フィクスピード	FIXPEED	GC
PLATON パールボーン	PLATON Pearl Bone	P
βパウダー	β-Powder	B
ボーンジェクト®	BONEJECT®	GC
ボナーク	Bonarc	MO
ボナーク	Bonarc®	S
ポリコンエーイー	polycon® ae	S
ポリコンキャスト	polycon® cast	S
ムコインテグレーション	Mucointegration™	NO
ルシェロ歯ブラシ I-20	RUSCELLO TOOTH BRUSH I-20	GC
ルシェロ歯ブラシ OP-10	RUSCELLO TOOTH BRUSH OP-10	GC
インプラント関連サービス		
インプラテックス インプラントダイレクト社 製品保証プログラム	Implatex Implant Direct Warranty Program	IM
ストローマンパートナーズ	Straumann® Partners	S
ノーベルコネクト	NobelConnect®	NO
エックス線装置		
Aadva GX-100 3D	Aadva GX-100 3D	GC
XeraSmart F+	XeraSmart F+	YO
XeraSmart Classic	XeraSmart Classic	YO
OP 3D PRO	OP 3D PRO	YO
オステム T2	OSSTEM T2	O
トロフィーパン エクセル	Trophy Pan Excel	YO
トロフィーパン エクセル 3D	Trophy Pan Excel 3D	YO
トロフィーパン エクセル 3D NEO	Trophy Pan Excel 3D EVO	YO
トロフィーパン スープリーム 3D	Trophy Pan SUPREME 3D	YO
トロフィーパン スマート オシリス 3D EVO	Trophy Pan Smart Osiris 3D EVO	YO
トロフィーパン スマート オシリス EVO	Trophy Pan Smart Osiris EVO	YO
パノーラ A1	Panora A1	YO
Bright CT	bright CT	BM
ベラビュー　X800	Veraview　X800	MO
レインボウ CT	rainbow CT	BM

和文索引

・ページに代えて用語番号で示した.
・見出し用語およびその同義語が解説されている用語番号は色ゴチックで示した.

あ

アーク溶接法 1164
アーチファクト 1, 517
アーリーローディング 2, 754
ISQ 値 8, 85, 126
アイゾット試験 618
ITI コンセンサス会議 191, 192
iPS 細胞 10
アキシャル像 11
悪性腫瘍 12, 56, 419, 749, 1099, 1100
アクセスホール 13, 36, 466
足場 14, 669
アスピリン 15, 339
アスピリン喘息 15, 1017
アセチルサリチル酸 15
アタッチメント 57, 87, 548, 949, 1102
アタッチメントシステム 16
アタッチメントレベル 17, 1074, 1180
アダプテーションテクニック 18
圧縮強さ 19
圧迫萎縮 361
圧迫壊死 20
アテロコラーゲン 21, 58, 440
アドヒアランス 22
アドヘレンスジャンクション 471
アドレナリン 23, 25, 304
アドレナリン過敏症 23
アトロピン硫酸塩 307
アナフィラキシー 24, 25
アナフィラキシーショック 25
アナフィラキシー反応 1154
アパタイト 26, 27
アパタイトインプラント 27
アパタイトコーティングインプラント 28
アパタイトコーテッドインプラント 28
アバットメント
29, 30, 33, 34, 35, 38, 39, 57, 92, 100, 223, 259, 670, 886
アバットメントアナログ 30
アバットメント - インプラント体界面 31, 115
アバットメントコネクション 32
アバットメント材料 33
アバットメントシャフト 34
アバットメント除去器具 35
アバットメントシリンダー 36, 92
アバットメントスクリュー
37, 78, 79, 92, 121, 144, 260
アバットメント破折 38
アバットメントレプリカ 30
アバットメントレベル 30, 39, 76
アバットメントレベル印象 40, 136
アビキサバン 323
アブフラクション 41, 274
アモルファス構造 700
アラキドン酸 1077
アルカリ処理 1025
アルキルジアミノエチル 353
アルゴンガス 686
アルミナ 43, 496, 707, 736, 739, 814
アルミナセラミックス 43
アルミナ単結晶 476
アレルギー 44, 278
アレルギー疾患 1038
アレルギー症状 24
アレルギー性疾患 974
アレルギー反応 1154
アレルゲン 24, 278, 974
アログラフト 891
アンカーインプラント 272
アンカーインプラント矯正 272
アンカーピン 46
アンキローシス 47
アングルドアバットメント 48, 214
安静空隙 49, 195, 343
アンダーカントゥア 244
アンダープレパレーションテクニック 18
安定化ジルコニア 636
安定化フィブリン 1032
アンテリアガイダンス 50, 1106
アンテリアループ 51
アンレーグラフト 183

い

ES 細胞 10, 52, 240
EG 細胞 240
e-PTFE 膜 55, 984

易感染性 325, 529, 1038
易感染性状態 56
意識障害 861
維持装置 57
異種移植 58
異種移植材 63
異種移植体反応 59
異種金属 235, 1163
萎縮〔症〕 60
異種骨 61, 363, 414, 621
異種骨移植 58, 801
異常絞扼反射 62, 336, 628
移植〔術，法〕 59, 63, 64
移植医療 779
移植体《片》拒絶〔反応〕 64
移植体《片》対宿主反応 65
移植弁 1156
異所性骨化 66
維持療法 86, 128, 330
痛みの評価 970
Ⅰ型コラーゲン 381
1 型糖尿病 894
一次固定 67, 631
一次手術 68, 357, 923
一次性咬合性外傷 344
一次創傷治癒 69
一次治癒 69, 760
一時的止血法 528
一次閉鎖 70
Ⅰ度高血圧 338
1 回法インプラント 71
イットリア 1050
イットリア安定化ジルコニア 636
遺伝子組み換え骨形成誘導タンパク質 995
異物巨細胞 72
異物反応 73
イミディエイトプロビジョナルインプラント 74, 487
イミディエイトローディング 75, 768
医療安全管理 1172
医療器具滅菌 1146
医療用ステンレス鋼 702
色見本 510
インクジェット方式 692
印象採得 30, 76, 77
印象用コーピング 30, 76, 77, 84, 321, 458, 668, 670
印象用トランスファーコーピング 76
印象用トレー 77
インスリン 894
インスリン注射 861
インターデンタルブラシ 522
インターナルアバットメント連結 78
インターナルコネクション 32, 35, 78, 435, 975
インターナルジョイント 78
インターナル・テーパージョイント 78
インターナル・バットジョイント 78
インターナルヘキサゴン 79
インターロイキン 80, 465, 1077
インテグレーション 81, 175
咽頭反射 62
インフォームド・コンセント 82, 599
インプラント 83
——のオーバーロード 121
——の後期喪失 122
——の構造 92
——の成功基準 123
——の早期喪失 124
——の喪失 125
——の動揺〔度〕 105, 126
——の配置 127
——のメインテナンス 38, 86, 98, 128
インプラントアナログ 84
インプラントアンカー 272
インプラントアンカー矯正 272
インプラント安定指数 85, 126
インプラント安定度指数 85
インプラント維持療法 86
インプラントオーバーデンチャー 57, 87, 109, 226, 1121
インプラント窩 88
インプラントカード 89
インプラント界面 90, 130, 411
インプラント学 91, 328
インプラントカラー 92, 290
インプラント義歯 93, 132
インプラント頸部 120
インプラント-骨界面 94, 113
インプラントコンプリートオーバーデンチャー 87
インプラントサイト 108
インプラント残存率 95
インプラント支持クラウン 109
インプラント〔支持〕ブリッジ 96, 1103
インプラント支持補綴装置 97, 109, 214
インプラント支持療法 98
インプラントシステム 99
インプラント支台 100

インプラント周囲炎
98, 101, 122, 128, 326, 455, 539, 1016
インプラント周囲溝 102, 103, 540
インプラント周囲溝滲出液 103, 105
インプラント周囲疾患 1183
インプラント周囲歯肉溝 113
インプラント周囲組織
101, 104, 105, 128, 574
インプラント周囲組織検査 105
インプラント周囲粘膜 103, 105, 106, 191
インプラント周囲粘膜炎
101, 107, 128, 326, 574
インプラント周囲ポケット 102
インプラント床 108
インプラント上部構造 109, 223, 224
インプラント除去器 133
インプラントショルダー 110
インプラントスレッド 111
インプラント成功率 112
インプラント-組織界面 113
インプラント体
83, 92, 114, 175, 636, 647, 671, 678
——の除去 133
——のスタック 116
——の破折 117, 121
——の迷入 607
インプラント体-アバットメント界面 115
インプラント直径 118
インプラント手帳 89
インプラント-軟組織界面 113, 119
インプラントネック 120, 193, 290
インプラントパーシャルオーバーデンチャー
87
インプラントパーシャルデンチャー 129
インプラント表面 130, 131, 483
インプラント表面形状 131
インプラント表面構造 131
インプラント表面処理 686
インプラント表面性状 131
インプラント補綴 132, 136
インプラントリムーバー 133
インプラントレプリカ 84, 134
インプラント〔体〕レベル 76, 135
インプラント〔体〕レベル印象 136
インレーグラフト 63

う

Widman 改良フラップ手術 913
Wolff の法則 137, 960, 1076
ウシ海綿状脳症 292
後向き研究 138
後向きコホート研究 138
うつ状態 759
運動性障害 785, 786
運動麻痺 643, 1126

え

エアアブレージョン 139, 285
エア・アブレージョン 139
エアポリッシング 139, 285
永久的止血法 528
エイコサノイド 1077
HA コーティング 958
栄養血管柄 306
疫学研究 138
エクスターナルコネクション 32, 144, 975
エクスターナルジョイント 144
エクスターナルヘキサゴン 145
壊死性潰瘍性歯肉炎 569
壊死組織除去 877
STL データ 146, 444, 1005
エックス線検査 105, 147, 365
エックス線 CT 148
エッチング 483
エドキサバン 323
エナメル基質タンパク〔質〕 149
エナメルマトリックスタンパク〔質〕 149
エナメルマトリックスデリバティブ 149
NYHA の心機能分類 600
エビテーゼ 152, 207, 246
エビデンス 4, 54
エビデンスベイスドメディシン 54, 153
エビペン® 25
エマージェンスプロファイル 159, 232
エラスチン 742
エルビウム 162
Er:YAG レーザー 162, 1185
エレクトロサージェリー 163
エレクトロスプレー法 28
塩基性線維芽細胞増殖因子 387
塩基性リン酸カルシウム化合物 957
炎症 102, 103, 107, 164
炎症性吸収 165, 531
炎症性肉芽組織 924
炎症性浮腫 1042
延伸ポリテトラフルオロエチレン膜 984
延長器 216
延長ブリッジ 243

お

黄色骨髄 392, 586
黄色髄 586
横断〔的〕研究 166, 593
横断像 11
嘔吐反射 62, 167
オーバーカントゥア 244
オーバージェット 168, 727
オーバーデンチャー 548
オーバーバイト 169, 727
オーバーヒート 124, 384
オーバーロード 121, 122
オープン STL 146
オープントレー 77, 170
オープントレー印象 76
オーラルフレイル 332
オーラルリハビリテーション 171
O リング 1132
オクルーザルアプライアンス 172
オクルーザルスプリント 172
押込み試験 1006
オステオトーム 173, 174, 1173
オステオトームテクニック 173, 174
オステオン 405, 842, 981, 982
オステル 85
オッセオインテグレーション 113, 175, 176, 382, 384, 483, 485, 671
——の失敗 863
オッセオインテグレーテッドインプラント 176
オトガイ下動脈 177, 354
オトガイ棘孔 178, 718
オトガイ孔 51, 179, 197, 218, 274, 492
オトガイ枝 180
オトガイ神経 179, 180, 181, 218, 220
オトガイ神経移動術 637
オトガイ神経麻痺 181
オトガイ舌筋 718
オトガイ動脈 221
オフセット配置 182
オブリーク画像 807
オルトフタルアルデヒド 353
オンレーグラフト 63, 183, 200, 212

か

加圧加熱成形法 737
カーボン 707
カーボン繊維 184, 822
開口障害 185
外骨症 428
介在層板 981
外斜切開 589
外傷性咬合 344
外傷性三叉神経ニューロパチー 696
外側翼突筋 783
ガイデッドサージェリー 186, 445, 630
回転切削器具 386, 399, 721, 1012
回転防止機構 29, 78, 79, 145, 187
回転モーメント 188, 905
外部注水 915
外部連結 144
外部六角 145, 189
解剖学的歯頸線 732
海綿骨 190, 385, 389, 430, 1011
海綿骨細片 389, 516
改良歯肉炎指数 105, 191
改良プラーク指数 105, 192
カウンターシンク 193
カウンターシンクドリル 193
カウンターボア 193
下顎安静位 49, 194, 195
下顎位 49, 195
下顎運動 196
下顎管 197, 198, 200, 218, 274
下顎区域切除術 280
下顎孔 197, 198, 200, 218, 221
下顎孔伝達麻酔 882
下顎骨貫通式インプラント 199
下顎骨区域切除術 280
下顎骨連続離断術 280
下顎枝 200, 220
下顎小舌 198
下顎神経 201, 218, 491, 726
下顎神経ブロック 201, 641
下顎無歯顎 1121
下顎隆起 428
過換気症候群 202
角化上皮 203
顎下腺 204
顎下腺窩 204, 369
角化粘膜 205, 206
角化付着粘膜 206, 560, 789, 1044
顎顔面補綴 207
顎顔面補綴装置 109
顎顔面補綴治療 12
顎矯正手術 377
核磁気共鳴 160

角針 1098
顎舌骨筋 177, 198, 208, 221, 718
顎舌骨筋枝 221
顎舌骨筋神経 198, 208, 218
顎舌骨筋線 208
顎舌骨筋縫線 208
拡張ぬれ 934
顎堤 209, 210
顎堤形成術 210
顎堤整形 211
顎堤造成術 212
顎堤粘膜 555, 1044
顎動脈 221, 352
角度許容アバットメント 213
角度付アバットメント 214
顎二腹筋 221
顎二腹筋前腹 198
隔壁 398, 612
顎補綴 207
顎裂 320, 357
仮骨 215, 216
仮骨延長術 212, 216, 402
過酢酸製剤 353
過酸化水素ガスプラズマ滅菌 217
下歯槽静脈 221
下歯槽神経 179, 197, 198, 218, 221
下歯槽神経側方移動術 219, 637
下歯槽神経麻痺 220, 696
下歯槽動・静脈 179, 197, 198, 221
下歯槽動脈 221
荷重ストレス 137
下唇枝 180
下唇麻痺 222
カスタムアバットメント 29, 223, 264, 1159
カストロビージョ型 544
カストロビエホ型 544
ガス滅菌法 1147
型彫り放電加工法 1101
仮着用セメント 224
顎骨壊死 45, 1084, 1139
顎骨再建 306
活性型ビタミン D_3 1077
ガッセル神経節ブロック 641
合併症 225, 637
可撤性インプラント支持補綴装置 226
可撤性インプラント補綴装置 226
可撤性義歯 87, 129
可撤性上部構造 109, 226
可撤性ブリッジ 226
可撤性補綴装置 16
顆頭位 195
可動粘膜 227, 337, 574
化膿性炎 164
カバースクリュー 228, 229, 693
カバースクリューミル 229
下部鼓形空隙 1059
Kaplan-Meier 分析 95, 230, 698, 1181, 1182
ガミースマイル 231, 1175
かみしめ 1056
紙袋再呼吸法 202
ガム模型 232
カラー 92, 120
ガラス含浸系 739
ガラスセラミック系 739
ガラスセラミック材料 262
ガラスセラミックス 233
顆粒骨移植 234, 470
カルシウム 1037
カルシウム塩 716
カルシトニン 366, 968
ガルバニー電流 235, 797
カルバマゼピン 492
緩圧型アタッチメント 16, 236, 1192
緩圧機構 16, 237
眼窩下管 238
眼窩下孔 238, 492
眼窩下神経 238
眼窩下神経ブロック 641
眼窩下動・静脈 238
感覚消失 830
眼窩上孔 492
眼窩部エピテーゼ 207, 239
顔弓 1035
幹細胞 240
観察研究 1120
患者主導型治療 241
患者立脚型アウトカム 242
眼神経 491
間接法 668
関節リウマチ 529
感染 56
感染性心内膜炎 325
感染予防 325
感染予防処置 679
カンチレバー 243
カンチレバーブリッジ 243
カントゥア 244
カンペル平面 245, 258, 1035
ガンマ線滅菌法 1147
顔面インプラント 246

顔面神経 247, 726
顔面神経麻痺 247, 696
顔面動脈の分枝 177
顔面補綴 207
間葉 249
間葉系幹細胞 240, 248, 387, 545, 585, 586
間葉系結合組織 249
間葉系細胞 249, 313, 379, 733, 778

き

キーアンドキーウェイ 250
キーウェイ 250
機械加工 1025
機械加工インプラント表面 251
機械研磨 252
機械的ストレス 1142
機械的強さ 253
気管切開 254, 354
気管挿管 254
危険因子 1171
気孔 257
技工用アナログ 255
技工用インプラントアナログ 84
技工用デスクトップスキャナー 256
気孔率 257, 619
器質性障害 785, 786
基準平面 258
既製アバットメント 29, 213, 214, 223, 259
キチン 703
喫煙 749
規定トルク 260
気道閉塞 985
希土類酸化物 1050
機能的下顎運動 196
機能的咬合診断 1073
機能負荷 893
基本的下顎運動 196
逆回転力 261
逆三角針 1098
逆トルク 133, 261
キャスタブルセラミックス 233, 262
ギャップジャンクション 471
CAD/CAM アバットメント 264
キャビテーション 849
臼後枝 218
臼歯枝 218
吸収〔小〕窩 265, 963
吸収性生体材料 266
吸収性セラミックス 267
吸収性縫合糸 268, 1097
吸収性膜 984
吸収置換型材料 269, 645
臼歯離開 50
臼歯離開咬合 864
急性拒絶反応 64
急性骨髄炎 393
急性疼痛性障害 651
急性副腎不全 682
吸入鎮静法 697
供給側 270, 899
凝固因子 340
凝固系機能検査 998
頬骨 457
頬骨インプラント 271, 457
胸鎖肋関節症 622
共振周波数分析法 896
矯正用インプラント 272
共鳴振動周波数分析 85, 273
局所抗菌療法 326
局所的禁忌症 274, 749
局所的リスクファクター 274
局所麻酔中毒 275
局所麻酔薬 275
虚弱 1068
拒絶反応 59
Guillain-Barré 症候群 932
禁忌症 276, 749
緊急気管穿刺 254
筋筋膜痛症候群 696
菌血症 325
金属アーチファクト 277
金属アレルギー 278, 622, 737, 1145
金属パトリックス 1192
金属疲労 279, 1027

く

区域切除 280
空洞現象 849
偶発症 38, 281, 316
楔嵌合 1067
グラインディング 282, 721, 983, 1056
グラインディングタイプ 282, 788
クラウン-インプラント比 283, 519
クラス S 318, 1147
クラス N 318, 1147
クラス B 318, 1147
クリアランス 274, 284
グリシンパウダー 285

クリップアタッチメント 286, 949
クリティカルパス 287
クリニカルパス 287, 288
グループファンクション 289, 348, 773
グルタルアルデヒド 353
クレスタルアプローチ 613
クレストモジュール 290
クレンチング 291, 983, 1056
クロイツフェルト・ヤコブ病 292
クローズドトレー 77, 293
クローズドトレー印象 76
クロスカット画像 807
クロスセクショナル画像 807
クロピドグレル 339
クロルヘキシジングルコン酸塩 353, 474

け

Cawood と Howell の分類 294
Cawood の分類 294
経口抗凝固療法 1195
経口抗菌療法 326
脛骨移植 295
形質転換成長《増殖》因子 857
傾斜埋入 296, 774
形状記憶合金 930
形状記憶合金インプラント 297
形状読取装置 263
経皮的酸素飽和度 1151
外科主導型治療 298
外科用ガイドプレート 299, 450
血圧値 338
血液凝固 1032, 1033
血液凝固因子 300
血液凝固能 1195
血液検査 301
血液疾患 302, 749
血液製剤 1033
血液由来成長因子 303
血管収縮薬 23, 304
血管新生 305
血管新生阻害薬 1139
血管内皮成長因子 802
血管柄付き骨移植 306
血管迷走神経反射 307
血管迷走神経反射性失神 307
血管迷走神経反射性失神前症候群 307
血管迷走神経反射性心停止 307
結合組織移植 63, 789
結合組織移植術 308, 940, 946
結合組織性付着 309, 626, 778
血腫 215, 310, 354
結晶化ガラス 233
血小板血栓 340
血小板減少症 311
血小板濃厚血漿 312, 802
血小板無力症 595
血小板輸血 311
血小板由来成長因子 313, 465, 802
血小板由来成長因子を利用した再生療法 303
血漿分画製剤 1033
血栓形成 339, 340
血中カルシウム濃度 1037
血糖値 861, 1091
血友病 A 300
血友病 B 300
Kennedy 分類 843
ケモカイン 465
ケロイド 987
健康肉芽 924
絹糸 1097
犬歯窩 238
犬歯誘導咬合 314, 348, 773
減張切開 315
健忘効果 628

こ

誤飲 316
高圧酸素療法 317
高圧蒸気滅菌 318
高圧蒸気滅菌器 1147
高圧蒸気滅菌装置 318
高圧蒸気滅菌法 1147
高位付着 534, 624
抗炎症作用 1038
構音障害 319
口蓋隆起 428
口蓋裂 320
硬化型材料 645
光学印象 256, 321, 458, 670
光学印象装置 336
光学印象用アバットメント 321
口角枝 180
光学的プローブ 494
硬化性骨髄炎 322
抗癌剤 1139
後期喪失 122
咬頬 350
抗凝固薬 323, 340, 998

咬筋 783
咬筋粗面 200
抗菌薬 324, 326, 597, 752
抗菌薬予防〔的〕投与 325
抗菌療法 326
口腔インプラント 327
口腔インプラント学 328
口腔インプラント材料 329
口腔衛生指導 330, 331
口腔乾燥症 331
口腔機能低下症 332, 1068
口腔上顎洞瘻 610
口腔常在菌 333, 620
口腔清掃 330, 334, 335
口腔清掃指導 330
口腔前庭拡張術 335, 534, 1160
口腔前庭形成手術 335
口腔前庭切開法 717
口腔底出血 354
口腔内スキャナー 321, 336, 458
口腔粘膜 337, 1044
高血圧症 338
抗血小板薬 339, 340, 595
抗血栓薬 340, 1195
抗血栓療法 323, 340, 1195
膠原病 529
咬合圧 349
咬合位 195
咬合干渉 341, 756, 1073
咬合挙上 342
咬合検査 1073
咬合高径 195, 342, 343
咬合再構成 171
咬合状態 105
咬合性外傷 344, 349
咬合接触 341, 756
咬合調整 345, 481
咬合負荷 346
咬合平面 258, 347
咬合法 883
咬合様式 348, 773
咬合力 117, 121, 349, 774
咬傷 350
後上歯槽枝 351
後上歯槽動脈 352
亢進性拒絶反応 64
口唇裂 320
高水準消毒 353
合成高分子膜 984
咬舌 350
咬舌癖 983
高値血圧 338
口底出血 354
咬頭嵌合位 49, 195, 343, 348, 355
咬頭干渉 341, 345
咬頭傾斜 356
広範囲顎骨支持型装置 280, 306, 357
広範囲顎骨支持型装置埋入手術 357
広範囲顎骨支持型補綴 357
高分子材料 937
高密度焼結系 739
高密度ポリテトラフルオロエチレン膜 984
咬耗 274, 342, 358, 1127
咬耗面 1030
咬翼法 883
抗 RANKL 抗体 45, 1139
誤嚥 359
コーティング 958
コーヌス型 879
コーピングテレスコープ 879
小型円形細胞 924
呼吸不全 985
国際標準化機構 7
ゴシックアーチ 360
ゴシックアーチ描記法 360
骨萎縮 361
骨移植 63, 362, 363, 389, 560, 801, 809
骨移植材《体，片》 363
骨移植術 402
骨-インプラント接触率 364
骨壊死 365
骨塩 366
骨縁上付着装置 367
骨縁上付着組織 367
骨塩量 368
骨外逸脱 369
骨改造 370, 427, 555
骨界面 371
骨芽細胞 372, 374, 378, 383, 387, 390, 404, 409, 415, 423, 442, 922, 1122
骨火傷 373, 409
骨窩洞 88
骨化様式 922
骨貫通型インプラント 199
骨基質 366, 374, 390, 424, 427, 430, 995
骨柩 1041
骨吸収 375, 404, 427, 553, 1111
骨吸収窩 963
骨吸収抑制薬 45, 1139

骨吸収抑制薬関連顎骨壊死　45, 376
骨強度　421
骨切り　216, 687
骨切り術　377
骨形成　372, 378, 379, 404, 406
骨形成因子　379, 387
骨形成細胞　383, 406, 423, 473
骨形成タンパク〔質〕　380, 995
骨形成不全症　381
骨形態の分類　1191
骨結合　175, 382, 397
骨結合喪失　863
骨原性細胞　383, 415
骨硬化症　384
骨構造　385
骨採取　386
骨再生　387
骨再生誘導法　63, 212, 388, 402, 689, 984, 1088
骨砕片　389
骨細片《砕片，削片》　389
骨細胞　248, 365, 372, 374, 383, 384, 390, 401
骨削片　389
骨質　391, 421, 429
　――の分類　1191
骨小柱　190, 430
骨シンチグラフィ　322
骨髄　190, 385, 392, 545
骨髄炎　317, 357, 393, 419, 1041
骨髄幹細胞　394
骨髄腔　392, 395
骨髄系幹細胞　394
骨性強直　47, 396
骨性結合　175, 397
骨性の隔壁　398
骨性癒着　976
骨切削器具　848
骨切除術　399
骨セメント　400
骨穿孔　1012
骨増生　401
骨造成　303, 386, 402, 424, 475
骨層板　842
骨粗鬆症　368, 400, 403, 529, 873, 1038, 1084
骨代謝　427
骨代謝回転　404
骨代替材料　212
骨単位　405, 427, 842, 981, 982
骨頂部形態　290
骨添加　427
骨伝導　378, 406
骨内インプラント　407, 487, 530, 635, 684
骨内固定〔源〕　408
骨内長　630
骨熱傷　409
骨ノミ　386, 399, 410
骨幅　411
骨粉砕器　412
コッヘル　525
骨片収集器　386, 413
骨補塡材
　257, 267, 363, 400, 414, 607, 621, 995, 1088
骨膜　385, 415
骨膜下インプラント　416
骨膜減張切開　315
骨膜性骨化　417, 1122
骨膜剝離子　418, 942, 966
骨膜反応　419
骨窓　420
骨密度　368, 391, 421, 873, 1131
　――の分類　1131
骨モデリング　375, 422
骨誘導　378, 423
骨誘導因子　424
骨癒合　425
骨癒着　47
骨由来成長因子　426
骨リモデリング　375, 404, 422, 427
骨隆起　428
骨量　429
骨梁　385, 391, 430
骨梁構造　431
骨レベル　432
骨ろう　433, 527
固定性インプラント支持補綴装置　434
固定性インプラント補綴装置　434
固定性上部構造　434
コニカルコネクション　435
コニカルシールデザイン　435
コバルトクロム合金　436, 702
コホート研究　54, 437
固有歯槽骨　438, 551, 554
コラーゲン　742
コラーゲン線維　391, 439, 532
コラーゲン膜　440, 984
（孤立性）収縮期高血圧　338
コル　520
コルチカル　954
コルチコトミー　441
コルチゾール　682
根拠に基づいた医療　546

コンセンサス 1121
コンセンサス会議 950
コンタクトオステオジェネシス 442
コンタクトポイント 443, 518, 520, 522
コンピュータ骨造形 444
コンピュータ支援手術 445, 1166
コンピュータ支援設計／製造 263, 446
コンピュータ・シミュレーション 447
コンピュータ断層撮影 448, 504
コンプライアンス 22, 449

さ

サージカルガイドプレート 46, 256, 450, 683, 692, 885, 1064
サージカルステント 450, 451
サージカルテンプレート 450, 452
サージカルパック 453, 538
サージカルリスク 454, 594
サーフェースレンダリング 1110
細菌検査 326, 455
細菌性骨髄炎 1041
細菌性バイオフィルム 456, 953
ザイゴマインプラント 457
最終印象 458
再植〔術，法〕 459
再生医学 460, 461
再生医療 10, 248, 461, 669, 779
再生療法 689
再石灰化 462
再装着 1177
最大開口量 185, 274, 463
最大咬合力 464
最大せん断応力 751
最大値投影法 493
サイトカイン 103, 375, 465
サイドスクリュー 466
催吐反射 62
サイナスフロアエレベーション 467, 613
サイナスリフト 468, 613
再付着 469
細片骨 63
細片骨移植 470
細片自家骨 212
細胞接着 471
細胞増殖《成長》因子 465, 472
細胞培養基材 669
細胞分化 473
作業用模型 84, 232, 256
殺菌 1146
擦式手指消毒 474
サドルグラフト 475
サファイアインプラント 476
サブジンジバルカントゥア 477
サブトラクション 478
サブトラクションエックス線撮影法 478
サブマージドインプラント 479, 923
サベイドクラウン 129
サベイング 480
サポーティブセラピー 481
サポーティブ治療 481
サポーティブペリオドンタルセラピー 481
サポーティブペリオドンタルトリートメント 481
Summers 法 174
皿状吸収 482
酸エッチング 483
酸化アルミニウム 43
酸化還元反応 797
三角針 1098
酸化ジルコニウム 484, 636, 1050
酸化チタン 485, 833, 837
酸化被膜 486, 934, 1048, 1163
暫間インプラント 487
暫間義歯 488
暫間上部構造 488, 754, 794
暫間被覆冠 488, 489
暫間ブリッジ 488
暫間補綴装置 487, 488, 490
三叉神経 491
三叉神経痛 492, 640
三叉神経ブロック 641
三次元計測スキャナー 263
三次元 CT 画像 493
三次元データ化 321
三次元〔的〕測定 494
三次元デジタルデータ 692
三次元プリンタ 263
残存率 95, 112, 230, 1181
三点曲げ試験 495
サンドイッチグラフト 63
Ⅲ度高血圧 338
サンドブラスト 483, 496, 1025

し

次亜塩素酸ナトリウム 353
ジアゼパム 275
CO_2 レーザー 816
GTR〔法〕 505, 778

GTR 膜　308, 689, 984
GTR メンブレン　984
CT スキャン　504
CT 値　421, 504, 506, 1131
GBR〔法〕　388, 507
GBR 膜　308, 689
J グラフト　475, 509
Sjögren 症候群　331
シェードガイド　510
シェフィールドテスト　511, 973
塩造形模型　444
咬開　20, 512, 1188
耳介エピテーゼ　207
自家《自己》移植〔術，法〕　513
自家移植材　514
自家移植組織　63
紫外線照射滅菌法　1147
歯科インプラント　515
自家骨　63, 363, 412, 809, 1011
自家骨移植　63, 306, 412, 516
自家骨ブロック　1011
歯科治療恐怖症　62
歯科用コーンビーム CT　148, 493, 504, 517
歯科用ミリングマシーン　1135
磁化率アーチファクト　277
歯間鼓形空隙　518, 520
歯冠歯根比　519
歯間清掃ブラシ　522
歯冠長延長術　913
歯間乳頭　518, 520, 521, 1059
歯間乳頭保存術　521
歯間ブラシ　522
磁気共鳴画像　160, 523
磁気共鳴撮像法　160
軸位断像　11
死腔　524, 663
シクロオキシゲナーゼ　1017
止血　1033
止血鉗子　525
止血機能　526, 998
止血機能検査　526, 595
止血剤　527, 703
止血法　528
自己注射製剤　25
篩骨洞　1040
自己フィブリン糊　303
自己複製能　10, 240, 545, 585
自己免疫疾患　529, 1038
歯根型インプラント　530
歯根吸収　531
歯根膜　349, 531, 532
支持歯槽骨　533, 551
歯周炎　569
歯周形成手術　335, 534, 578, 946, 1157, 1160, 1161
歯周外科手術　534, 538, 571, 577
歯周サポート治療　481
歯周支持療法　481, 535
歯周靱帯　532, 536
歯周組織再生誘導〔法〕　778
歯周組織再生療法　778
歯周組織の分類　1140
歯周バイオタイプ　537
歯周パック　538
歯周病　569
歯周病関連細菌検査　105
歯周病原細菌　539, 620
歯周プローブ　540, 542, 1074
歯周包帯《包塡剤，包塡材》　538, 541
歯周ポケット　540, 542, 577, 620
矢状顆路　543
矢状顆路傾斜角　543
矢状前方顆路　543
矢状側方顆路　543
支持療法　98, 128
持針器　544
歯髄幹細胞　545
システマティックレビュー　546
JIS60 種　841
磁性アタッチメント　16, 548
歯性上顎洞炎　607
歯石　549, 569, 676, 849
自然孔　550, 606, 986
歯槽縁　554
歯槽骨　551
歯槽骨延長術　216, 552
歯槽骨吸収　553
歯槽骨喪失　553
歯槽骨頂　554
歯槽頂　555
歯槽頂アプローチ　174, 556, 557, 613
歯槽頂切開　557
歯槽頂切開法　717
歯槽堤　209, 558
歯槽堤拡大術　402, 559
歯槽堤形成術　210, 560
歯槽堤整形　211, 561
歯槽堤増生　402, 562
歯槽堤造成　402, 563
歯槽堤造成術　210

歯槽堤増大術 308, 402
歯槽堤幅〔径〕 564
歯槽突起 554, 555, 565
歯槽部 555, 566
歯槽稜 554
実質欠損 41
湿潤療法 761
自動体外式除細動器 140, 567
歯内骨内インプラント 46, 568
歯肉移植術 1157
歯肉炎 569, 577
歯肉縁下歯石 549
歯肉炎指数 191, 570
歯肉縁上歯石 549
歯肉縁切開 571
歯肉結合組織移植術 308
歯肉溝滲出液 572
歯肉溝内切開 521, 573, 913
歯肉歯槽粘膜移行部《境》 574
歯肉歯槽粘膜形成術 534, 575, 946
歯肉整形 576, 789
歯肉整形術 589
歯肉切除 789
歯肉切除術 577, 589
歯肉退縮 537, 578, 732
歯肉剝離子 579, 966
歯肉剝離掻爬術 1063
歯肉パンチ 869
歯肉付着〔部〕 580
歯肉弁 308, 538, 581, 942, 946
歯肉弁移動術 946
歯肉弁根尖側移動術 534, 582, 1157
歯肉弁歯冠側移動術 534, 583, 1157
歯肉弁側方移動術 534, 584, 1157
脂肪幹細胞 585
脂肪髄 586
シミュレーションソフトウエア 587
Simonsen 現象 65
シャーピー線維 532, 551, 772
射出成形 233, 588
斜切開法 589
遮断膜 590, 984
遮蔽膜 984
シャルピー試験 618
集学的治療 591
周術期管理 592
重症筋無力症 529
縦断〔的〕研究 166, 593
手指消毒法 474
樹脂造形模型 444
手術危険度 594
手術用ステント 683
主線維 532
主訴 785
出血傾向 596
出血時間 526, 595
出血性素因 596
術後管理 592, 597
術後ケア 597
術後性上顎嚢胞 598, 609, 791
術前アセスメント 600
術前管理 599
術前評価 600
シュナイダー膜▲ 601, 615
腫瘍随伴性ニューロパチー 932
手用スケーラー 1057
手用切削器具 721
受容側 602, 1187
純チタン 603, 647
常温重合レジン 400, 604
障害陰影 277
消化器潰瘍 1038
上顎結節 351, 605
上顎神経 351, 491
上顎洞 398, 606, 986, 1040
上顎洞炎 607, 609, 616, 791
上顎洞炎根治術 609
上顎洞隔壁 608
上顎洞根治術 598, 609, 791
上顎洞根本手術 609
上顎洞穿孔 610
上顎洞貯留嚢胞 611, 614
上顎洞底 274, 612
上顎洞底挙上術
63, 174, 402, 420, 607, 608, 613, 614, 615
上顎洞粘液貯留嚢胞 614
上顎洞粘膜 351, 352, 420, 609, 613, 615
——の穿孔 607
上顎洞迷入 616
上顎洞裂孔 617, 986
上顎骨口蓋突起 753
上顎骨骨切り術 1184
上気道閉塞 254
衝撃破壊試験 618
焼結アパタイト 619
症候性神経痛 640
常在細菌 620
蒸散 162
焼成骨 621
掌蹠膿疱症 622

小帯切除〔術〕 623
小帯付着異常 624
消毒 353
消毒薬 353
消毒用エタノール 353
上皮 625
上皮下結合組織移植術 308
上皮小体ホルモン 366, 1037
上皮成長因子 465
上皮性付着 626
傷病名 786
床副子 172
上部構造〔物〕 92, 627
静脈血栓症 1195
静脈内鎮静法 628, 697
静脈浮腫 1042
商用純チタン 629, 833
ショートインプラント 630
初期固定 631, 671, 1118
初期固定不足 124
除去トルク値 632
食品医薬品局 157
植立 633, 1116
シランカップリング 634
シリコーンガム模型 232
シリコーン系適合試験材 872
シリンダー型 879
シリンダー型インプラント 635
シリンダーテレスコープ 879
ジルコニア
33, 264, 636, 647, 707, 736, 739, 1050
ジルコニアクラウン 737
シロスタゾール 339
真気孔率 257
シングルステージインプラント 71
神経移動術 637
神経筋機構 638
神経原性ショック 307
神経障害 932
神経損傷 637, 639
神経痛 492, 640, 641
神経ブロック 641
神経縫合 642
神経麻痺 639, 643
人工器官 644
人工骨 63, 363, 414, 645, 1088
人工サファイア 476, 646
人工歯根 114, 647
人工歯肉 648
人工唾液 331
人工多能性幹細胞 10, 649
診察室血圧 338
腎疾患 933
心室細動 140
浸漬ぬれ 934
ジンジバルハイト 941
侵襲性歯周炎 539
新生骨 388, 650, 815, 1041
真性ポケット 542
心臓弁膜症 1195
身体表現性障害 651
診断用ガイドプレート 653
診断用ステント 653, 683
診断用セットアップ 652
診断用テンプレート 653, 683, 885, 1166
診断用模型 654, 677
診断用ワックスアップ 652, 655
心電図 1151
浸透ぬれ 934
深度ゲージ 656, 876
審美修復 657, 658
審美性 658
審美領域 659
新付着 778
新付着術 913
診療情報提供書 714

す

髄腔 385
垂直歯槽骨延長術 216, 660
垂直性骨吸収《欠損》 553, 661
垂直打診 806
垂直被蓋 169, 662
垂直マットレス縫合 663, 1096
水平歯槽骨延長術 216, 664
水平性骨吸収《欠損》 553, 665
水平打診 806
水平断像 11
水平被蓋 168, 666
水平マットレス縫合 667, 1096
睡眠時ブラキシズム 914, 983, 1056
スカルプティング 668
スキャナー 321
スキャフォールド 257, 406, 414, 669, 1088
スキャフォールド材料 21
スキャン 256
スキャンボディ 321, 670
スクリーニング検査 526, 595
スクリュー 57

スクリュー型インプラント 671, 673, 812
スクリュー形態 111
スクリュー固定式上部構造 109, 672
スクリュー固定式メタルフレーム 973
スクリュータップ 673
スクリューホール 228, 674
スクリューレジスタンステスト 872
スクレイパー 675
スケーラー 849
スケーリング 481, 676
スタック 116
スタディモデル 677
スタビライザー 678
スタビライズドブレードインプラント 678
スタビライゼーションアプライアンス 172, 914
スタンダードプリコーション 679
Student の t 検定 680
ステージドアプローチ 681
ステープルボーンインプラント 199
ステロイドカバー 682
ステロイドホルモン 529, 1038
ステント 683
スパイラルインプラント 684
スパイラルスキャン 148
スパイラルドリル 685, 903
スパッタリング 28
スパッタリング法 686
スプリットクレスト 173, 1173
スプリットクレスト法 377, 687, 1194
スプリットシックネスフラップ 946
スプリンティング 688
スペースメイキング 388, 689
スポーツマウスガード 1119
スポット溶接 1164
スマイルライン 274, 690
スライド型連結装置 250
3D プリンタ 444, 692
スリーピング 693
スリーブ 683, 949
刷り込み式手指消毒 474
スルフォニル尿素薬 861
スレッド 741, 812
スレッドインプラント 671, 694

せ

静荷重 709
成功基準 123, 1182
成功率 112
脆弱骨 695
正常血圧 338
正常高値血圧 338
星状神経節ブロック 641, 696
精神鎮静法 697
生存率【植皮・移植片の】 698
生体活性 699
生体活性ガラス 699, 700
生体活性セラミックス 233
生体監視 701, 1151
生体監視モニタ 1151
生体許容性 702
生体許容性材料 702
生体高分子材料 703
生体材料 131, 269, 436, 704
生体情報モニタ 705, 1151
生体親和性 440, 647, 706
生体親和性膜 984
生体接着剤 912
生体組織工学 867
生体適合性 329, 440, 706, 736, 779, 833
生体内活性材料 699
生体不活性 707
生体不活性材料 707
生体防御機構 708
静的荷重 709, 893
静的ナビゲーションシステム 918
生物学的安全性試験 710
生物学的安定性 711
生物学的封鎖 712
生物学的封鎖層 712
生物学的幅径 713, 1061
生物工学 951
精密印象 458
生命徴候 956
世界医師会 1093
セカンドオピニオン 714
赤色血栓 323, 340
赤色骨髄 392
セグメントタイプ 715, 948
舌咽神経痛 640
石灰化 378, 716
切開法 717
舌下動脈 178, 354, 718
舌孔 719
接合上皮 106, 113, 720
接合様式 144
切削 721
切削トルク 722
切歯管 723

切歯孔 723
切歯枝 218, 221
切歯乳頭 723
摂食嚥下障害 332
接触角 131, 934
接触点 443, 724
切除療法 577
切歯路 725
舌神経 726
絶対的禁忌症 274, 749
絶対的歯槽堤形成術 560
切端咬合 727
接着 728
接着帯 969
接着強さ 728
舌痛症 696
設定トルク 260
セットアップモデル 729
舌動脈 718
説明と同意 82, 730
Seddon の分類 639
セファログラム 731, 895
セメントエナメル境 578, 580, 732
セメント芽細胞 733
セメント合着 224
セメント固定式上部構造 109, 734
セメント細胞 733
ゼラチン 527, 703
セラミックアバットメント 735
セラミックインプラント 736
セラミッククラウン 737
セラミックコーティング 738
セラミックス 33, 262, 267, 707, 736, 739
セルフスレッディングスクリューインプラント 740, 741
セルフタッピングインプラント 741
線維芽細胞 545, 742, 924
線維芽細胞増殖《成長》因子 465, 743
線維骨 554, 744
線維性オッセオインテグレーション 745
線維性仮骨 215
線維性結合組織 702, 742
線維性骨 746
線維性歯肉増殖症 577
線維性組織 987
線維性肉芽組織 924
線維性被包 747
線維束骨 748, 772
閃光照射滅菌法 1147
前骨芽細胞 473
全身状態分類 1031
全身性自己免疫疾患 529
全身的禁忌症 749
全層歯肉弁 942
全層弁 581, 750, 942
喘息 15
せん断応力 751
せん断強さ 751
前頭洞 1040
前投薬 752
全能性細胞 10
前鼻棘 753
専門的機械的歯面清掃 994

そ

早期加重 754
早期荷重 754, 1149
早期失敗 755
早期接触 341, 345, 756, 1073
臓器特異的疾患 529
早期負荷 754, 757
早期埋入 758
双極Ⅰ型障害 759
双極性障害 759
双極Ⅱ型障害 759
象牙芽細胞 545
造血幹細胞 394
創咬開 512
創傷 69
創傷郭清 877
躁状態 759
創傷治癒 305, 760, 924, 987
創傷被覆材 703, 761
増殖因子 387, 762
増生骨 401, 402
増生術 763
造成術 764
相対的禁忌症 274, 749
相対的歯槽堤形成術 560
層板骨 428, 551, 554, 765, 772, 842
ソーサライゼーション 482, 766
即時インプラント 767
即時加重 768
即時荷重 768, 1149
即時型アレルギー 24
即時義歯 769
即時重合レジン 604
即時負荷 768, 770
即時埋入 767, 771

束状骨 551, 772
即時離開咬合 864
側頭筋 783
側方アプローチ 420, 613
側方運動 50, 773
側方応力 774
側方開窓術 613, 775
ソケットプリザベーション 776
ソケットリフト 174, 607, 613, 777
組織学的アタッチメントレベル 1180
組織工学 867
組織再生工学 867
組織再生誘導〔法〕 689, 778, 984
組織接着剤 1033
組織適合性 779
咀嚼 780, 782
咀嚼運動 781
咀嚼運動経路 788
咀嚼機能 782, 787
咀嚼筋 783
咀嚼効率 784, 787
咀嚼困難 785
咀嚼障害 332, 786
咀嚼試料 787
咀嚼粘膜 337
咀嚼能率 782, 787
咀嚼能率検査 787
咀嚼能力 464
咀嚼パターン 282, 788
ソフトティッシュマネジメント 789
ソフトナイロン糸 1097
ソフトレーザー 790

た

第Ⅸ因子 300
第 Xa 因子阻害剤 323
対孔 791
大口蓋孔 792
大口蓋神経 792
大口蓋動脈 792
第Ⅴ脳神経 491
ダイコム 793
ダイコムデータ 444, 1005
待時加重 794
待時荷重 794
待時負荷 794, 795
待時埋入 796
帯状疱疹後神経痛 640
耐食性 436, 485, 797, 833
耐蝕性 797
体性運動神経 491
体性幹細胞 240, 248
タイトジャンクション 471
ダイナミックナビゲーション 918
ダイナミックナビゲーションシステム 919
第Ⅷ因子 300
代用骨 363, 414, 645, 798
唾液分泌障害 799
他家移植〔体，片〕 800
多核巨細胞 72, 968, 969
他家骨 363, 414, 621, 809
他家骨移植 801
他家同種骨移植 809
多結晶体 814
多血小板血漿 303, 802
多血小板フィブリン 303
多孔質材料 803
多孔質ハイドロキシアパタイト 804
多職種連携 805
打診 806
多断面再構成画像 807
多断面再構成法 493
多断面変換画像 807, 808
脱灰骨 414, 809
脱灰凍結乾燥骨 801, 809, 810
脱灰凍結乾燥同種骨移植〔体，片〕 809, 811, 891
タッピング 812, 983, 1056
ダビガトラン 323
多分化能 10, 240, 545, 585
段階的アプローチ 681, 813
単結晶アパタイト 814
単結晶サファイア 814
単結晶体 814
炭酸アパタイト 269, 645, 815
炭酸ガスレーザー 816, 1185
炭酸含有水酸アパタイト 815
短縮歯列 817
単純結節縫合 667, 818
単純性歯肉炎 569
単純縫合 1096
弾性係数 436, 819
弾性変形 820
弾性マトリックス 1192
弾性率 819, 821
炭素繊維 822
担体 823
単独インプラント 824
単独植立 824

ち

チームアプローチ 825
チーム医療 826
遅延荷重 794, 827
遅延型アレルギー反応 974, 1154
遅延負荷 794, 828
遅延埋入 796, 829
遅延離開咬合 864
チオペンタール 275
知覚異常 220, 830
知覚過敏 830
知覚検査 931
知覚障害 831
知覚消失 830
知覚神経 491
知覚低下 830
知覚鈍麻 830
知覚麻痺 643, 1126
置換骨 922
置換性吸収 531, 832
蓄膿症 164
チタニア 485
チタニウム 833
チタン 33, 485, 707, 833, 835, 860, 930
——の腐食 837
チタンインプラント 483, 485, 496, 834
チタン合金 33, 264, 647, 707, 835, 841
チタン-ジルコニウム合金 836
チタン製スケーラー 676
チタンプラズマコーティング 838, 860
チタンプラズマ溶射 839
チタンプラズマ溶射インプラント 839
チタン膜 840
チタンメッシュ 212, 840
チタン 6-アルミニウム 4-バナジウム合金 835, 841
緻密骨 385, 405, 427, 551, 842, 981, 1036
緻密質 405, 842
中間欠損 843
中間構造体 1143
中空円柱状インプラント 844
中心位 195, 845
中心管 981
中心咬合位 195, 846
中水準消毒 353, 847
鋳接アバットメント 223
超音波骨切削機器 163, 399, 848
超音波スケーラー 849
蝶下顎靱帯 198
聴覚異常 247
超急性拒絶反応 64
長径 630
蝶形骨洞 1040
腸骨移植 850
超弾性合金 930
直接経口抗凝固薬 323
直接トロンビン阻害剤 323
直接法 668
直径 118
チョッピングタイプ 788
治療用義歯 851
チロシンキナーゼ阻害薬 1139
陳旧肉芽 924
鎮静法 697, 852

つ

ツイストドリル 853, 903
通常荷重 794
ツーピースインプラント 854

て

低アルブミン血症性浮腫 1042
DNA プローブ 455
TPS インプラント 839, 859
TPS コーティング 860
d-PTFE 膜 984
低位付着 624
低温プラズマ法 28
定荷重 709
定期検診 128
低血糖性昏睡 861
低水準消毒 353, 862
ディスインテグレーション 863
ディスクルージョン 864
ディスタントオステオジェネシス 865
ディストラクション 216, 866
ディストラクター 216
ティッシュエンジニアリング 867
ティッシュコンディショナー 868
ティッシュパンチ 869
ティッシュマネジメント 946
テーパージョイント 32, 35, 870, 1067
テーパードインプラント 871
適合性試験 872
適合精度 872
適正トルク 260

デクスメデトミジン 628
デコルチケーション 874, 1012
デジタル印象 321
デジタルワークフロー 875
デジタルワックスアップ 729
デスモゾーム結合 471
テタニー症状 202
テトラフルオロエチレン 999
デノスマブ 45, 1139
デプスゲージ 876
デプスプローベ 876
デブライドメント 877
デブリードマン 877, 878
テフロン 999
Duke 法 595
テレスコープ 879
テレスコープクラウン 879
電気メス 163, 589, 880
電子線照射滅菌法 1147
テンションフリー縫合 881
伝達麻酔 882
デンタルインプラント 515
デンタルエックス線画像 883
デンチャースペース 884
テンドンコラーゲン 440
天然高分子膜 984
テンプレート 683, 885
テンポラリーアバットメント 886
テンポラリーシリンダー 886

と

凍結乾燥異種骨移植 809, 887
凍結乾燥骨 801, 809, 888
凍結乾燥同種骨移植〔体，片〕 809, 889
陶材焼付金属冠 890
同種移植 891
同種移植材 63
同種骨 363, 414
同種骨移植 801
疼痛外来 892, 1087
疼痛性疾患 696
疼痛性障害 651
疼痛性ショック 307
動的荷重 893
動的ナビゲーションシステム 918, 919
糖尿病
56, 225, 325, 749, 861, 894, 933, 1038, 1091
糖尿病性ニューロパチー 932
頭部エックス線規格撮影法 895
動脈血中酸素飽和度 985
動揺度検査 896
特異性 164
特殊粘膜 337
毒性 897
特発性三叉神経痛 201
特発性神経痛 640
トップダウントリートメント 898
ドナー 63, 65
ドナーサイト 306, 899, 1156, 1187
ドラッグデリバリーシステム 900
トランスファーキャップ 76
トランスファーコーピング 76, 901
トランスフォーミング成長《増殖》因子
802, 857
トランスポーテーションセグメント 216
トリガーゾーン 492
トリガーポイント 492
トリガーポイントブロック 641
ドリリング 902
ドリル 903
ドリルガイド 186, 450, 904
トルク〔値〕 905, 1118
トルクコントローラー 906
トルクドライバー 906, 907
トルクメーター 908
トルクラチェット 908
トルクレンチ 906, 908
ドルダーバーアタッチメント 909, 949
ドレーピング 910
トレパンバー 911
トレフィンバー 386, 911
トロント会議 123, 950, 1182
トロンビン 527, 1033
トロンビン末 912
トロンボキサン 1077

な

内斜切開 571, 589, 913, 942
内側性の接続 78
内側翼突筋 783
ナイトガード 172, 914
内部注水 915
内部連結 78, 916
内部六角 79, 917
ナイロン糸 1097
流し込みレジン 604
ナビゲーションシステム 918, 919
ナビゲーション手術 445, 919

ナラティブベイスドメディシン 54, 920
ナローインプラント 921, 1197
軟骨細胞 378
軟骨性骨化 922
軟骨内骨化 378, 922, 1122
軟質リライン材 868

に

ニオブ 835
2 回法インプラント 68, 71, 136, 923, 927
2 型糖尿病 894
肉芽腫性炎 164
肉芽組織 538, 924, 928
二酸化ジルコニウム 636
二次安定 925
二次移植 926
二次固定 175, 925
二次再建 926
二次手術 68, 357, 923, 927
二次性高血圧 338
二次性咬合性外傷 344
二次創傷治癒 928
二次治癒 760, 928
二次的骨移植 926
二重エネルギーエックス線 873
二重エネルギーエックス線吸収測定法 873
二重金属冠 879
二重盲検試験 929
ニッケル 930
ニッケルチタン合金 297, 930
二点識別検査 931
二点弁別閾 931
二等分法 883
Ⅱ度高血圧 338
乳頭部歯肉 520
乳頭保存フラップ手術 521
ニューロパチー 932
尿検査 933
妊娠性歯肉炎 569

ぬ

ぬれ 934, 1026
ぬれ角 934
ぬれ性 131

ね

ネオジム 935
Nd:YAG レーザー 935, 1185, 1186
ねじ切り 741, 812, 936
熱可塑性樹脂 588, 937
熱硬化性樹脂 937
熱伝導 938
熱伝導率 938
熱分解法 958
粘液貯留嚢胞 614
粘性 939
粘膜移植 940
粘膜貫通部 120, 941
粘膜骨膜弁 315, 581, 942
粘膜固有層 337
粘膜上皮 337
粘膜内インプラント 943
粘膜剝離子 944, 966
粘膜パンチ 869, 945
粘膜弁 581, 946

の

濃縮成長因子 303
脳貧血様発作 307
膿瘍 164
ノンサブマージドインプラント 71, 947
ノンセグメントタイプ 948, 1159

は

バーアタッチメント 16, 949
パーシャルオーバーデンチャー 129
パーシャルシックネスフラップ 946
パーシャルデンチャー 129
バーチャルセットアップ 729
バーチャルワックスアップ 729
ハーバード会議 950
ハーフデスモゾーム 1090
バイオエンジニアリング 951
バイオガラス 700, 952
バイオセラミックス 233
バイオタイプ 537
バイオフィルム 192, 953
バイコルチカル 954
胚性幹細胞 52, 240, 955
バイタルサイン 600, 956, 1151
バイトアプライアンス 172
ハイドロキシアパタイト
26, 28, 366, 374, 645, 706, 738, 814, 815, 957
ハイドロキシアパタイトコーティング 958

ハイドロキシアパタイトコーティング処理 1025
ハイブリッド材料 959
ハイブリッドセラミック材料 959
ハイモア洞 606
廃用萎縮 361
廃用性骨萎縮 960
ハイリップライン 690, 1175
パイロットドリル 903, 961
ハインリッヒの法則 962
ハウシップ窩 963
破壊靱性 964
歯ぎしり 965, 1056
白色血栓 339, 340
薄膜ハイドロキシアパタイトコーティングインプラント 958
剝離子 966
破骨鉗子 967
破骨細胞 375, 390, 404, 922, 963, 968, 969, 1084
破歯細胞 531, 969
波状縁 963, 969
バス法 971, 1053
破折 117
発音障害 319, 972
発語障害 319
パッシブフィット 872, 973
パッチテスト 278, 974
発痛帯 492
発痛点 492
バットジョイント 32, 975
パトリックス 16, 250
バナジウム 835
歯の移植〔術〕 976
歯の再植〔術〕 977
歯の保存液 978
パノラマエックス線画像 979, 980
パノラマエックス線撮影〔法〕 980
ハバース管 405, 427, 842, 981, 982, 1036
ハバース系 981
ハバース層板 427, 842, 982
パビラプリザベーションフラップ手術 521
パラソルモン 366, 968, 1077
パラファンクション 346, 983, 1056
パラメトリック検定法 680
パラレル型 879
バランスドオクルージョン 773
バリアメンブレン 63, 388, 689, 776, 778, 984
パルスオキシメータ 985
Valleix の 3 圧痛点 492
半月裂孔 986, 1040
瘢痕 760, 987
瘢痕形成 928
ハンスフィールド単位 1131
ハンスフィールド値 506, 988
半接着斑 1090
半導体レーザー 989, 1185

ひ

被圧変位性 990
被圧変位量 237
B 細胞 1148
ヒーリングアバットメント 71, 1002
ヒーリングキャップ 1002, 1003
ヒーリングスクリュー 1002, 1004
ピエゾエレクトリカルサージェリー 848
ピエゾエレクトリックサージェリー 848
ピエゾ素子 163
非可動粘膜 560, 574
光造形法 1005
光造形方式 692
光造形模型 444
引き抜き試験 1006
非吸収性生体材料 1007
非吸収性縫合糸 1008
非吸収性膜 984
鼻腔内ドレナージ 791, 1009
鼻口蓋動脈 723, 792
皮質骨 385, 405, 441, 554, 842, 954, 1010, 1011, 1012, 1036
皮質骨海綿骨ブロック 1011
皮質骨穿孔 1012
微小間隙 1112
微小骨折 1013, 1113
微小循環 1014
微小動揺 1015, 1115
非上皮性組織 249
微少漏洩 144, 870, 1016, 1112
非ステロイド性消炎鎮痛薬 595, 1017
ビスホスホネート 968, 1018
ビスホスホネート関連顎骨壊死 1019, 1084
ビスホスホネート系薬剤 45, 1041, 1084, 1139
ビタミン K 依存性凝固因子 323
非置換型材料 645
ピックアップ印象 1020
ピックアップ印象用コーピング 76
引張試験 1021
引張強さ 1021

非定型口腔顔面痛 696
ヒト遺伝子組み換え BMP-2 1170
非特異性炎 164
ヒドロキシアパタイト 957, 1022
ヒトを対象とした医学研究 1093
被包 702, 1023
ピボットアプライアンス 172
ヒヤリ・ハット事例 962
標準トルク 260
病的肉芽 924
表面粗さ 1024
表面エネルギー 131
表面改質 958
表面形状 131
表面構造 131
表面処理 839, 860, 1025
表面性状 131, 1026
表面表示法 493
疲労試験 1027
疲労破壊 1028
疲労劣化 41

ふ

ファインセラミックス 1029
ファセット 1030
フィブリノゲン 526, 912, 1032, 1033
フィブリン 215, 526, 703, 1032, 1033, 1034
フィブリン血栓 340
フィブリン糊 912, 1033
フィブリン・モノマー 1032
フィブロイン 703
フィブロネクチン 1034
フィメール 16, 250
封鎖スクリュー 228
フェイスボウ 1035
フェリプレシン 304
フォーカルアドヒージョン 471
フォーカルコンタクト 471
フォルクマン管 842, 1036
副甲状腺ホルモン 1037
副腎萎縮 682
副腎クリーゼ 682, 1038
副腎皮質機能低下 682
副腎皮質機能不全 1038
副腎皮質ステロイドホルモン 682, 1038
複製義歯 1039
副鼻腔 606, 1040
副鼻腔炎 607, 616
腐骨 1041
浮腫 254, 1042
負担荷重 346
付着歯肉 1044
付着歯肉上皮 203
付着上皮 720, 1043
付着ぬれ 934
付着粘膜 1044
付着の獲得 1045, 1180
付着の喪失 578, 1046, 1180
フッ素樹脂 999
物理的気相蒸着法 958
物理的蒸着法 28
不適合反応 65
浮動歯肉 1047, 1065
不動態化 436, 1048
不動態膜 485, 486, 833, 837
不動粘膜 337, 1044, 1049
部分安定化ジルコニア 636, 1050
部分欠損 843
部分層歯肉弁 946
部分層弁 581, 946, 1051
不溶性コラーゲン 440
プラーク
330, 549, 569, 676, 953, 994, 1052, 1053, 1054, 1097
プラークコントロール 105, 481, 1053
プラークコントロールレコード 330, 1054
プラーク指数 192
プラーク性歯肉炎 569
プラークリンテンションファクター 549
ブラキサー 1055, 1056
ブラキシズム 196, 346, 774, 983, 1030, 1056
ブラジキニン 1017
プラスチックスケーラー 676, 1057
プラスチック製プローブ 540
プラズマ 1058
プラズマ化 217
プラズマコーティング 1058
プラズマスプレー法 958
プラズマ滅菌法 1147
プラズマ溶射インプラント 1058
プラズマ溶射法 28, 1058
ブラックトライアングル 518, 1059
プラットフォーム
92, 110, 120, 135, 290, 1060, 1061
プラットフォームシフティング 120, 1061
プラットフォームスイッチング 1061
フラップ 581, 1062
フラップ手術 571, 913, 1063
フラップレスサージェリー《手術》 1064

フラビーガム 1065
フランクフルト平面 258, 543, 1035, 1066
フリーウェイスペース 49
フリーラジカル 217
プリオン 143
プリオンタンパク 292
フリクショナルフィット 1067
フリクションフィット 1067
フルシックネスフラップ 942
フレイル 1068
ブレードインプラント 678, 1069
ブレードベントインプラント 1069
フレーム溶射法 28
フレームワーク 121, 1070
プレシジョンアタッチメント 16, 1071
プレスフィット 1072
プレスフィットインプラント 635
プレス法 737
フレミタス 1073
プロービング 1074
プロービングアタッチメントレベル 1180
プロービング時の出血 1074
プロービングデプス 1074, 1075
プログレッシブローディング 1076
プロスタグランジン 1017, 1077
プロスタグランジン E_2 1077
プロスタノイド 1077
ブロック骨 63, 183, 200, 212, 516, 1011
ブロック骨移植 1078
ブロック骨採取 220
プロテーゼ 207, 1079
プロテオグリカン 742
プロトロンビン時間－国際標準比 998
プロビジョナルインプラント 487, 1080
プロビジョナルクラウン 488, 1081
プロビジョナルデンチャー 488, 1082
プロビジョナルレストレーション 36, 488, 668
プロフェッショナルメカニカルトゥースクリーニング 994, 1083
プロポフォール 628
分子標的治療薬 1139
分子プレカーサー法 28
分析疫学 437
粉末焼結方式 692

へ

ペアン 525
平行法 883
米国食品医薬品局 157, 1085
米国麻酔科学会 1031
併発症 105, 512, 1086
ペインクリニック 1087
β-リン酸三カルシウム 267
ヘガール型 544
ベニアグラフト 63, 183, 200, 1089
ヘパリン 703
ヘマトーマ 310
ヘマトーム 310
ヘミデスモゾーム 720, 1090
ヘミデスモゾーム結合 471
ヘモグロビン A1c 1091
ペリインプラントサルカス 102
ペリオテスト 126
ペリオトーム 1092
ペリオドンタルドレッシング 538
ヘリカルスキャン 148
ヘルシンキ宣言 1093
ヘルシンキ大会 1093
ヘルトウィッヒ上皮鞘 149, 733
Bell 麻痺 1094
辺縁性歯肉炎 569
ベンザルコニウム塩化物 353, 474
偏心咬合位 348
ベンゼトニウム塩化物 353
ベンゾジアゼピン系薬剤 752
弁置換手術 1195

ほ

ポイントインセントリック 195
蜂窩織炎 164, 1095
縫合 663, 667, 1096
縫合糸 703, 1097
縫合針 544, 1098
放射線骨髄炎 1099
放射線照射骨 1100
放射線〔性〕骨壊死 1041, 1099, 1100
放射線治療 56, 365, 1099, 1100
蜂巣炎 1095
放電加工 1101
ボールアタッチメント 16, 1102
ボールアタッチメント構造 1132
ボーンアンカードブリッジ 109, 1070, 1103
ボーンコレクター 413
ボーンサウンディング 1104
ボーンスクレイパー 386, 413
ボーンソー 399
ボーンマッピング 1104

ボーンミル 412, 1105
ボーンレベル 432
ボーンロス 1111
ボーンワックス 527
ポケット探針 540
保護膜 984
母床骨 516
ポステリアガイダンス 1106
保存液 978
ボタンインプラント 943
補綴主導型治療 898
補綴用スクリュー 1107
ボトムアップトリートメント 298
ポビドンヨード 353, 1108
ホリゾンタルオフセット 1061
ポリテトラフルオロエチレン 999, 1109
ポリ乳酸 984
ポリ乳酸膜 984
ポリメチルメタクリレート 937
ポリメラーゼチェーンリアクション 455
ボリュームレンダリング 493, 1110
本態性高血圧 338

ま

マージナルボーンロス 1111
マイクロギャップ 115, 435, 1016, 1112
マイクロフラクチャー 1113
マイクロプレート 1114
マイクロムーブメント 1115
マイクロリーケージ 1016
埋入 1116
埋入窩 88, 116, 1117
埋入トルク 1118
マウスガード 1119
前向き研究 1120
前向きコホート研究 1120
McGill コンセンサスステートメント 1121
膜性骨 1122
膜性骨化 378, 1122
膜内骨化 1122
マグネットアタッチメント 548
マグネトロンスパッタリング法 958
マクロファージ 72
マクロポーラス材料 803
曲げ強さ 495, 1123
摩擦トルク 1124
摩擦力 1067
マチュウ型 544
末梢性顔面神経麻痺 1094
マットレス縫合 1125
マトリックス 16, 250
麻痺 1126
麻痺性疾患 696
摩耗 358, 1127
丸針 1098
マルチスライス CT 148
マルチフィラメントスーチャー 1097
慢性拒絶反応 64
慢性骨髄炎 393
慢性歯周炎 539
慢性疼痛性障害 651
慢性閉塞性肺疾患 1128
Mann-Whitney 検定 1129

み

みかけ気孔率 257
ミクロポーラス材料 803
ミダゾラム 275
Misch の骨密度の分類 1130, 1131
Misch の分類 1131
ミドルリップライン 690, 1175
ミニインプラント 921, 1132
ミニプレート 272, 1114, 1133
未分化間葉系細胞 378, 1122
ミューチュアリープロテクティッドアーティキュレーション 348, 1134
ミリングテクニック 1135
ミリングマシーン 1136

む

無機性牛ミネラル 1137
ムコツェーレ 614
無作為化比較試験 4, 1138
無歯顎 294
無切開手術 1064

め

Maynard の分類 1140
メインテナンス 481, 1141
メール 16, 250
メカニカルストレス 1142
メゾストラクチャー 1143
メソポーラス材料 803
メタアナリシス《分析》 1144
メタルフリー修復 1145
メタルボンドクラウン 890

滅菌 1146, 1147
滅菌法 1147
免疫機能 56
免疫グロブリン 1148
免疫不全 749
免疫抑制作用 1038
免荷期間 927, 1149
メンブレン 984

も

モーステーパー 870, 1150
モスキート 525
モディファイドアダプテーションテクニック 18
モニタリング 338, 1151
モノフィラメントスーチャー 1097, 1152

や

薬剤関連顎骨壊死 1139, 1153
薬物アレルギー 1154
薬物送達システム 900
薬物伝達システム 900
ヤング率 819, 1155

ゆ

有害事象 1171, 1172
有茎歯肉弁 1157
有茎弁 581, 1156
有茎弁歯肉移植術 1157
有限要素法《解析》 1158
UCLA アバットメント 36, 1159
誘導 50
誘導膜 984
遊離角化粘膜移植術 1160
遊離結合組織移植術 534, 1161
遊離骨移植 306
遊離歯肉移植術 534, 940, 946, 1160
遊離歯肉弁 581
遊離端欠損 817
遊離端ブリッジ 243, 1162
遊離粘膜移植 63

よ

要因対照研究 437
陽極酸化 1163
陽極酸化処理 1025
溶接 1164
翼突筋静脈叢 1165
翼突筋粗面 200
予測模型 729
予防投与 325
四点曲げ試験法 1123

ら

ライ症候群 1017
ラジオグラフィックマーカー 1166
らせん型インプラント 684, 1167
ラチェットレンチ 908, 1168
ラテラルウィンドウテクニック 613, 1169
ランダム化比較試験 4, 546

り

リコンビナント BMP-2 995, 1170
リスク因子 1171
リスクファクター 302, 322, 338, 381, 529, 774, 894, 983, 1038, 1084, 1091, 1099, 1100, 1171
リスクマネジメント 1172
裏装粘膜 337
リッジエクスパンション法 173, 1173
リップサポート 274, 1174
リップライン 1175
リテーナー 16, 1176
リドカイン 275
リバロキサバン 323
リポジショニングアプライアンス 172
リマウントレコード 1177
リラクセーションアプライアンス 172
燐灰石 26
リン酸オクタカルシウム 1178
リン酸オクタカルシウム・コラーゲン複合体 1178
リン酸カルシウム 462, 699, 716, 1088
リン酸カルシウム系セメント 400
リン酸カルシウム系セラミックス 738
リン酸三カルシウム 738, 1088, 1179
輪状甲状膜穿刺 254
臨床的アタッチメントレベル 732, 1180
リンパ系幹細胞 394
リンパ浮腫 1042
倫理指針 1093
倫理的原則 1093

る

累積残存率 1181
累積成功率 112, 1182
累積生存率 230, 698
累積的防御療法 98, 1183
ルートプレーニング 481
ループ 51
Le Fort Ⅰ型骨切り術 1184

れ

レーザー 163, 336, 989, 1185
レーザーアブレージョン法 28
レーザー焼結 263
レーザー溶接 1164, 1186
レシピエント 63
レシピエントサイト 306, 899, 1156, 1187
裂開 20, 610, 663, 1188
Lekholm & Zarb の骨形態の分類 1189, 1191
Lekholm & Zarb の骨質の分類 1190, 1191
Lekholm & Zarb の分類 1191
連結様式 78
連続縫合 818, 1096

ろ

瘻孔閉鎖術 610
老人性萎縮 361
老人様顔貌 1174
ローリップライン 690, 1175
ロケーターアタッチメント 16, 1192
ロングセントリック 195, 1193

わ

Waller 変性 639
ワイヤー放電加工法 1101
若木骨折 1173, 1194
ワルファリンカリウム 323, 998, 1195
ワンスクリューテスト 872, 973, 1196
ワンパートインプラント 1197
ワンピースインプラント 1197

欧文索引

3D CT 493, 691
3D CT image 493
3D printer 692
^{99}mTc-MDP 322
α-TCP 42, 645
α-tricalcium phosphate 42
β-TCP 267, 269, 645, 1088
β-tricalcium phosphate 1088

A

aberration into the maxillary sinus 616
abfraction 41
ablation 162
ABM 58, 143
abnormal sensation 830
abrasion 1127
abutment 29
abutment analog《analogue》 30
abutment connection 32
abutment cylinder 36
abutment fracture 38
abutment level 39
abutment level impression 40
abutment material 33
abutment retrieval instrument 35
abutment screw 37
abutment shaft 34
abutment-implant interface 31, 115
access hole 13
accidental symptom 281
acid etching 483
adaptation technique 18
adherence 22
adhesion 728
adipose-derived stem cells 585
adrenaline hypersensitivity 23
adrenocortical hormone 1038
AED 140, 567
AFG 142, 303
Aggregatibacter actinomycetemcomitans 539
air abrasion 139
allergy 44
allodynia 830
allogenic bone graft 801
allograft(s) 800, 891
alternate finger pressure test 872
alumina 43
alveolar〔bone〕crest 551, 554
alveolar crest approach 556
alveolar crestal incision 557
alveolar distraction osteogenesis 552
alveolar part 566
alveolar process 565
alveolar ridge 558
alveolar ridge augmentation 212, 562, 563
alveolar ridge crest 555
alveolar ridge enhancement 559
alveolar ridge plastics 210, 560
alveolar ridge width 564
alveolar〔bone〕resorption 553
anaphylactic shock 25
anaphylaxis 24
anchor pin 46
anesthesia 830
angiogenesis 305
angulated abutment 48, 214
angulation tolerated abutment 213
ankylosis 47
anodic oxidation 1163
anorganic bovine mineral 143, 1137
ANS 141, 753
anterior guidance 50
anterior loop 51
anterior nasal spine 141, 753
antibacterial agent 324
antibiotic prophylaxis 325
antibiotic therapy 326
antibiotics 324
anticoagulant 323
antiplatelet agent 339
antiresorptive agents-related osteonecrosis of the jaw 45, 376
antirotational mechanism 187
antiseptic hand rub 474
antithrombotic 340
apatite 26
apatite carbonate 815
apatite coated implant 28
apatite implant 27
aperture of maxillary sinus 617
apically positioned flap operation 582

ARONJ 45
articulation disorder 319
artifact 1
artificial bone 645
artificial gum 648
artificial tooth root 647
ASA 1031
ASA-PS 1031
aspiration 359
aspirin-induced asthma 15
atelocollagen 21
atrophy 60
attached epithelium 1043
attached mucous membrane 1044, 1049
attachment gain 1045
attachment level 17
attachment loss 1046
attachment system 16
augmentation 763, 764
autoclave sterilization 318
autogenous bone graft(s) 516
autogenous bone transplantation 516
autograft(s) 514
autoimmune disease 529
autologous fibrin glue 142, 303
autologous grafting 513
automated external defibrillator 140, 567
axial image 11
axonotmesis 639

B

bacteria test 455
bacterial biofilm 456
ball attachment 1102
bar attachment 949
barrier membrane 590, 984
basal plane 258
Bass method 971
BDGF 426, 1000
Bell's palsy 1094
bending strength 1123
bevel incision 589
bFGF 387, 426, 762
BIC ratio 364
bicortical 954
big sterilizer 318
bioactive 699
bioactive glass 700
biocompatibility 706
bioengineering 951
biofilm 953
bioglass 952
bioinert 707
biologic width 713
biological safety test 710
biological seal 712
biological stability 711
biological width 713
biomaterial 704
Bio-Oss® 58
biophylactic mechanism 708
biopolymer 703
biotolerance 702
bipolar disorder 759
bisphosphonate 1018
bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw 1019, 1084
bite raising 342
bite wound 350
biting force 349
black triangle 1059
blade implant 1069
bleeding on probing 105, 996
bleeding time 595
block anesthesia 882
blood coagulation factor 300
blood disease 302
blood test 301
blood-derived growth factor 303
BMD 421
BMP 379, 387, 424, 426, 995
BMP-2 762
bonding 728
bone ankylosis 396
bone atrophy 361
bone augmentation 401, 402
bone block graft 1078
bone burning 373
bone cell 390
bone cement 400
bone chip 389
bone chips graft(s) 470
bone chisel 410
bone collector 413
bone conduction 406
bone cutting forceps 967
bone debris 389
bone density 421
bone formation 378

bone grafting 362
bone graft(s) 363
bone harvest 386
bone inducing factor 424
bone induction 423
bone interface 371
bone level 432
bone mapping 1104
bone marrow 392
bone matrix 374
bone mill 412, 1105
bone mineral 366
bone mineral density 368, 421
bone modeling 422
bone morphogenetic factor 379
bone morphogenetic protein 380, 995
bone overheating 409
bone particulate 389
bone quality 391
bone quantity 429
bone regeneration 387
bone remodeling 370, 427
bone resorption 375
bone structure 385
bone substitute 414, 798
bone to implant contact ratio《rate》 364
bone trabecula 430
bone trabecular structure 431
bone turnover 404
bone union 425
bone wax 433
bone width 411
bone-anchored bridge 1103
bone-derived growth factor 426, 1000
bony ridge 428
bony septum 398
bony window 420
BOP 191, 996, 1074
bottom up treatment 298
bounded missing 843
Brånemark 175
brittle bone 695
BRONJ 1084
bruxer 1055
bruxism 965, 1056
BSE 143, 292
bundle bone 748, 772
butt joint 975

C

CAD/CAM 146, 263, 264, 446, 1135
CAD/CAM abutment 264
calcification 716
calculus 549
callus 215
Camper's plane 245
cancellous bone 190
canine protected articulation 314
cantilever 243
cantilever bridge 1162
carbon dioxide laser 816
carbon fiber 184, 822
carbonate apatite 815
carrier 823
CAS 445, 499
castable ceramics 262
Cawood classification 294
CBCT 148, 504, 517
CEJ 498, 732
Celenza 195
cell adhesion 471
cell differentiation 473
cell growth factor 472
cellulitis 1095
cement fixed implant-supported prosthesis 734
cement-enamel junction 498, 732
cementoblast 733
centric occlusion 846
centric relation 845
cephalogram 731
cephalometric radiography 895
ceramic abutment 735
ceramic coating 738
ceramic crown 737
ceramic implant 736
ceramics 739
ceramometal crown 890
CGF 303, 501
chewing 780
chewing pattern 788
chronic obstructive pulmonary disease 500, 1128
CIST 98, 547, 1183
CJD 292, 503
classification by Lekholm & Zarb 1191
clearance 284

cleft palate 320
clenching 291
clinical attachment level 1180
clinical path 288
clip attachment 286
closed tray 293
cobalt-chromium alloy 436
cohort study 437
cold-curing resin 604
collagen fiber 439
collagen membrane 440
commercially pure titanium 508, 629
compact bone 842
compliance 449
complication 225, 1086
compression necrosis 20
compressive strength 19
computed tomography 448, 504
computed tomography value 506
computer simulation 447
computer-aided design/computer-aided manufacturing 263, 446
computer-aided surgery 445, 499
computer-generated bone modeling 444
concentrated growth factors 303, 501
concurrent disease 1086
conical connection 435
connective tissue attachment 309
connective tissue graft 308
contact osteogenesis 442
contact point 443, 724
contour 244
contraindication 276
conventional loading 794
coordinate measuring 494
COPD 500, 1128
copy denture 1039
coronally repositioned flap surgery 583
corrosion of titanium 837
corrosion resistance 797
cortical bone 1010
cortical bone perforation 1012
corticocancellous bone block 1011
corticotomy 441
countersink 193
cover screw 228
cover screw mill 229
COX2 1017
CPTi 508, 629, 833
crest module 290
crestal incision 571
Creutzfeldt-Jakob disease 292, 503
criteria for success of implant 123
critical path 287
cross-sectional study 166
crown-implant ratio 283, 519
crown-root ratio 519
CT 365, 504
cumulative interceptive supportive therapy 547, 1183
cumulative success rate 1182
cumulative survival rate 1181
cusp inclination 356
custom abutment 223
cutting 721
cutting torque 722
cylinder implant 635
cytokine 465

D

DDS 858, 900
dead space 524
debridement 877, 878
declaration of Helsinki 1093
decortication 874, 1012
dehiscence 1188
delayed implant 829
delayed implant placement 796
delayed load 827
delayed loading 828
demineralized bone 809
demineralized freeze-dried bone 810, 855
demineralized freeze-dried bone allograft(s) 811, 856
dental cone-beam CT 517
dental implant 515, 647
dental implant material 329
dental plaque 1052
dental pulp stem cells 545
dental radiography 883
denture space 884
depth gauge 656, 876
desktop scanner 256
destruction 866
DFDB 801, 809, 810, 855
DFDBA 809, 811, 856, 891
diabetes mellitus 894
diagnostic cast 654
diagnostic setup 652

diagnostic set-up 652
diagnostic template 653
diagnostic wax-up 655
DICOM 793
difficulty chewing 785
Digital Imaging and Communication in Medicine 793
digital workflow 875
disclusion 864
disintegration 863
distant osteogenesis 865
distraction osteogenesis 216
disturbance of mouth opening 185
disuse bone atrophy 960
DM 894
DOAC 323
Dolder bar attachment 909
donor site 270, 899
double blind test 929
draping 910
drill 903
drill guide 904
drilling 902
drug allergy 1154
drug delivery system 858, 900
dry mouth 331
dual-energy X-ray absorptiometry 873
duplicating denture 1039
DXA 873
dynamic load 893
dysarthria 319
dysesthesia 830
dysmasesis 786

E

early failure 755
early implant failure 124
early implant loss 124
early implant placement 758
early load 754
early loading 2, 757
EBD 54
EBM 54, 546, 920
edema 1042
edge-to-edge bite 727
EDM 53, 1101
EGF 465
elastic deformation 820
elastic modulus 819, 821
electric discharge machining 53, 1101
electric scalpel 880
electrosurgery 163
elevator 966
embrasure 518
embryonic stem cell 52, 955
EMD 149
emergence profile 159
enamel matrix protein 149
encapsulation 1023
enchondral ossification 922
endodontic endosseous implant 568
endosseous implant 407
epithelial attachment 626
epithelium 625
epithesis 152
Erbium YAG Laser 162
ES cell 52
esthetic restoration 657
esthetic zone 659
esthetic(s) 658
evaluation of fit 872
evidence-based dentistry 54
evidence-based medicine 54, 153
expanded polytetrafluoroethylene membrane 55
external connection 144
external hex 145, 189
extraction socket preservation 776
extra-osseous deviation 369

F

face-bow 1035
facet 1030
facial implant 246
facial palsy 247
facial prosthesis 152
fatigue fracture 1028
fatigue test 1027
fatty marrow 586
FDA 157
FDB 801, 809, 888
FDBA 158, 809, 889
FDBX 809, 887
FEA 154, 1158
FGF 155, 465, 743
FGG 156, 1160
fibrin 1032
fibrin glue 1033

fibroblast 742
fibroblast growth factor 155, 743
fibronectin 1034
fibro-osseointegration 745
fibrous bone 744
fibrous encapsulation 747
final impression 458
fine ceramics 1029
finite element analysis 154, 1158
first stage surgery 68
fit checking 872
fixed implant-supported prosthesis 434
fixed screw type implant superstructure 672
fixture 647
flabby gum 1047, 1065
flap 1062
flap surgery 1063
flapless surgery 1064
flexural strength 1123
Food and Drug Administration 157, 1085
foreign body giant cell 72
foreign body reaction 73
fracture toughness 964
frailty 1068
framework 1070
Frankfort plane 1066
free connective tissue graft 1161
free gingival graft 156
free keratinized mucosal graft 1160
freeze-dried bone 888
freeze-dried bone allograft(s) 158, 889
freeze-dried bone xenograft(s) 887
fremitus 1073
frenectomy 623
frenulectomy 623
friction torque 1124
frictional fit 1067
full thickness flap 750

G

gagging reflex 62, 167
galvanic current 235
GBR 63, 212, 470, 689, 984, 1088
GCF 502, 572
general contraindication 749
GI 191, 497, 570
gingival attachment 580
gingival crevicular fluid 502, 572
gingival flap 581
gingival index 497, 570
gingival raspatory 579
gingival recession 578
gingivectomy 577
gingivitis 569
gingivoplasty 576
glass ceramics 233
glycine powder 285
gothic arch tracing method 360
graft 63
graft versus host reaction 65
grafting 63
grafts rejection 64
granulation tissue 924
greater palatine foramen 792
green stick fracture 1194
grinding 282
group function 289
growth factor 762
GTR 689, 984
guided bone regeneration 388, 507
guided surgery 186
guided tissue regeneration 505
guided tissue regeneration〔method〕 778
gum silicone mold 232
gummy smile 231

H

HA 706, 957
Harvard Conference 950
Haversian canal 981
Haversian lamella 982
HbA1c 1091
HBOT 317
healing abutment 1002
healing cap 1003
healing screw 1004
Heinrich's law 962
hematoma 310
hemidesmosome 1090
hemoglobin A1c 1091
hemorrhage in the mouth floor 354
hemorrhagic diathesis 596
hemostasis 528
hemostat 525
hemostatic agent 527
hemostatic function test 526
heterotopic ossification 66

high-level disinfection 353
histocompatibility 779
hollow cylinder implant 844
homogeneous bone graft 801
homograft(s) 800
horizontal alveolar distraction osteogenesis 〔lengthening, elongation〕 664
horizontal bone resorption 665
horizontal mattress suture 667
horizontal overlap 666
Hounsfield Unit 421, 506, 988
Howship's lacuna 963
HU 506, 1131
HVS 202
hybrid material 959
hydrogen peroxide gas plasma sterilization 217
hydroxyapatite 957, 1022
hydroxyapatite coating 958
hyperalgesia 830
hyperbaric oxygen therapy 317
hyperbaric oxygen treatment 317
hypertension 338
hyperventilation syndrome 202
hypoesthesia 830
hypoglycemic coma 861
hypoptyalism 799

I

IARPD 129
IC 82, 730
iliac bone graft(s) 850
immediate denture 769
immediate implant 767
immediate load 768
immediate loading 75, 770
immediate provisional implant 74
immediately implant 771
immunocompromised condition 56
immunoglobulin 1148
impact fracture test 618
implant 83
implant abutment 100
implant analog《analogue》 84
implant assisted RPD 129
implant basket 844
implant bed 108
implant body 114, 647
implant card 89
implant collar 92
implant configuration 127
implant dentistry 328
implant denture 93
implant diameter 118
implant failure 125
implant fracture 117
implant interface 90
implant level 135
implant level impression 136
implant loss 125
implant maintenance 128
implant maintenance therapy 86
implant mobility 126
implant neck 120
implant overdenture 9, 87
implant prosthesis 132
implant removable partial denture 6, 129
implant remover 133
implant replica 134
implant retained OD 87
implant retained RPD 129
implant shoulder 110
implant socket 88
implant stability quotient 8, 85
implant success criteria 123
implant success rate 112
implant superstructure 109
implant supported OD 87
implant supported RPD 129
implant supportive therapy 98
implant surface 130
implant surface structure 131
implant survival rate 95
implant system 99
implant thread 111
implantation 633
implant-bone interface 94
implantology 91
implant-supported bridge 96
implant-supported prosthesis 97
implant-tissue interface 113
impression coping 76
impression transfer coping 76
impression tray 77
incisal path 725
incision 717
incisive canal 723
inclined《tilted》implant placement 296
indigenous bacterium 620

induced pluripotent stem cell 10, 649
inferior alveolar artery/vein 221
inferior alveolar nerve 218
inferior alveolar nerve lateralization 219
inferior alveolar nerve paralysis 220
inflammation 164
inflammatory resorption 165
informed consent 82, 730
infraorbital foramen 238
injection molding 588
insertion socket 1117
insertion torque 1118
installation 1116
integration 81
intercuspal contact area 195
interdental papilla 520
interleukin 80
intermediate missing 843
intermediate-level disinfection 847
internal bevel incision 913
internal connection 78, 916
internal hexagon 79, 917
internal irrigation 915
International Organization for Standardization 7
interocclusal clearance 49
interprofessional work 805
intracrevicular incision 573
intramembranous ossification 1122
intranasal drainage 791
intraoral scanner 336
intraosseous anchorage 408
intravenous sedation 628
inverted basket implant 844
IOD 9, 87
iPS cell 649
IROD 87
IRPD 6, 129
IRRPD 129
ISO 7
ISOD 87
ISRPD 129

J

J graft 509
junctional epithelium 720

K

Kaplan-Meier analysis 230
keratinized attached gingiva 206
keratinized epithelium 203
keratinized mucosa 205
key and keyway 250

L

laboratory analog《analogue》 255
lamellar bone 765
Lang 1183
laser 1185
laser welding 1186
late implant failure 122
late implant loss 122
lateral movement 773
lateral stress 774
lateral window technique 775, 1169
laterally repositioned flap surgery 584
Le Fort Ⅰ osteotomy 1184
Lekholm & Zarb 1191
Lekholm & Zarb's bone quality classification 1190
Lekholm & Zarb's classification 1191
Lekholm & Zarb's jaw bone morphology classification 1189
Light Amplification by Stimulated Emission of Radiation 1185
Lindhe 1183
lingual foramen 719
lingual nerve 726
lip line 1175
lip support 1174
locator attachment 1192
Löe 570
Löe & Silness 191
long centric 1193
longitudinal study 593
lower lip paralysis 222
low-level disinfection 862

M

machined implant surface 251
magnetic attachment 548
magnetic resonance imaging 160, 523
maintenance 1141

maintenance therapy 128
malformation of frenum 624
malignant tumor 12
mandibular canal 197
mandibular foramen 198
mandibular movement 196
mandibular nerve block 201
mandibular position 195
mandibular ramus 200
mandibular rest position 194
Mann-Whitney test 1129
marginal bone loss 1111
masticatory dysfunction 786
masticatory efficiency 784, 787
masticatory function 782
masticatory movement 781
masticatory muscles 783
mattress suture 1125
maxillary sinus 606
maxillary sinus floor 612
maxillary sinus floor elevation 613
maxillary sinus mucocele 611, 614
maxillary sinus mucous membrane 615
maxillary sinus septum 608
maxillary sinusitis 607
maxillary tuberosity 605
maxillofacial prosthesis 207
maximal intercuspal position 355
maximum bite force 464
maximum mouth opening 463
Maynard classification 1140
McGill consensus statement 1121
MDCT 504
mechanical polishing 252
mechanical strength 253
mechanical stress 1142
medical monitor 705
medication-related osteonecrosis of the jaw 1139, 1153
medullary cavity 395
mental foramen 179
mental nerve 180
mental nerve paralysis 181
mental spines foramen 178
mesenchymal cell 249
mesenchymal stem cell 248
mesostructure 1143
meta-analysis 1144
metal allergy 278
metal artifact 277
metal fatigue 279
metal-free restoration 1145
mGI 105, 191
MGJ 574
microcirculation 1014
microfracture 1013, 1113
microgap 1112
microleakage 1016
micromovement 1015, 1115
microplate 1114
milling machine 1136
milling technique 1135
mineralization 716
mini implant 1132
mini plate 1133
Misch's bone density classification 1130
Misch's classification 1131
mis-deglutition 316
mobility examination 896
modified gingival index 105, 191
modified plaque index 105, 192
monitoring 1151
monocrystalline 814
monofilament suture 1152
morse taper 1150
morselized bone graft 234
mouth guard 1119
movable mucosa 227
movable mucous membrane 227
mPI 105, 192
MPR 161, 807
MRI 160, 277, 365, 523
MRONJ 1139
mucogingival junction 574
mucogingival surgery 575
mucoperiosteal《mucoperiosteum》flap 942
mucosal elevator 944
mucosal flap 946
mucosal grafting 940
mucosal implant 943
mucosal punch 945
multidisciplinary treatment 591
multiplanar reconstructed image 808
multiplanar reconstruction 161, 807
multiplanar reformation 807
mutually protected articulation 1134
myeloid stem cell 394
mylohyoid muscle 208

N

naked solid products 318
narrative based medicine 151, 920
narrow implant 921
nasal cavity drainage 1009
nasoantral window 791
navigation surgery 919
navigation system 918
NBM 54, 151, 920
N・cm 260, 722, 905
needle holder 544
Neodymium YAG laser 935
nerve block 641
nerve injury 639
nerve repositioning 637
nerve suture 642
neuralgia 640
neurapraxia 639
neuromuscular mechanism 638
neuroparalysis 643
neuropathy 932
neurotmesis 639
newly formed bone 650
nickel-titanium alloy 930
night guard 914
NMR 160
non-absorbable thread 1008
non-resorbable biomaterial 1007
non-segment type 948
non-steroidal anti-inflammatory drugs 150, 1017
non-submerged implant 71, 947
NSAIDs 150, 595, 1017
nuclear magnetic resonance 160

O

occlusal adjustment 345
occlusal appliance 172
occlusal contact pattern 348
occlusal force 349
occlusal interference 341
occlusal loading 346
occlusal plane 347
occlusal trauma 344
occlusal vertical dimension 343
occlusal wear 358
OCP 1178
octacalcium phosphate 1178
odontoclast 969
offset implant placement 182
O'Leary 1054
one phase implant 71
one screw test 1196
one-piece implant 1197
one-stage implant 71
onlay graft(s) 183
open tray 170
optical impression 321
oral cleaning 334
oral hygiene instruction 330
oral hypofunction 332
oral implant 327
oral implantology 328
oral microbial flora 333
oral mucosa 337
oral rehabilitation 171
oral vestibule extension surgery 335
oral implant material 329
orbital prosthesis 239
orthodontic implant 272
orthopaedics of alveolar ridge 561
orthopedic surgery of alveolar ridge 211
osseointegrated implant 176
osseointegration 175, 382, 397
osseous interface 371
Osstell® 85
Osstell mentor™ 896
ostectomy 399
osteoblast 372
osteoclast 968
osteoconduction 406
osteocyte 390
osteogenesis imperfecta 381
osteogenic cell 383
osteoinduction 423
osteomyelitis 393
osteon 405
osteonecrosis 365
osteopenia 695
osteoporosis 403
osteoradionecrosis 1099
osteosclerosis 384
osteotome 173
osteotome technique 174
osteotomy 377
overbite 169
overjet 168

overloading 121
oxide layer 486

P

pain clinic 892, 1087
palmoplantar pustulosis 622
panoramic radiograph 979
panoramic radiography 980
papillae preservation flap surgery 521
parafunction 983
paralysis 1126
paranasal cavity 1040
parathyroid hormone 1037
partial thickness flap 1051
partially stabilized zirconia 1050
particulate bone graft(s) 470
passivation 1048
passive fit 973
patch test 974
patient monitor 705
patient monitoring 701
patient-based outcomes 242
patient-led implant treatment 241
PCBM 389
PCR 455, 997, 1054
PDGF 313, 426, 465, 762, 802, 1001
pedicle flap 1156
pedicle gingival graft 1157
percussion 806
perforation of maxillary sinus 610
peri-implant mucosa 106
peri-implant mucositis 107
peri-implant sulcus 102
peri-implant sulcus fluid 103
peri-implant tissue 104
peri-implant tissue examination 105
peri-implantitis 101
periodontal biotype 537
periodontal dressing 541
periodontal ligament 532, 536
periodontal pack 538
periodontal plastic surgery 534
periodontal pocket 542
periodontal probe 540
periodontopathic bacteria 539
perioperative management 592
periosteal ossification 417
periosteal reaction 419
periosteum 415
periosteum elevator 418
Periotest™ 896
periotome 1092
PG 1017
PGE_2 1077
physical status 600, 1031
PI 192
pick-up impression 1020
pilot drill 961
placement 1116
plaque control 1053
plaque control record 997, 1054
plasma coating 1058
plasma rich in growth factors 303, 992
plastic scaler 1057
platelet rich fibrin 303
platelet rich plasma 303, 993
platelet-derived growth factor 313, 1001
platelet-rich fibrin 991
platelet-rich plasma 312, 802
platform 1060
platform shifting 1061
PMMA 702, 937
PMTC 994
polytetrafluoroethylene 999, 1109
porcelain fused-to-metal crown 890
porosity rate 257
porous hydroxyapatite 804
porous material 803
Porphyromonas gingivalis 539
posterior guidance 1106
posterior superior alveolar artery 352
posterior superior alveolar branches 351
postoperative care 597
postoperative maxillary cast 598
povidone-iodine 1108
precision attachment 1071
prefabricated abutment 259
premature contact 756
premedication 752
preoperative assessment 600
preoperative care 599
press fit 1072
pressure necrosis 20
PRF 303, 991
PRGF 303, 992
primary closure 70
primary healing 69
primary splinting 67
primary stability 631

probing 1074
probing depth 1075
probing pocket depth 105
procedural accident 281
professional mechanical tooth cleaning 994, 1083
progressive loading 1076
proper alveolar bone 438
prospective study 1120
prostaglandin 1077
prosthesis 644, 1079
prosthetic screw 1107
prothrombin time-international normalized ratio 998
provisional crown 489, 1081
provisional denture 1082
provisional implant 1080
proxy brush 522
PRP 303, 312, 802, 993
psychosedation 697
pterygoid plexus 1165
PTFE 999
PTH 1037
PT-INR 998, 1195
pullout test 1006
pulse oximeter 985
pure titanium 603
push-in test 1006

R

radiation therapy 1100
radical operation of maxillary sinus 609
radiographic marker 1166
randomized controlled trial 4, 1138
raspatorium 966
ratchet wrench 1168
RCT 4, 546
reattachment 469
recipient site 602, 1187
recombinant BMP-2 1170
red complex 539
reference plane 258
regenerative medicine 460, 461
regional contraindication 274
release incision 315
relief period 1149
relief system 237
remineralization 462
remount record 1177
removable implant-supported prosthesis 226
removal torque value 5, 632
replacement resorption 832
replantation 459
residual ridge 209
resonance frequency analysis 3, 85, 273
resorbable and replacement material 269
resorbable biomaterial 266
resorbable ceramics 267
resorbable thread 268
resorption lacuna 265, 963
response of xenograft material 59
retainer 57, 1176
retaining appliance 57, 1176
retrospective study 138
reverse torque 261
RFA 3, 85, 273
rh BMP-2 1170
ridge expansion 1173
risk factor 1171
risk management 1172
root form implant 530
root resorption 531
RTV 5, 632
ruffled border 963

S

saddle graft 475
sagittal condylar path 543
sandblast 496
sapphire implant 476
saucer absorption 482
saucerization 766
scaffold 14, 669
scaling 676
scan body 670
scar tissue 987
Schneiderian membrane 601
sclerosing osteomyelitis 322
scraper 675
screw hole 674
screw tap 673
screw type implant 671
sculpting 668
second opinion 714
secondary healing 928
secondary reconstruction 926
secondary stability 925

second-stage surgery 927
sedation 852
segment type 715
segmental resection 280
self tapping implant 741
self threading screw implant 740
self-curing repair resin 604
self-curing resin 604
semiconductor diode laser 989
semilunar hiatus 550, 986
sensory disturbance 831
sequestrum 1041
set up model 729
shade guide 510
shape memory alloy implant 297
shear strength 751
Sheffield test 511
short implant 630
shortened dental arch 817
side screw 466
silane coupling 634
silicone gum 232
silicone gum rubber 232
Silness 570
Silness & Löe 192
simple interrupted suture 818
simulation software 587
single crystal 814
single standing 824
single-stage implant 71
sintered apatite 619
sintered bone 621
sinus floor elevation 467
sinus lift 468
sleeping 693
smile line 690
socket lifting 777
soft laser 790
soft tissue management 789
soft tissue-implant interface 119
soft-tissue replica 232
somatoform disorders 651
space making 689
specific products as specified by the manufacturer 318
specified torque 260
speech disorder 972
spiral drill 685
spiral implant 684, 1167
splinting 688
split crest technique 687
SpO_2 985
SPT 98, 481
sputtering method 686
stabilized blade implant 678
staged approach 681, 813
standard precautions 679
standard triangulated language data 146
static load 709
stellate ganglion block 696
stem cell 240
stent 683
stereolithography 1005
sterilization 1146
sterilization method 1147
steroid cover 682
stress-breaking attachment 236
stucked implant 116
Student t-test 680
study cast 677
study model 677
subgingival contour 477
sublingual artery 718
submandibular fossa 204
submandibular fovea 204
submental artery 177
submerged implant 479
subperiosteal implant 416
subtraction radiography 478
superstructure 627
supporting alveolar bone 533
supportive periodontal therapy 481, 535
supportive therapy 128
surface roughness 1024
surface texture 1026
surface treatment 1025
surgical guide plate 299, 450
surgical pack《dressing》 453
surgical risk 454, 594
surgical stent 451
surgical template 452
surveying 480
survival rate 698
suture 1096
suture needle 1098
suture thread 1097
synthetic sapphire 646
systematic review 546

T

Tannerella forsythia 539
tap 806
tapered implant 871
tapered joint 870
tapping 812, 936
TBI 330
TC 7
TCP 1088, 1179
team approach 825
team care 826
team medical care 826
team treatment 826
Technical Committee 7
telescope 879
template 885
temporary abutment 886
temporary cement 224
temporary implant 487
temporary prosthesis 490
temporary superstructure 488
Tendon collagen 440
tensile strength 1021
tension-free sutures 881
TGF 802, 857
TGF-α 857
TGF-β 426, 857
thermal conductivity 938
thermoplastic resin 937
thick-flat 537
thin-scallop 537
threaded implant 694
three-dimensional CT 691
three-dimensional CT image 493
three-dimensional measurement 494
three-dimensional printer 692
three-point bending test 495
thrombin 912
thrombocytopenia 311
Ti 833
Ti-6Al-4V 841
tibia bone transplant《graft, implantation, transplantation》 295
tissue attachment of supracrestal around dental implant 367
tissue conditioner 868
tissue displaceability 990
tissue engineering 867
tissue punch 869
tissuecompatibility 779
titanium 833
titanium alloy 835
titanium dioxide 485
titanium implant 834
titanium mesh 840
titanium plasma coating 838
titanium plasma sprayed coating 860
titanium plasma sprayed implant 839, 859
titanium-zirconium alloy 836
tooth preservation solution 978
tooth replantation 977
tooth transplantation 976
top-down treatment 898
torque 188, 905
torque controller 906
torque driver 907
torque wrench 908
toxic reaction for local anesthetics 275
toxicity 897
TPS 839
TPS coating 860
TPS implant 839, 859
trabecular bone 430
tracheotomy 254
transducer 85
transfer coping 901
transforming growth factor 857
transmandibular implant 199
transmucosal extension 941
transplantation 63
treatment denture 851
trephine bur 911
Treponema denticola 539
tricalcium phosphate 1179
trigeminal nerve 491
trigeminal neuralgia 492
twist drill 853
two-part implant 854
two-point discrimination test 931
two-stage implant 923

U

UCLA abutment 1159
ultrasonic bone cutting equipment 848
ultrasonic scaler 849
urine analysis 933

V

VAS 970
vascularized bone graft 306
vasoconstrictor 304
vasovagal reflex 307
VEGF 802
veneer graft 1089
vertical alveolar distraction《lengthening, elongation》osteogenesis 660
vertical bone resorption 661
vertical mattress suture 663
vertical overlap 662
vestibuloplasty 335
viscosity 939
visual analogue scale 970
vital signs 956
Volkmann canal 1036
volume rendering 1110

W

waiting load 795
warfarin potassium 1195
wear 1127
welding 1164
wetting 934
Wolff 137
Wolff's law 137
wound dehiscence 512
wound dressing material 761
wound healing 760
woven bone 746

X

xenograft 58
xenograft bone 61
xerostomia 331
X-ray computed tomography 148
X-ray examination《check》 147

Y

YAG 935
Young's modulus 1155
YSZ 636
Yttrium Aluminum Garnet 935

Z

zirconia 636
zirconium dioxide 484
ZrO_2 636
zygomatic implant 271, 457

口腔インプラント学 学術用語集 第５版　ISBN978-4-263-45683-5

2003年３月30日　第１版第１刷発行
2011年３月20日　第２版第１刷発行
2014年６月10日　第３版第１刷発行
2018年３月29日　第３版補訂版（学会ホームページに公開）
2020年５月20日　第４版第１刷発行
2024年６月15日　第５版第１刷発行

編　集　公益社団法人 日本口腔インプラント学会
発行者　白　石　泰　夫
発行所　医歯薬出版株式会社
〒113-8612　東京都文京区本駒込１-７-10
TEL.（03）5395-7638（編集）・7630（販売）
FAX.（03）5395-7639（編集）・7633（販売）
https://www.ishiyaku.co.jp/
郵便振替番号 00190-5-13816

乱丁，落丁の際はお取り替えいたします　印刷・木元省美堂／製本・明光社
© Japanese Society of Oral Implantology, 2024. Printed in Japan

本書を無断で複製する行為（コピー，スキャン，デジタルデータ化など）は，「私的使用のための複製」などの著作権法上の限られた例外を除き禁じられています．また私的使用に該当する場合であっても，請負業者等の第三者に依頼し上記の行為を行うことは違法となります．

JCOPY ＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞
本書をコピーやスキャン等により複製される場合は，そのつど事前に出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088，FAX 03-5244-5089，e-mail：info@jcopy. or. jp）の許諾を得てください．